

**松伏町第6次総合振興計画策定のための
町民意識調査 調査結果報告書**

令和4年度

令和4年 11 月

松伏町

目 次

I	調査概要	1
II	調査結果の概要と考察	4
III	調査結果の詳細	15
	第1章 町民意識調査	16
	1 ご自身のことについて	17
	2 人口減少について	26
	3 結婚・出産・子育てについて	33
	4 進路について	42
	5 松伏町の住みよさと定住意向について	45
	6 松伏町の将来像について	77
	7 松伏町の行政運営について	84
	第2章 転入者対象アンケート調査	93
	1 ご自身とご家族について	94
	2 転入の理由について	101
	第3章 転出者対象アンケート調査	109
	1 ご自身とご家族について	110
	2 転出の理由について	116
	第4章 中学生・高校生アンケート調査	123
	1 あなたのことにについて	124
	2 進路について	125
	3 今の松伏町のことにについて	130
	4 あなたが考える10年後の松伏町について	135
	第5章 子育て世帯アンケート調査	137
	1 あなた（保護者様）のことにについて	138
	2 今の松伏町のことにについて	144
	3 あなたが考える10年後の松伏町について	149
	第6章 自由記述	151
	1 町民意識調査	152
	2 転入者対象アンケート調査	154
	3 転出者対象アンケート調査	155
	4 中学生・高校生アンケート調査	156
	5 子育て世帯アンケート調査	157

I 調査概要

1 調査目的

松伏町では「笑顔が未来に広がる 緑あふれるみんなのまち！」を掲げ、長期的な展望とまちづくりの将来像を示した「松伏町第5次総合振興計画」(以下「現行計画」という。)を策定し、基本構想と前後期5か年の基本計画に基づきまちづくりを進めてきました。

現行計画は令和5年度で終了することから、新たな「松伏町第6次総合振興計画」を策定するにあたり、町の居住性、町政に対する評価、転入・転出の実態、町への要望等を今後の町づくりの参考とするため、本アンケート調査を実施しました。

2 調査設計

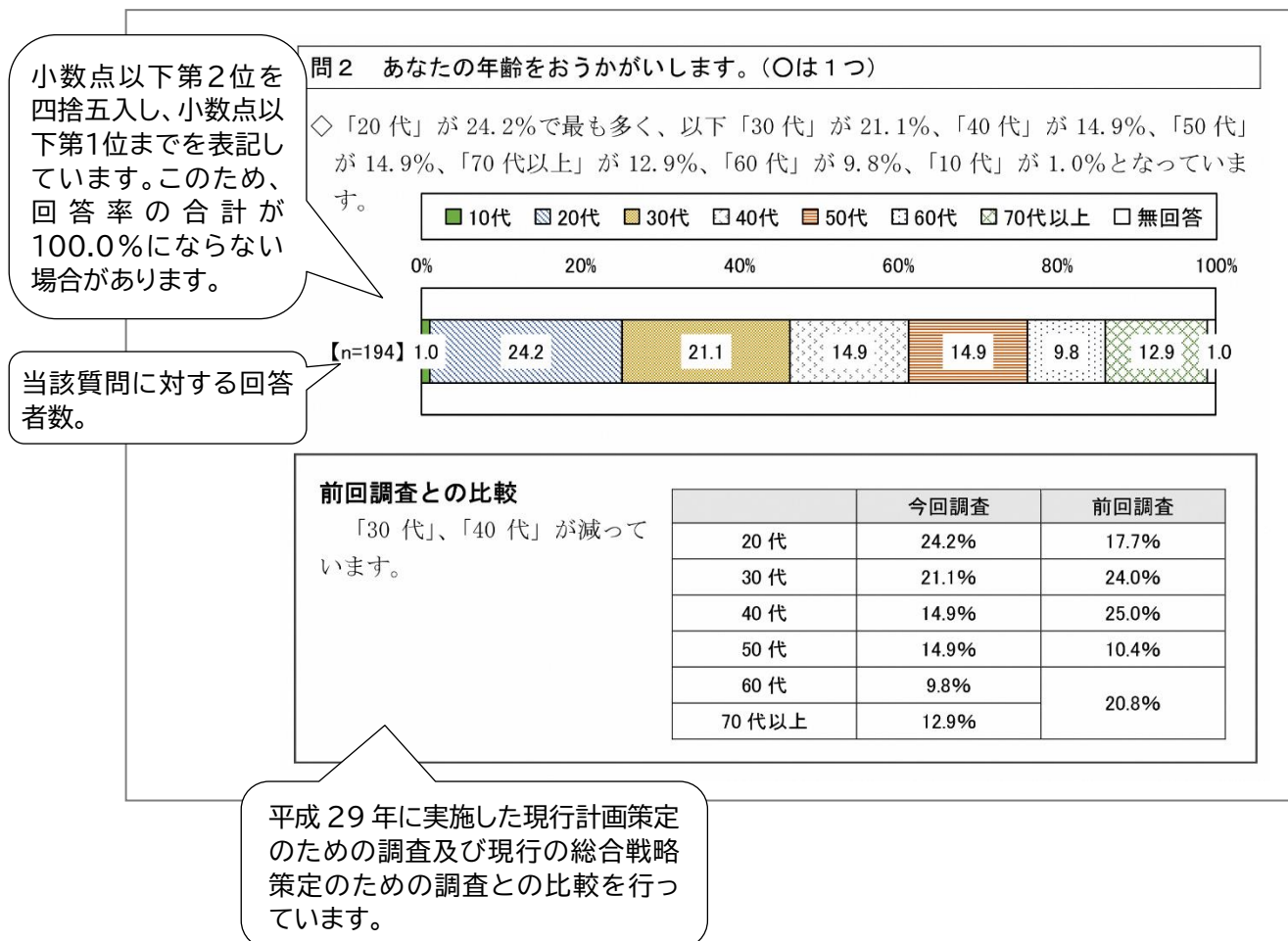
	調査対象	対象者数	抽出方法	調査方法	調査期間
町民意識調査	満18歳以上の町民	1,500人	無作為抽出	郵送・Web	令和4年7月1日～8月10日 (WEBは7月25日まで)
転入者対象アンケート調査	令和3年3月1日～令和4年4月30日までに松伏町に転入・転出した町民	682人	全数	郵送	令和4年7月1日～7月25日
転出者対象アンケート調査		841人		郵送	
中学生・高校生アンケート調査	松伏町の学校に通う 中学2・3年生・高校生	1,033人		学校を通じた 配布・回収	令和4年7月5日～7月20日
子育て世帯アンケート調査	松伏町の学校に通う 小学生・中学生の保護者	1,724人			

3 回収結果

	標本数	有効回収数	有効回収率
町民意識調査	1,500	503(Web:182)	33.53%
転入者対象アンケート調査	682	194	28.44%
転出者対象アンケート調査	841	236	28.06%
中学生・高校生アンケート調査	1,033	865	83.73%
子育て世帯アンケート調査	1,724	982	56.96%
合計	5,780	2,780	48.09%

4 報告書の見方

- (1) 調査結果の数値は回答率(%)で表記しています。回答率の母数は、当該質問に対する回答者数です。グラフ中では【n】と表記しています。複数回答の問についても、調査結果の数値は回答率(%)で表記しています。ただし、性別や経年変化等の母数が異なるものを比較する場合は、割合の差(ポイント)で表記しています。
- (2) 集計は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しています。このため、回答率の合計が100.0%にならない場合があります。複数回答可の質問では、母数に対する回答率のため、回答率の合計が100.0%を超える場合があります。
- (3) 本報告書では、なるべく調査票そのままの表現を用いていますが、スペース等の関係から一部省略した表現としている箇所があります。
- (4) 回答者数が少ないものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考値として示すにとどめている場合があります。
- (5) 報告書の□□では、前回調査との比較を行っていますが、前回調査は、平成29年に実施した現行計画策定のための調査及び現行の松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定のための調査を用いています。



II 調査結果の概要と考察

1 町民意識調査

(1) ご自身のことについて

①転入またはUターンを決めた理由

松伏町に転入またはUターンを決めた理由は、「住宅価格、家賃が適当」(44.4%)が最も多く、以下「静かな住居環境」(27.2%)、「家族との同居」(26.7%)、「知り合いや友人、親や子どもの家に近い」(15.6%)などとなっています。

「家族との同居」や「知り合いや友人、親や子どもの家に近い」は若い年代で比較的多く、人間関係も重視していることがうかがえます。

②通勤・通学の方法

就業・就学中の方の通勤・通学の方法は、「自家用車」(56.2%)が最も多く、以下「鉄道」(25.0%)、「一般の路線バス」(19.1%)、「自転車」(12.6%)などとなっています。

20代以下は「鉄道」(52.4%)が最も多くなっています。

③通勤・通学で利用している最寄り駅

通勤・通学で利用している最寄り駅は、「北越谷駅」(61.9%)が最も多く、以下「せんげん台駅」(16.5%)、「吉川駅」(7.2%)、「越谷レイクタウン駅」(5.2%)などとなっています。

(2) 人口減少について

①人口減少の心配や不安

人口減少の心配や不安は、「年金や医療費などへの住民負担の増加」(60.0%)が最も多く、以下「税収の減少による公共サービスの質の低下、又は負担の増加」(54.3%)、「学校や公共施設の減少、商業施設の撤退などによる生活利便性の低下」(48.7%)、「公共交通の廃止」(29.4%)などとなっており、人口減少による経済的な負担増や利便性の低下が不安視されています。

②人口減少を抑えるための対策

人口減少を抑えるために必要な対策は、「公共交通の利便性の向上」(62.4%)が最も多く、以下「働きながら結婚し子育てできる環境の整備」(50.5%)、「医療・福祉サービスの充実」(41.7%)、「近隣市と連携した取組みの実施」(24.5%)などがあげられています。

(3) 結婚・出産・子育てについて

①結婚するにあたって不安に思ったこと

結婚経験のある方が結婚するにあたって不安に思ったことは、「結婚のための住居やその場所」(16.5%)が最も多く、以下、「結婚資金」(12.6%)、「職業や仕事上の問題」(11.5%)、「親との同居や扶養」(11.5%)などとなっています。

20代以下と30代は、「結婚資金」が最も多く、ともに30%を超えています。

II 調査結果の概要と考察

②子供を持つこと

調査回答者の過半数が今後子供を「持ちたくない」と回答しています。その理由は、「出産のリスク（年齢的な制約を含む）」（45.6%）が最も多く、以下「経済的な制約が増える」（36.1%）、「子育てと仕事の両立が難しい」（20.1%）などとなっています。

20代以下と30代では「経済的な制約が増える」が最も多く、20代以下では6割を、30代では7割を上回り、経済的な理由で子供を持っていない家庭が相当数いることが想定されます。

③子供を望む方が増えると思う取組

子供を望む方が増えると思う取組は、「子育て世帯への経済的支援の充実」（58.6%）が最も多く、次いで「教育費用や保育料の負担軽減措置の充実」（50.5%）となっており、経済的な支援が重要視されています。

年代が低いほど「子育て世帯への経済的支援の充実」が多くなっており、20代以下及び30代では7割を上回ります。

（4）松伏町の住みよさと定住意向について

①松伏町のイメージ

松伏町のイメージは、「川に囲まれたのどかな田園のまち」（69.0%）が最も多く、次いで「東京近郊のわりに自然環境が残っているまち」（45.5%）となっており、自然豊かなイメージを持っている町民が多くなっています。

②松伏町への愛着

松伏町への愛着について、「とても愛着を感じている」と「どちらかというとな愛着を感じている」の合計（51.3%）が「愛着を感じていない」と「あまり愛着を感じていない」の合計（20.6%）を上回っており、すべての年代で同様の傾向がみられます。

③「住みやすさ、くらしやすさ」を感じる点

松伏町の「住みやすさ、くらしやすさ」を感じる点は、「静かである」（58.3%）が最も多く、以下「自然環境が良く健康に過ごせる」（36.2%）、「地域をよく知っている」（21.1%）などとなっており、自然豊かな町のイメージが「住みやすさ、くらしやすさ」に繋がっていることがうかがえます。

④「住みにくさ、くらしにくさ」を感じる点

松伏町の「住みにくさ、くらしにくさ」を感じる点は、「娯楽や食事を楽しむ場が無い」（47.9%）が最も多く、以下「通勤・通学に不便である」（39.4%）、「都心に出るのが不便」（29.4%）、「医療環境が恵まれていない」（22.9%）、「買い物などの日常生活が不便」（20.3%）などとなっており、ふだんの生活環境や利便性に「住みにくさ、くらしにくさ」を感じていることがうかがえます。

⑤松伏町での居住希望

松伏町での居住希望について、「一生住み続けたい」(35.8%)が最も多く、次いで「10年以上は住み続けたい」(31.4%)となっており、半数以上が長期の居住希望を持っていることがわかります。

しかし、20代以下では「いずれは転出するつもりである」が61.2%を占めているなど、年代が低いほど転出意向が強くなる傾向がみられます。

⑥松伏町から転出する理由と希望する転出先

松伏町から転出する理由は、「公共交通網が不便」(63.9%)が最も多く、以下「日常の買い物の利便性がよくない」(31.6%)、「都心に遠い」(25.9%)、「働く場所が限られている」(18.4%)などとなっています。

また、希望する転出先は「近隣市(草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、春日部市)」が過半数を占めており、交通や買い物の利便性の向上が課題であると考えられます。

⑦町政全般(暮らし)の「満足度」と「重要度」

満足度、重要度については指数化を行っています。満足度指数が高い、満足が多い取組は、「公園の整備・緑化の推進」、「ごみの減量化や再資源に対する取組」、「防災・消防・救急体制」などとなっています。

一方で、満足度指数が低い不満の多い取組は、「充実した公共交通網の整備」、「町の人口減少に対する取組」、「道の駅など観光振興への取組」、「安全で快適な道路環境の整備」などとなっています。

重要度指数の高い重要な取組みについては、「充実した公共交通網の整備」、「安全で快適な道路環境の整備」、「子どもの学習しやすい教育環境」、「子どもが健全に育つ環境の整備」、「町の人口減少に対する取組」などがあげられています。

(5) 松伏町の将来像について

①10年後どのようなまちになれば住み続けたいか

10年後の松伏町がどのようなまちになれば住み続けたいかについて、「鉄道やバスルートの充実など公共交通の利便性が高いまち」(61.0%)が最も多く、交通の利便性向上が求められます。

20代以下と30代では「子育ての支援の充実や子育てする環境が整備されたまち」、70代以上では「高齢者や障がい者が健康で生きがいを持って住めるまち」がいずれも過半数を占めており、保健福祉施策の充実も重要です。

②老朽化や利用率の低い施設に必要な対策

老朽化や利用率の低い施設への対策について、「施設の複合化を図り、コスト削減につながるよう機能を維持するべき」(63.4%)が最も多く、すべての年代で同様の結果となっています。

③公共施設を維持していくための使用料と税金の負担割合

公共施設を維持していくための使用料と税金の負担割合について、「税金（町納税者すべての負担）負担はなるべく変えず、使用料の負担を増やすべき」（63.4%）が最も多く、すべての年代で同様の結果となっています。

（6）松伏町の行政運営について

①町民意見の町政への反映

町民意見の町政への反映について、「情報が少なく、反映されているかどうかがよく分からない」（62.4%）が最も多く、すべての年代で同様の結果となっており、町民がわかりやすい情報提供が求められます。

②現在参加している地域活動や活動への参加希望

地域活動への参加について、「参加しているものはない」（54.9%）が過半数を占めており、年代が低いほど多くなる傾向がみられます。

一方で、地域の生活課題の解決や町の魅力向上に向けた活動をする機会については、「内容によっては参加したい」（56.1%）が過半数を占めており、すべての年代で同様の結果となっていることから、内容によるという条件付きながら、一定数の参加が期待できます。

なお、参加したい活動として、希望が多い順に「文化、芸術、スポーツなどの生涯学習活動」（33.2%）、「健康づくりや医療に関する活動」（25.0%）、「町との協働などによる全般的なまちづくり活動」（23.3%）などとなっており、参加しやすい活動をきっかけに活動参加を促進することが重要です。

2 転入者対象アンケート調査

(1) ご自身とご家族について

①転入前後の居住形態

転入前は、「集合住宅（マンション等）の賃貸」（58.2%）が最も多く、次いで「戸建ての持ち家」（26.3%）となっています。転入後は、「集合住宅（マンション等）の賃貸」（18.6%）が減少し、「戸建ての持ち家」（65.5%）が最も多くなっています。

②松伏町を知るきっかけ

松伏町を知るきっかけは、「両親が住んでいる（住んでいた）」（25.3%）が最も多く、次いで「親戚や友人が住んでいる（住んでいた）」（24.7%）となっており、身近に松伏町にゆかりがある人がきっかけとなっている人が多いことがわかります。

③転入以前の居住経験

転入する以前に松伏町に住んだ経験が「ある（Uターン）」（29.9%）、「ない（Uターンではない）」（68.1%）となっています。

④松伏町での居住予定

松伏町での居住予定は、「永住する予定」（50.0%）で最も多く、特に40代より上の年代はいずれも過半数を占めています。

一方、年代が低くなるほど「1年から5年」が多くなる傾向がみられます。

(2) 転入の理由（等）について

①引っ越しの大きなきっかけ

引っ越しをすることとなったもっとも大きなきっかけは、「住宅の取得」（20.1%）が最も多く、次いで「結婚」（14.4%）となっています。

20代では「就職・転職・転勤」（25.5%）、30代では「結婚」（24.4%）が最も多くなっています。また、40代では「住宅の取得」と「結婚」（27.6%）がともに最も多く、転入者の多くは松伏町で人生の節目を迎えていると言えます。

②転入を決めた理由

松伏町に転入を決めた理由は、「家族との同居」（35.6%）が最も多く、以下「住宅価格、家賃が適当」（34.5%）、「静かな住居環境」（27.8%）、「知り合いや友人、親や子どもが近い」（25.8%）などとなっています。

家族や友人以外の理由では、「住宅価格、家賃が適当」と「静かな住居環境」の割合が高く、松伏町の特徴や魅力として捉えることができます。

転入以前の居住経験では、転入を決めた理由は、「ある（Uターン）」は「家族との同居」、「ない（Uターンではない）」は「住宅価格、家賃が適当」が多くなっています。

③転入前と比較した町の居住環境

転入前と比較した松伏町の居住環境は、「どちらかといえば住みやすい」（26.3%）で最も多く、以下「あまり変わらない」（25.8%）、「どちらかといえば住みにくい」（21.6%）と評価が割れる結果となっています。

越谷市や春日部市からの転入は、住みやすいとの回答が比較的多く、東京都や千葉県からの転入は住みにくいとの回答が比較的多くなっています。

3 転出者対象アンケート調査

(1) ご自身とご家族について

① 転出前後の居住形態

転出前は、「戸建ての持ち家」(73.3%)が最も多くなっています。転出後は、「戸建ての持ち家」(18.2%)が大きく減少し、「集合住宅(マンション等)の賃貸」(52.1%)が最も多くなっています。

70代以上では「介護・福祉施設」(26.5%)が比較的多く、施設入所による転出となっています。

② 転出先の住所と現在の勤務先や通学先

転出先は、「その他埼玉県内」(25.4%)が最も多く、以下「越谷市」(20.8%)、「東京都」(10.6%)、「千葉県」(9.3%)などとなっています。

現在の勤務先や通学先は、「東京都」(23.3%)が最も多く、以下「その他埼玉県内」(21.6%)、「越谷市」(8.1%)、「千葉県」(7.6%)などとなっており、現在の勤務先や通学先への転出が多くなっていることがうかがえます。

(2) 転出の理由について

① 引っ越しの大きなきっかけ

引っ越しをすることとなったもっとも大きなきっかけは、「就職・転職・転勤」(27.5%)が最も多く、以下「結婚」(22.5%)、「生活環境(交通・買い物・病院など)」(14.8%)などとなっています。

30代では「結婚」(45.2%)が最も多く、40代では「生活環境(交通・買い物・病院など)」(29.0%)が最も多くなっています。

② 現在の住まいを選んだ理由

現在(転出先)の住まいを選んだ理由は、「交通の便が良い」(44.9%)が最も多く、以下「職場や学校との距離」(39.8%)、「買い物などに便利」(29.7%)、「住宅(家賃)価格」(26.3%)などとなっており、利便性の高さがポイントになっていることがわかります。

③ 松伏町に魅力を感じた点

松伏町の魅力を感じた点として、「自然環境や景色が良い」(53.0%)が最も多く、町民意識調査と同様に自然豊かさを町の魅力として感じている町民が多くなっています。

④ 松伏町の不満点

松伏町の不満点として、「交通の便が悪い」(78.0%)が圧倒的に多く、以下「買い物が不便」(42.8%)、「働く場所が少ない」(25.8%)、「職場や学校が遠い」(24.2%)などとなっており、町民意識調査と同様に、交通の利便性の向上や町内での雇用創出が課題であると考えられます。

4 中学生・高校生アンケート調査

(1) 進路について

①卒業後の進路希望

卒業後の進路希望は、「進学（高校、大学、大学院、専門学校など）」（76.9%）が最も多く、中学生では大半が「進学」を希望していますが、学年が上がるほど「就職」が多く、高校3年生では37.1%となっています。

②進学先・就職先の希望

進学希望者が希望する進学先は、「松伏町外の埼玉県内」（44.5%）が最も多く、「松伏町内」は6.9%となっています。

就職希望者が希望する就職先は、半数が「未定」（50.7%）ですが、次いで「松伏町外の埼玉県内」（36.6%）、「松伏町内」は0.7%となっています。

(2) 今の松伏町のことについて

①松伏町への愛着

松伏町への愛着について、「とても愛着を感じている」と「どちらかという愛着を感じている」の合計（37.9%）が「愛着を感じていない」と「あまり愛着を感じていない」の合計（24.6%）を上回っています。

中学生では過半数が愛着を感じていると回答していますが、学年が上がるほど愛着が薄れていく傾向がみられます。

②「住みやすさ、くらしやすさ」を感じる点

松伏町の「住みやすさ、くらしやすさ」を感じる点は、「静かである」（40.9%）が最も多く、以下「自然環境が良く健康に過ごせる」（29.1%）、「治安が良い」（15.7%）などとなっており、町民意識調査と同様に、自然豊かな町のイメージが「住みやすさ、くらしやすさ」に繋がっていることがうかがえます。

③「住みにくさ、くらしにくさ」を感じる点

松伏町の「住みにくさ、くらしにくさ」を感じる点は、「通勤・通学に不便である」（29.9%）が最も多く、以下、「娯楽や食事を楽しむ場が無い」（29.6%）「都心に出るのが不便」（27.6%）、「治安が良くない」（17.0%）、「買い物などの日常生活が不便」（13.1%）などとなっており、町民意識調査と同様に、ふだんの生活環境や利便性に「住みにくさ、くらしにくさ」を感じていることがうかがえます。

(3) 松伏町の将来像について

①10年後どのようなまちになれば住み続けたいか

10年後の松伏町がどのようなまちになれば住み続けたいかについて、「鉄道やバスルートの充実など公共交通の利便性が高いまち」（51.6%）が最も多く、町民意識調査と同様に、交通の利便性向上が求められます。

5 子育て世帯アンケート調査

(1) あなた（保護者様）のことについて

①転入またはUターンを決めた理由

松伏町に転入またはUターンを決めた理由は、「住宅価格、家賃が適当」(40.0%)が最も多く、以下「家族との同居」(22.4%)、「知り合いや友人、親や子どもの家に近い」(21.5%)、「静かな住居環境」(19.8%)となっており、上位4項目は町民意識調査と同様の項目が挙げられています。

②松伏町での居住予定

松伏町での居住予定は、「永住する予定」(45.0%)で最も多く、すべての年代で同様の結果となっており、年齢が高いほど居住予定年数が長くなる傾向がみられます。

(2) 今の松伏町のことについて

①松伏町への愛着

松伏町への愛着について、「とても愛着を感じている」と「どちらかという愛着を感じている」の合計(58.9%)が「愛着を感じていない」と「あまり愛着を感じていない」の合計(13.7%)を上回っており、すべての年代で同様の結果となっています。

松伏町出身に限定すると、「とても愛着を感じている」と「どちらかという愛着を感じている」を合わせると72.8%を占めています。

②「住みやすさ、くらしやすさ」を感じる点

松伏町の「住みやすさ、くらしやすさ」を感じる点は、「静かである」(47.7%)が最も多く、以下「自然環境が良く健康に過ごせる」(28.5%)、「地域を良く知っている」(20.2%)などとなっており、町民意識調査と同様に、自然豊かな町のイメージが「住みやすさ、くらしやすさ」に繋がっていることがうかがえます。

③「住みにくさ、くらしにくさ」を感じる点

松伏町の「住みにくさ、くらしにくさ」を感じる点は、「医療環境が恵まれていない」(49.1%)が最も多く、以下「通勤・通学に不便である」(46.9%)、「娯楽や食事を楽しむ場が無い」(40.4%)、「都心に出るのが不便」(31.8%)、「買い物などの日常生活が不便」(13.6%)「働く場所が少ない」(11.5%)、「町の経済が活発でない」(11.3%)などとなっており、町民意識調査と同様に、ふだんの生活環境や利便性に「住みにくさ、くらしにくさ」を感じていることがうかがえます。

(3) 松伏町の将来像について

①10年後どのようなまちになれば住み続けたいか

10年後の松伏町がどのようなまちになれば住み続けたいかについて、「鉄道やバスルートの充実など公共交通の利便性が高いまち」(69.1%)が最も多く、町民意識調査と同様に、交通の利便性向上が求められます。

また、年齢が低いほど「子育ての支援の充実や子育てする環境が整備されたまち」が多く、18～34歳では過半数を占めており、子育て支援施策の充実も重要です。

6 調査結果からの考察

(1) 力を入れたい「公共交通の利便性の向上」

「公共交通の利便性の向上」は、施策の満足度で最も低く、重要度では最も高くなっています。「公共交通の利便性の向上」は、町から転出する理由、人口減少を抑えるための対策、10年後もまちに住み続けたい理由、今後最も力を入れるべき施策においても最も多くあげられています。

「公共交通の利便性の向上」に対する町民ニーズは高く、鉄道の誘致なのか、バスやタクシーの利便性に関する事なのか、より細かく町民ニーズを把握していく必要があります。

(2) 1戸建て住宅と自然環境

松伏町への転入のきっかけは、1戸建ての住宅の取得が多く、転入またはUターンを決めた理由として最も多いのが「住宅価値、家賃が適当」です。1戸建てに住みたい人にとっては、松伏町のイメージとして2番目にあげられた「東京近郊のわりに自然環境が残っているまち」にみるように、イメージのトップにあげられた「川に囲まれたのどかな田園のまち」とともに、松伏町の持つ大切な地域資産となっています。

住みやすさ、くらしやすさを感じる点として、「自然環境が良く健康に過ごせる」は、「静かである」の次にもあげられており、松伏町のもつ地域資産を最大限活かし、自然と調和した取り組みが必要となります。

(3) 住みやす・くらしやすさへの取組

「住みやすさ・くらしやすさ」については、「住みやすい」と「まあまあ住みやすい」を合計した『住みやすい』は50.9%と前回調査55.4%から減少しています。

「住みやすさ・くらしやすさ」を感じる点の上位3位は「静かである」「自然環境が良く健康に過ごせる」「地域をよく知っている」は前回調査と同様ですが、「静かである」の割合が10ポイント増え、「自然環境が良く健康に過ごせる」が5ポイント近く減り、「地域をよく知っている」が3ポイント近く増えています。「静かである」「地域を良く知っている」といった受け身的な評価は増えてるのに対し、「自然環境が良く健康に過ごせる」といった能動的な評価はやや減っており、安全・安心、防犯へつなげる取り組みや、働く場の確保に向けた職住近接のまちづくり等への積極的な取組が求められます。

(4) 子育て環境充実への期待

人口減少を抑えるための対策として「公共交通」(62.4%)に次いで「働きながら結婚し、子育てできる環境の整備」(50.5%)、「健康・福祉サービスの充実」(41.7%)が特に多くあげられ、子育て対策の充実が上位になっており、町内の職住近接の環境の整備が求められています。

子育てしやすい地域づくりに向けては、「乳幼児を連れて出かけられる施設や、子どもが遊べる場の充実を図る」が55.3%と2人に1人があげ、次の「登下校時や外遊び

II 調査結果の概要と考察

の時など、子どもの安全を見守る」などを大きく引き離しています。

子育て世帯アンケートでは、住みにくさ、くらしにくさを感じる点として、「医療環境が恵まれていない」が最も多くあげられています。

また、Uターン層では、子育て環境や子どもの教育環境への不満が高く、重要度でも高いものがあります。子育て環境の充実や、子どもの教育は、Uターン層など転入人口を増やし、転出を防ぐ大きな手立てと考えられ、力を入れていく必要があります。

(5) 生活の楽しみの提案

松伏町の「住みにくさ・くらしにくさ」については、「娯楽や食事を楽しむ場がない」が47.9%と最も多く、2人に1人があげており、次の「通勤・通学に不便である」39.4%を大きく上回ります。「娯楽や食事を楽しむ場がない」は、前回調査では2位でしたが順位をあげています。「公共交通の利便性の向上」への町民ニーズは高いものの、「住みにくさ・くらしにくさ」については、交通の利便性にも増して生活を楽しむ場が重要であり、年代でみると20代以下、30代、40代、70代以上で2人に1人があげています。

戸建ての住宅を求めて町内に住み始めた人にとって、住宅環境については比較的満足度が高いものと考えられ、良好な住宅環境+αとして、転入した方が楽しみながら豊かな生活が送れるよう活気と賑わいのあるまちづくりを行っていく等、検討が必要となります。

(6) 子どもの頃から町への愛着の醸成

松伏町への愛着度について、町民、中学生・高校生、子育て世帯に同様の質問を投げかけた結果、「とても愛着を感じている」「どちらかという愛着を感じている」の合計は、町民51.3%、中学生・高校生37.9%、子育て世帯58.9%となっています。

町の将来を担う中学生・高校生をはじめとする若者がまちづくりに参加できる機会を設けるなど、愛着度を高める方策を検討していく必要があります。

(7) 職住近接の環境の整備

コロナ禍により、テレワークの在宅勤務が増え、職住近接のサテライトオフィスなど職住近接ニーズの高まりがみられます。

人口減少を抑えるための対策として「公共交通の利便性の向上」に次いで「働きながら結婚し子育てできる環境の整備」があげられ、また転出者アンケートでは、不満として「働く場所が少ない」「職場や学校が遠い」などがあげられています。

こうしたニーズへの対応を図るべく、(都)東埼玉道路、(都)浦和野田線の整備に合わせ、沿線において企業誘致等により働く場を確保し、職住近接のまちづくりを進めていく必要があります。

III 調査結果の詳細

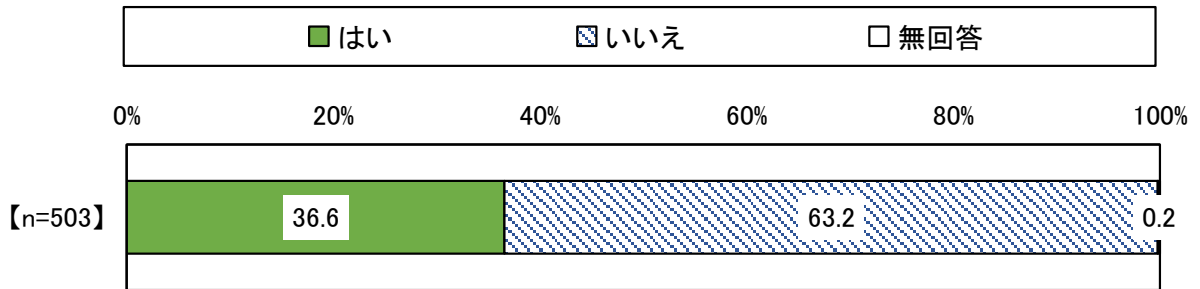
第1章 町民意識調査

1 ご自身のことについて

(1) 出身地

問1 あなたは松伏町出身ですか。(〇は1つ)

◇「はい」が36.6%、「いいえ」が63.2%となっています。

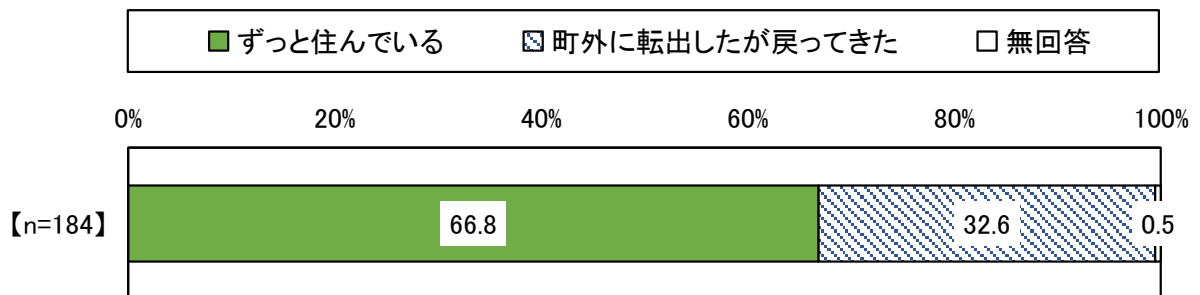


(2) 松伏町での居住年数

問1で「1 はい」とお答えの方にお聞きします。

問2 あなたは松伏町にどのくらい住んでいますか。(〇は1つ)

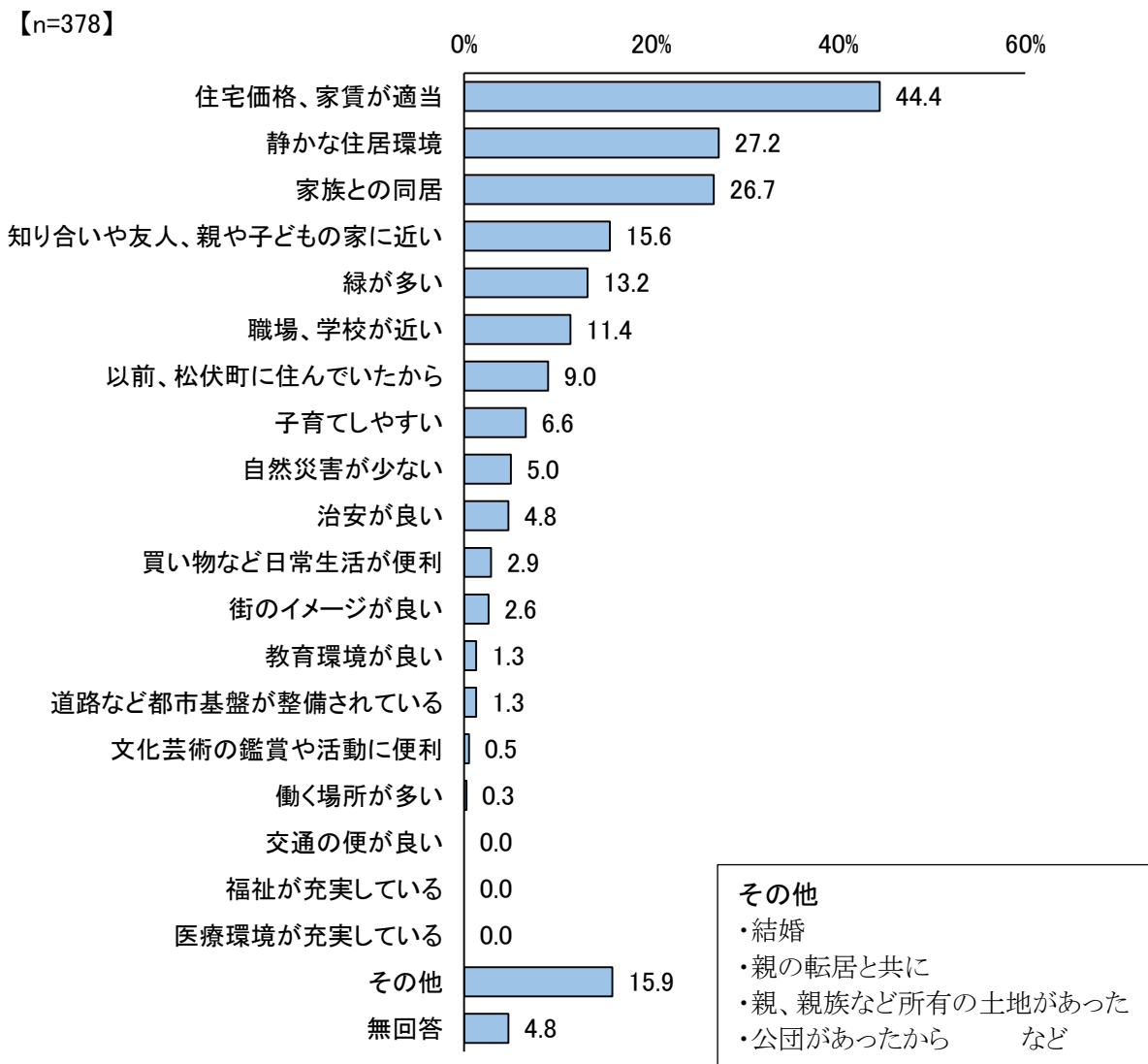
◇「ずっと住んでいる」が66.8%で最も多く、以下「町外に転出したが戻ってきた」が32.6%となっています。



(3) 転入またはUターンを決めた理由

問1で「2 いいえ」または問2で「2 町外に転出したが戻ってきた」とお答えの方（松伏町に転入またはUターンした方）にお聞きします。
 問3 松伏町に転入またはUターンを決められた理由は何ですか。（〇はいくつでも）

- ◇「住宅価格、家賃が適当」が44.4%で最も多く、以下「静かな住居環境」が27.2%、「家族との同居」が26.7%、「知り合いや友人、親や子どもの家に近い」が15.6%などとなっています。
- ◇年代で見ると、20代以下と40代では「家族との同居」が最も多くなっていますが、それ以外の年代では「住宅価格、家賃が適当」が最も多くなっています。
- ◇転出経験と転入者で見ると「住宅価格、家賃が適当」は転入者50.0%に対し、転出経験のある町出身者（Uターン）15.0%、「家族との同居」は転入者21.1%に対し、転出経験のある町出身者（Uターン）56.7%となっています。



■年代・転入転出別×転入またはUターンを決めた理由（上段：上位、下段、下位）

単位：%

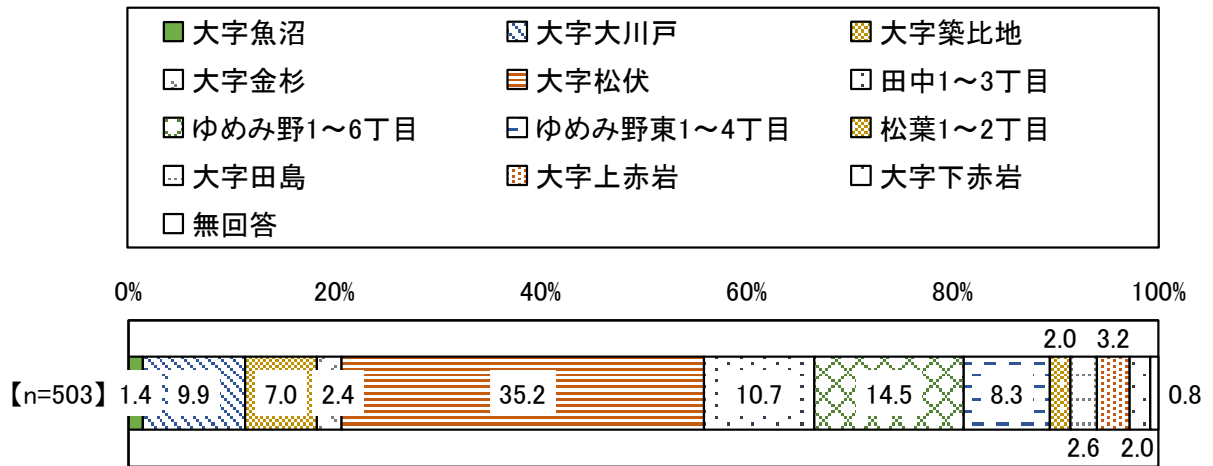
	合計（件）	住宅価格、家賃が適当	静かな住居環境	家族との同居	知り合いや友人、親や子どもが近くに近しい	緑が多い	職場、学校が近い	以前、松伏町に住んでいたから	子育てしやすい	自然災害が少ない	治安が良い	買い物など日常生活が便利
全体	378	①44.4	27.2	26.7	15.6	13.2	11.4	9.0	6.6	5.0	4.8	2.9
20代以下	27	22.2	14.8	①44.4	33.3	3.7	7.4	14.8	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	65	①49.2	27.7	32.3	15.4	20.0	10.8	13.8	3.1	4.6	3.1	4.6
40代	77	36.4	22.1	①40.3	16.9	7.8	15.6	11.7	6.5	3.9	9.1	0.0
50代	81	①48.1	35.8	23.5	16.0	14.8	16.0	6.2	12.3	4.9	7.4	2.5
60代	92	①48.9	25.0	14.1	8.7	15.2	7.6	4.3	7.6	5.4	3.3	4.3
70代以上	36	①50.0	33.3	13.9	16.7	11.1	5.6	8.3	2.8	11.1	0.0	5.6
町出身者 (転出経験あり)	60	15.0	16.7	①56.7	23.3	15.0	15.0	50.0	5.0	8.3	10.0	3.3
転入者	318	①50.0	29.2	21.1	14.2	12.9	10.7	1.3	6.9	4.4	3.8	2.8

	合計（件）	街のイメージが良い	教育環境が良い	道路など都市基盤が整備されている	文化芸術の鑑賞や活動に便利	働く場所が多い	交通の便が良い	福祉が充実している	医療環境が充実している	その他	無回答
全体	378	2.6	1.3	1.3	0.5	0.3	0.0	0.0	0.0	15.9	4.8
20代以下	27	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.8	0.0
30代	65	3.1	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.8	1.5
40代	77	0.0	0.0	1.3	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	15.6	5.2
50代	81	2.5	2.5	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	14.8	6.2
60代	92	5.4	2.2	1.1	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	20.7	6.5
70代以上	36	2.8	2.8	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	5.6
町出身者 (転出経験あり)	60	1.7	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.7	0.0
転入者	318	2.8	1.6	1.3	0.6	0.3	0.0	0.0	0.0	16.7	5.7

(4) 現在の住まい

問4以降は全ての方にお聞きします。
 問4 あなたの現在のお住まいはどちらですか。(○は1つ)

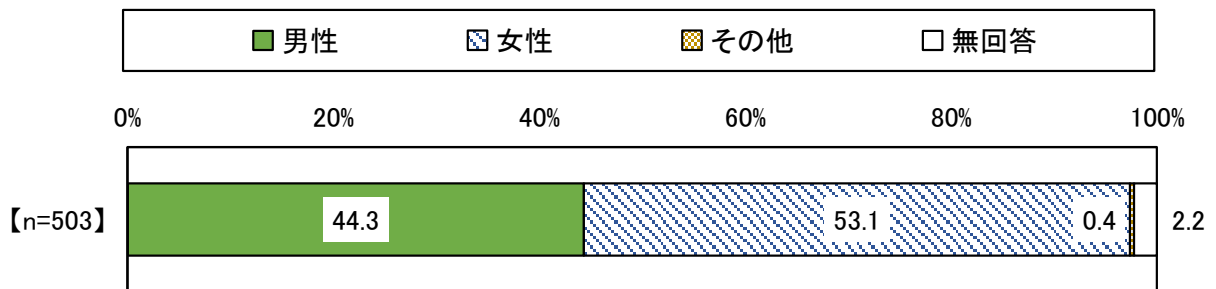
◇「大字松伏」が35.2%で最も多く、以下「ゆめみ野1～6丁目」が14.5%、「田中1～3丁目」が10.7%、「大字大川戸」が9.9%などとなっています。



(5) 性別

問5 あなたの性別をおうかがいします。(○は1つ)

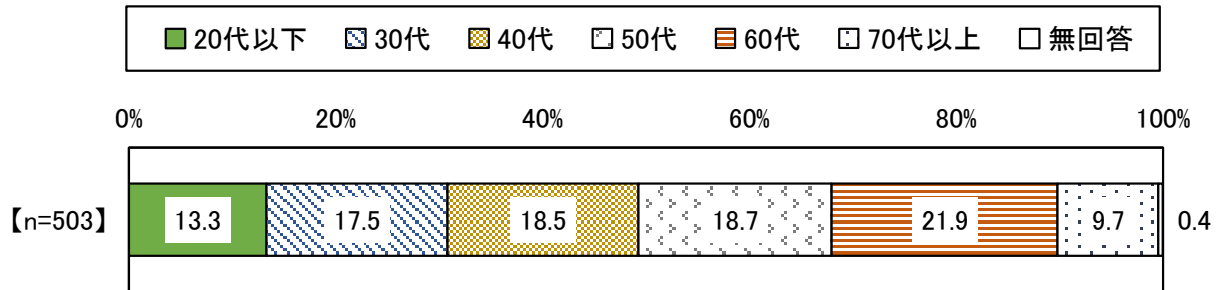
◇「女性」が53.1%、「男性」44.3%を上回ります。



(6) 年齢

問6 あなたの年齢（令和4年6月1日現在の満年齢）をおうかがいします。（○は1つ）

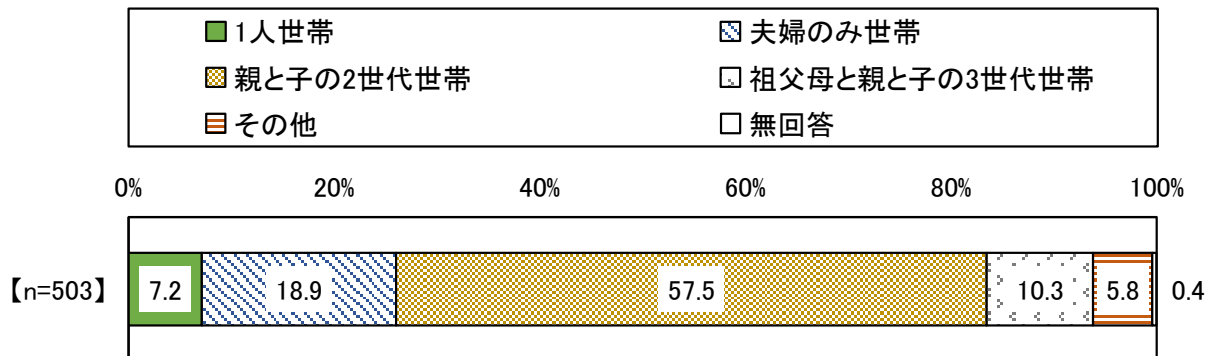
◇「60代」が21.9%で最も多く、以下「50代」が18.7%、「40代」が18.5%、「30代」が17.5%、「20代以下」が13.3%、「70代以上」が9.7%となっています。



(7) 家族構成

問7 あなたのご家族の構成をおうかがいします。（○は1つ）

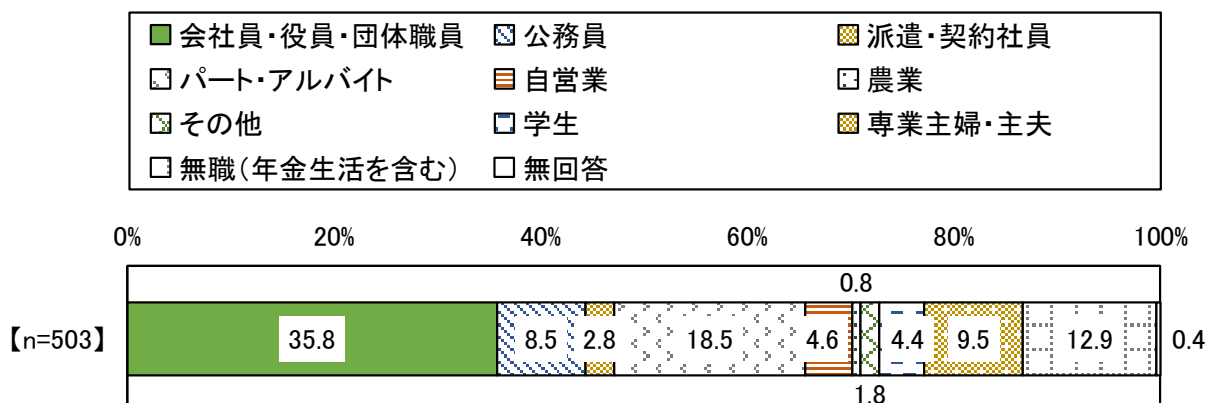
◇「親と子の2世代世帯」が57.5%で最も多く、以下「夫婦のみ世帯」が18.9%、「祖父母と親と子の3世代世帯」が10.3%、「1人世帯」が7.2%などとなっています。



(8) 職業

問8 あなたのご職業をおうかがいします。（○は1つ）

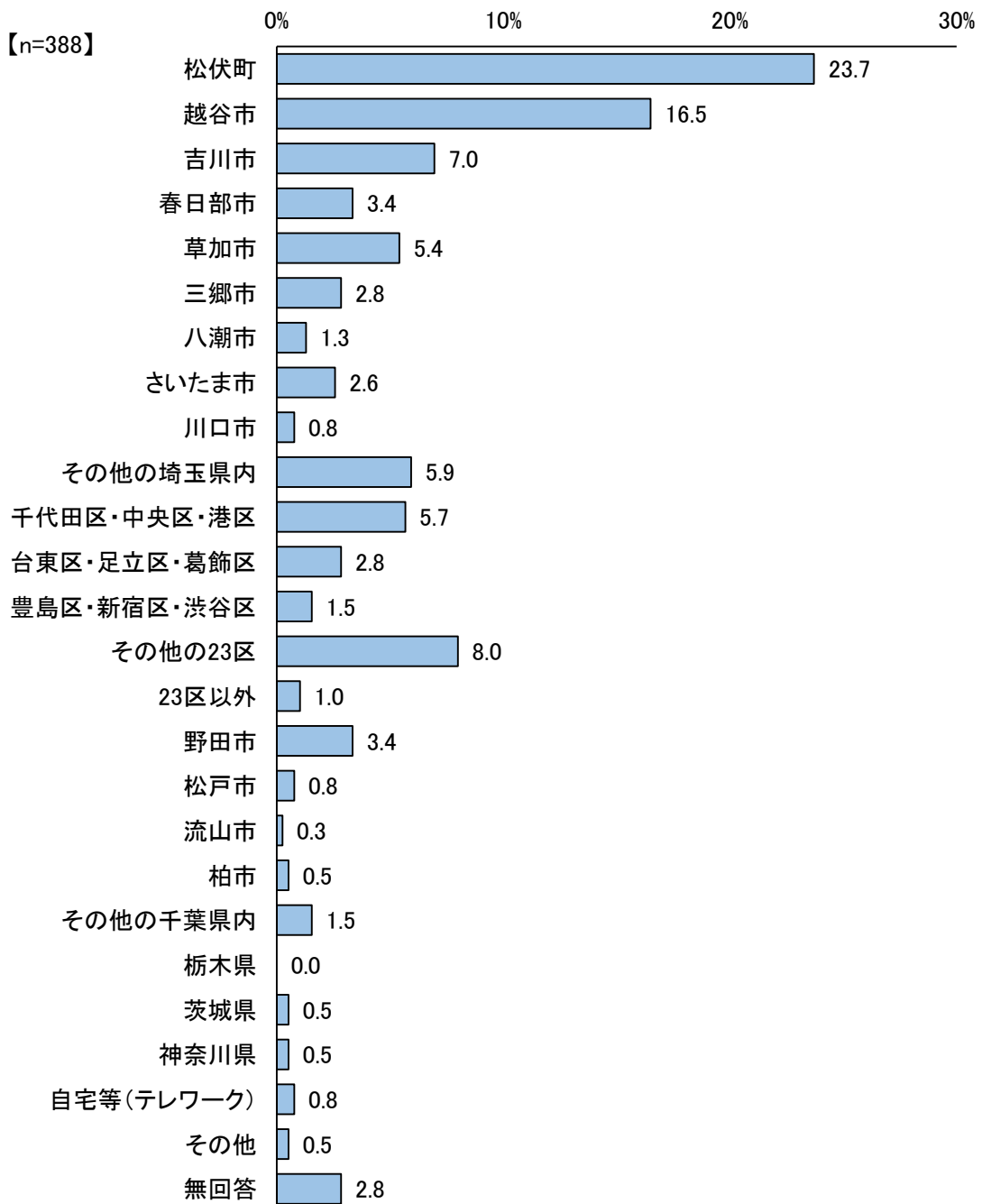
◇「会社員・役員・団体職員」が35.8%で最も多く、以下「パート・アルバイト」が18.5%、「無職（年金生活を含む）」が12.9%、「専業主婦・主夫」が9.5%などとなっています。



(9) 通勤・通学地

問8で「1 会社員・役員・団体職員」～「8 学生」とお答えの方（就業・就学中の方）にお聞きします。
 問9 あなたの通勤・通学地はどちらですか。（○は1つ）

◇「松伏町」が23.7%で最も多く、以下「越谷市」が16.5%、「その他の23区」が8.0%、「吉川市」が7.0%などとなっています。
 ◇年代で見ると、20代以下では「その他の23区」が最も多く、30代では「越谷市」が最も多く、40代以上は「松伏町」となっています。



■年代×通勤・通学地（上段：上位、下段：下位）

単位：%

	合計（件）	松伏町	越谷市	その他の23区	吉川市	その他の埼玉県内	千代田区・中央区・港区	草加市	春日部市	野田市	三郷市	台東区・足立区・葛飾区	さいたま市	豊島区・新宿区・渋谷区
全体	388	①23.7	16.5	8.0	7.0	5.9	5.7	5.4	3.4	3.4	2.8	2.8	2.6	1.5
20代以下	63	11.1	6.3	①17.5	1.6	9.5	1.6	9.5	3.2	0.0	1.6	0.0	6.3	6.3
30代	75	20.0	①24.0	4.0	1.3	9.3	6.7	5.3	5.3	4.0	0.0	5.3	4.0	2.7
40代	87	①24.1	19.5	8.0	12.6	3.4	5.7	4.6	3.4	2.3	1.1	5.7	1.1	0.0
50代	82	①29.3	11.0	11.0	9.8	4.9	6.1	3.7	2.4	4.9	7.3	1.2	1.2	0.0
60代	67	①29.9	20.9	1.5	9.0	3.0	9.0	6.0	3.0	3.0	4.5	1.5	1.5	0.0
70代以上	14	①35.7	14.3	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0

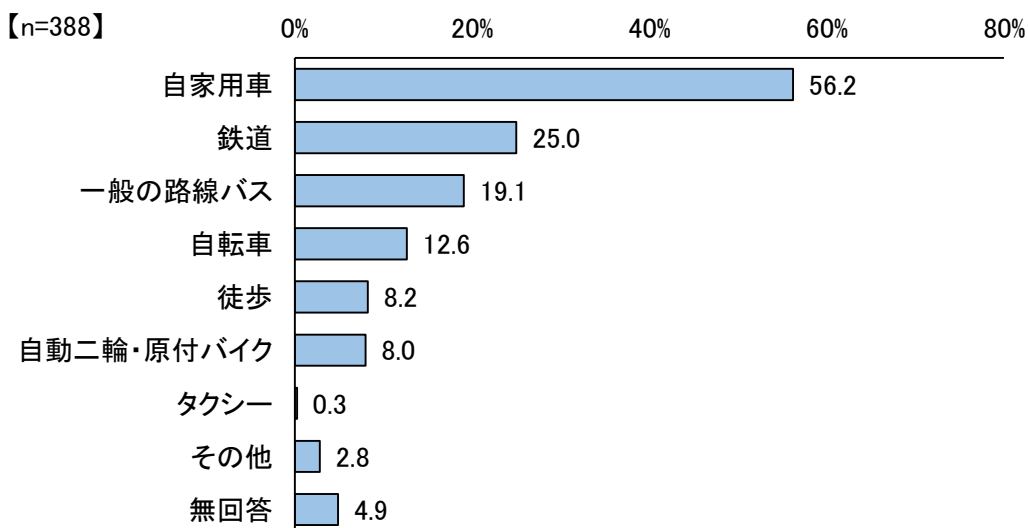
	合計（件）	その他の千葉県内	八潮市	23区以外	川口市	松戸市	柏市	茨城県	神奈川県	流山市	栃木県	自宅等（テレワーク）	その他	無回答
全体	388	1.5	1.3	1.0	0.8	0.8	0.5	0.5	0.5	0.3	0.0	0.8	0.5	2.8
20代以下	63	4.8	3.2	3.2	1.6	1.6	3.2	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	1.6	4.8
30代	75	1.3	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	1.3	1.3	0.0	0.0	1.3	0.0	1.3
40代	87	0.0	0.0	1.1	1.1	1.1	0.0	1.1	0.0	1.1	0.0	0.0	1.1	1.1
50代	82	0.0	2.4	1.2	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	1.2
60代	67	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5
70代以上	14	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	14.3

(10) 通勤・通学の方法

問8で「1 会社員・役員・団体職員」～「8 学生」とお答えの方（就業・就学中の方）にお聞きします。

問10 あなたの通勤・通学の方法は何ですか。（○はいくつでも）
 （例：路線バスで駅へ行き、鉄道を利用する場合は、6と7に○印を付けてください。）

- ◇「自家用車」が56.2%で最も多く、以下「鉄道」が25.0%、「一般の路線バス」が19.1%、「自転車」が12.6%などとなっています。
- ◇性別で見ると、「自家用車」は女性の58.9%が男性54.1%を上回り、「鉄道」「一般の路線バス」といった公共交通についても女性が男性を上回ります。
- ◇年代で見ると、「鉄道」「一般の路線バス」といった公共交通は20代以下、30代及び50代で比較的多くなっています。



■性別・年代×通勤・通学の方法

単位：%

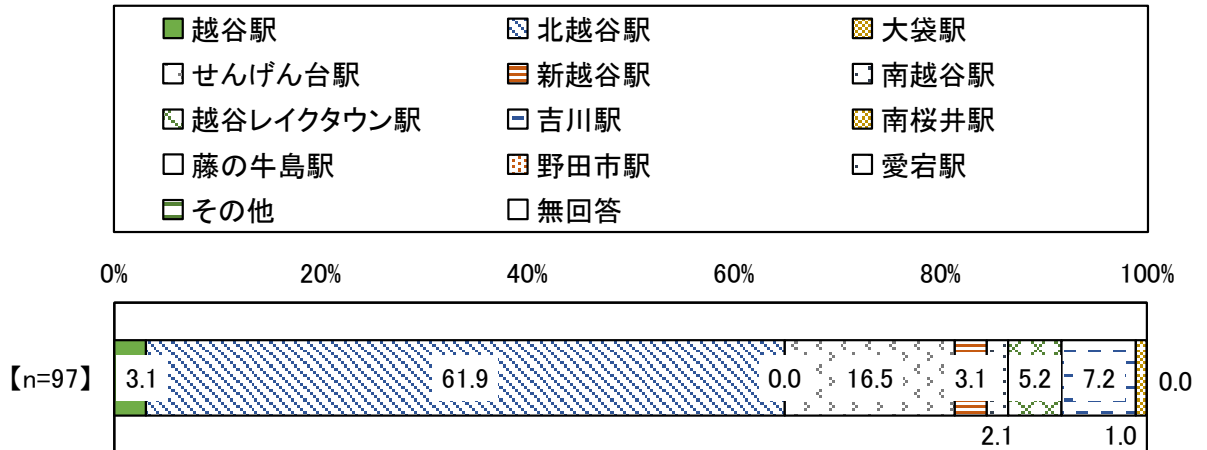
	合計(件)	自家用車	鉄道	一般の路線バス	自転車	徒歩	自動二輪・原付バイク	タクシー	その他	無回答
全体	388	① 56.2	25.0	19.1	12.6	8.2	8.0	0.3	2.8	4.9
男性	194	① 54.1	24.2	17.0	9.8	9.3	13.4	0.5	3.1	5.2
女性	184	① 58.7	26.1	21.7	15.8	7.6	2.2	0.0	2.2	4.3
20代以下	63	36.5	① 52.4	44.4	12.7	11.1	9.5	0.0	3.2	1.6
30代	75	① 58.7	24.0	20.0	13.3	8.0	10.7	1.3	1.3	1.3
40代	87	① 62.1	17.2	11.5	9.2	4.6	6.9	0.0	1.1	8.0
50代	82	① 61.0	22.0	14.6	18.3	9.8	8.5	0.0	2.4	3.7
60代	67	① 59.7	17.9	11.9	9.0	7.5	6.0	0.0	4.5	7.5
70代以上	14	① 50.0	7.1	7.1	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3

(11) 通勤・通学で利用している最寄り駅

上記の問10で「7 鉄道」とお答えの方にお聞きします。

問11 通勤・通学に利用されている最寄り駅はどちらですか。(○は1つ)

◇ 「北越谷駅」が61.9%で最も多く、以下「せんげん台駅」が16.5%、「吉川駅」が7.2%、「越谷レイクタウン駅」が5.2%などとなっています。



2 人口減少について

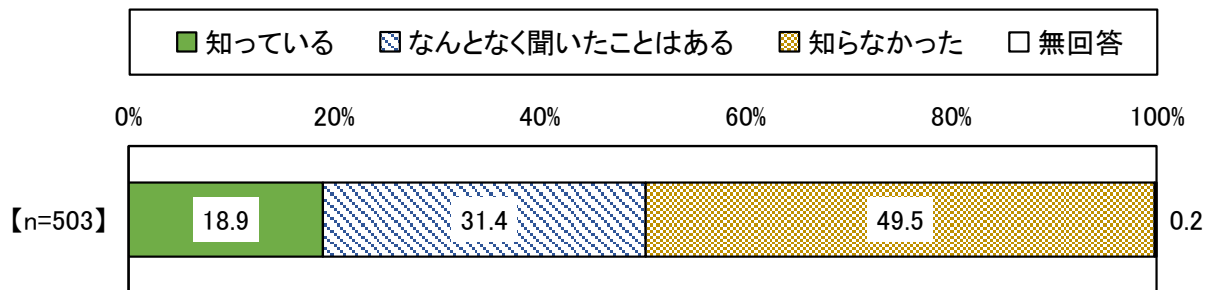
(1) 人口減少の推計結果を知っていたか

問 12 松伏町の人口は 2009 年の 31,229 人から緩やかに減少を続けており、国立社会保障・人口問題研究所の推計結果によると、2040 年には 22,481 人に減少するとされています。あなたはこの推計結果を知っていましたか。(〇は1つ)

◇「知らなかった」が 49.5%で最も多く、以下「なんとなく聞いたことはある」が 31.4%、「知っている」が 18.9%となっています。

◇性別で見ると、「知らなかった」は女性 51.3%が男性 47.5%を上回ります。

◇年代で見ると、40 代より下の年代では「知らなかった」が過半数を占めています。70 代以上では「なんとなく聞いたことはある」が最も多くなっています。



■性別・年代×人口減少の推計結果を知っていたか

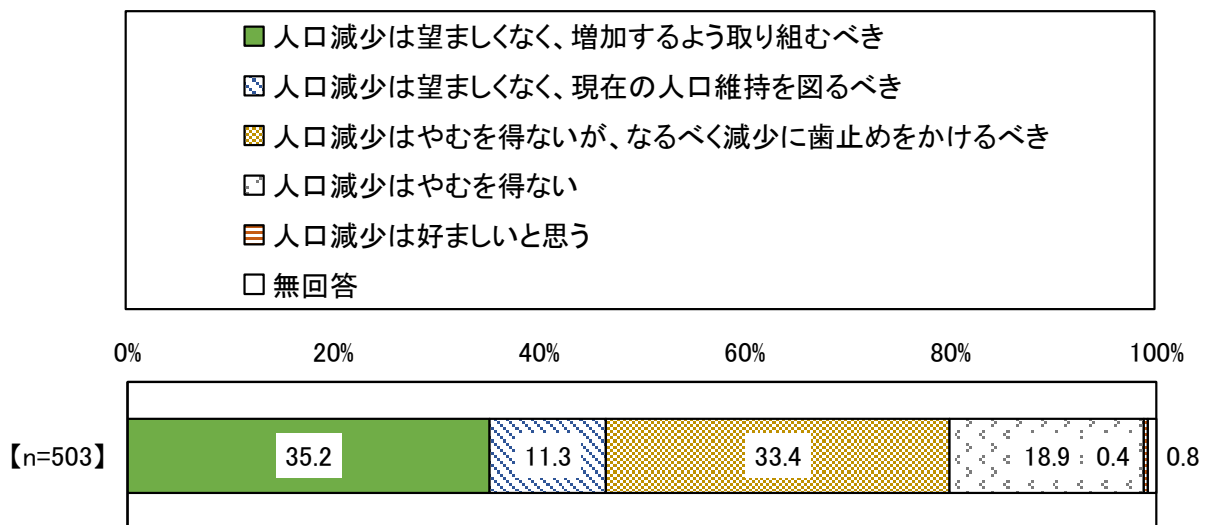
単位: %

	合計(件)	知っている	なんとなく聞いたことはある	知らなかった	無回答
全体	503	18.9	31.4	① 49.5	0.2
男性	223	21.5	30.5	① 47.5	0.4
女性	267	17.2	31.5	① 51.3	0.0
20代以下	67	14.9	22.4	① 62.7	0.0
30代	88	11.4	27.3	① 61.4	0.0
40代	93	17.2	32.3	① 50.5	0.0
50代	94	24.5	31.9	① 43.6	0.0
60代	110	22.7	32.7	① 44.5	0.0
70代以上	49	22.4	① 44.9	30.6	2.0

(2) 人口減少についての考え

問 13 松伏町の人口が減少することについて、あなたの考えに最も近いものをお選びください。(○は1つ)

- ◇「人口減少は望ましくなく、増加するよう取り組むべき」が 35.2%で最も多く、以下「人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべき」が 33.4%、「人口減少はやむを得ない」が 18.9%、「人口減少は望ましくなく、現在の人口維持を図るべき」が 11.3%などとなっています。
- ◇性別で見ると、男性は「人口減少は望ましくなく、増加するよう取り組むべき」が 37.2%と最も多いが、女性は「人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべき」が 34.8%と「人口減少は望ましくなく、増加するよう取り組むべき」33.3%をやや上回ります。
- ◇年代で見ると、「人口減少は望ましくなく、増加するよう取り組むべき」は、特に 50代と 60代で多く、40代より下の年代と 70代以上では「人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべき」が最も多くなっています。
- ◇転出経験と転入者で見ると、転出経験のある町出身者(Uターン)に「人口減少はやむを得ない」が最も多くなっています。



■性別・年代・転入転出別×人口減少についての考え

単位：%

	合計 (件)	人口減少は望ましくなく、 増加するよう取り組むべき	人口減少は望ましくなく、 現在の人口維持を図るべき	人口減少はやむを得ないが、 なるべく減少に歯止めを かけるべき	人口減少はやむを得ない	人口減少は好ましいと思う	無回答
全体	503	① 35.2	11.3	② 33.4	③ 18.9	0.4	0.8
男性	223	① 37.2	11.7	② 31.4	③ 19.7	0.0	0.0
女性	267	② 33.3	11.6	① 34.8	③ 18.0	0.7	1.5
20代以下	67	② 31.3	③ 16.4	① 35.8	③ 16.4	0.0	0.0
30代	88	② 28.4	9.1	① 38.6	③ 22.7	0.0	1.1
40代	93	② 26.9	10.8	① 34.4	② 26.9	0.0	1.1
50代	94	① 38.3	9.6	② 28.7	③ 21.3	1.1	1.1
60代	110	① 47.3	③ 11.8	② 29.1	10.9	0.9	0.0
70代以上	49	② 34.7	10.2	① 38.8	③ 14.3	0.0	2.0
町出身者 (転出経験なし)	123	① 35.8	10.6	② 33.3	③ 19.5	0.0	0.8
町出身者 (転出経験あり)	60	② 21.7	11.7	① 45.0	③ 20.0	1.7	0.0
転入者	318	① 37.1	11.6	② 31.4	③ 18.6	0.3	0.9

前回調査との比較

前回調査では「人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべき」が、「人口減少は望ましくなく、増加するよう取り組むべき」を上回って最も多くなっています。また、前回調査と比べ「人口減少は望ましくなく、現在の人口維持を図るべき」がやや減り、「人口減少はやむを得ない」がやや増えています。

	今回調査	前回調査
人口減少は望ましくなく、増加するよう取り組むべき	35.2%	32.0%
人口減少は望ましくなく、現在の人口維持を図るべき	11.3%	13.4%
人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべき	33.4%	38.0%
人口減少はやむを得ない	18.9%	14.4%
人口減少は好ましいと思う	0.4%	0.7%

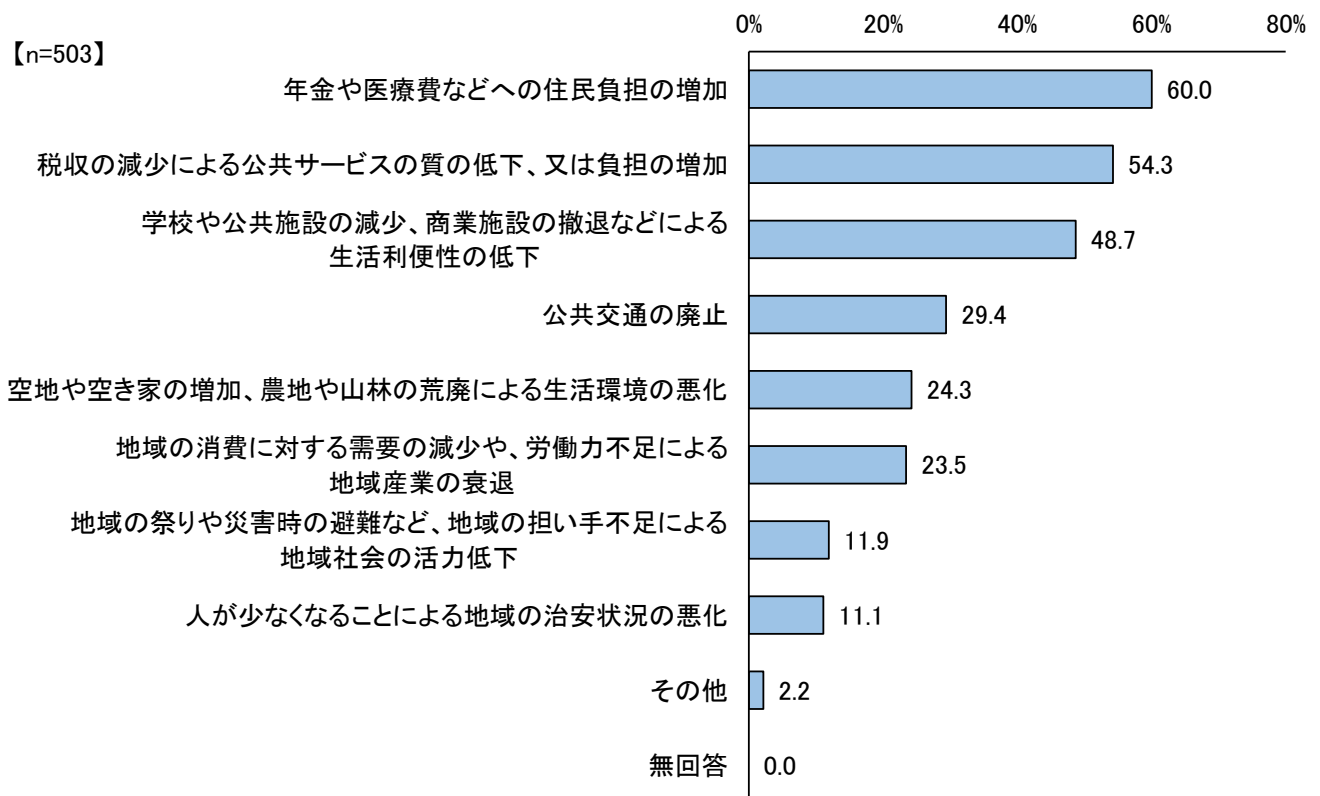
(3) 人口減少の心配や不安

問 14 今後、松伏町の人口がさらに減少することにより、あなたはどのような影響を心配あるいは不安に感じますか。(〇は3つまで)

◇「年金や医療費などへの住民負担の増加」が 60.0%で最も多く、以下「税金の減少による公共サービスの質の低下、又は負担の増加」が 54.3%、「学校や公共施設の減少、商業施設の撤退などによる生活利便性の低下」が 48.7%、「公共交通の廃止」が 29.4% などとなっています。

◇年代でみると、30代では「学校や公共施設の減少、商業施設の撤退などによる生活利便性の低下」、40代、50代及び70代以上では「年金や医療費などへの住民負担の増加」、60代では「税金の減少による公共サービスの質の低下、又は負担の増加」が最も多くなっています。

◇転出経験と転入者でみると、転出経験のある町出身者（Uターン）で最も多いのは「税金の減少による公共サービスの質の低下、又は負担の増加」ですが、転出経験のない町出身者及び転入者は「年金や医療費などへの住民負担の増加」が最も多くなっています。



■年代・転入転出別×人口減少の心配や不安

単位：%

	合計(件)	年金や医療費などへの住民負担の増加	税金の減少による公共サービスの質の低下、又は負担の増加	学校や公共施設の減少、商業施設の撤退などによる生活利便性の低下	公共交通の廃止	空地や空き家の増加、農地や山林の荒廃による生活環境の悪化	地域の消費に対する需要の減少や、労働力不足による地域産業の衰退	地域の祭りや災害時の避難など、地域の担い手不足による地域社会の活力低下	状況の悪化	人が少なくなることによる地域の治安	その他	無回答
全体	503	① 60.0	② 54.3	③ 48.7	29.4	24.3	23.5	11.9	11.1	2.2	0.0	
20代以下	67	① 59.7	29.9	② 58.2	③ 38.8	17.9	20.9	14.9	7.5	1.5	0.0	
30代	88	② 56.8	③ 55.7	① 58.0	31.8	19.3	22.7	3.4	5.7	4.5	0.0	
40代	93	① 62.4	② 61.3	③ 48.4	30.1	23.7	19.4	15.1	14.0	1.1	0.0	
50代	94	① 62.8	② 52.1	③ 46.8	28.7	20.2	24.5	8.5	16.0	2.1	0.0	
60代	110	② 55.5	① 62.7	③ 47.3	26.4	30.9	29.1	11.8	11.8	1.8	0.0	
70代以上	49	① 65.3	② 57.1	26.5	20.4	③ 36.7	20.4	24.5	8.2	2.0	0.0	
町出身者 (転出経験なし)	123	① 59.3	② 52.0	③ 45.5	26.8	21.1	31.7	14.6	15.4	1.6	0.0	
町出身者 (転出経験あり)	60	② 55.0	① 61.7	③ 50.0	26.7	28.3	21.7	11.7	5.0	3.3	0.0	
転入者	318	① 61.0	② 54.1	③ 49.4	31.1	24.8	20.1	11.0	10.7	2.2	0.0	

前回調査との比較

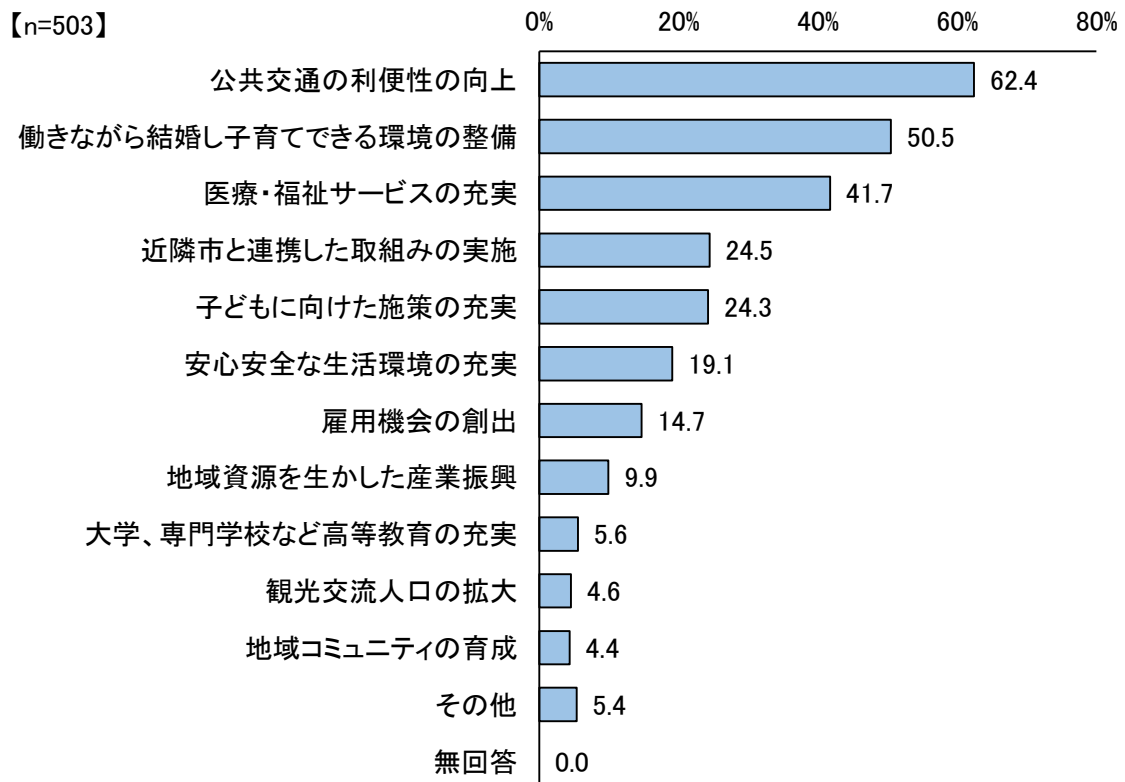
「生活利便性の低下」、「公共サービスの質の低下、又は負担の増加」、「公共交通の廃止」は増えているのに対し、「住民負担の増加」、「生活環境の悪化」は減っています。

(上位5位)	今回調査	前回調査
年金や医療費などへの住民負担の増加	① 60.0%	① 63.4%
税金の減少による公共サービスの質の低下、又は負担の増加	② 54.3%	② 51.5%
学校や公共施設の減少、商業施設の撤退などによる生活利便性の低下	③ 48.7%	③ 40.1%
公共交通の廃止	④ 29.4%	④ 26.9%
空地や空き家の増加、農地や山林の荒廃による生活環境の悪化	⑤ 24.3%	④ 26.9%

(4) 人口減少を抑えるための対策

問 15 人口減少を抑えるために、松伏町ではどのような対策をとることが大事だと思いますか。(〇は3つまで)

- ◇「公共交通の利便性の向上」が 62.4%で最も多く、以下「働きながら結婚し子育てできる環境の整備」が 50.5%、「医療・福祉サービスの充実」が 41.7%、「近隣市と連携した取組みの実施」が 24.5%などとなっています。
- ◇性別でみると、「公共交通の利便性の向上」や「医療・福祉サービスの充実」は女性が男性を大きく上回るのに対して、「雇用機会の創出」は男性が女性を大きく上回ります。
- ◇年代でみると、70代以上を除いては「公共交通の利便性の向上」が最も多く、次は40代及び70代以上を除き「働きながら結婚し子育てできる環境の整備」があげられています。70代以上では「医療・福祉サービスの充実」が最も多くなっています。
- ◇転出経験と転入者でみると、いずれも「公共交通の利便性の向上」であり、なかでも転入者は66.7%となっています。転出経験のある町出身者（Uターン）は、「公共交通の利便性の向上」53.3%と同率で「働きながら結婚し子育てできる環境の整備」をあげています。



Ⅲ 調査結果の詳細 第1章 町民意識調査

■性別・年代・転入転出別×人口減少を抑えるための対策（上段：上位、下段：下位）

単位：%

	合計(件)	公共交通の利便性の向上	働きながら結婚し子育てできる環境の整備	医療・福祉サービスの充実	近隣市と連携した取組みの実施	子どもに向けた施策の充実	安心安全な生活環境の充実	雇用機会の創出	興 地域資源を生かした産業振
全体	503	① 62.4	② 50.5	③ 41.7	24.5	24.3	19.1	14.7	9.9
男性	223	① 58.7	② 50.7	③ 36.8	20.6	23.8	24.2	20.6	8.5
女性	267	① 65.5	② 51.3	③ 45.7	27.0	25.1	14.6	9.7	11.2
20代以下	67	① 62.7	② 56.7	31.3	13.4	③ 43.3	14.9	9.0	4.5
30代	88	① 63.6	② 51.1	③ 39.8	17.0	37.5	12.5	10.2	9.1
40代	93	① 65.6	③ 45.2	② 46.2	28.0	24.7	17.2	16.1	9.7
50代	94	① 62.8	② 50.0	③ 48.9	29.8	14.9	13.8	19.1	8.5
60代	110	① 63.6	② 53.6	③ 33.6	31.8	16.4	23.6	18.2	14.5
70代以上	49	② 53.1	③ 46.9	① 55.1	20.4	10.2	38.8	10.2	12.2
町出身者 (転出経験なし)	123	① 56.1	② 51.2	③ 43.1	19.5	27.6	22.0	17.9	11.4
町出身者 (転出経験あり)	60	① 53.3	① 53.3	③ 45.0	30.0	28.3	13.3	10.0	10.0
転入者	318	① 66.7	② 49.7	③ 40.9	25.5	22.0	19.2	14.5	8.8

	合計(件)	大学、専門学校など 高等教育の充実	観光交流人口の拡大	地域コミュニティの育成	その他	無回答
全体	503	5.6	4.6	4.4	5.4	0.0
男性	223	5.8	5.4	4.5	6.3	0.0
女性	267	5.2	3.4	4.5	4.5	0.0
20代以下	67	9.0	11.9	3.0	4.5	0.0
30代	88	5.7	8.0	2.3	4.5	0.0
40代	93	8.6	4.3	5.4	5.4	0.0
50代	94	3.2	3.2	3.2	7.4	0.0
60代	110	3.6	0.9	5.5	3.6	0.0
70代以上	49	4.1	0.0	8.2	6.1	0.0
町出身者 (転出経験なし)	123	5.7	7.3	6.5	4.9	0.0
町出身者 (転出経験あり)	60	8.3	3.3	3.3	6.7	0.0
転入者	318	5.0	3.8	3.5	5.3	0.0

3 結婚・出産・子育てについて

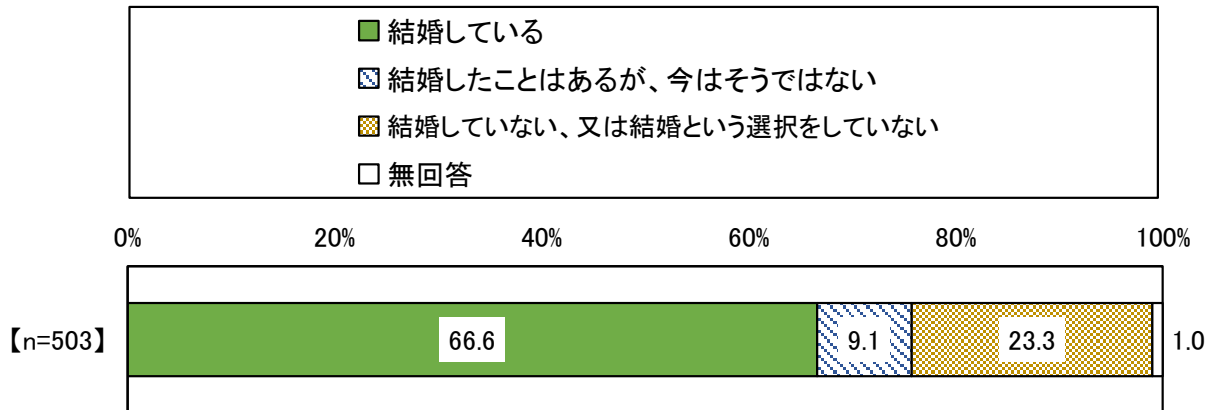
(1) 結婚しているか

問 16 あなたはご結婚されていますか。(○は1つ)

◇「結婚している」が 66.6%で最も多く、以下「結婚していない、又は結婚という選択をしていない」が 23.3%、「結婚したことはあるが、今はそうではない」が 9.1%となっています。

◇性別で見ると、「結婚している」は女性 69.3%が男性 64.6%を、また「結婚したことはあるが、今はそうではない」は女性 10.1%が男性 7.6%をやや上回り、「結婚していない、又は結婚という選択をしていない」は男性 27.4%が女性 19.1%を上回ります。

◇年代で見ると、50代より上の年代では「結婚している」が80%以上を占めていますが、20代以下では「結婚していない、又は結婚という選択をしていない」は20代以下で79.1%、30代で35.2%、40代で23.7%となっています。



■性別・年代×結婚しているか

単位：%

	合計(件)	結婚している	結婚したことはあるが、今はそうではない	結婚していない、又は結婚という選択をしていない	無回答
全体	503	① 66.6	9.1	23.3	1.0
男性	223	① 64.6	7.6	27.4	0.4
女性	267	① 69.3	10.1	19.1	1.5
20代以下	67	16.4	4.5	① 79.1	0.0
30代	88	① 58.0	6.8	35.2	0.0
40代	93	① 64.5	11.8	23.7	0.0
50代	94	① 84.0	10.6	5.3	0.0
60代	110	① 85.5	9.1	3.6	1.8
70代以上	49	① 81.6	12.2	2.0	4.1

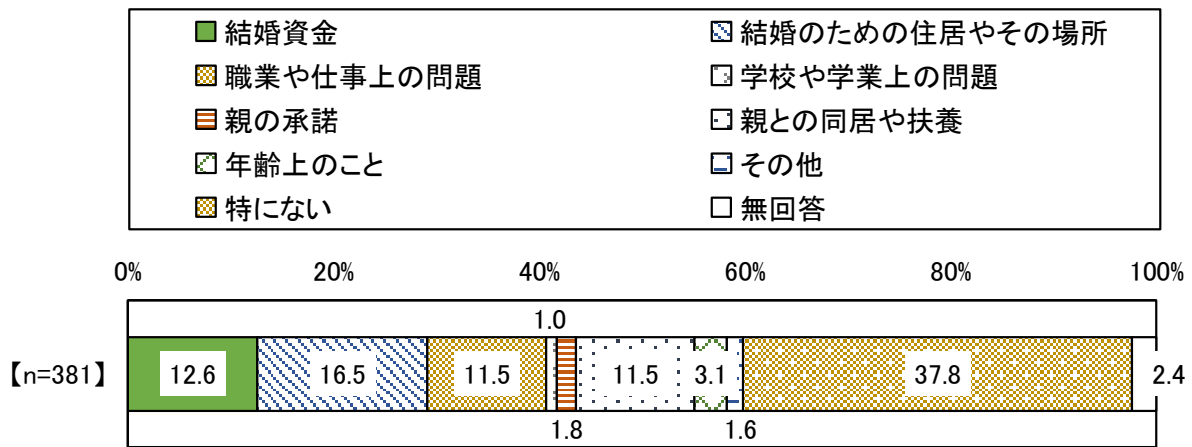
(2) 結婚するにあたって不安に思ったこと

問16で「1 結婚している」または「2 結婚したことはあるが、今はそうではない」とお答えの方にお聞きします。
 問17 結婚をするにあたり、最も不安に思ったことは何ですか。(〇は1つ)

◇「結婚のための住居やその場所」が16.5%で最も多く、以下、「結婚資金」が12.6%、「職業や仕事上の問題」と「親との同居や扶養」が11.5%、「年齢上のこと」が3.1%などとなっています。

なお、「特にない」は37.8%となっています。

◇年代で見ると、20代以下と30代では「結婚資金」が最も多くなっています。



■年代×結婚するにあたって不安に思ったこと

単位: %

	合計(件)	結婚資金	結婚のための住居やその場所	職業や仕事上の問題	学校や学業上の問題	親の承諾	親との同居や扶養	年齢上のこと	その他	特にない	無回答
全体	381	12.6	16.5	11.5	1.0	1.8	11.5	3.1	1.6	① 37.8	2.4
20代以下	14	① 35.7	21.4	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0
30代	57	① 33.3	19.3	7.0	0.0	1.8	10.5	1.8	1.8	24.6	0.0
40代	71	14.1	16.9	11.3	1.4	1.4	9.9	1.4	2.8	① 38.0	2.8
50代	89	7.9	19.1	12.4	2.2	5.6	14.6	2.2	1.1	① 33.7	1.1
60代	104	6.7	14.4	12.5	1.0	0.0	16.3	1.9	1.9	① 44.2	1.0
70代以上	46	0.0	10.9	13.0	0.0	0.0	2.2	13.0	0.0	① 50.0	10.9

(3) 未婚の理由

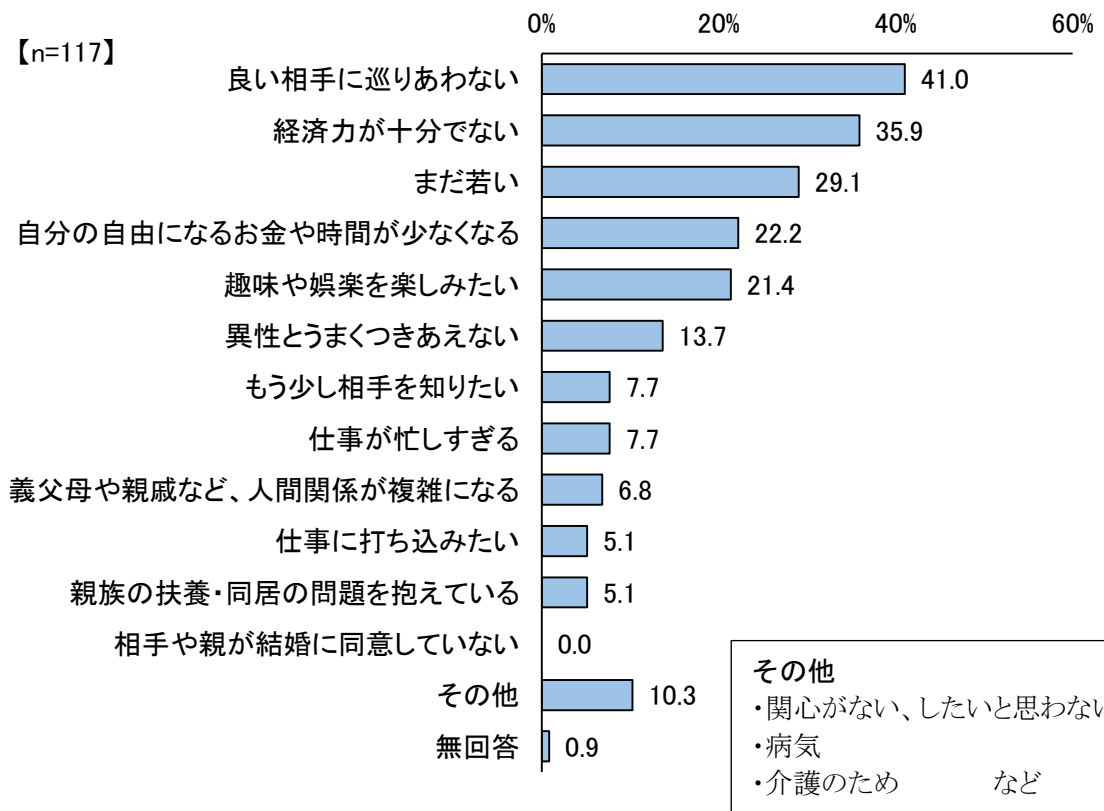
問 16 で「3 結婚していない、又は結婚という選択をしていない」とお答えの方にお聞きします。

問 18 あなたが結婚していない、又は結婚という選択をしていない理由は何ですか。
(〇はいくつでも)

◇「良い相手に巡りあわない」が 41.0%で最も多く、以下「経済力が十分でない」が 35.9%、「まだ若い」が 29.1%、「自分の自由になるお金や時間が少なくなる」が 22.2%などとなっています。

◇性別でみると、男性では「経済力が十分でない」が最も多く、女性より 20.4 ポイント高くなっています。

◇年代でみると、20 代以下では「まだ若い」が最も多く、30 代では「趣味や娯楽を楽しみたい」が最も多くなっています。



Ⅲ 調査結果の詳細 第1章 町民意識調査

■性別・年代×未婚の理由（上段：上位、下段：下位）

単位：%

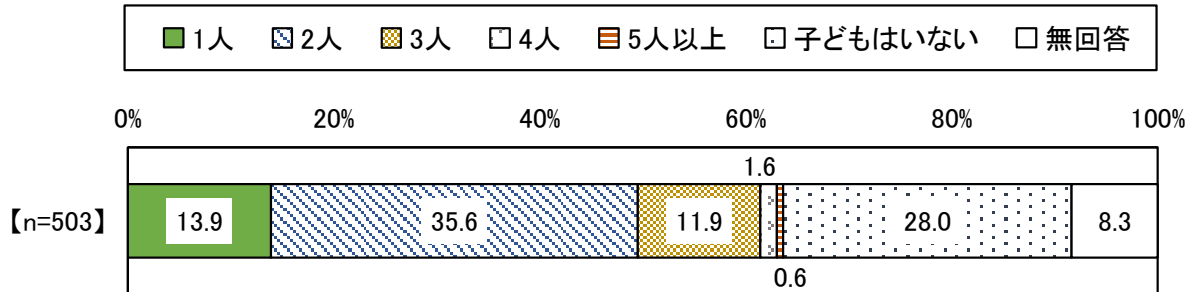
	合計(件)	良い相手に巡りあわない	経済力が十分でない	まだ若い	自分の自由になるお金や時間が少なくなる	趣味や娯楽を楽しみたい	異性とつまつきあえない	もう少し相手を知りたい	仕事が忙しすぎる
全体	117	① 41.0	35.9	29.1	22.2	21.4	13.7	7.7	7.7
男性	61	44.3	① 45.9	24.6	21.3	27.9	14.8	11.5	11.5
女性	51	① 41.2	25.5	37.3	23.5	13.7	11.8	3.9	3.9
20代以下	53	34.0	41.5	① 62.3	9.4	11.3	7.5	13.2	5.7
30代	31	32.3	32.3	3.2	35.5	① 41.9	19.4	3.2	12.9
40代	22	① 68.2	36.4	0.0	40.9	22.7	18.2	4.5	9.1
50代	5	① 60.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
60代	4	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
70代以上	1	① 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	合計(件)	義父母や親戚など人間関係が複雑になる	仕事に打ち込みたい	親族の扶養・同居の問題を抱えている	相手や親が結婚に同意していない	その他	無回答
全体	117	6.8	5.1	5.1	0.0	10.3	0.9
男性	61	8.2	4.9	9.8	0.0	6.6	0.0
女性	51	5.9	3.9	0.0	0.0	11.8	2.0
20代以下	53	3.8	5.7	0.0	0.0	3.8	1.9
30代	31	3.2	6.5	0.0	0.0	16.1	0.0
40代	22	13.6	4.5	22.7	0.0	9.1	0.0
50代	5	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
60代	4	① 50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
70代以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(4) 子供の人数

問 19 現在、お子さんがいる方は人数をお答えください。(○は1つ)

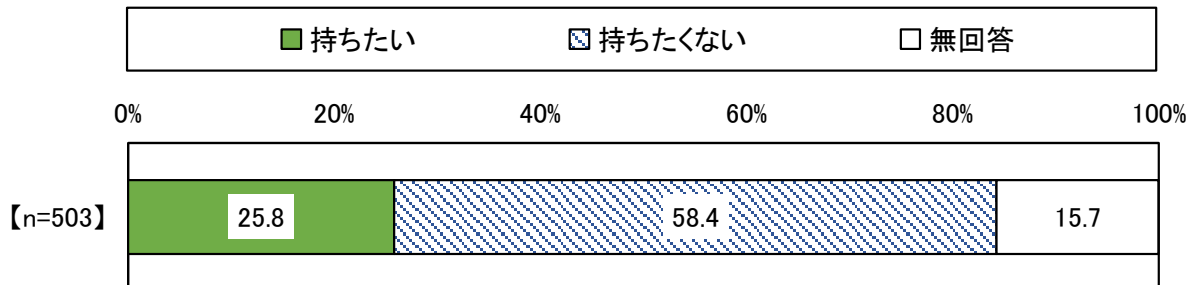
◇ 「2人」が35.6%で最も多く、以下「子どもはいない」が28.0%、「1人」が13.9%、「3人」が11.9%などとなっています。



(5) 子供を持つことを望んでいるか

問 20 あなたは今後、(お子さんがいる方はさらに)子供を持つことを望んでいますか。(○は1つ)

◇ 「持ちたくない」が58.4%を占め、「持ちたい」は25.8%となっています。



(6) 子供を持つことを望んでいない理由

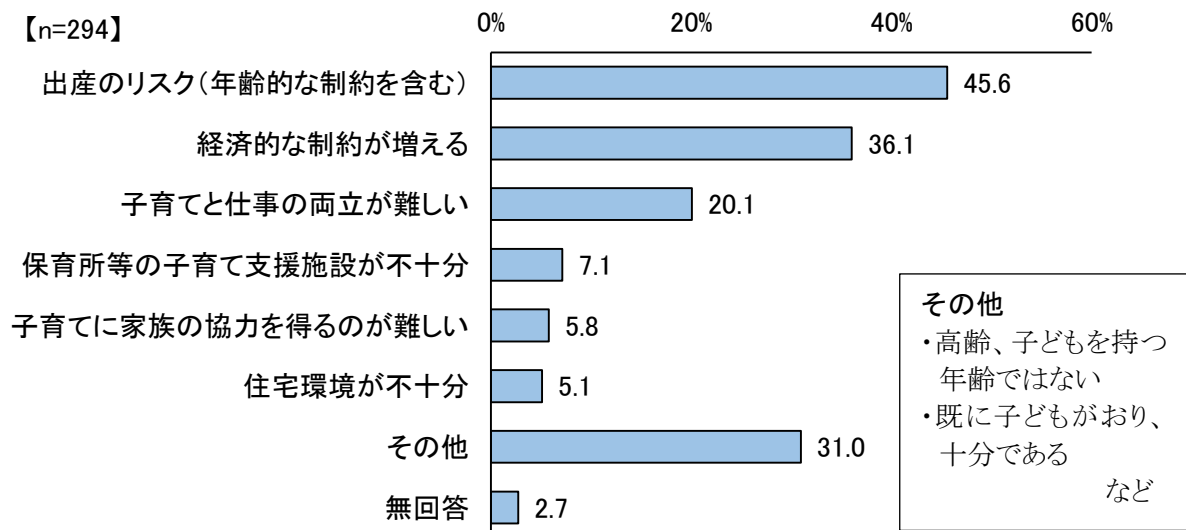
問 20 で「2 持ちたくない」とお答えの方にお聞きます。
 問 21 子どもを持つことを望んでいない理由は何ですか。(〇は3つまで)

◇「出産のリスク(年齢的な制約を含む)」が45.6%で最も多く、以下「経済的な制約が増える」が36.1%、「子育てと仕事の両立が難しい」が20.1%、「保育所等の子育て支援施設が不十分」が7.1%などとなっています。

なお、「その他」の記述では、年齢的に難しいといった内容が多くあげられています。

◇性別でみると、「出産のリスク(年齢的な制約を含む)」や「子育てと仕事の両立が難しい」は、女性が男性を上回ります。

◇年代でみると、20代以下と30代では「経済的な制約が増える」が最も多く、特に30代では72.3%があげており、「子育てと仕事の両立が難しい」についても20代以下では50.0%、30代では40.4%となっています。



■性別・年代×子供を持つことを望んでいない理由

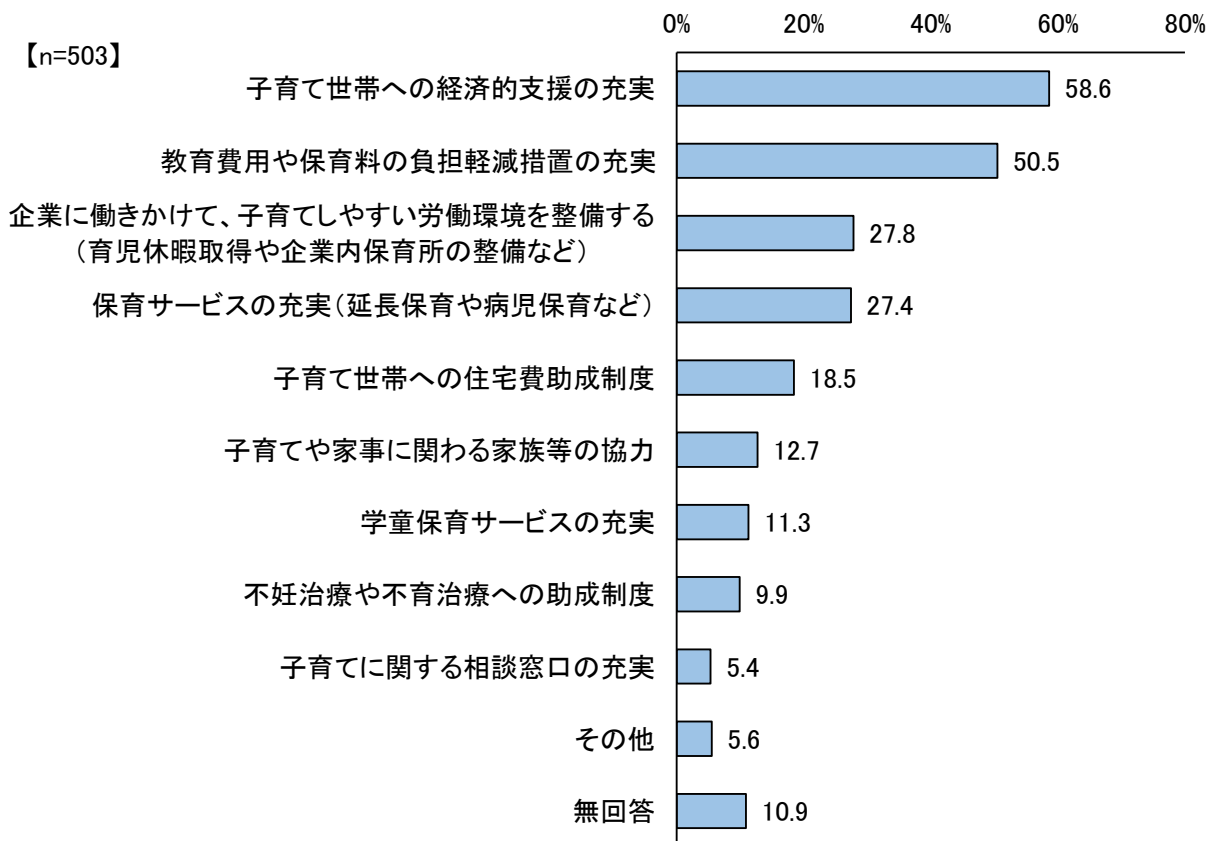
単位: %

	合計(件)	① 出産のリスク(年齢的な制約を含む)	② 経済的な制約が増える	③ 子育てと仕事の両立が難しい	④ 子育てに家族の協力を得るのが難しい	⑤ 保育所等の子育て支援施設が不十分	⑥ 住宅環境が不十分	⑦ その他	⑧ 無回答
全体	294	① 45.6	② 36.1	20.1	5.8	7.1	5.1	③ 31.0	2.7
男性	133	① 41.4	② 36.8	15.0	0.0	9.8	7.5	③ 30.8	3.8
女性	156	① 49.4	② 35.3	24.4	10.9	5.1	3.2	③ 30.1	1.9
20代以下	14	14.3	① 64.3	② 50.0	③ 21.4	7.1	0.0	③ 21.4	0.0
30代	47	③ 36.2	① 72.3	② 40.4	8.5	19.1	8.5	19.1	0.0
40代	65	① 64.6	② 44.6	③ 21.5	6.2	4.6	7.7	③ 21.5	0.0
50代	78	① 60.3	③ 26.9	17.9	6.4	3.8	5.1	② 28.2	0.0
60代	67	② 29.9	③ 16.4	4.5	1.5	4.5	1.5	① 49.3	6.0
70代以上	22	② 27.3	9.1	9.1	0.0	9.1	4.5	① 45.5	③ 13.6

(7) 子供を望む方が増えると思う取組

問 22 どの様な取り組みがあれば子供を望む方が増えると思いますか (〇は3つまで)

- ◇「子育て世帯への経済的支援の充実」が 58.6%で最も多く、以下「教育費用や保育料の負担軽減措置の充実」が 50.5%、「企業に働きかけて、子育てしやすい労働環境を整備する (育児休暇取得や企業内保育所の整備など)」が 27.8%、「保育サービスの充実 (延長保育や病児保育など)」が 27.4%などとなっています。
- ◇性別でみると、「子育て世帯への経済的支援の充実」は男女ほぼ同じですが、「企業に働きかけて、子育てしやすい労働環境を整備する (育児休暇取得や企業内保育所の整備など)」は女性が男性を上回り、やや差があります。
- ◇年代でみると、20代以下と30代では「子育て世帯への経済的支援の充実」がともに70%を超えています。50代では「教育費用や保育料の負担軽減措置の充実」が最も多くなっています。
- ◇転出経験と転入者でみると、「子育て世帯への経済的支援の充実」は、転出経験のある町出身者 (Uターン) が最も多くあげています。



Ⅲ 調査結果の詳細 第1章 町民意識調査

■性別・年代・転入転出別×子供を望む方が増えると思う取組

単位：%

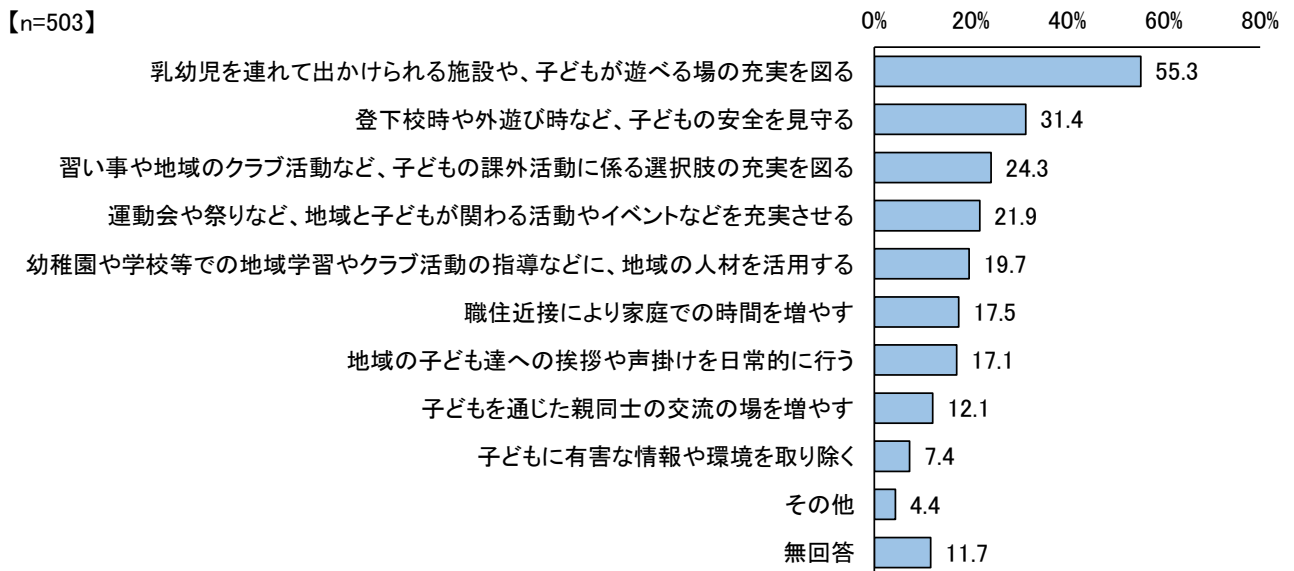
	合計(件)	子育て世帯への経済的支援の充実	教育費用や保育料の負担軽減措置の充実	企業に働きかけて、子育てしやすい労働環境を整備する	保育サービスの充実(延長保育や病児保育など)	子育て世帯への住宅費助成制度	子育てや家事に関わる家族等の協力	学童保育サービスの充実	不妊治療や不育治療への助成制度	子育てに関する相談窓口の充実	その他	無回答
全体	503	①58.6	②50.5	③27.8	27.4	18.5	12.7	11.3	9.9	5.4	5.6	10.9
男性	223	①58.7	②50.7	23.3	③24.7	20.2	10.8	13.5	7.6	5.4	7.2	11.2
女性	267	①59.2	②51.3	③31.5	29.2	17.2	15.0	9.7	12.4	5.6	3.7	10.1
20代以下	67	①74.6	②56.7	25.4	③26.9	③26.9	13.4	11.9	14.9	9.0	1.5	3.0
30代	88	①70.5	②56.8	21.6	③27.3	26.1	12.5	12.5	9.1	6.8	4.5	5.7
40代	93	①62.4	②51.6	③30.1	22.6	20.4	12.9	16.1	16.1	10.8	4.3	6.5
50代	94	②47.9	①56.4	27.7	③34.0	20.2	20.2	11.7	6.4	1.1	9.6	5.3
60代	110	①52.7	②39.1	③30.0	28.2	7.3	8.2	8.2	9.1	3.6	8.2	20.0
70代以上	49	①44.9	①44.9	③34.7	24.5	12.2	8.2	6.1	2.0	0.0	2.0	26.5
町出身者 (転出経験なし)	123	①61.0	②49.6	③30.1	25.2	11.4	16.3	10.6	8.9	8.9	5.7	13.0
町出身者 (転出経験あり)	60	①70.0	②53.3	23.3	20.0	③25.0	16.7	6.7	8.3	6.7	5.0	10.0
転入者	318	①55.3	②50.3	28.0	③29.9	19.8	10.4	12.3	10.7	3.8	5.7	10.4

(8) 子育てしやすい地域づくりに向けて効果的だと考える取組

問 23 子育てしやすい地域づくりに向けて、どのような取組みが効果的だと考えますか。
(〇は3つまで)

◇「乳幼児を連れて出かけられる施設や、子どもが遊べる場の充実を図る」が 55.3%で最も多く、以下「登下校時や外遊び時など、子どもの安全を見守る」が 31.4%、「習い事や地域のクラブ活動など、子どもの課外活動に係る選択肢の充実を図る」が 24.3%、「運動会や祭りなど、地域と子どもが関わる活動やイベントなどを充実させる」が 21.9%などとなっています。

◇性別では「乳幼児を連れて出かけられる施設や、子どもが遊べる場の充実を図る」、「子どもを通じた親同士の交流の場を増やす」、「職住近接により家庭での時間を増やす」は男性が女性を上回り、「登下校時や外遊び時など、子どもの安全を見守る」は女性が男性を上回ります。



■性別×子育てしやすい地域づくりに向けて効果的だと考える取組

単位：%

	合計(件)	乳幼児を連れて出かけられる施設や、子どもが遊べる場の充実を図る	登下校時や外遊び時など、子どもの安全を見守る	課外活動に係る選択肢の充実を図る	習い事や地域のクラブ活動など、子どもの課外活動に係る選択肢の充実を図る	運動会や祭りなど、地域と子どもが関わる活動やイベントなどを充実させる	幼稚園や学校等での地域学習やクラブ活動の指導などに、地域の人材を活用する	職住近接により家庭での時間を増やす	地域の子供達への挨拶や声掛けを日常的に行う	子どもを通じた親同士の交流の場を増やす	子どもに有害な情報や環境を取り除く	その他	無回答
全体	503	①55.3	②31.4	③24.3	21.9	19.7	17.5	17.1	12.1	7.4	4.4	11.7	
男性	223	①58.7	②27.8	③24.7	20.6	20.6	22.0	16.6	14.3	6.3	2.2	11.2	
女性	267	①52.8	②35.2	③24.0	22.8	19.1	13.5	17.6	10.9	8.2	5.6	11.6	

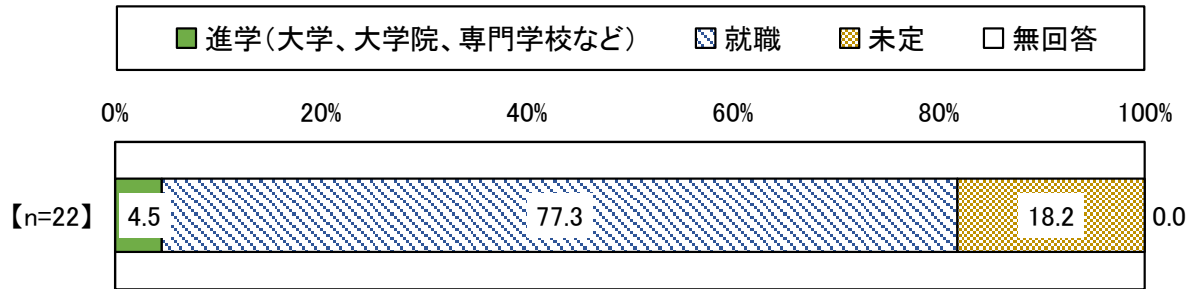
4 進路について

(1) 卒業後の進路希望

問 24～問 27 は、問 8 で「8. 学生」とお答えの方にお聞きします。

問 24 卒業後の進路希望を教えてください。(○は1つ)

◇「就職」が77.3%で最も多く、以下「未定」が18.2%、「進学(大学、大学院、専門学校など)」が4.5%となっています。

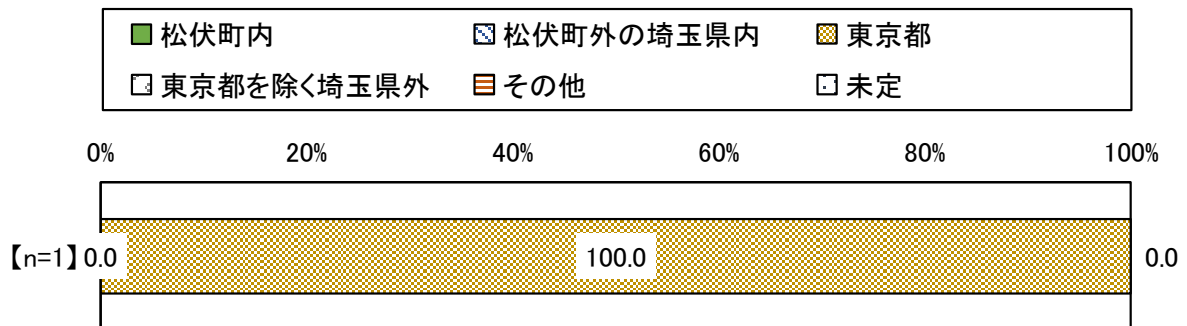


(2) 進学先の希望

問 24 で「1. 進学(大学、大学院、専門学校など)」とお答えの方にお聞きします。

問 25 進学先は、どこを希望しますか。(○は1つ)

◇「進学」との回答は1件で、「東京都」への進学を希望しています。

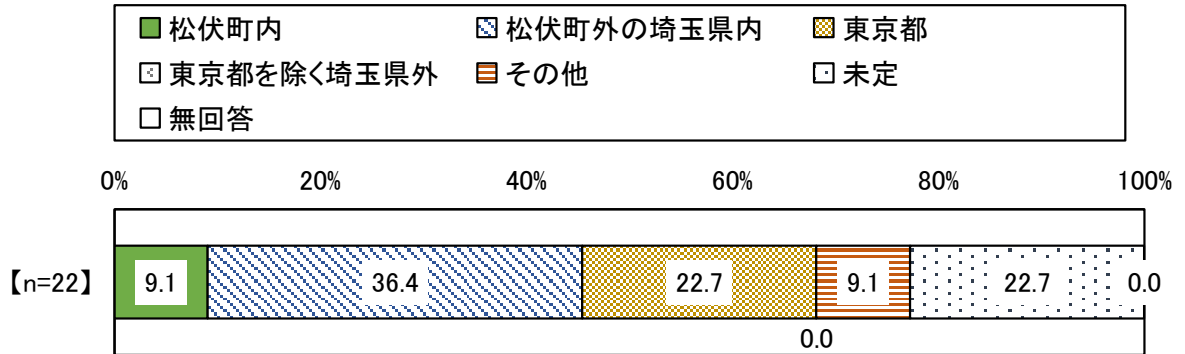


(3) 就職先の希望

問 26 以降は全ての方にお聞きします。

問 26 卒業後の就職先は、どこを希望しますか。(○は1つ)

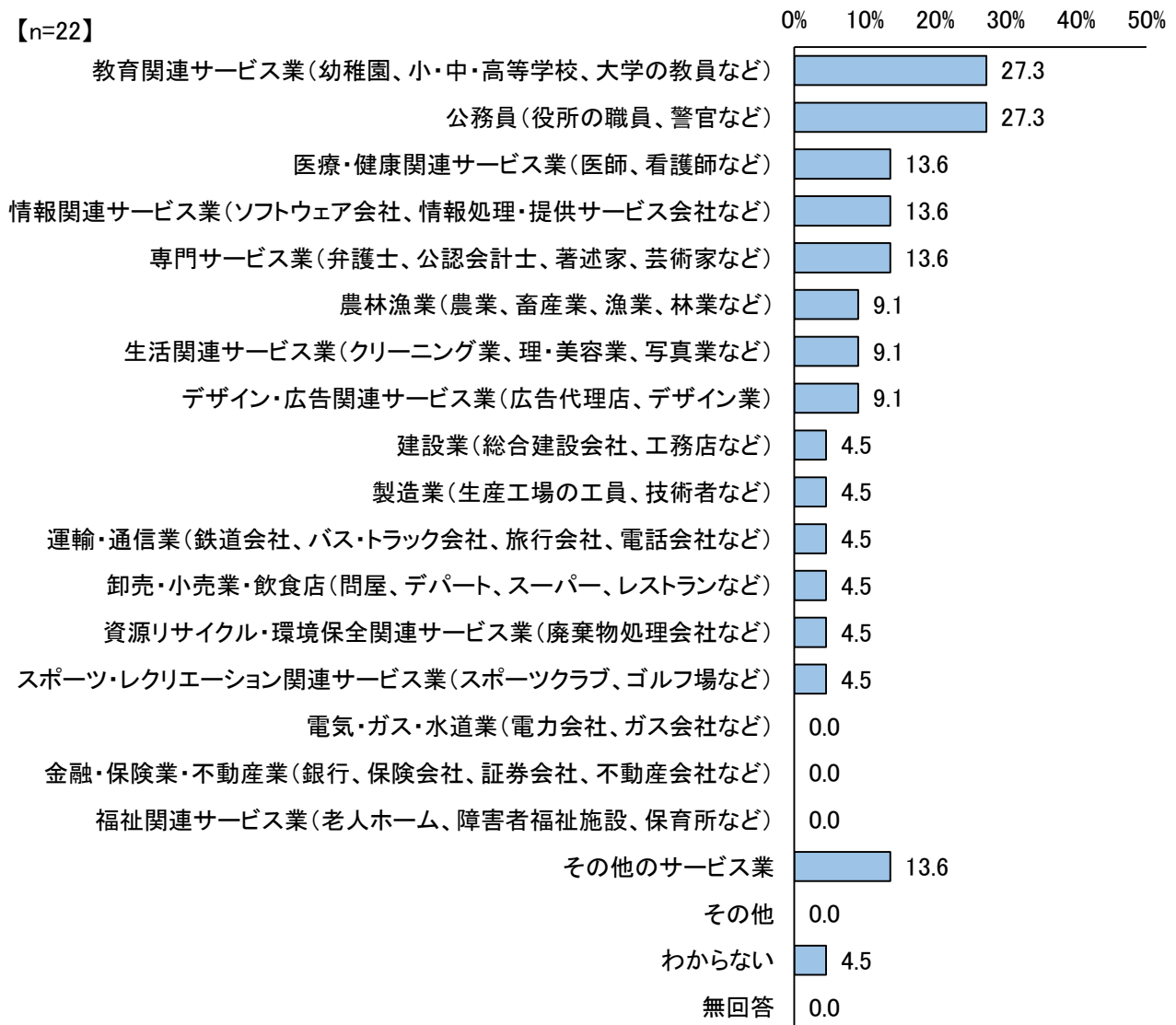
◇「松伏町外の埼玉県内」が 36.4%で最も多く、以下「東京都」が 22.7%、「未定」が 22.7%、「松伏町内」が 9.1%などとなっています。



(4) 将来したい仕事

問 27 あなたは将来どんな仕事がしたいですか。(〇は3つまで)

◇「教育関連サービス業(幼稚園、小・中・高等学校、大学の教員など)」と「公務員(役所の職員、警官など)」がともに 27.3%で最も多く、以下、「医療・健康関連サービス業(医師、看護師など)」と「情報関連サービス業(ソフトウェア会社、情報処理・提供サービス会社など)」、「専門サービス業(弁護士、公認会計士、著述家、芸術家など)」がいずれも 13.6%などとなっています。

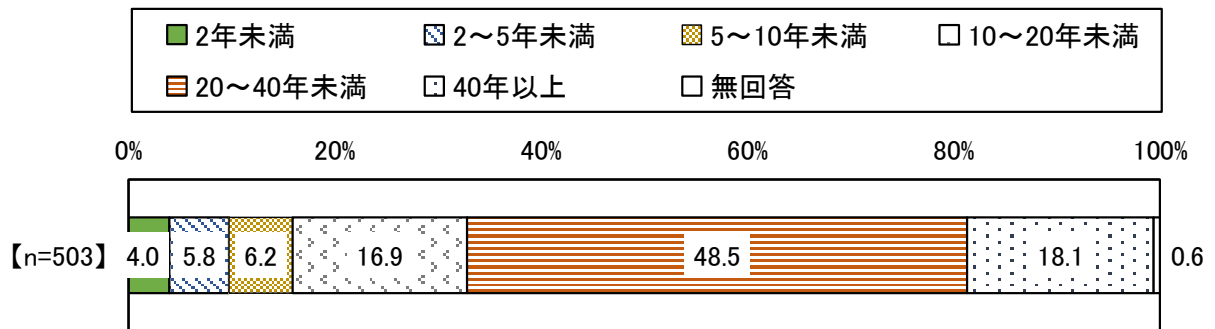


5 松伏町の住みよさと定住意向について

(1) 松伏町での居住年数

問 28 松伏町にお住まいになって何年くらいですか。(〇は1つ)

- ◇ 「20～40年未満」が48.5%で最も多く、以下「40年以上」が18.1%、「10～20年未満」が16.9%、「5～10年未満」が6.2%などとなっています。
- ◇ 年代でみると、年代が高いほど居住年数が長くなっており、50代より上の年代では90%以上が20年以上の居住年数となっています。30代では10年未満が49.9%と半数を占めています。



■ 性別・年代×松伏町での居住年数

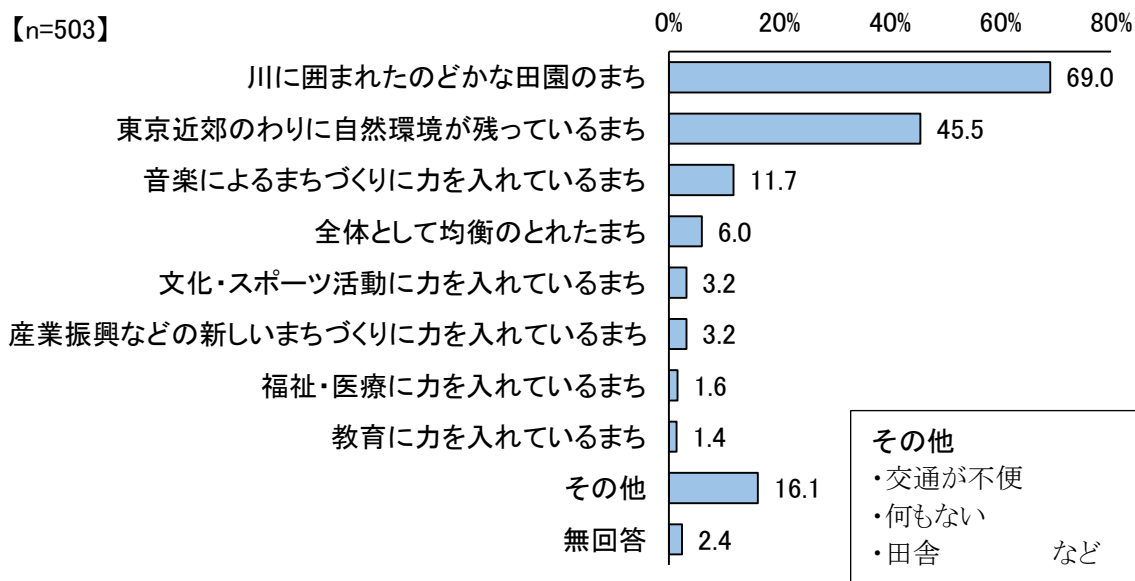
単位: %

	合計 (件)	2年未満	2～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20～40年未満	40年以上	無回答
全体	503	4.0	5.8	6.2	16.9	① 48.5	18.1	0.6
男性	223	4.0	4.0	5.8	13.9	① 48.9	23.3	0.0
女性	267	3.7	7.5	6.4	18.7	① 48.7	13.9	1.1
20代以下	67	9.0	10.4	1.5	① 40.3	38.8	0.0	0.0
30代	88	10.2	17.0	22.7	14.8	① 35.2	0.0	0.0
40代	93	3.2	4.3	4.3	22.6	① 45.2	19.4	1.1
50代	94	0.0	2.1	4.3	13.8	① 61.7	17.0	1.1
60代	110	1.8	0.9	0.0	8.2	① 60.0	28.2	0.9
70代以上	49	0.0	0.0	4.1	4.1	40.8	① 51.0	0.0

(2) 松伏町のイメージ

問 29 松伏町についてどのようなイメージをお持ちになっていますか。(〇は3つまで)

◇「川に囲まれたのどかな田園のまち」が69.0%で最も多く、「東京近郊のわりに自然環境が残っているまち」が45.5%、以下は差があり「音楽によるまちづくりに力を入れているまち」が11.7%、「全体として均衡のとれたまち」が6.0%などとなっています。
 ◇年代でみると、すべての年代で「川に囲まれたのどかな田園のまち」が最も多くなっています。



■年代×松伏町のイメージ

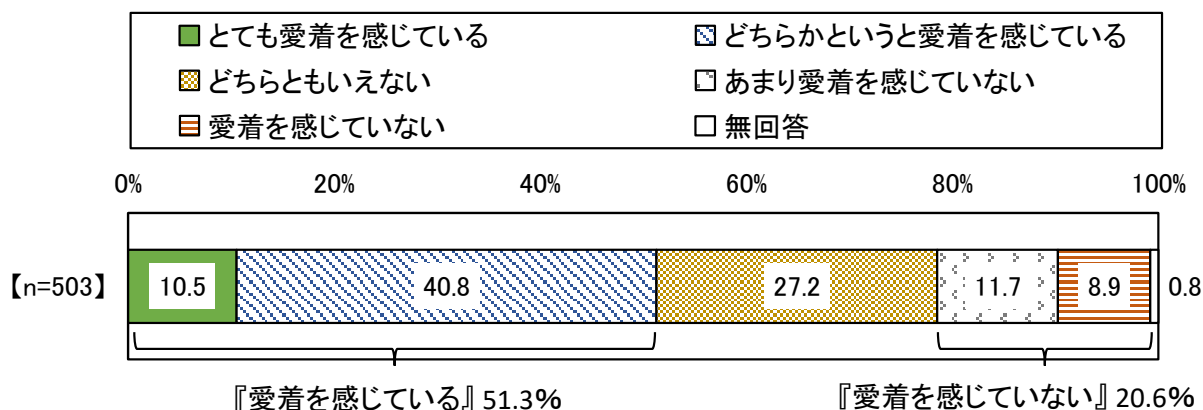
単位：%

	合計(件)	川に囲まれたのどかな田園のまち	東京近郊のわりに自然環境が残っているまち	音楽によるまちづくりに力を入れているまち	全体として均衡のとれたまち	文化・スポーツ活動に力を入れているまち	産業振興などの新しいまちづくりに力を入れているまち	福祉・医療に力を入れているまち	教育に力を入れているまち	その他	無回答
全体	503	① 69.0	45.5	11.7	6.0	3.2	3.2	1.6	1.4	16.1	2.4
20代以下	67	① 65.7	35.8	13.4	10.4	3.0	0.0	1.5	6.0	17.9	0.0
30代	88	① 67.0	28.4	8.0	8.0	2.3	1.1	0.0	1.1	26.1	0.0
40代	93	① 73.1	41.9	10.8	3.2	1.1	3.2	2.2	1.1	16.1	3.2
50代	94	① 67.0	54.3	12.8	4.3	5.3	1.1	0.0	0.0	13.8	1.1
60代	110	① 72.7	50.9	13.6	3.6	3.6	6.4	1.8	0.9	10.0	3.6

(3) 松伏町への愛着

問 30 あなたは松伏町に愛着（好きと思う気持ち、愛する心）をどの程度感じていますか。（○は1つ）

- ◇「とても愛着を感じている」10.5%、「どちらかというとな愛着を感じている」40.8%、合わせた『愛着を感じている』は51.3%、これに対し、「愛着を感じていない」8.9%、「あまり愛着を感じていない」11.7%、合わせた『愛着を感じていない』は20.6%となっています。
- ◇性別でみると、『愛着を感じている』は、男性が57.8%、女性が46.1%と男性が女性を10ポイント以上上回ります。
- ◇年代でみると、『愛着を感じている』は70代以上、30代、40代と続き、20代が最も少なくなっています。
- ◇転出経験と転入者でみると、『愛着を感じている』は、転出経験のない町出身者65.8%、転出経験のある町出身者（Uターン）56.6%、転入者44.7%となっています。



■性別・年代・転入転出別×松伏町への愛着

単位: %

	合計 (件)	とても愛着 を感じて いる(A)	どちらか というとな 愛着を 感じて いる(B)	どちらとも いえない	あまり愛着 を感じて いない (C)	愛着を 感じて いない (D)	無回答	愛着を 感じて いる (A)+(B)	愛着を 感じて いない (C)+(D)
全体	503	10.5	① 40.8	27.2	11.7	8.9	0.8	51.3	20.6
男性	223	13.5	① 44.4	22.4	10.8	8.1	0.9	57.9	18.9
女性	267	8.2	① 37.8	31.1	12.7	9.4	0.7	46.0	22.1
20代以下	67	14.9	31.3	① 32.8	9.0	11.9	0.0	46.2	20.9
30代	88	8.0	① 45.5	21.6	12.5	12.5	0.0	53.5	25.0
40代	93	8.6	① 44.1	25.8	17.2	4.3	0.0	52.7	21.5
50代	94	12.8	① 36.2	27.7	13.8	8.5	1.1	49.0	22.3
60代	110	10.0	① 40.0	32.7	6.4	10.0	0.9	50.0	16.4
70代以上	49	10.2	① 46.9	20.4	12.2	6.1	4.1	57.1	18.3
町出身者 (転出経験なし)	123	21.1	① 44.7	18.7	8.9	6.5	0.0	65.8	15.4
町出身者 (転出経験あり)	60	13.3	① 43.3	31.7	8.3	3.3	0.0	56.6	11.6
転入者	318	6.0	① 38.7	29.6	13.5	11.0	1.3	44.7	24.5

Ⅲ 調査結果の詳細 第1章 町民意識調査

◇地区別でみると、「とても愛着を感じている」は大字田島 30.8%、大字上赤岩 25.0%に多く、『愛着を感じている』は大字下赤岩、大字田島、田中1～3丁目、大字上赤岩、大字大川戸、大字築比地、大字松伏では全体を上回ります。

■居住地区×松伏町への愛着

単位:%

	合計 (件)	とても愛着 を感じて いる(A)	どちらかと いうと愛着 を感じて いる(B)	どちらとも いえない	あまり愛着 を感じて いない (C)	愛着を 感じて いない (D)	無回答	愛着を 感じている (A)+(B)	愛着を 感じて いない (C)+(D)
大字魚沼	7	0.0	① 42.9	28.6	0.0	14.3	14.3	42.9	14.3
大字大川戸	50	14.0	① 42.0	20.0	20.0	4.0	0.0	56.0	24.0
大字築比地	35	8.6	① 45.7	22.9	11.4	11.4	0.0	54.3	22.8
大字金杉	12	16.7	① 33.3	① 33.3	16.7	0.0	0.0	50.0	16.7
大字松伏	177	9.0	① 42.4	25.4	10.7	11.3	1.1	51.4	22.0
田中1～3丁目	54	14.8	① 46.3	24.1	11.1	3.7	0.0	61.1	14.8
ゆめみ野 1～6丁目	73	8.2	① 38.4	35.6	6.8	9.6	1.4	46.6	16.4
ゆめみ野東 1～4丁目	42	4.8	28.6	① 33.3	16.7	16.7	0.0	33.4	33.4
松葉1～2丁目	10	0.0	① 40.0	30.0	20.0	10.0	0.0	40.0	30.0
大字田島	13	① 30.8	① 30.8	23.1	7.7	7.7	0.0	61.6	15.4
大字上赤岩	16	25.0	31.3	① 37.5	6.3	0.0	0.0	56.3	6.3
大字下赤岩	10	10.0	① 70.0	20.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0

(4) 松伏町の「住みやすさ、くらしやすさ」

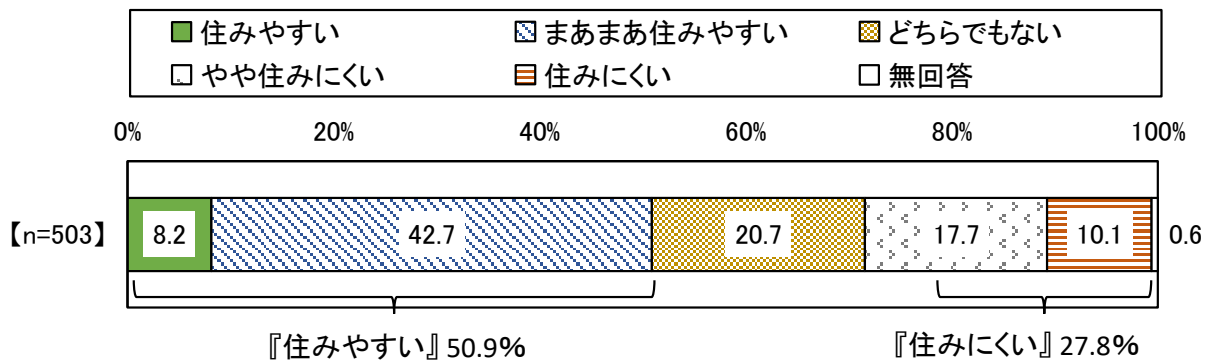
問 31 松伏町は、「住みよい、くらしやすい町」であると思いますか。(○は1つ)

◇「住みやすい」8.2%、「まあまあ住みやすい」42.7%、合わせた『住みやすい』は50.9%、「住みにくい」10.1%、「やや住みにくい」17.7%、合わせた『住みにくい』は27.8%となっています。

◇性別でみると、『住みやすい』は男性53.4%が女性48.7%を上回ります。

◇年代でみると、すべての年代で『住みやすい』は『住みにくい』を上回り、70代以上、30代の順で、愛着度とほぼ共通しています。

◇地区別でみると、『住みやすい』が全体50.9%を上回る地区は、大字田島69.2%、田中1～3丁目59.3%、大字魚沼57.1%、大字松伏53.7%、ゆめみ野1～6丁目53.4%をあげることができます。これに対し、『住みにくい』が全体27.8%を上回るのは、ゆめみ野東1～4丁目38.1%、大字築比地37.2%、大字金杉33.3%、大字大川戸30.0%となっています。



■性別・年代×松伏町の「住みやすさ、くらしやすさ」

単位：%

	合計 (件)	住みやすい (A)	まあまあ 住みやすい (B)	どちらでも ない	やや住み にくい(C)	住みにくい (D)	無回答	住みやすい (A)+(B)	住みにくい (C)+(D)
全体	503	8.2	① 42.7	20.7	17.7	10.1	0.6	50.9	27.8
男性	223	9.4	① 43.9	22.4	17.0	7.2	0.0	53.3	24.2
女性	267	7.1	① 41.6	19.1	18.7	12.4	1.1	48.7	31.1
20代以下	67	10.4	① 35.8	17.9	22.4	13.4	0.0	46.2	35.8
30代	88	5.7	① 47.7	18.2	15.9	11.4	1.1	53.4	27.3
40代	93	6.5	① 39.8	20.4	21.5	11.8	0.0	46.3	33.3
50代	94	10.6	① 37.2	23.4	20.2	8.5	0.0	47.8	28.7
60代	110	9.1	① 40.0	26.4	12.7	10.0	1.8	49.1	22.7
70代以上	49	6.1	① 63.3	12.2	14.3	4.1	0.0	69.4	18.4

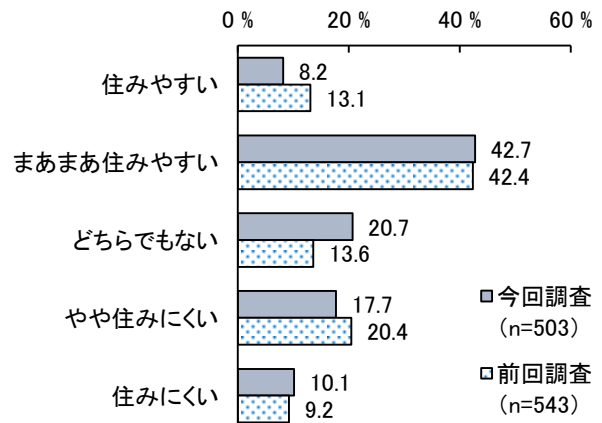
■居住地区別×松伏町の「住みやすさ、くらしやすさ」

単位：%

	合計 (件)	住みやすい (A)	まあまあ 住みやすい (B)	どちらでも ない	やや住み にくい(C)	住みにくい (D)	無回答	住みやすい (A)+(B)	住みにくい (C)+(D)
大字魚沼	7	0.0	① 57.1	14.3	0.0	14.3	14.3	57.1	14.3
大字大川戸	50	8.0	① 42.0	20.0	24.0	6.0	0.0	50.0	30.0
大字築比地	35	11.4	① 25.7	① 25.7	22.9	14.3	0.0	37.1	37.2
大字金杉	12	8.3	① 33.3	25.0	25.0	8.3	0.0	41.6	33.3
大字松伏	177	7.9	① 45.8	19.8	15.3	11.3	0.0	53.7	26.6
田中1～3丁目	54	7.4	① 51.9	14.8	18.5	7.4	0.0	59.3	25.9
ゆめみ野 1～6丁目	73	8.2	① 45.2	20.5	17.8	6.8	1.4	53.4	24.6
ゆめみ野東 1～4丁目	42	4.8	① 31.0	26.2	21.4	16.7	0.0	35.8	38.1
松葉1～2丁目	10	0.0	① 50.0	30.0	0.0	20.0	0.0	50.0	20.0
大字田島	13	15.4	① 53.8	15.4	7.7	7.7	0.0	69.2	15.4
大字上赤岩	16	12.5	① 37.5	18.8	18.8	6.3	6.3	50.0	25.1
大字下赤岩	10	20.0	30.0	① 40.0	10.0	0.0	0.0	50.0	10.0

前回調査との比較

住みやすい（「住みやすい」と「まあまあ住みやすい」）は 55.4%から 50.9%へ減少しましたが、住みにくい（「住みにくい」と「やや住みにくい」）も 29.6%から 27.8%へ減少しています。



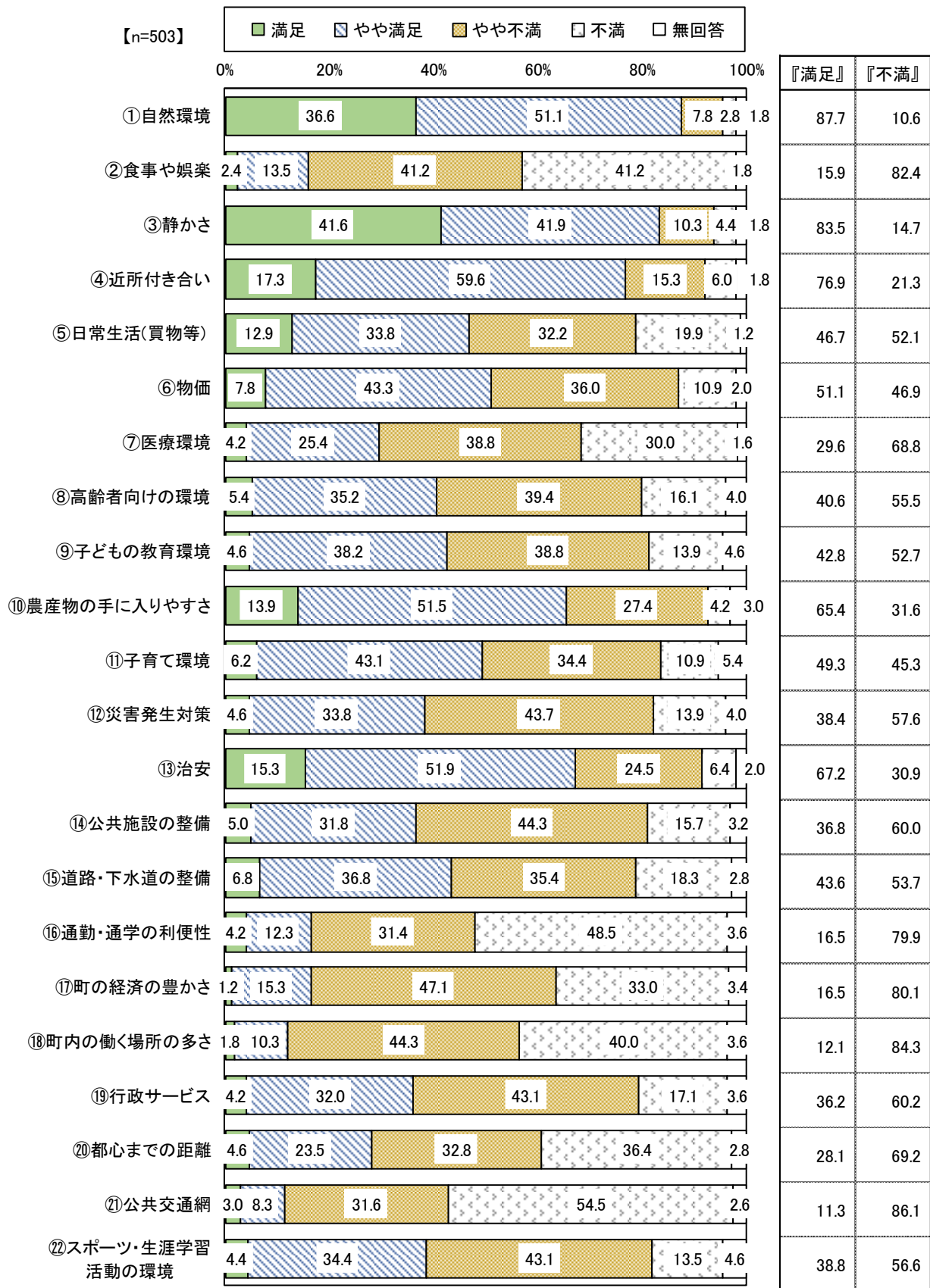
(5) 松伏町の「住みやすさ、くらしやすさ」の満足度

問 32 松伏町の「住みやすさ、くらしやすさ」の視点から以下の項目についてどの程度満足されていますか。(各項目当てはまるもの1つに○)

◇満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）が高い項目は、割合が高い順に、「①自然環境」（87.7%）、「③静かさ」（83.5%）、「④近所付き合い」（76.9%）、「⑬治安」（67.2%）、「⑩農産物の手に入りやすさ」（65.4%）、「⑥物価」（51.1%）、「⑪子育て環境」（49.3%）などとなっています。

一方、不満度（「不満」と「やや不満」を合わせた割合）が高い項目は、割合が高い順に、「⑭公共交通網」（86.1%）、「⑱町内の働く場所の多さ」（84.3%）、「②食事や娯楽」（82.4%）、「⑰町の経済の豊かさ」（80.1%）、「⑩通勤・通学の利便性」（79.9%）、「⑳都心までの距離」（69.2%）、「⑦医療環境」（68.8%）などとなっています。

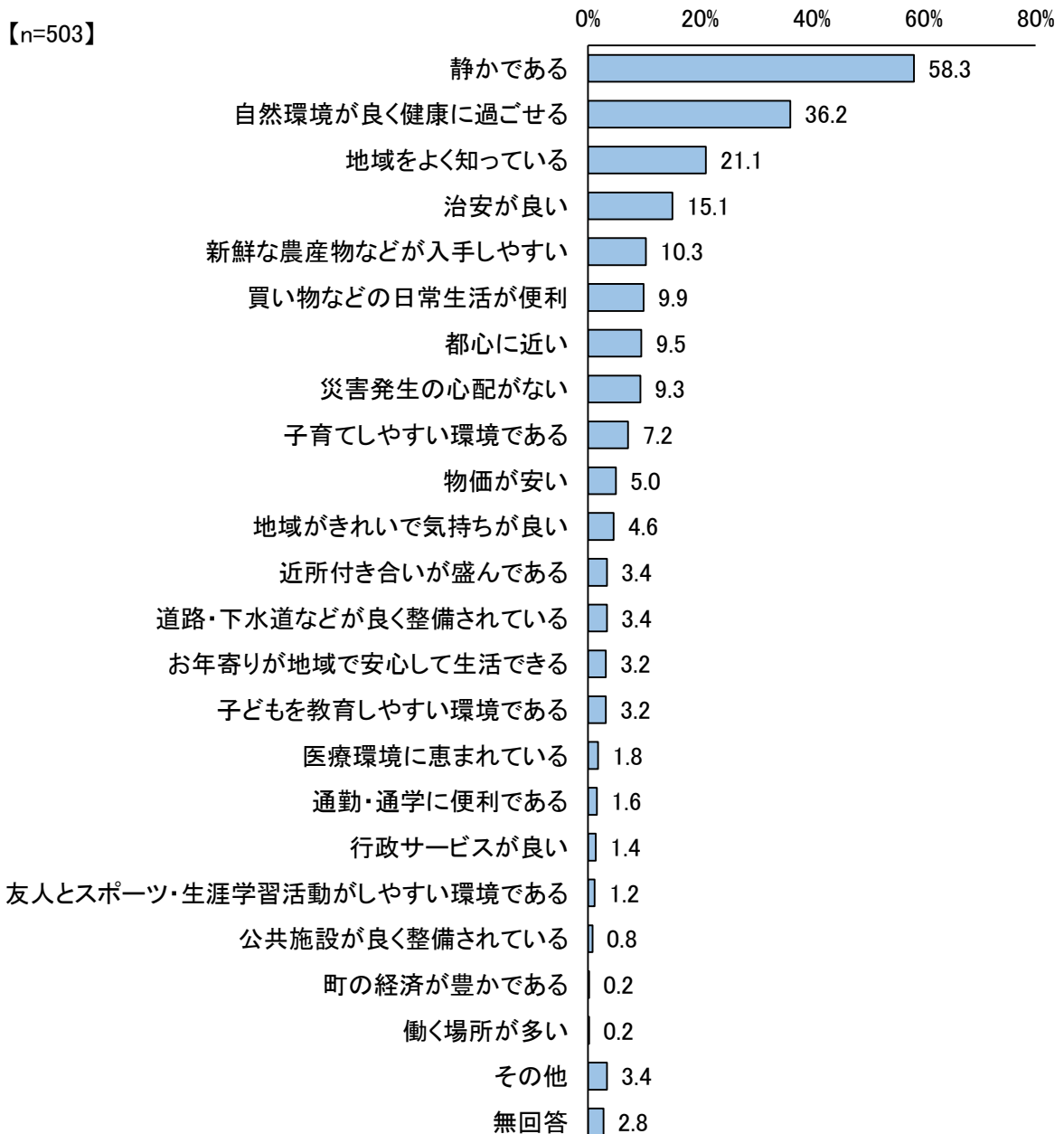
■松伏町の「住みやすさ、くらしやすさ」の満足度



(6) 「住みやすさ、くらしやすさ」を感じる点

問 33 松伏町のどのような点に「住みやすさ、くらしやすさ」を感じますか。(〇は3つまで)

- ◇「静かである」が58.3%で最も多く、以下「自然環境が良く健康に過ごせる」が36.2%、「地域をよく知っている」が21.1%、「治安が良い」が15.1%などとなっています。
- ◇年代で見ると、すべての年代で「静かである」が最も多くなっています。40代では「地域をよく知っている」が第2位となっています。
- ◇転出経験と転入者で見ると、転出経験のない町出身者及び転入者は「静かである」が最も多く、なかでも転入者は65.4%となっています。これに対し、転出経験のある町出身者（Uターン）は「地域をよく知っている」が「静かである」を上回ります。また、転入者では「治安が良い」、転出経験のある町出身者（Uターン）では「新鮮な農産物などが入手しやすい」が多くあげられています。



Ⅲ 調査結果の詳細 第1章 町民意識調査

■性別・年代・転入転出別×「住みやすさ、くらしやすさ」を感じる点（上段：上位、下段：下位）

単位：%

	合計(件)	静かである	自然環境が良く健康に過ごせる	地域をよく知っている	治安が良い	新鮮な農産物などが入手しやすい	買い物などの日常生活が便利	都心に近い	災害発生の心配がない	子育てしやすい環境である	物価が安い	地域がきれいで気持ちが良い	近所付き合いが盛んである
全体	503	①58.3	②36.2	③21.1	15.1	10.3	9.9	9.5	9.3	7.2	5.0	4.6	3.4
男性	223	①61.9	②38.1	③23.8	16.1	7.2	7.2	11.2	9.9	5.4	4.5	5.4	3.6
女性	267	①55.1	②34.8	③19.1	13.5	13.5	12.4	8.6	9.0	8.6	5.2	3.7	3.4
20代以下	67	①59.7	②29.9	③19.4	14.9	3.0	3.0	16.4	14.9	7.5	4.5	9.0	1.5
30代	88	①68.2	②33.0	③20.5	13.6	5.7	9.1	8.0	9.1	10.2	9.1	2.3	4.5
40代	93	①49.5	③29.0	②33.3	17.2	9.7	10.8	5.4	4.3	11.8	6.5	5.4	2.2
50代	94	①66.0	②43.6	③19.1	17.0	9.6	6.4	9.6	7.4	5.3	3.2	7.4	3.2
60代	110	①55.5	②39.1	15.5	16.4	③18.2	11.8	9.1	6.4	5.5	3.6	2.7	4.5
70代以上	49	①46.9	②40.8	18.4	8.2	14.3	③22.4	12.2	③22.4	0.0	2.0	0.0	4.1
町出身者 (転出経験なし)	123	①48.8	③35.8	②38.2	13.0	7.3	10.6	13.8	17.1	5.7	2.4	5.7	4.1
町出身者 (転出経験あり)	60	②40.0	③23.3	①46.7	6.7	18.3	10.0	11.7	8.3	5.0	3.3	3.3	0.0
転入者	318	①65.4	②38.4	9.7	③17.6	10.1	9.7	7.5	6.6	7.9	6.0	4.4	3.5

	合計(件)	道路・下水道などが良く整備されている	お年寄りが地域で安心して生活できる	子どもを教育しやすい環境である	医療環境に恵まれている	通勤・通学に便利である	行政サービスが良い	友人とスポーツ・生涯学習活動がしやすい環境である	公共施設が良く整備されている	町の経済が豊かである	働く場所が多い	その他	無回答
全体	503	3.4	3.2	3.2	1.8	1.6	1.4	1.2	0.8	0.2	0.2	3.4	2.8
男性	223	4.0	3.1	0.9	2.2	3.1	2.2	0.0	0.9	0.4	0.0	3.6	2.7
女性	267	3.0	3.0	5.2	1.5	0.4	0.7	2.2	0.7	0.0	0.4	2.6	3.0
20代以下	67	3.0	6.0	3.0	1.5	4.5	3.0	0.0	1.5	1.5	0.0	3.0	1.5
30代	88	3.4	1.1	2.3	0.0	1.1	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	1.1
40代	93	4.3	2.2	5.4	3.2	1.1	1.1	0.0	1.1	0.0	0.0	5.4	2.2
50代	94	1.1	3.2	2.1	0.0	2.1	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	4.3	2.1
60代	110	0.9	0.9	2.7	2.7	0.0	1.8	1.8	1.8	0.0	0.0	2.7	7.3
70代以上	49	8.2	10.2	4.1	2.0	2.0	0.0	6.1	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0
町出身者 (転出経験なし)	123	4.1	2.4	0.0	0.8	2.4	2.4	0.0	0.8	0.8	0.0	2.4	1.6
町出身者 (転出経験あり)	60	1.7	0.0	1.7	3.3	0.0	1.7	0.0	1.7	0.0	1.7	6.7	3.3
転入者	318	3.5	4.1	4.7	1.9	1.6	0.9	1.9	0.6	0.0	0.0	3.1	3.1

前回調査との比較

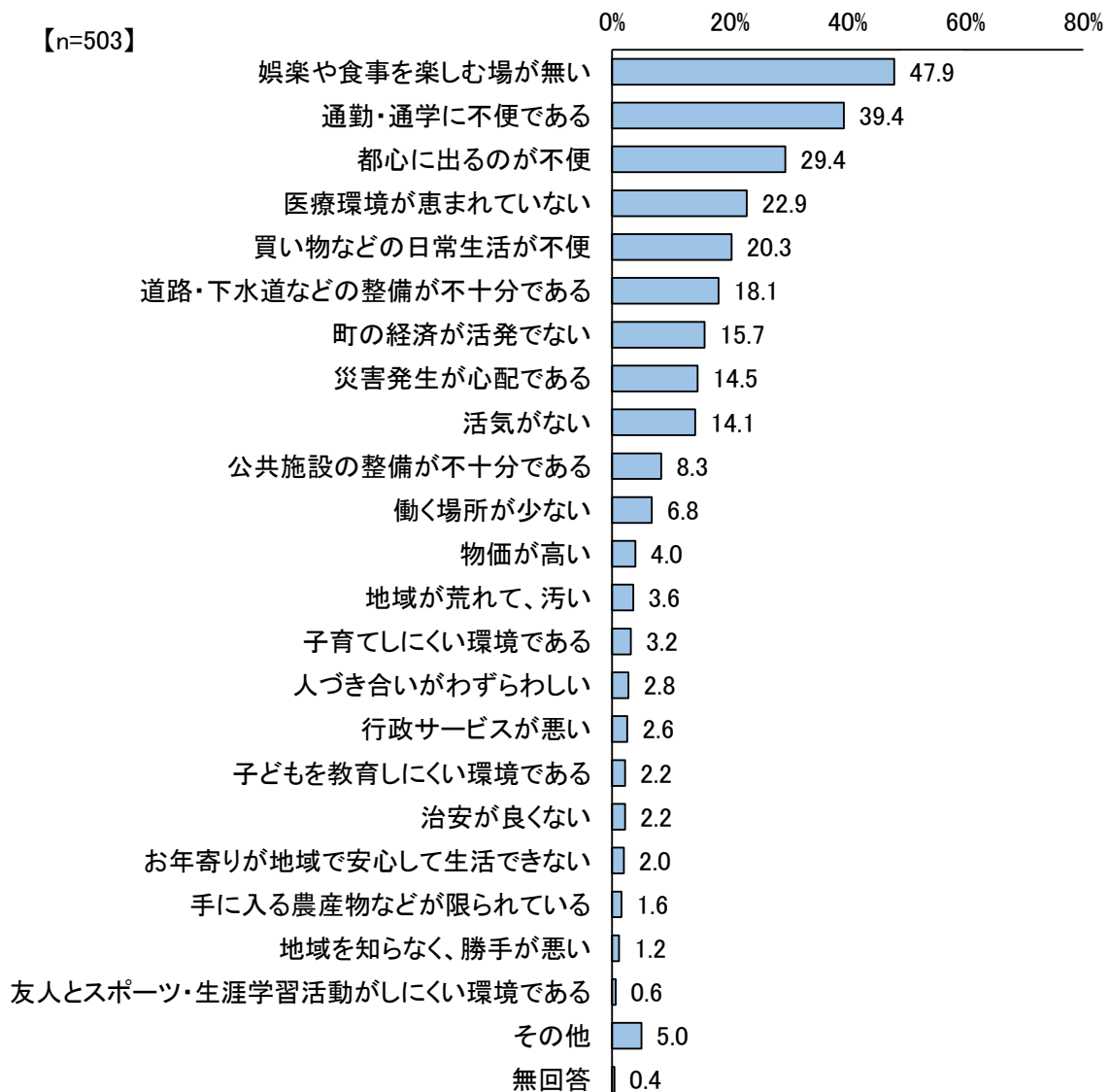
「治安が良い」、「新鮮な農産物」は順位を上げていますが、「買い物などの日常生活が便利」は順位を下げています。

(上位6位)	今回調査	前回調査
静かである	① 58.3%	① 48.3%
自然環境が良く健康に過ごせる	② 36.2%	② 40.0%
地域をよく知っている	③ 21.1%	③ 18.6%
治安が良い	④ 15.1%	⑥ 13.6%
新鮮な農産物などが入手しやすい	⑤ 10.3%	⑨ 10.7%
買い物などの日常生活が便利	⑥ 9.9%	⑤ 15.3%

(7)「住みにくさ、くらしにくさ」を感じる点

問 34 松伏町のどのような点に「住みにくさ、くらしにくさ」を感じますか。(〇は3つまで)

- ◇「娯楽や食事を楽しむ場が無い」が 47.9%で最も多く、以下「通勤・通学に不便である」が 39.4%、「都心に出るのが不便」が 29.4%、「医療環境が恵まれていない」が 22.9% などとなっています。
- ◇性別でみると、「娯楽や食事を楽しむ場が無い」は男女でほとんど差がありませんが、「買い物などの日常生活が不便」や「医療環境が恵まれていない」は女性が男性をやや上回ります。
- ◇年代でみると、20代以下と50代では「通勤・通学に不便である」が最も多くなっています。
- ◇転出経験と転入者でみると、転出経験の有無にかかわらず、転入者とともに「娯楽や食事を楽しむ場が無い」が最も多くなっています。次の「通勤・通学に不便である」は転出経験のない町出身者が 52.0%と多くなっています。これに対し、「医療環境が恵まれていない」や「災害発生が心配である」は、転出経験のある町出身者（Uターン）及び転入者に多く、「活気がない」は転入者にやや多くなっています。



■性別・年代・転入転出別×「住みにくさ、くらしにくさ」を感じる点（上段：上位、下段：下位）

単位：%

	合計(件)	娯楽や食事を楽しむ場が無い	通勤・通学に不便である	都心に出るのが不便	医療環境が恵まれていない	買い物などの日常生活が不便	道路・下水道などの整備が不十分である	町の経済が活発でない	災害発生が心配である	活気がない	公共施設の整備が不十分である	働く場所が少ない	物価が高い
全体	503	①47.9	②39.4	③29.4	22.9	20.3	18.1	15.7	14.5	14.1	8.3	6.8	4.0
男性	223	①48.4	②40.4	③29.1	16.1	18.4	19.7	17.9	13.9	17.0	9.4	7.6	3.1
女性	267	①49.1	②38.6	③28.8	③28.8	22.5	17.2	13.9	15.4	11.6	7.5	6.0	4.5
20代以下	67	②50.7	①68.7	③32.8	14.9	14.9	3.0	6.0	10.4	6.0	14.9	10.4	1.5
30代	88	①52.3	②45.5	23.9	③34.1	15.9	12.5	18.2	4.5	4.5	5.7	8.0	4.5
40代	93	①52.7	30.1	②35.5	③31.2	24.7	18.3	11.8	10.8	14.0	17.2	5.4	5.4
50代	94	②39.4	①50.0	③37.2	16.0	26.6	12.8	14.9	21.3	13.8	2.1	5.3	5.3
60代	110	①43.6	③30.0	23.6	20.9	17.3	②34.5	18.2	17.3	23.6	5.5	6.4	0.9
70代以上	49	①53.1	6.1	③22.4	16.3	③22.4	③22.4	②26.5	③22.4	③22.4	6.1	6.1	6.1
町出身者 (転出経験なし)	123	①52.8	②52.0	③24.4	13.0	22.8	19.5	17.1	9.8	8.1	13.0	8.1	4.1
町出身者 (転出経験あり)	60	①40.0	②35.0	③31.7	28.3	11.7	16.7	13.3	16.7	11.7	10.0	10.0	3.3
転入者	318	①47.2	②35.5	③30.8	25.5	20.8	17.9	15.7	16.0	17.0	6.3	5.7	4.1

	合計(件)	地域が荒れて、汚い	子育てしにくい環境である	人づき合いがわずらわしい	行政サービスが悪い	子どもを教育しにくい環境である	治安が良くない	お年寄りが地域で安心して生活できない	手に入る農産物などが限られている	地域を知らなく、勝手が悪い	友人とスポーツ・生涯学習活動がしにくい環境である	その他	無回答
全体	503	3.6	3.2	2.8	2.6	2.2	2.2	2.0	1.6	1.2	0.6	5.0	0.4
男性	223	4.0	3.1	4.0	3.1	0.4	2.7	2.7	1.3	1.3	0.9	4.5	0.0
女性	267	2.6	3.4	1.9	1.5	3.7	1.9	1.5	1.5	1.1	0.4	5.2	0.7
20代以下	67	1.5	4.5	3.0	1.5	3.0	3.0	0.0	0.0	1.5	1.5	7.5	1.5
30代	88	5.7	8.0	4.5	1.1	5.7	2.3	2.3	1.1	2.3	1.1	5.7	0.0
40代	93	2.2	1.1	1.1	2.2	1.1	3.2	1.1	0.0	2.2	0.0	5.4	0.0
50代	94	4.3	1.1	4.3	2.1	0.0	3.2	1.1	2.1	0.0	1.1	4.3	0.0
60代	110	4.5	3.6	1.8	2.7	2.7	0.9	3.6	2.7	0.0	0.0	3.6	0.9
70代以上	49	2.0	0.0	2.0	8.2	0.0	0.0	4.1	4.1	2.0	0.0	4.1	0.0
町出身者 (転出経験なし)	123	4.1	3.3	2.4	1.6	2.4	3.3	3.3	1.6	0.8	1.6	4.1	0.0
町出身者 (転出経験あり)	60	6.7	3.3	1.7	0.0	0.0	3.3	5.0	3.3	0.0	1.7	5.0	1.7
転入者	318	2.8	3.1	2.8	3.5	2.5	1.6	0.9	1.3	1.6	0.0	5.3	0.3

Ⅲ 調査結果の詳細 第1章 町民意識調査

◇地区別でみると、「娯楽や食事を楽しむ場がない」以外を1位にあげたのは、大字大川戸及び大字上赤岩、ゆめみ野東1～4丁目の「通勤・通学に不便である」、大字築比地の「買い物などの日常生活が不便」、松葉1～2丁目の「都心に出るのに不便」、大字田島の「道路・下水道などの整備が不十分である」です。

■居住地区×「住みにくさ、くらしにくさ」を感じる点（上段：上位、下段：下位）

単位：%

	合計(件)	娯楽や食事を楽しむ場が無い	通勤・通学に不便である	都心に出るのが不便	医療環境が恵まれていない	買い物などの日常生活が不便	道路・下水道などの整備が不十分である	町の経済が活発でない	災害発生が心配である	活気がない	公共施設の整備が不十分である	働く場所が少ない	物価が高い
大字魚沼	7	①57.1	14.3	14.3	14.3	②42.9	②42.9	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
大字大川戸	50	②42.0	①50.0	20.0	18.0	③32.0	28.0	10.0	18.0	14.0	6.0	6.0	2.0
大字築比地	35	③37.1	34.3	②40.0	14.3	①65.7	28.6	8.6	2.9	25.7	2.9	0.0	0.0
大字金杉	12	①50.0	25.0	0.0	16.7	②33.3	②33.3	16.7	16.7	8.3	8.3	16.7	8.3
大字松伏	177	①49.7	②33.9	③29.9	25.4	11.9	16.4	16.4	14.7	15.3	9.0	6.2	4.5
田中1～3丁目	54	①53.7	②35.2	24.1	③27.8	16.7	11.1	27.8	14.8	20.4	13.0	3.7	3.7
ゆめみ野1～6丁目	73	①52.1	②46.6	③35.6	26.0	12.3	5.5	16.4	15.1	11.0	2.7	15.1	6.8
ゆめみ野東1～4丁目	42	②52.4	①59.5	③33.3	14.3	14.3	14.3	9.5	23.8	4.8	9.5	4.8	2.4
松葉1～2丁目	10	②30.0	②30.0	①40.0	②30.0	20.0	10.0	20.0	10.0	20.0	20.0	0.0	10.0
大字田島	13	③30.8	③30.8	②38.5	15.4	7.7	①53.8	15.4	0.0	15.4	15.4	15.4	0.0
大字上赤岩	16	②43.8	①50.0	③31.3	18.8	18.8	18.8	18.8	③31.3	12.5	12.5	6.3	6.3
大字下赤岩	10	①40.0	20.0	0.0	①40.0	30.0	①40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	合計(件)	地域が荒れて、汚い	子育てしにくい環境である	人づき合いがわずらわしい	行政サービスが悪い	子どもを教育しにくい環境である	治安が良くない	お年寄りが地域で安心して生活できない	手に入る農産物などが限られている	地域を知らなく、勝手が悪い	友人とスポーツ・生涯学習活動がしにくい環境である	その他	無回答
大字魚沼	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3
大字大川戸	50	6.0	0.0	6.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0
大字築比地	35	8.6	0.0	2.9	2.9	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	0.0
大字金杉	12	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大字松伏	177	3.4	3.4	1.7	3.4	2.3	2.3	4.0	2.8	1.7	1.7	4.5	0.6
田中1～3丁目	54	1.9	9.3	1.9	1.9	7.4	1.9	0.0	3.7	0.0	0.0	3.7	0.0
ゆめみ野1～6丁目	73	2.7	1.4	4.1	4.1	1.4	0.0	0.0	1.4	2.7	0.0	8.2	0.0
ゆめみ野東1～4丁目	42	4.8	2.4	4.8	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0
松葉1～2丁目	10	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0
大字田島	13	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0
大字上赤岩	16	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0
大字下赤岩	10	0.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0

前回調査との比較

前回調査、今回調査いずれも「娯楽や食事を楽しむ場」が最も多くなっています。「利便性」、「医療環境」の上位は変わりありません。

(上位5位)	今回調査	前回調査
娯楽や食事を楽しむ場が無い	① 47.9%	② 43.8%
通勤・通学に不便である	② 39.4%	① 49.0%
都心に出るのが不便	③ 29.4%	③ 37.4%
医療環境が恵まれていない	④ 22.9%	④ 23.8%
買い物などの日常生活が不便	⑤ 20.3%	⑤ 20.4%

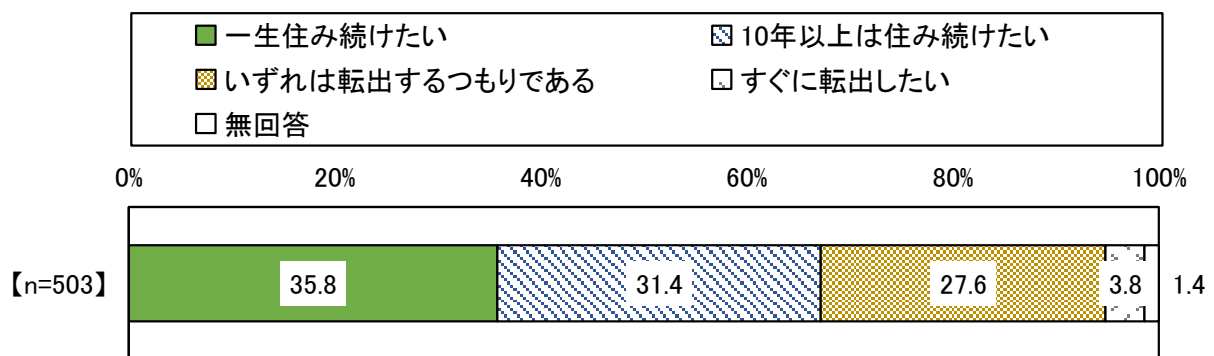
(8) 松伏町での居住希望

問 35 これからも松伏町に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

◇「一生住み続けたい」が35.8%で最も多く、以下「10年以上は住み続けたい」が31.4%、「いずれは転出するつもりである」が27.6%、「すぐに転出したい」が3.8%となっています。

◇年代で見ると、60代と70代以上では「一生住み続けたい」が過半数を占めているのに対し、20代以下では「いずれは転出するつもりである」が最も多く61.2%を占めています。

◇地区別に見ると、「いずれは転出するつもりである」が最も多いのは、ゆめみ野東1～4丁目、松葉1～2丁目、大字上赤岩となっています。



■年代×松伏町での居住希望

単位: %

	合計(件)	一生住み続けたい	10年以上は住み続けたい	いずれは転出するつもりである	すぐに転出したい	無回答
全体	503	① 35.8	31.4	27.6	3.8	1.4
20代以下	67	17.9	11.9	① 61.2	7.5	1.5
30代	88	20.5	① 43.2	31.8	4.5	0.0
40代	93	32.3	① 39.8	24.7	3.2	0.0
50代	94	26.6	① 36.2	33.0	3.2	1.1
60代	110	① 54.5	27.3	12.7	2.7	2.7
70代以上	49	① 67.3	22.4	4.1	2.0	4.1

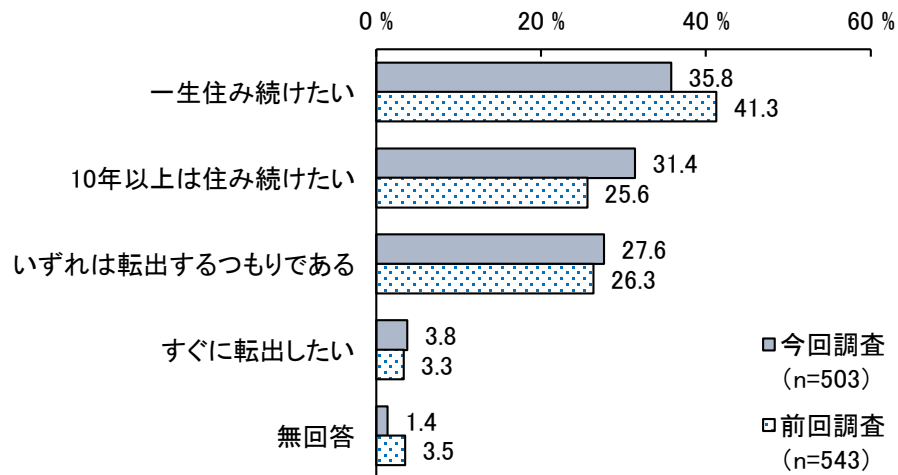
■居住地区×松伏町での居住希望

単位：%

	合計(件)	一生住み続けたい	10年以上は住み続けたい	いずれは転出するつもりである	すぐに転出したい	無回答
大字魚沼	7	① 71.4	28.6	0.0	0.0	0.0
大字大川戸	50	① 38.0	24.0	30.0	4.0	4.0
大字築比地	35	① 51.4	22.9	22.9	2.9	0.0
大字金杉	12	① 58.3	33.3	8.3	0.0	0.0
大字松伏	177	① 35.6	35.0	24.9	3.4	1.1
田中1～3丁目	54	① 44.4	25.9	29.6	0.0	0.0
ゆめみ野 1～6丁目	73	20.5	① 42.5	28.8	5.5	2.7
ゆめみ野東 1～4丁目	42	21.4	31.0	① 40.5	7.1	0.0
松葉1～2丁目	10	20.0	20.0	① 50.0	10.0	0.0
大字田島	13	① 53.8	15.4	15.4	15.4	0.0
大字上赤岩	16	31.3	31.3	① 37.5	0.0	0.0
大字下赤岩	10	① 50.0	20.0	30.0	0.0	0.0

前回調査との比較

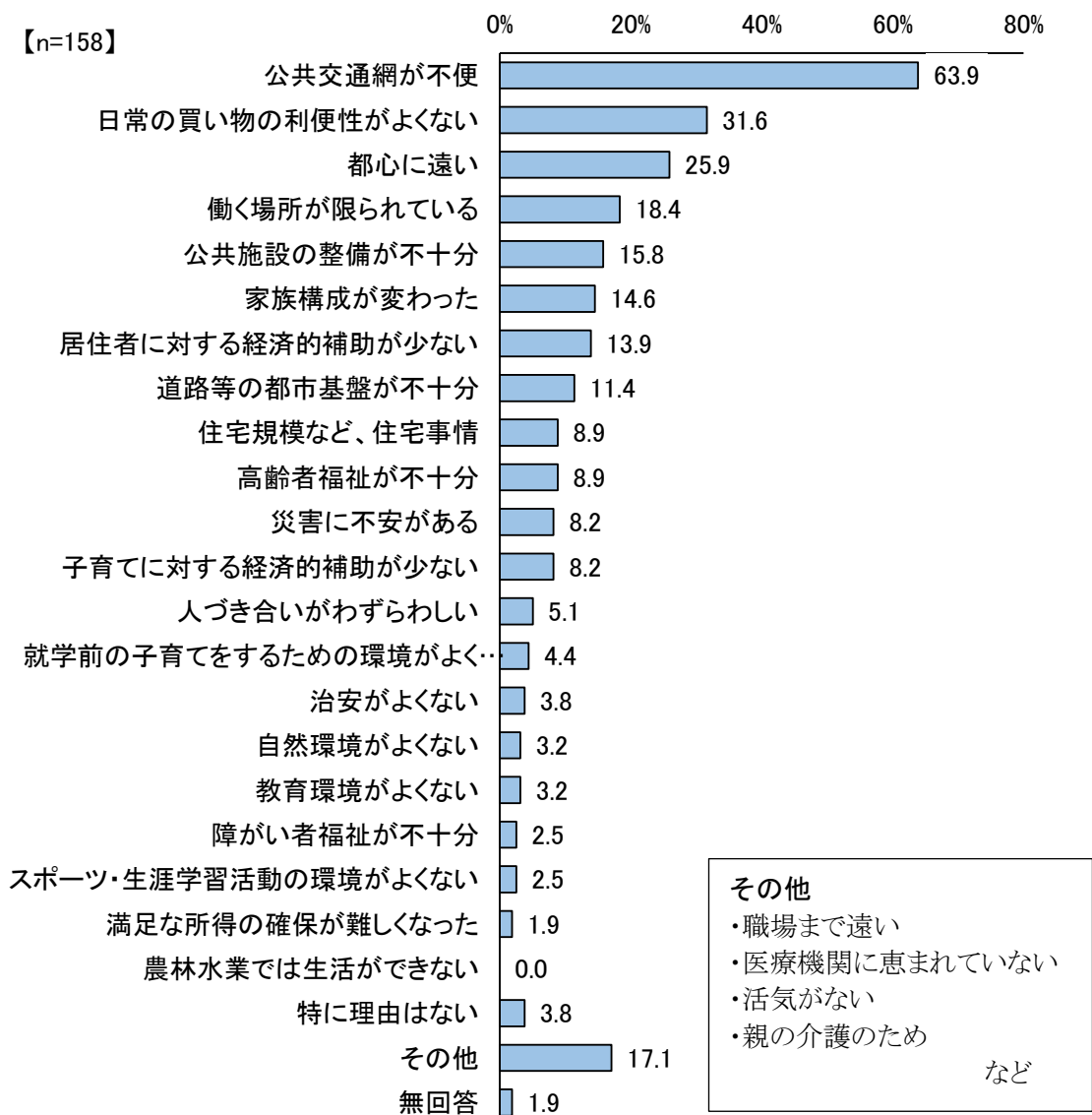
「一生住み続けたい」は41.3%から35.8%へ減少していますが、「10年以上は住み続けたい」は増加しています。



(9) 松伏町から転出する理由

問 35 で「3 いずれは転出するつもりである」または「4 すぐに転出したい」とお答えになった方にお聞きします。
 問 36 松伏町から転出する理由は何ですか。(〇は5つまで)

- ◇「公共交通網が不便」が63.9%で最も多く、以下「日常の買い物の利便性がよくない」が31.6%、「都心に遠い」が25.9%、「働く場所が限られている」が18.4%などとなっています。
- ◇性別でみると、男女とも「公共交通網が不便」が最も多くあげられ、男女差があるものとして「道路等の都市基盤が不十分」は男性が女性を、「働く場所が限られている」は女性が男性を上回ります。
- ◇年代でみると、すべての年代で「公共交通網が不便」が過半数であり、1位となっています。次には20代以下では「働く場所が限られている」、30代は「都心に遠い」、40代以上では「日常の買い物の利便性がよくない」をあげています。
- ◇地区別でみると、「公共交通網が不便」は回答者が0人、1人の大字魚沼、大字金杉を除いては、すべての地区で最も多く上げられています。なかでも大字築比地 88.9%、大字上赤岩 83.3%、ゆめみ野東1～4丁目 80.0%は8割を超えています。



■性別・年代×松伏町から転出する理由（上段：上位、下段：下位）

単位：%

	合計(件)	公共交通網が不便	日常の買い物利便性が よくない	都心に遠い	働く場所が限られている	公共施設の整備が不十分	家族構成が変わった	居住者に対する経済的 補助が少ない	道路等の都市基盤が 不十分	住宅規模など、住宅事情	高齢者福祉が不十分	災害に不安がある	子育てに対する経済的 補助が少ない
全体	158	①63.9	②31.6	③25.9	④18.4	⑤15.8	14.6	13.9	11.4	8.9	8.9	8.2	8.2
男性	74	①62.2	②33.8	③23.0	14.9	14.9	④18.9	⑤16.2	⑤16.2	9.5	9.5	10.8	6.8
女性	79	①65.8	②30.4	③29.1	④21.5	⑤17.7	11.4	11.4	7.6	8.9	8.9	6.3	10.1
20代以下	46	①71.7	④21.7	③26.1	②32.6	④21.7	4.3	8.7	4.3	4.3	0.0	2.2	0.0
30代	32	①65.6	③25.0	②31.3	④18.8	9.4	9.4	9.4	15.6	12.5	3.1	3.1	④18.8
40代	26	①57.7	②38.5	③30.8	11.5	⑤23.1	11.5	15.4	④26.9	11.5	11.5	7.7	19.2
50代	34	①52.9	②44.1	17.6	11.8	11.8	③32.4	⑤20.6	5.9	11.8	14.7	④23.5	2.9
60代	17	①70.6	②29.4	④23.5	5.9	11.8	④23.5	11.8	5.9	5.9	②29.4	0.0	5.9
70代以上	3	①66.7	①66.7	④33.3	0.0	0.0	0.0	①66.7	④33.3	0.0	0.0	④33.3	0.0

	合計(件)	人つき合いがわずらわ しい	就学前の子育てをする ための環境がよくない	治安がよくない	自然環境がよくない	教育環境がよくない	障がい者福祉が不十分	障がい者福祉が不十分	スポーツ・生涯学習活 動の環境がよくない	満足な所得の確保が 難しくなった	農林水業では生活が できない	特に理由はない	その他	無回答
全体	158	5.1	4.4	3.8	3.2	3.2	2.5	2.5	2.5	1.9	0.0	3.8	17.1	1.9
男性	74	5.4	4.1	6.8	6.8	4.1	0.0	4.1	0.0	0.0	0.0	2.7	17.6	2.7
女性	79	3.8	5.1	1.3	0.0	2.5	5.1	1.3	3.8	0.0	0.0	5.1	15.2	1.3
20代以下	46	2.2	2.2	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	10.9	2.2
30代	32	3.1	12.5	3.1	3.1	6.3	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	3.1	12.5	3.1
40代	26	3.8	0.0	7.7	0.0	3.8	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	3.8	19.2	0.0
50代	34	8.8	2.9	2.9	8.8	0.0	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	2.9	26.5	2.9
60代	17	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	17.6	0.0
70代以上	3	④33.3	0.0	0.0	④33.3	0.0	0.0	④33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0

Ⅲ 調査結果の詳細 第1章 町民意識調査

■居住地区×松伏町から転出する理由（上段：上位、下段：下位）

単位：%

	合計(件)	公共交通網が不便	日常の買い物の利便性が よくない	都心に遠い	働く場所が限られている	公共施設の整備が不十分	家族構成が変わった	居住者に対する経済的 補助が少ない	道路等の都市基盤が 不十分	住宅規模など、住宅事情	高齢者福祉が不十分	災害に不安がある	子育てに対する経済的補 助が少ない
大字魚沼	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大字大川戸	17	①52.9	②41.2	③23.5	11.8	17.6	11.8	5.9	11.8	11.8	11.8	11.8	5.9
大字築比地	9	①88.9	②77.8	11.1	11.1	11.1	③22.2	③22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
大字金杉	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	①100.0	0.0	①100.0	0.0	0.0	0.0
大字松伏	50	①64.0	③22.0	②30.0	14.0	18.0	20.0	16.0	12.0	10.0	14.0	8.0	12.0
田中1～3丁目	16	①50.0	②31.3	12.5	6.3	18.8	12.5	18.8	18.8	6.3	③25.0	12.5	0.0
ゆめみ野 1～6丁目	25	①60.0	③28.0	24.0	②36.0	8.0	12.0	16.0	8.0	4.0	0.0	8.0	12.0
ゆめみ野東 1～4丁目	20	①80.0	③30.0	②50.0	③30.0	20.0	10.0	5.0	10.0	5.0	0.0	10.0	5.0
松葉1～2丁目	6	①66.7	③16.7	②33.3	0.0	0.0	③16.7	0.0	③16.7	③16.7	0.0	0.0	③16.7
大字田島	4	①50.0	②25.0	②25.0	②25.0	②25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大字上赤岩	6	①83.3	②66.7	0.0	③33.3	③33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7
大字下赤岩	3	①33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	①33.3	①33.3	0.0	0.0	0.0

	合計(件)	人つき合いがわずらわ しい	就学前の子育てをする ための環境がよくない	治安がよくない	自然環境がよくない	教育環境がよくない	障がい者福祉が不十分	スポーツ・生涯学習活 動の環境がよくない	満足な所得の確保が 難しくなった	農林水業では生活が できない	特に理由はない	その他	無回答
大字魚沼	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大字大川戸	17	11.8	11.8	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	23.5	5.9
大字築比地	9	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0
大字金杉	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	①100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大字松伏	50	6.0	6.0	6.0	2.0	2.0	4.0	4.0	4.0	0.0	4.0	10.0	2.0
田中1～3丁目	16	6.3	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
ゆめみ野 1～6丁目	25	0.0	4.0	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	28.0	4.0
ゆめみ野東 1～4丁目	20	5.0	0.0	15.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0
松葉1～2丁目	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	③16.7	0.0	0.0	50.0	0.0
大字田島	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	②50.0	0.0	0.0
大字上赤岩	6	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
大字下赤岩	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	①33.3	0.0	0.0

前回調査との比較

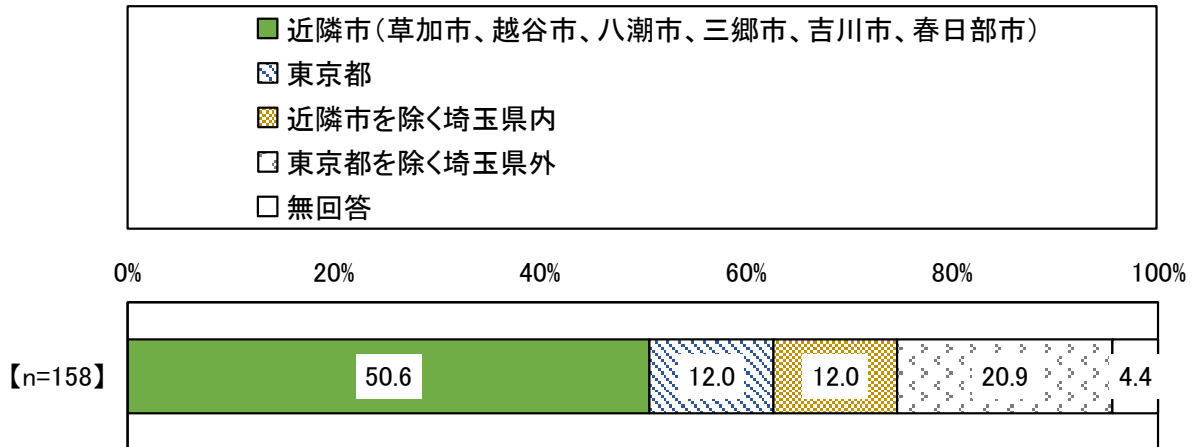
上位1位、2位は変わりませんが、第3位と第4位が入れ替わり、「都心に遠い」が「働く場所が限られている」を上回っています。

(上位5位)	今回調査	前回調査
公共交通が不便	① 63.9%	① 72.8%
日常の買い物の利便性がよくない	② 31.6%	② 33.9%
都心に遠い	③ 25.9%	④ 23.9%
働く場所が限られている	④ 18.4%	③ 33.3%
公共施設の整備が不十分	⑤ 15.8%	⑤ 18.9% (「道路等の都市基盤が不十分」も同率)

(10) 希望する転出先

問 35 で「3 いずれは転出するつもりである」または「4 すぐに転出したい」とお答えになった方にお聞きします。
問 37 松伏町からどこへ転出したいですか。(○は1つ)

◇「近隣市（草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、春日部市）」が 50.6%で最も多く、以下「東京都を除く埼玉県外」が 20.9%、「東京都」が 12.0%と「近隣市を除く埼玉県内」が 12.0%となっています。



(11) 町政全般（暮らし）の「満足度」と「重要度」

問 38 町政全般（暮らし）についての「満足度」と「重要度」をおたずねします。
 (1) ~ (32) すべてに回答ください。

すべての分野を通して満足度と重要度について、以下のような算出方法により指数化を行いました。

●算出方法

満足度指数：「満足＝5点」、「やや満足＝4点」、「普通＝3点」、「やや不満＝2点」、「不満＝1点」として、それぞれの回答者数に掛けた数値を、回答者の合計（無回答数除く）で割ったもので、この値が5に近いほど満足で、1に近いほど不満であることを示す指数

重要度指数：「重要＝5点」、「やや重要＝4点」、「普通＝3点」、「あまり重要でない＝2点」、「重要でない＝1点」として、それぞれの回答者数に掛けた数値を、回答者の合計（無回答数除く）で割ったもので、この値が5に近いほど重要度が高く、1に近いほど重要度が低いことを示す指数

		満足度	重要度
人口減少対策	(1)町の人口減少に対する取組	2.44	4.00
子育て支援の施策	(2)子育てのための支援・相談体制	2.74	3.99
	(3)子どもが健全に育つ環境の整備	2.80	4.03
	(4)子どもが学習しやすい教育環境	2.75	4.05
	(5)健康づくりの推進体制	2.89	3.69
健康・福祉・社会保障の施策	(6)あらゆる人が住みなれた地域で安心して暮らせる環境の整備	2.76	3.96
	(7)高齢者への支援、相談体制	2.79	3.80
	(8)障がい者への支援、相談体制	2.83	3.81
	(9)国民健康保険などの社会保障	2.77	3.86
人権・男女共同・地域コミュニティの施策	(10)人権に関する啓発や学習の機会	2.84	3.27
	(11)男女共同参画社会に関する啓発や学習の機会	2.84	3.23
	(12)町の活動に直接参加できる機会	2.86	3.13
	(13)自治会活動などの地域で活動する組織を支援する取組	2.83	3.14
産業振興の施策	(14)スポーツ・芸術・文化活動の推進	2.91	3.30
	(15)農業振興の取組	2.88	3.48
	(16)商工業振興の取組	2.80	3.57
	(17)雇用の促進と勤労者の支援	2.65	3.75
	(18)道の駅など観光振興への取組	2.53	3.38
生活基盤整備の施策	(19)企業誘致の推進	2.67	3.64
	(20)町らしさを活かした景観づくり	2.87	3.60
	(21)安全で快適な道路環境の整備	2.62	4.06
	(22)充実した公共交通網の整備	2.06	4.31
	(23)下水道・浄化槽などの生活排水処理整備	2.74	3.96
	(24)公園の整備、緑化の推進	3.09	3.71

		満足度	重要度
生活環境の充実の施策	(25)環境問題への取組	2.92	3.73
	(26)ごみの減量化や再資源化に関する取組	2.95	3.74
	(27)交通安全・防犯体制	2.88	3.95
	(28)防災・消防・救急体制	2.95	3.98
	(29)消費者からの相談体制の充実	2.92	3.41
行政運営	(30)行政サービスの向上	2.77	3.74
	(31)公共施設の整備	2.70	3.81
	(32)DXの推進	2.64	3.70
平均値		2.77	3.71

満足度

■人口減少対策

満足度は2.44にとどまります。

■子育て支援の施策

満足度は、「子どもが健全に育つ環境の整備」2.80、「子どもが学習しやすい教育環境」2.75、「子育てのための支援・相談体制」2.74となっています。

■健康・福祉・社会保障の施策

満足度は「健康づくりの推進体制」2.89が最も高く、次いで「障がい者への支援、相談体制」2.83、「高齢者への支援、相談体制」2.79などの順となっています。

■人権・男女共同・地域コミュニティの施策

満足度は「スポーツ・芸術・文化活動の推進」が2.91と高く、「町の活動に直接参加できる機会」2.86、「人権に関する啓発や学習の機会」「男女共同参画社会に関する啓発や学習の機会」ともに2.84、「自治会活動などの地域で活動する組織を支援する取組」2.83の順で、すべて平均値を超えます。

■産業振興の施策

満足度は「農業振興の取組」2.88、「商工業の振興」2.80で高くなっていますが、「企業誘致の推進」2.67「雇用の促進と勤労者の支援」2.65、「道の駅など観光振興への取組」2.53では平均値を下回ります。

■生活基盤整備の施策

満足度は「公園の整備、緑化の推進」3.09が最も高く、「町らしさを活かした景観づくり」2.87で高くなっています。「充実した公共交通網の整備」2.06はすべての分野で最も低いものとなっています。

■生活環境の充実の施策

満足度は「ごみの減量化や再資源に関する取組」「防災・消防・救急体制」ともに2.95、「環境問題への取組」「消費者からの相談体制の充実」ともに2.92、「交通安全・防犯体制」2.88と、いずれも平均値を超え高いものとなっています。

■行政運営

満足度は「行政サービスの向上」2.77、「公共施設の整備」2.70、「DXの推進」2.64です。

重要度

■人口減少対策

重要度は4.00となっています。

■子育て支援の施策

重要度は「子どもが学習しやすい教育環境」4.05、「子どもが健全に育つ環境の整備」4.03、「子育てのための支援・相談体制」3.99と高くなっています。

■健康・福祉・社会保障の施策

重要度は「あらゆる人が住みなれた地域で安心して暮らせる環境の整備」3.96、次いで「国民健康保険などの社会保障」3.86、「障がい者への支援、相談体制」3.81、「高齢者への支援、相談体制」3.80、「健康づくりの推進体制」3.69の順となっています。

■人権・男女共同・地域コミュニティの施策

重要度は、いずれも平均値以下ですが、「スポーツ・芸術・文化活動の推進」3.30が最も高くなっています。

■産業振興の施策

重要度は「雇用の促進と勤労者の支援」3.75が最も高くなっていますが、「企業誘致の推進」3.64、「商工業振興の取組」3.57、「農業振興の取組」3.48、「道の駅など観光振興への取組」3.38と、いずれも低くなっています。

■生活基盤整備の施策

重要度は「充実した公共交通網の整備」4.31が、すべての分野で最も高くなっています。次いで「安全で快適な道路環境の整備」4.06、「下水道・浄化槽などの生活排水処理整備」3.96、「公園の整備、緑化の推進」3.71、「町らしさを活かした景観づくり」3.60の順となっています。

■生活環境の充実の施策

重要度は「防災・消防・救急体制」3.98、「交通安全・防犯体制」3.95、ほとんど差はなく、次いで「ごみの減量化や再資源に関する取組」3.74%、「環境問題への取組」3.73%と続きます。

■行政運営

重要度は「公共施設の整備」3.81、「行政サービスの向上」3.74、「DXの推進」3.70です。

満足度・重要度

満足度と重要度の指数化を行った施策を散布図に位置づけました。Aブロックは満足度が低く、重要度が高いブロックですが、「充実した公共交通網の整備」の優先順位が高いことがわかります。また、「町の人口減少に対する取組」、「安全で快適な道路環境の整備」、「子どもの学習しやすい教育環境」、「子育てのための支援・相談体制」なども同じブロックに位置しており、優先度の高い施策と考えられます。

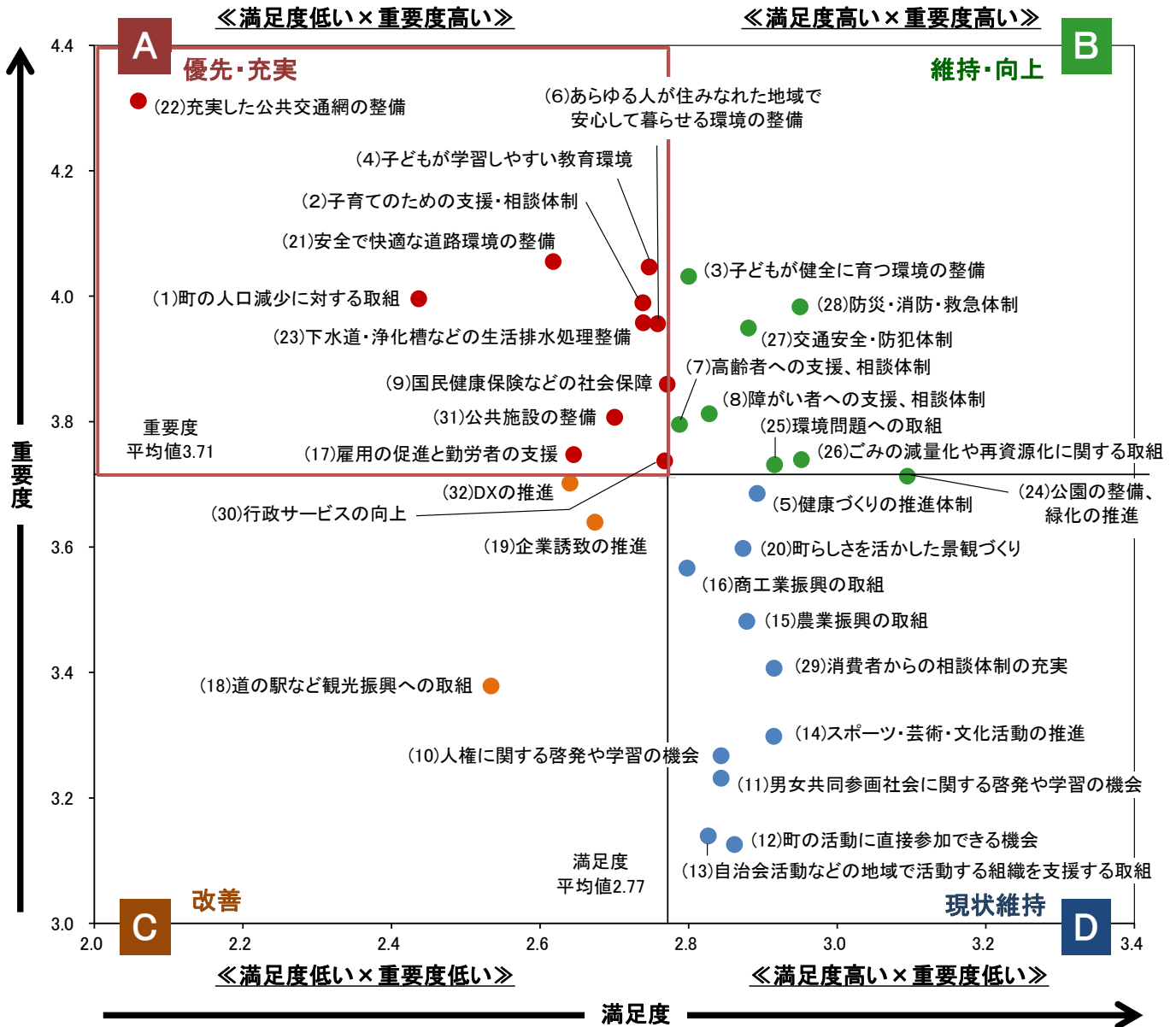
一方、Cブロックに位置する施策は、満足度が低いものの重要度についてはそれほど優先度は高くない施策と位置づけられますが、「DXの推進」「企業誘致の推進」「道の駅など観光振興への取組」と、今後のまちづくりにあたって取り組むべき課題となっています。

満足度が低い下位5施策

- 32位 充実した公共交通網の整備
- 31位 町の人口減少に対する取組
- 30位 道の駅など観光振興への取組
- 29位 安全で快適な道路環境の整備
- 28位 DXの推進

重要度が高い上位5施策

- 1位 充実した公共交通網の整備
- 2位 安全で快適な道路環境の整備
- 3位 子どもが学習しやすい教育環境
- 4位 子どもが健全に育つ環境の整備
- 5位 町の人口減少に対する取組



- (A) 優先・充実 重要度は高いが、満足度が低い項目。満足度を上げるために優先して改善しなければならない項目。
- (B) 維持・向上 重要度も満足度も高い項目。引き続き、満足度が下がることのないようにする必要がある。
- (C) 改善 重要度も満足度も低い項目。「(A) 優先・充実」の次に改善を必要とする項目。
- (D) 現状維持 満足度は高いが重要度は低い項目。当面は現状を維持する項目。

前回調査との比較

【満足度】

「公園の整備、緑化の推進」は今回調査、前回調査とも1位となっています。「ごみの減量化や再資源化に関する取組」「防災・消防・救急体制」は順位を上げ、「スポーツ・芸術・文化活動の推進」「農業振興の取組」は順位を下げています。

順位	今回調査	前回調査
①	公園の整備、緑化の推進	公園の整備、緑化の推進
②	ごみの減量化や再資源化に関する取組	スポーツ・芸術・文化活動の推進
③	防災・消防・救急体制	農業振興の取組
④	環境問題への取組	ごみの減量化や再資源化に関する取組
⑤	消費者からの相談体制の充実	町の活動に直接参加できる機会

【重要度】

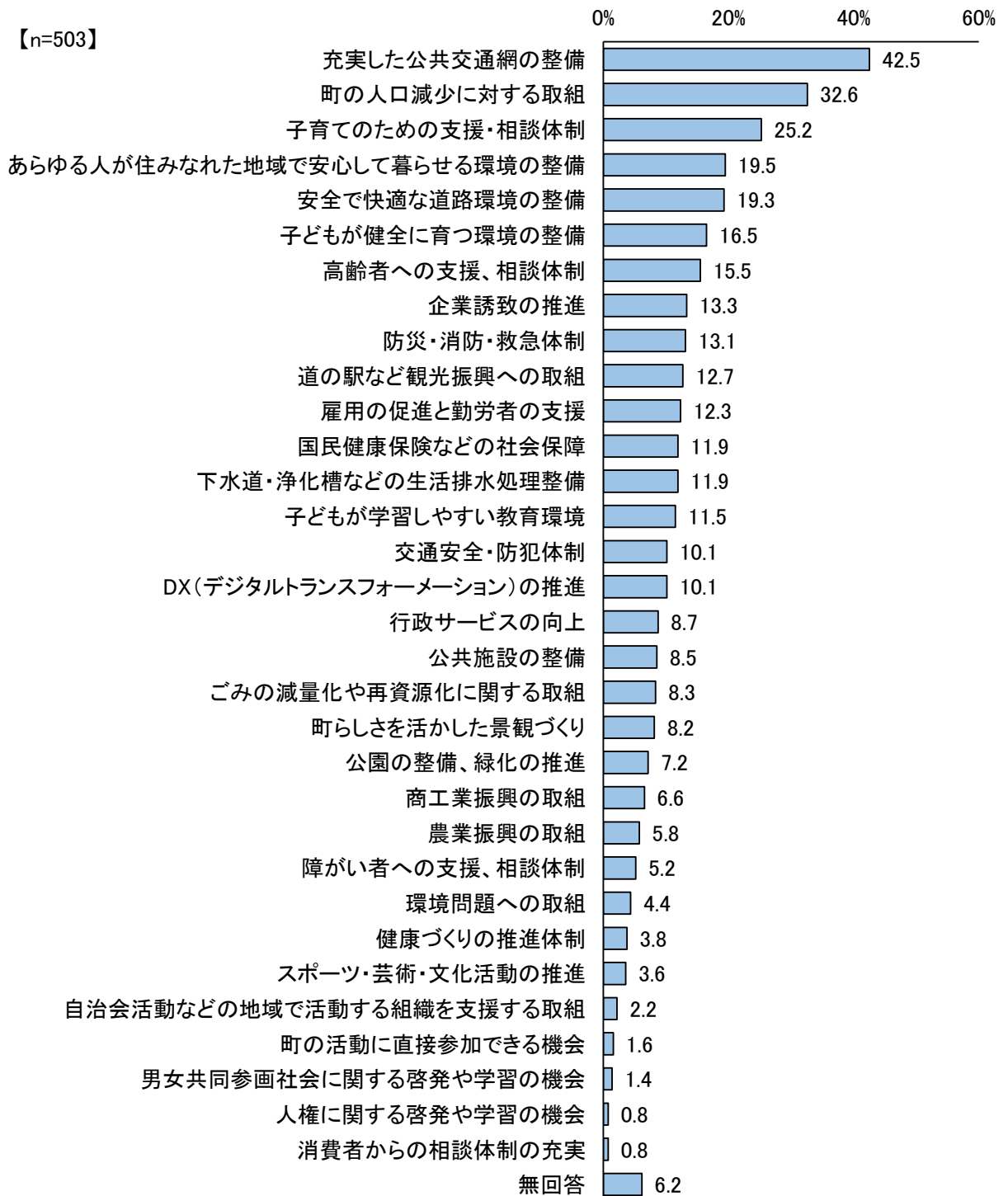
重要度が高い施策の上位は変わりありませんが、「町の人口減少に対する取組」は順位をあげています。

順位	今回調査	前回調査
①	充実した公共交通網の整備	充実した公共交通網の整備
②	安全で快適な道路環境の整備	安全で快適な道路環境の整備
③	子どもが学習しやすい教育環境	子どもが学習しやすい教育環境
④	子どもが健全に育つ環境の整備	子どもが健全に育つ環境の整備
⑤	町の人口減少に対する取組	交通安全・防犯体制

(12) 松伏町が今後5年間で最も力を入れて取り組むべきもの

問39 問38の施策の項目の中で松伏町が今後5年程度の間にもっと力を入れて取り組むべきものは何と考えますか。あなたの考えに近いものを、問38の「施策の項目(1)～(32)」までの番号から4つ選び、下の口の中に番号をお書きください。

◇「充実した公共交通網の整備」が42.5%で最も多く、以下「町の人口減少に対する取組」が32.6%、「子育てのための支援・相談体制」が25.2%、「あらゆる人が住みなれた地域で安心して暮らせる環境の整備」が19.5%などとなっています。



Ⅲ 調査結果の詳細 第1章 町民意識調査

- ◇性別でみると、男女とも「充実した公共交通網の整備」が最も多くあげられていますが、女性 46.1%が男性 38.1%を上回ります。これに対し、「企業誘致の推進」は男性 19.7%が女性 7.9%を10ポイント以上上回ります。
- ◇年代でみると、30代、70代以上を除いては「充実した公共交通網の整備」が最も多くなっています。30代では「子育てのための支援・相談体制」、70代以上では「高齢者への支援、相談体制」が最も多くなっています。
- ◇転出経験と転入者でみると、「充実した公共交通網の整備」は転出経験のない町出身者 47.2%、転入者 41.5%、転出経験のある町出身者（Uターン） 40.0%の順となっています。転出経験のある町出身者（Uターン）では「人口減少に対する取組」や「子育てのための支援・相談」「子どもが健全に育つ環境の整備」「子どもが学習しやすい教育環境」といった子育てに関する施策を比較的多くあげています。一方、「道の駅など観光振興への取組」は、転出経験のある町出身者（Uターン）及び転入者が転出経験のない町出身者を上回ります。

■性別・年代転入転出別×松伏町が今後5年間で最も力を入れて取り組むべきもの

(上段：上位、下段：中位)

単位：%

	合計(件)	充実した公共交通網の整備	町の人口減少に対する取組	子育てのための支援・相談体制	あらゆる人が住みなれた地域で安心して暮らせる環境の整備	安全で快適な道路環境の整備	子どもが健全に育つ環境の整備	高齢者への支援、相談体制	企業誘致の推進	防災・消防・救急体制	道の駅など観光振興への取組	雇用の促進と勤労者の支援
全体	503	①42.5	②32.6	③25.2	④19.5	19.3	16.5	15.5	13.3	13.1	12.7	12.3
男性	223	①38.1	②35.0	③25.6	17.9	18.4	13.0	13.9	④19.7	13.5	15.7	12.6
女性	267	①46.1	②31.5	③25.8	④21.3	20.2	19.5	16.5	7.9	13.1	9.7	11.6
20代以下	67	①55.2	④23.9	②41.8	19.4	③25.4	22.4	7.5	7.5	7.5	6.0	10.4
30代	88	②44.3	③33.0	①50.0	14.8	23.9	④29.5	10.2	11.4	12.5	10.2	11.4
40代	93	①46.2	②33.3	④21.5	④21.5	③24.7	16.1	15.1	11.8	10.8	20.4	15.1
50代	94	①47.9	②42.6	④19.1	③24.5	12.8	10.6	13.8	④19.1	④19.1	16.0	13.8
60代	110	①37.3	①37.3	12.7	③19.1	14.5	9.1	③19.1	14.5	12.7	10.9	11.8
70代以上	49	③16.3	14.3	6.1	③16.3	③16.3	14.3	①32.7	14.3	14.3	10.2	10.2
町出身者 (転出経験なし)	123	①47.2	②30.9	③25.2	17.9	17.9	④18.7	9.8	13.0	13.0	9.8	10.6
町出身者 (転出経験あり)	60	①40.0	②38.3	③26.7	21.7	11.7	④25.0	15.0	8.3	11.7	13.3	8.3
転入者	318	①41.5	②32.1	③25.2	19.8	④21.4	14.2	17.9	14.2	13.5	13.5	13.8

	合計(件)	国民健康保険などの 社会保障	下水道・浄化槽などの 生活排水処理整備	子どもが学習しやすい 教育環境	交通安全・防犯体制	ロ×(デジタルトランス フォーメーション)の推進	行政サービスの向上	公共施設の整備	ごみの減量化や再資源化 に関する取組	町らしさを活かした景観 づくり	公園の整備、緑化の推進	商工業振興の取組
全体	503	11.9	11.9	11.5	10.1	10.1	8.7	8.5	8.3	8.2	7.2	6.6
男性	223	12.1	9.9	10.8	11.2	12.1	6.3	7.2	8.1	9.0	8.1	9.4
女性	267	10.9	13.9	12.7	9.7	8.6	10.1	9.0	8.6	7.9	6.4	4.5
20代以下	67	10.4	7.5	22.4	11.9	9.0	3.0	10.4	6.0	9.0	4.5	3.0
30代	88	12.5	8.0	17.0	5.7	11.4	9.1	6.8	2.3	4.5	12.5	3.4
40代	93	8.6	9.7	14.0	14.0	9.7	7.5	14.0	7.5	6.5	5.4	5.4
50代	94	16.0	13.8	7.4	8.5	11.7	6.4	6.4	10.6	8.5	5.3	12.8
60代	110	8.2	15.5	6.4	8.2	10.9	11.8	9.1	13.6	10.0	9.1	7.3
70代以上	49	②20.4	③16.3	2.0	14.3	6.1	③16.3	2.0	8.2	12.2	4.1	6.1
町出身者 (転出経験なし)	123	12.2	9.8	13.8	10.6	12.2	5.7	9.8	10.6	8.9	4.1	5.7
町出身者 (転出経験あり)	60	6.7	13.3	20.0	8.3	8.3	5.0	6.7	10.0	5.0	6.7	6.7
転入者	318	12.9	12.3	9.1	10.4	9.7	10.7	8.5	7.2	8.2	8.2	6.6

※下位項目は省略しています

前回調査との比較

「公共交通」、「人口減少に対する取組」の1位、2位は変わりません。「子育てのための支援・相談体制」は順位を上げています。

(上位5位)	今回調査	前回調査
充実した公共交通網の整備	① 42.5%	① 46.4%
人口減少に対する取組	② 32.6%	② 28.7%
子育てのための支援・相談体制	③ 25.2%	⑥ 18.2%
安心して暮らせる環境の整備	④ 19.5%	⑤ 19.7%
安全で快適な道路環境の整備	⑤ 19.3%	③ 21.5%

(13) 主に活動する地域

問 40 次のような活動をする場合は、主にどちらにお出かけになりますか。次の項目から地域を1つ選んで番号に○を付けてください。

- ◇「(12) 診察を受ける」は、「松伏町」と「越谷市」がともに最も多くなっています。
- 「(1) 食料品などの日用品を購入する」、「(10) スポーツをする」、「(11) ボランティアなどに参加する」は、「松伏町内」が最も多くなっています。
- 一方、「(2) 衣料品などを購入する」、「(3) 贈答品や高級品を購入する」、「(4) 電化製品を購入する」、「(5) 外食をする」、「(6) 映画、演劇、スポーツなどを鑑賞する」、「(9) サークル、講座など（文化活動）に参加する」は、「越谷市」が最も多くなっています。
- 「(7) 音楽会に出かける」は、「その他の東京都内」が最も多く、「(8) 美術展などの展示会に出かける」は「上野・秋葉原」が最も多くなっています。

単位：%

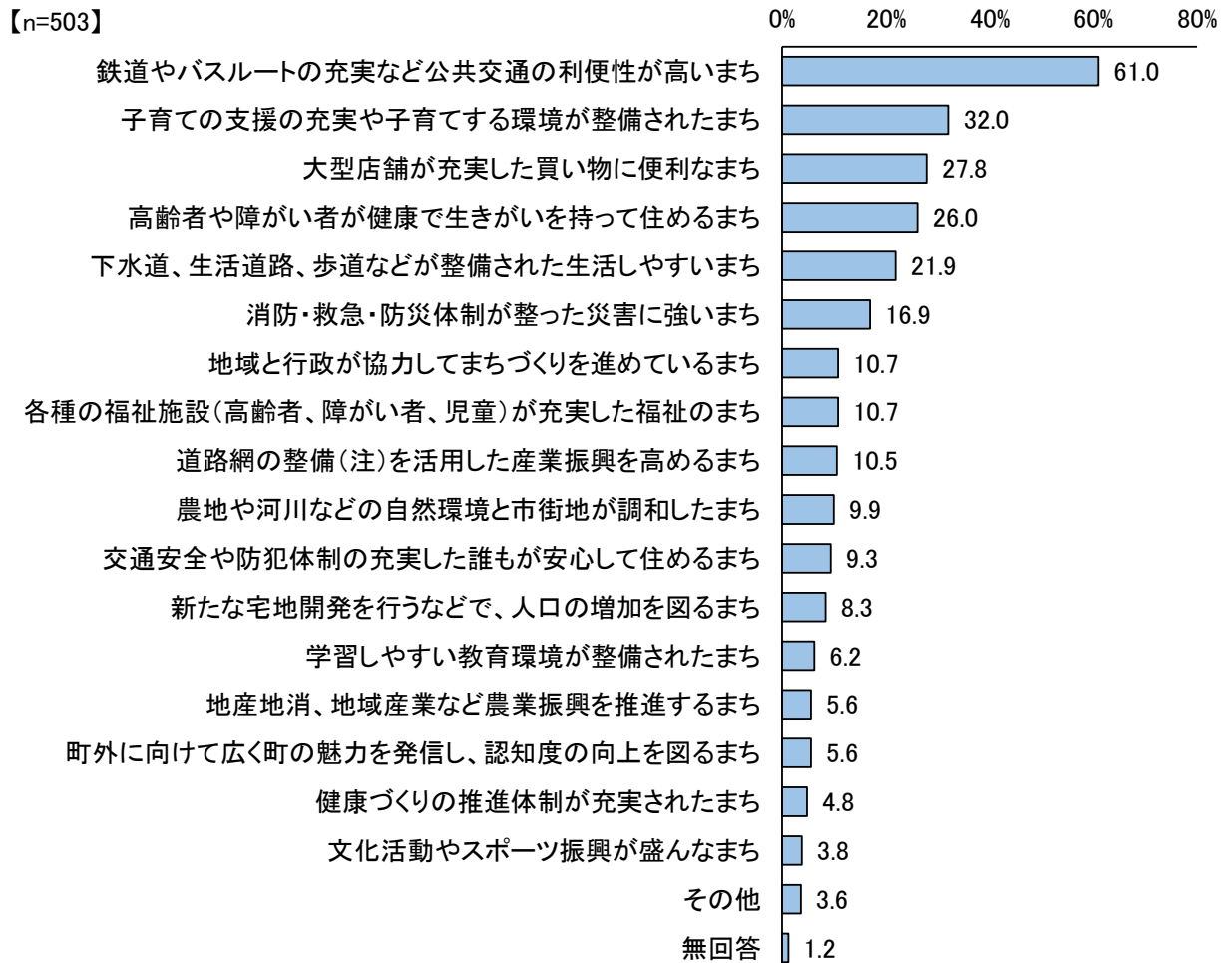
	松伏町内	越谷市	春日部市	吉川市	さいたま市	その他の埼玉県内	野田市	その他の千葉県内	浅草	上野・秋葉原	日本橋・銀座	池袋・新宿・渋谷	その他の東京都内	その他の場所	無回答
(1)食料品などの日用品を購入する	47.3	39.2	4.4	1.4	0.0	1.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	1.4
(2)衣料品などを購入する	6.2	65.4	8.7	1.8	1.0	2.4	4.4	0.2	0.2	0.0	2.0	1.0	1.0	3.4	2.4
(3)贈答品や高級品を購入する	3.4	46.1	6.6	0.6	4.6	3.8	2.0	1.4	0.8	1.8	11.5	2.8	3.4	7.2	4.2
(4)電化製品を購入する	5.4	63.4	5.2	2.0	0.4	3.2	6.6	0.8	0.0	3.6	0.0	0.8	0.4	7.0	1.4
(5)外食をする	5.2	67.8	5.0	1.8	0.2	3.2	8.7	0.2	0.0	0.6	1.6	0.8	1.6	1.6	1.8
(6)映画、演劇、スポーツなどを鑑賞する	0.8	55.1	12.1	0.4	1.8	6.6	1.0	0.6	0.6	0.6	2.0	1.4	9.5	3.0	4.6
(7)音楽会に出かける	5.6	15.9	1.4	0.0	4.2	6.0	0.4	0.4	0.0	1.0	3.0	6.8	24.9	18.1	12.5
(8)美術展などの展示会に出かける	1.6	7.0	0.8	0.2	1.8	4.2	0.0	0.2	0.2	25.4	5.0	4.0	21.9	15.9	11.9
(9)サークル、講座など（文化活動）に参加する	18.7	19.7	1.8	1.0	2.4	6.6	0.0	1.2	0.2	1.0	0.6	2.0	10.7	19.1	15.1
(10)スポーツをする	32.8	24.3	2.6	2.4	1.6	5.0	1.8	0.4	0.0	0.4	0.0	0.6	1.8	14.7	11.7
(11)ボランティアなどに参加する	43.3	7.0	0.6	0.2	1.6	5.8	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	3.0	18.5	19.3
(12)診察を受ける	39.8	39.8	4.6	3.4	0.6	3.2	2.8	0.2	0.0	0.0	0.2	0.2	2.6	0.8	2.0

6 松伏町の将来像について

(1) 10年後どのようなまちになれば住みたいか

問 41 あなたは10年後の松伏町が、どのようなまちになれば住みたいですか。
(○は3つまで)

- ◇「鉄道やバスルートの充実など公共交通の利便性が高いまち」が 61.0%で最も多く、以下「子育ての支援の充実や子育てする環境が整備されたまち」が 32.0%、「大型店舗が充実した買い物に便利なまち」が 27.8%、「高齢者や障がい者が健康で生きがいを持って住めるまち」が 26.0%などとなっています。
- ◇性別でみると、上位の「子育ての支援の充実や子育てする環境が整備されたまち」は男性が女性を上回りますが、「大型店舗が充実した買い物に便利なまち」「高齢者や障がい者が健康で生きがいを持って住めるまち」いずれも女性が男性を上回ります。
- ◇年代でみると、70代以上では「高齢者や障がい者が健康で生きがいを持って住めるまち」が最も多くなっています。20代以下と30代では「子育ての支援の充実や子育てする環境が整備されたまち」がともに過半数を占めています。
- ◇転出経験と転入者でみると、「鉄道やバスルートの充実など公共交通の利便性が高いまち」はいずれも1位にあげていますが、転出経験のある町出身者（Uターン）が53.3%とやや少なくなっています。



■性別・年代・転入転出別×10年後どのようなまちになれば住みたいか

単位：%

	合計(件)	鉄道やバスルートの充実など公共交通の利便性が高いまち	子育ての支援の充実や子育てする環境が整備されたまち	大型店舗が充実した買い物に便利なまち	高齢者や障がい者が健康で生きがいを持って住めるまち	下水道、生活道路、歩道などが整備された生活しやすいまち	消防・救急・防災体制が整った災害に強いまち	地域と行政が協力してまちづくりを進めているまち	各種の福祉施設(高齢者、障がい者、児童)が充実した福祉のまち	道路網の整備(注)を活用した産業振興を高めるまち	農地や河川などの自然環境と市街地が調和したまち
全体	503	①61.0	②32.0	③27.8	26.0	21.9	16.9	10.7	10.7	10.5	9.9
男性	223	①61.0	②34.5	③22.4	21.5	③22.4	18.8	11.2	8.1	13.5	12.1
女性	267	①61.0	③30.7	②31.1	30.0	21.7	15.4	10.1	11.6	8.2	8.6
20代以下	67	①65.7	②52.2	③32.8	3.0	11.9	7.5	13.4	6.0	16.4	10.4
30代	88	①65.9	②53.4	③29.5	11.4	19.3	10.2	4.5	11.4	12.5	10.2
40代	93	①72.0	③23.7	②35.5	19.4	③23.7	17.2	12.9	9.7	8.6	8.6
50代	94	①62.8	24.5	③27.7	②28.7	22.3	24.5	8.5	8.5	13.8	9.6
60代	110	①50.0	21.8	21.8	②40.9	②27.3	20.0	14.5	13.6	6.4	10.9
70代以上	49	②46.9	20.4	16.3	①59.2	③24.5	20.4	10.2	16.3	6.1	10.2
町出身者 (転出経験なし)	123	①63.4	②27.6	③26.8	19.5	17.9	12.2	8.9	9.8	17.9	9.8
町出身者 (転出経験あり)	60	①53.3	②35.0	③26.7	21.7	20.0	15.0	10.0	11.7	5.0	23.3
転入者	318	①61.3	②33.0	28.3	③29.6	23.9	19.2	11.6	11.0	8.8	7.5

	合計(件)	交通安全や防犯体制の充実した誰もが安心して住めるまち	新たな宅地開発を行うなどで、人口の増加を図るまち	学習しやすい教育環境が整備されたまち	地産地消、地域産業など農業振興を推進するまち	町外に向けて広く町の魅力を発信し、認知度の向上を図るまち	健康づくりの推進体制が充実されたまち	文化活動やスポーツ振興が盛んなまち	その他	無回答
全体	503	9.3	8.3	6.2	5.6	5.6	4.8	3.8	3.6	1.2
男性	223	8.5	10.8	9.0	4.9	6.3	5.4	4.9	4.0	1.3
女性	267	10.5	6.7	4.1	5.6	4.9	4.5	3.0	3.0	1.1
20代以下	67	9.0	4.5	19.4	1.5	4.5	0.0	6.0	1.5	1.5
30代	88	11.4	10.2	4.5	3.4	8.0	4.5	2.3	3.4	0.0
40代	93	11.8	5.4	7.5	7.5	4.3	3.2	2.2	5.4	0.0
50代	94	4.3	9.6	3.2	6.4	4.3	3.2	4.3	5.3	0.0
60代	110	9.1	11.8	2.7	6.4	6.4	8.2	6.4	2.7	1.8
70代以上	49	10.2	6.1	2.0	8.2	6.1	10.2	0.0	2.0	4.1
町出身者 (転出経験なし)	123	8.9	8.9	10.6	5.7	8.9	9.8	5.7	2.4	1.6
町出身者 (転出経験あり)	60	13.3	6.7	8.3	8.3	5.0	3.3	1.7	6.7	1.7
転入者	318	8.8	8.5	4.1	5.0	4.4	3.1	3.5	3.5	0.9

前回調査との比較

前回調査、今回調査いずれもトップは「公共交通の利便性が高いまち」であり、2位を大きく引き離しています。「子育て支援」は割合を高め、「買い物に便利なまち」は順位を上げています。

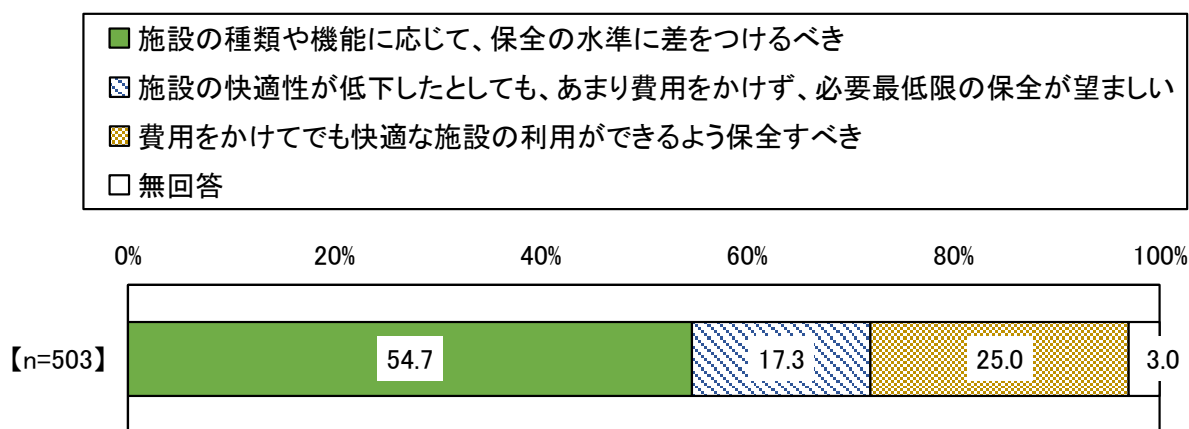
(上位5位)	今回調査	前回調査
鉄道やバスルートの充実など公共交通の利便性が高いまち	① 61.0%	① 46.0%
子育ての支援の充実や子育てする環境が整備されたまち	② 32.0%	② 28.9%
大型店舗が充実した買い物に便利なまち	③ 27.8%	④ 23.9%
高齢者や障がい者が健康で生きがいを持って住めるまち	④ 26.0%	③ 25.4%
下水道、生活道路、歩道などが整備された生活しやすいまち	⑤ 21.9%	⑤ 20.4%

(2) 公共施設の維持・保全への考え

問 42 公共施設を維持・保全していくためには、町の税金がかかっていますが、今後、町の公共施設の維持・保全にかかる費用について、あなたの考え方に最も近いものは次のうちどれですか。(〇は1つ)

◇「施設の種類や機能に応じて、保全の水準に差をつけるべき」が 54.7%で最も多く、以下「費用をかけてでも快適な施設の利用ができるよう保全すべき」が 25.0%、「施設の快適性が低下したとしても、あまり費用をかけず、必要最低限の保全が望ましい」が 17.3%となっています。

◇年代で見ると、50代より下の年代では「施設の種類や機能に応じて、保全の水準に差をつけるべき」がいずれも過半数を占めています。



■年代×公共施設の維持・保全への考え

単位: %

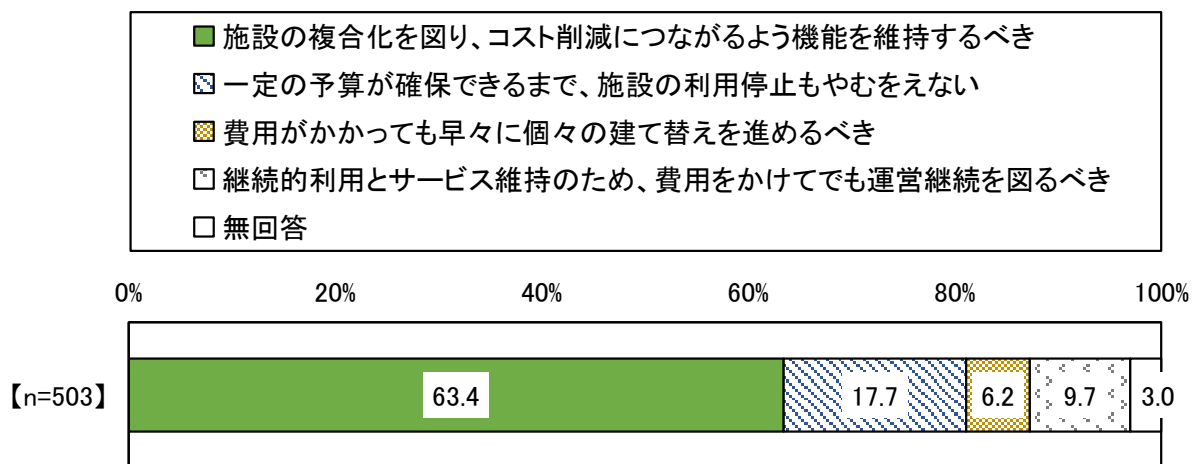
	合計(件)	施設の種類や機能に応じて、保全の水準に差をつけるべき	施設の快適性が低下したとしても、あまり費用をかけず、必要最低限の保全が望ましい	費用をかけてでも快適な施設の利用ができるよう保全すべき	無回答
全体	503	① 54.7	17.3	25.0	3.0
20代以下	67	① 58.2	16.4	22.4	3.0
30代	88	① 56.8	14.8	26.1	2.3
40代	93	① 60.2	12.9	24.7	2.2
50代	94	① 64.9	18.1	17.0	0.0
60代	110	① 44.5	19.1	33.6	2.7
70代以上	49	① 38.8	26.5	24.5	10.2

(3) 老朽化や利用率の低い施設に必要な対策

問 43 老朽化が進んでいる施設や利用率が低い施設について、どんな対策が必要だと思いますか。(〇は1つ)

◇「施設の複合化を図り、コスト削減につながるよう機能を維持すべき」が63.4%で最も多く、以下「一定の予算が確保できるまで、施設の利用停止もやむをえない」が17.7%、「継続的利用とサービス維持のため、費用をかけてでも運営継続を図るべき」が9.7%、「費用がかかっても早々に個々の建て替えを進めるべき」が6.2%となっています。

◇年代でみると、すべての年代で「施設の複合化を図り、コスト削減につながるよう機能を維持すべき」が過半数を占めています。



■年代×老朽化や利用率の低い施設に必要な対策

単位: %

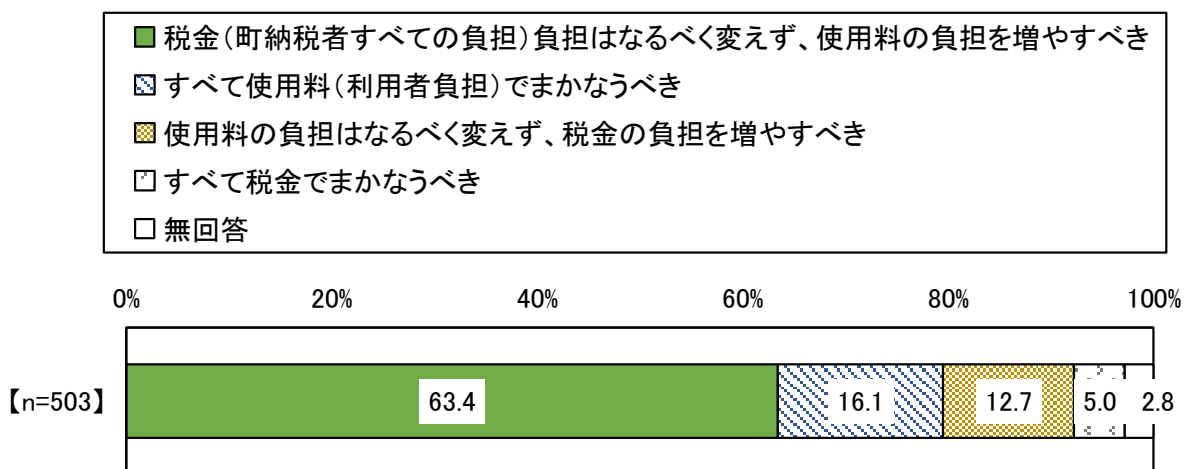
	合計(件)	施設の複合化を図り、コスト削減につながるよう機能を維持すべき	一定の予算が確保できるまで、施設の利用停止もやむをえない	費用がかかっても早々に個々の建て替えを進めるべき	継続的利用とサービス維持のため、費用をかけてでも運営継続を図るべき	無回答
全体	503	① 63.4	17.7	6.2	9.7	3.0
20代以下	67	① 59.7	17.9	6.0	13.4	3.0
30代	88	① 62.5	22.7	6.8	6.8	1.1
40代	93	① 64.5	19.4	8.6	7.5	0.0
50代	94	① 60.6	23.4	5.3	6.4	4.3
60代	110	① 70.9	8.2	4.5	12.7	3.6
70代以上	49	① 57.1	16.3	4.1	14.3	8.2

(4) 公共施設を維持していくための使用料と税金の負担割合

問 44 公共施設を維持していくための使用料と税金の負担割合について、あなたの考え方に最も近いものは次のうちどれですか。(○は1つ)

◇「税金(町納税者すべての負担)負担はなるべく変えず、使用料の負担を増やすべき」が63.4%で最も多く、以下「すべて使用料(利用者負担)でまかなうべき」が16.1%、「使用料の負担はなるべく変えず、税金の負担を増やすべき」が12.7%、「すべて税金でまかなうべき」が5.0%となっています。

◇年代でみると、すべての年代で「税金(町納税者すべての負担)負担はなるべく変えず、使用料の負担を増やすべき」が過半数を占めています。



■年代×公共施設を維持していくための使用料と税金の負担割合

単位: %

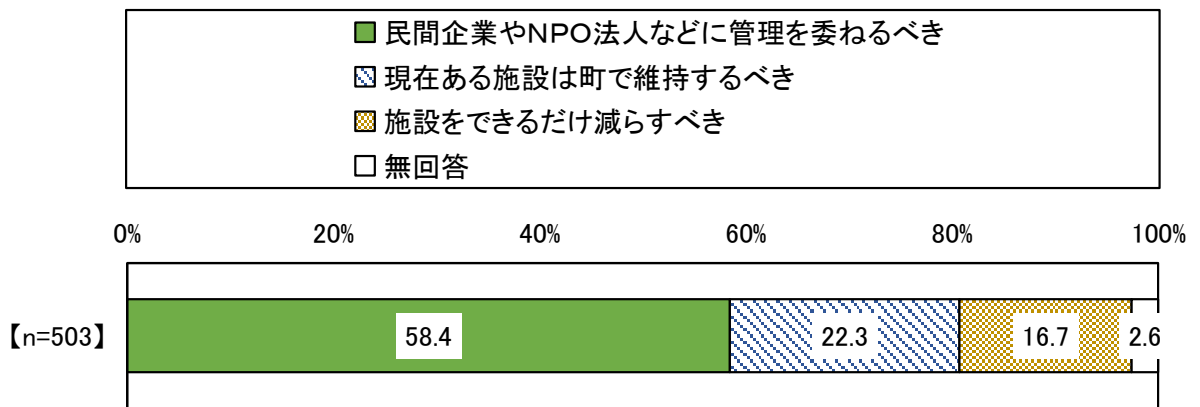
	合計(件)	税金(町納税者すべての負担)負担はなるべく変えず、使用料の負担を増やすべき	すべて使用料(利用者負担)でまかなうべき	使用料の負担はなるべく変えず、税金の負担を増やすべき	すべて税金でまかなうべき	無回答
全体	503	① 63.4	16.1	12.7	5.0	2.8
20代以下	67	① 61.2	16.4	11.9	6.0	4.5
30代	88	① 60.2	23.9	11.4	3.4	1.1
40代	93	① 69.9	15.1	8.6	5.4	1.1
50代	94	① 67.0	14.9	12.8	4.3	1.1
60代	110	① 66.4	13.6	12.7	5.5	1.8
70代以上	49	① 46.9	12.2	24.5	4.1	12.2

(5) 公共施設の維持が困難となった場合の考え

問 45 今ある施設の維持が困難となった場合、公共施設について、あなたの考え方に最も近いものは次のうちどれですか。(〇は1つ)

◇「民間企業やNPO法人などに管理を委ねるべき」が 58.4%で最も多く、以下「現在ある施設は町で維持するべき」が 22.3%、「施設をできるだけ減らすべき」が 16.7%となっています。

◇年代でみると、すべての年代で「民間企業やNPO法人などに管理を委ねるべき」が過半数を占めています。



■年代×公共施設の維持が困難となった場合の考え

単位：%

	合計(件)	民間企業やNPO法人などに管理を委ねるべき	現在ある施設は町で維持するべき	施設をできるだけ減らすべき	無回答
全体	503	① 58.4	22.3	16.7	2.6
20代以下	67	① 56.7	26.9	11.9	4.5
30代	88	① 52.3	23.9	22.7	1.1
40代	93	① 66.7	20.4	11.8	1.1
50代	94	① 52.1	23.4	24.5	0.0
60代	110	① 66.4	18.2	11.8	3.6
70代以上	49	① 51.0	22.4	18.4	8.2

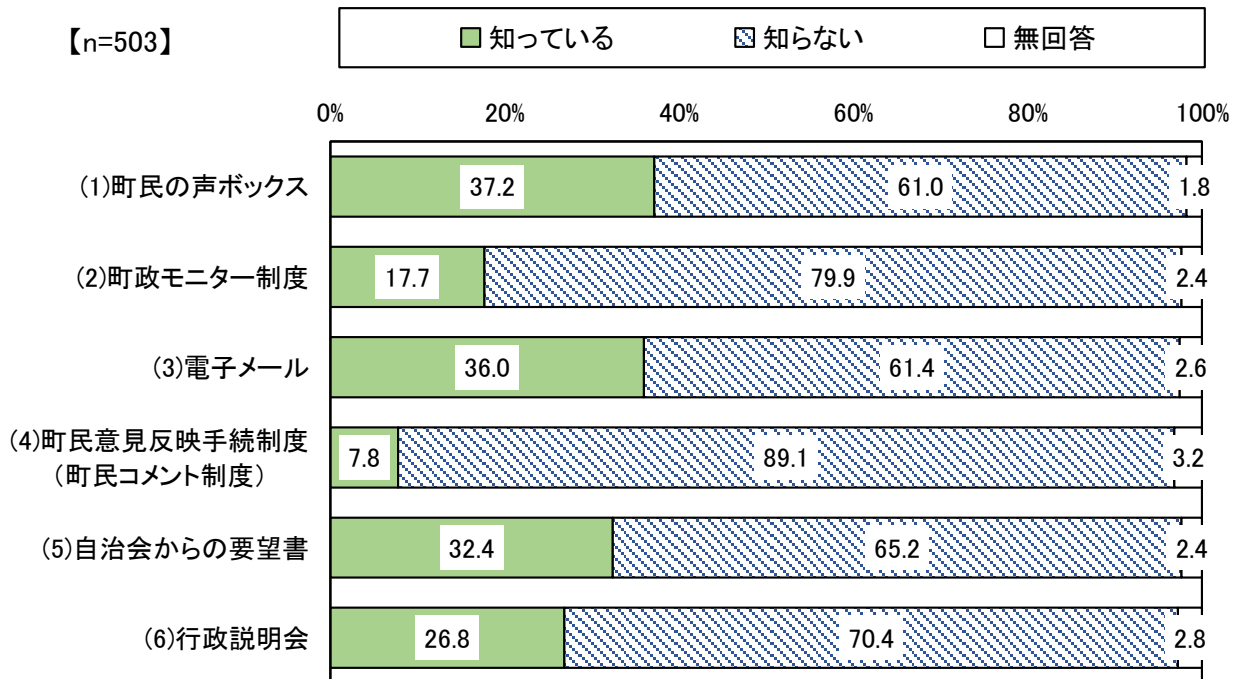
7 松伏町の行政運営について

(1) 町民からの意見聴取等の認知度

問 46 松伏町では、町民のみなさんから直接ご意見やご質問をお聞きする機会を設けております。ご存じかどうか○を付けてください。

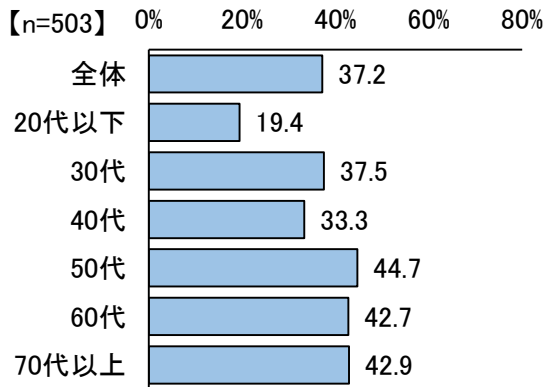
◇「(1) 町民の声ボックス」をはじめ、いずれも過半数が「知らない」と回答しています。認知度(「知っている」と回答した割合)が高い順にみると、「(1) 町民の声ボックス」(37.2%)、「(3) 電子メール」(36.0%)、「(5) 自治会からの要望書」(32.4%)、「(6) 行政説明会」(26.8%)、「(2) 町政モニター制度」(17.7%)、「(4) 町民意見反映手続制度(町民コメント制度)」(7.8%)となっています。

◇年代でみると、いずれも20代以下で認知度が最も低く、50代での認知度が比較的高くなっています。

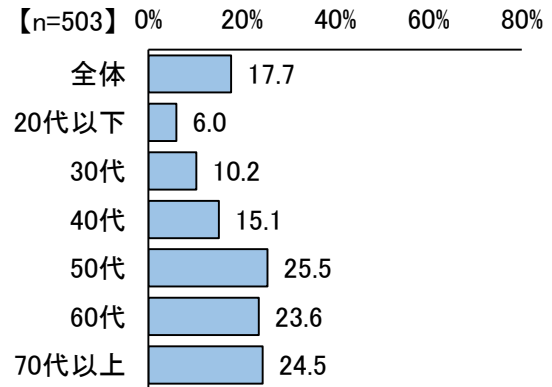


■年代×町民からの意見聴取等の認知度（「知っている」と回答した割合）

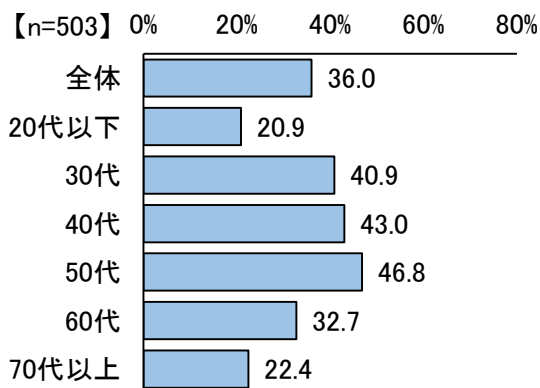
(1) 町民の声ボックス



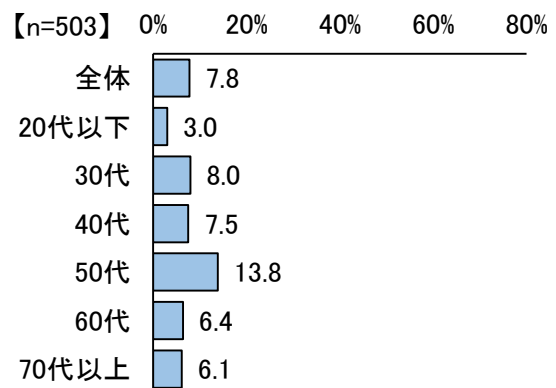
(2) 町政モニター制度



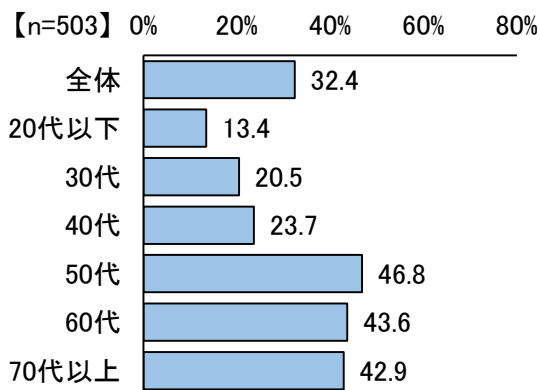
(3) 電子メール



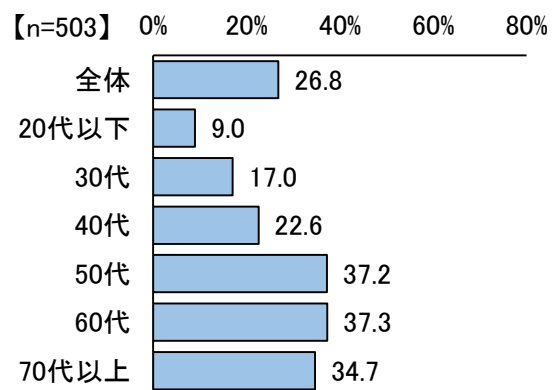
(4) 町民意見反映手続制度(町民コメント制度)



(5) 自治会からの要望書



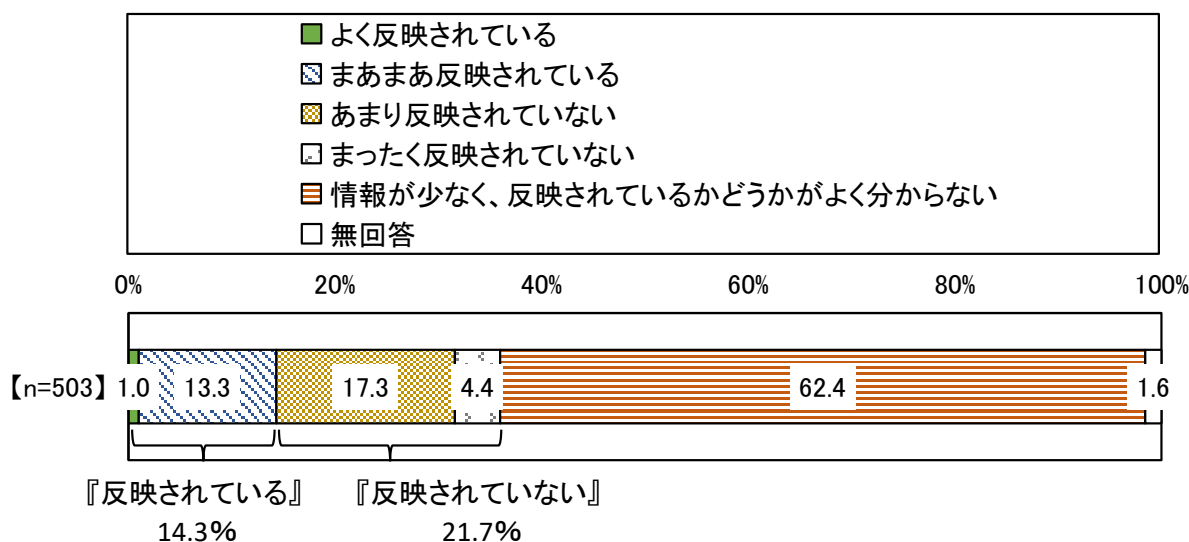
(6) 行政説明会



(2) 町民意見の町政への反映

問 47 みなさんからのご意見の町政への反映について、どのように感じていますか。(〇は1つ)

- ◇「情報が少なく、反映されているかどうかがよく分からない」が 62.4%で最も多く、以下「あまり反映されていない」が 17.3%、「まあまあ反映されている」が 13.3%、「まったく反映されていない」が 4.4%などとなっています。
- ◇年代で見ると、すべての年代で「情報が少なく、反映されているかどうかがよく分からない」が最も多くなっています。50代では「よく反映されている」と「まあまあ反映されている」の合計である『反映されている』が「まったく反映されていない」と「あまり反映されていない」の合計である『反映されていない』を上回っていますが、その他の年代では『反映されていない』の方が多くなっています。
- ◇転出の経験と転入者で見ると、「情報が少なく、反映されているかどうかがよく分からない」は、転出の経験のある町出身者（Uターン）及び転入者が6割以上と、転出経験のない町出身者の51.2%を大きく上回ります。



■年代・転入転出別×町民意見の町政への反映

単位: %

	合計 (件)	よく反映 されている (A)	まあまあ 反映されて いる(B)	あまり 反映されて いない(C)	まったく 反映されて いない(D)	情報が少なく、 反映されてい るかどうかよく 分からない	無回答	反映されて いる (A) + (B)	反映されて いない (C) + (D)
全体	503	1.0	13.3	17.3	4.4	① 62.4	1.6	14.3	21.7
20代以下	67	0.0	9.0	13.4	6.0	① 67.2	4.5	9.0	19.4
30代	88	2.3	10.2	12.5	8.0	① 65.9	1.1	12.5	20.5
40代	93	1.1	9.7	17.2	3.2	① 68.8	0.0	10.8	20.4
50代	94	0.0	25.5	11.7	4.3	① 57.4	1.1	25.5	16.0
60代	110	0.9	10.9	22.7	1.8	① 62.7	0.9	11.8	24.5
70代以上	49	2.0	14.3	28.6	4.1	① 46.9	4.1	16.3	32.7
町出身者 (転出経験なし)	123	1.6	16.3	23.6	4.9	① 51.2	2.4	17.9	28.5
町出身者 (転出経験あり)	60	0.0	13.3	13.3	5.0	① 66.7	1.7	13.3	18.3
転入者	318	0.6	12.3	15.4	4.1	① 66.4	1.3	12.9	19.5

(3) 現在参加している地域活動

問 48 あなたは、現在どのような地域活動に参加されていますか。(〇はいくつでも)

◇「自治会・町内会活動」が30.0%で最も多く、以下「スポーツ団体活動」が7.6%、「小学校・中学校のPTA活動」が7.4%、「地域のボランティア活動」が5.6%などとなっています。

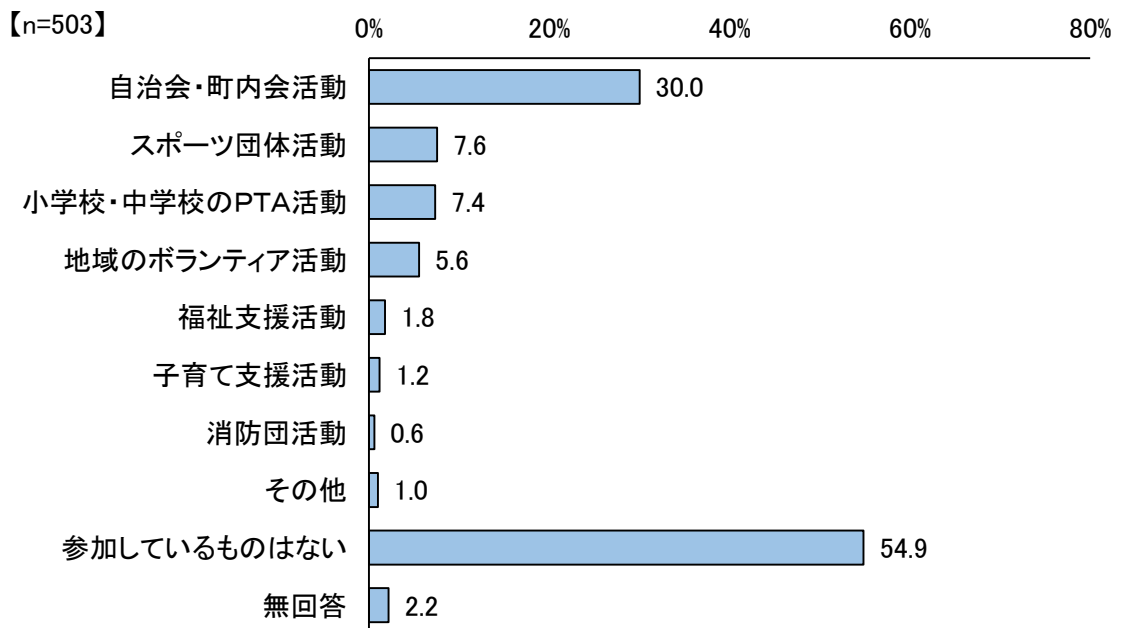
一方、「参加しているものはない」が54.9%を占めています。

◇性別でみると、男女とも「参加しているものはない」が過半数を占めています。「自治会・町内会」「スポーツ団体活動」では男性が女性を上回り、「小学校・中学校のPTA活動」は女性が男性を上回ります。

◇年代でみると、「自治会・町内会活動」は50代より上の年代で比較的高くなっています。一方、40代より下の年代では「参加しているものはない」が過半数を占めており、特に20代以下では77.6%となっています。

◇転出の経験と転入者でみると、転出の経験のある町出身者（Uターン）は「参加しているものはない」が46.7%と少なくなっています。

◇地区別でみると、「自治会・町内会活動」は大字魚沼が最も多く、次いで大字下赤岩などです。



■性別・年代・転入転出別・居住地区×現在参加している地域活動

単位：%

	合計 (件)	自治会・町内会活動	スポーツ団体活動	小学校・中学校の PTA活動	地域のボランティア活動	福祉支援活動	子育て支援活動	消防団活動	その他	参加しているもの はない	無回答
全体	503	30.0	7.6	7.4	5.6	1.8	1.2	0.6	1.0	①54.9	2.2
男性	223	37.2	10.8	4.0	6.7	1.3	0.4	0.4	0.9	①51.6	0.4
女性	267	25.1	5.2	10.5	4.9	2.2	1.9	0.7	1.1	①55.8	3.7
20代以下	67	7.5	6.0	1.5	1.5	1.5	3.0	0.0	0.0	①77.6	3.0
30代	88	15.9	6.8	12.5	2.3	1.1	1.1	1.1	1.1	①68.2	1.1
40代	93	28.0	9.7	22.6	3.2	0.0	1.1	1.1	0.0	①52.7	0.0
50代	94	42.6	5.3	4.3	2.1	0.0	0.0	1.1	2.1	①44.7	2.1
60代	110	42.7	8.2	0.0	14.5	3.6	1.8	0.0	0.0	①47.3	3.6
70代以上	49	36.7	10.2	0.0	8.2	6.1	0.0	0.0	4.1	①42.9	2.0
町出身者 (転出経験なし)	123	27.6	8.1	2.4	5.7	2.4	0.0	0.8	0.0	①63.4	2.4
町出身者 (転出経験あり)	60	28.3	10.0	11.7	10.0	1.7	3.3	1.7	1.7	①46.7	1.7
転入者	318	30.8	6.9	8.5	4.7	1.6	1.3	0.3	1.3	①53.5	2.2
大字魚沼	7	①57.1	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3
大字大川戸	50	36.0	10.0	8.0	8.0	2.0	0.0	0.0	2.0	①46.0	0.0
大字築比地	35	①42.9	5.7	5.7	5.7	0.0	0.0	2.9	2.9	40.0	2.9
大字金杉	12	33.3	0.0	16.7	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	①50.0	0.0
大字松伏	177	21.5	7.3	7.9	5.1	1.1	1.1	0.0	0.0	①63.3	1.7
田中1～3丁目	54	24.1	3.7	5.6	3.7	3.7	1.9	0.0	3.7	①63.0	3.7
ゆめみ野 1～6丁目	73	42.5	12.3	12.3	5.5	4.1	0.0	0.0	0.0	①43.8	1.4
ゆめみ野東 1～4丁目	42	31.0	4.8	2.4	2.4	0.0	2.4	0.0	0.0	①54.8	4.8
松葉1～2丁目	10	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	①60.0	0.0
大字田島	13	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	①69.2	0.0
大字上赤岩	16	25.0	18.8	0.0	12.5	0.0	12.5	6.3	0.0	①50.0	0.0
大字下赤岩	10	①50.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	10.0

前回調査との比較

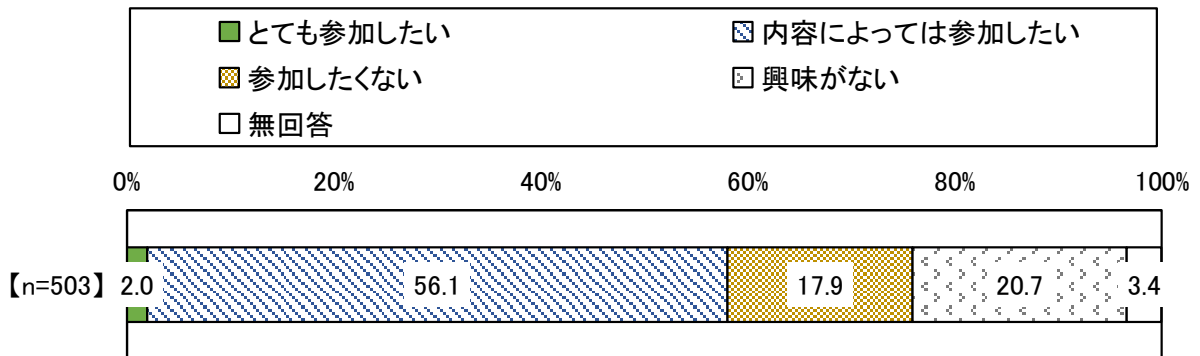
選択肢が異なるため参考ですが、「自治会・町内会活動」「小学校・中学校のPTA活動」いずれの活動も参加は少なくなっています。

(上位3位)	今回調査	前回調査
自治会・町内会活動	① 30.0%	① 40.0%
スポーツ団体活動	② 7.6%	—
小学校・中学校のPTA活動	③ 7.4%	② 12.3%

(4) 地域の生活課題の解決や町の魅力向上に向けた活動への参加希望

問 49 あなたは、地域の生活課題の解決や町の魅力向上に向けた活動をする機会があれば参加してみたいですか。(○は1つ)

- ◇「内容によっては参加したい」が56.1%で最も多く、以下「興味がない」が20.7%、「参加したくない」が17.9%、「とても参加したい」が2.0%となっています。
- ◇年代で見ると、すべての年代で「内容によっては参加したい」が過半数を占めています。
- ◇転出経験と転入者で見ると、転出経験のある町出身者（Uターン）は「内容によっては参加したい」が63.3%と6割を超えています。



■年代×地域の生活課題の解決や町の魅力向上に向けた活動への参加希望

単位：%

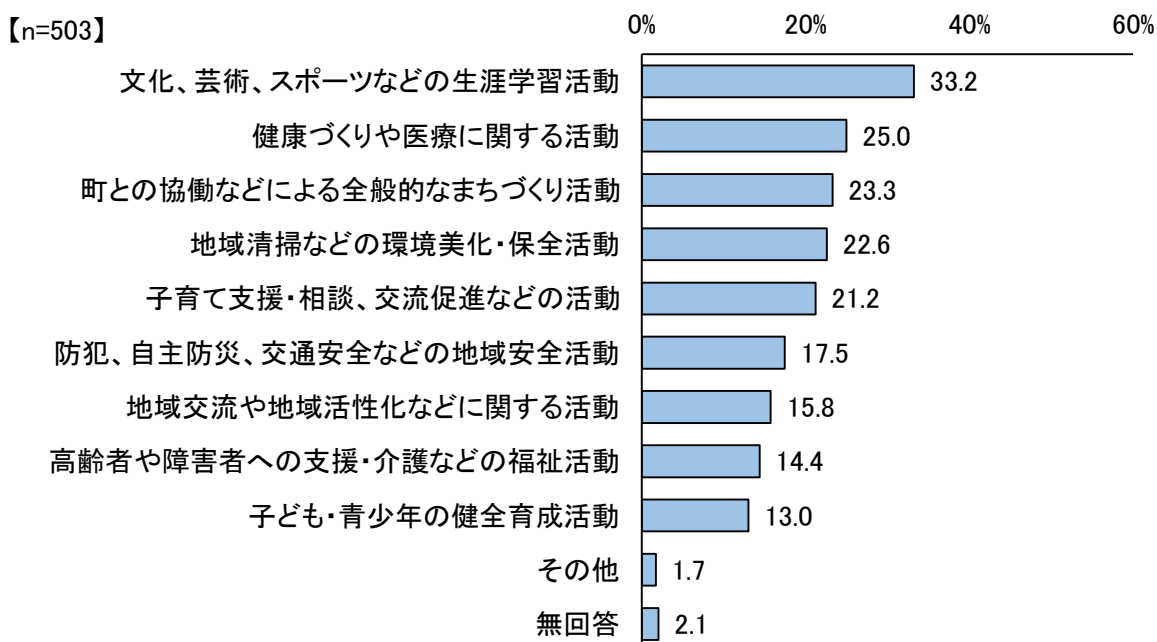
	合計(件)	とても参加したい	内容によっては参加したい	参加したくない	興味がない	無回答
全体	503	2.0	① 56.1	17.9	20.7	3.4
20代以下	67	1.5	① 53.7	17.9	22.4	4.5
30代	88	3.4	① 55.7	17.0	22.7	1.1
40代	93	2.2	① 57.0	18.3	21.5	1.1
50代	94	1.1	① 50.0	23.4	21.3	4.3
60代	110	2.7	① 62.7	15.5	16.4	2.7
70代以上	49	0.0	① 55.1	14.3	22.4	8.2
町出身者 (転出経験なし)	123	3.3	① 56.9	16.3	17.9	5.7
町出身者 (転出経験あり)	60	1.7	① 63.3	20.0	13.3	1.7
転入者	318	1.6	① 54.4	17.9	23.3	2.8

(5) 参加したいと思う活動

問 49 で「1 とても参加したい」または「2 内容によっては参加したい」とお答えになった方にお聞きします。

問 50 どのような活動であれば参加したいと思いますか。(〇はいくつでも)

- ◇「文化、芸術、スポーツなどの生涯学習活動」が 33.2%で最も多く、以下「健康づくりや医療に関する活動」が 25.0%、「町との協働などによる全般的なまちづくり活動」が 23.3%、「地域清掃などの環境美化・保全活動」が 22.6%などとなっています。
- ◇性別で見ると、男女とも「文化、芸術、スポーツなどの生涯学習活動」が最も多く、次いで男性は「町との協働などによる全般的なまちづくり活動」、女性は「健康づくりや医療に関する活動」となっています。
- ◇年代で見ると、30代では「子育て支援・相談、交流促進などの活動」が最も多く、40代では「町との協働などによる全般的なまちづくり活動」と「子育て支援・相談、交流促進などの活動」がともに最も多くなっています。また、60代では「地域清掃などの環境美化・保全活動」、70代以上では「健康づくりや医療に関する活動」が最も多くなっています。
- ◇転出経験と転入者で見ると、転出経験のある町出身者（Uターン）は「文化、芸術、スポーツなどの生涯学習活動」について、転出経験のない町出身者及び転入者を上回ります。
- ◇地区別で見ると、「文化、芸術、スポーツなどの生涯学習活動」はゆめみ野1～6丁目 46.9%、大字上赤岩 46.2%、大字金杉 37.5%、大字大川戸 34.5%などの順となっています。また、「町との協働などによる全般的なまちづくり活動」は、大字下赤岩、松葉1～2丁目のみ5割を超えています。



■性別・年代・転入転出別・居住地区×参加したいと思う活動

単位：%

	合計(件)	文化、芸術、スポーツなどの生涯学習活動	健康づくりや医療に関する活動	町との協働などによる全般的なまちづくり活動	地域清掃などの環境美化・保全活動	子育て支援・相談、交流促進などの活動	防犯、自主防災、交通安全などの地域安全活動	地域交流や地域活性化などに関する活動	高齢者や障害者への支援・介護などの福祉活動	子ども・青少年の健全育成活動	その他	無回答
全体	292	①33.2	25.0	23.3	22.6	21.2	17.5	15.8	14.4	13.0	1.7	2.1
男性	133	①33.1	15.8	31.6	25.6	13.5	22.6	15.0	9.0	10.5	0.8	2.3
女性	155	①33.5	32.3	16.1	19.4	27.7	12.3	16.1	16.8	14.8	1.9	1.9
20代以下	37	①40.5	18.9	24.3	13.5	32.4	18.9	16.2	10.8	32.4	0.0	0.0
30代	52	28.8	21.2	25.0	17.3	①42.3	9.6	13.5	7.7	15.4	3.8	0.0
40代	55	29.1	25.5	①30.9	16.4	①30.9	14.5	16.4	14.5	14.5	0.0	1.8
50代	48	①33.3	20.8	25.0	12.5	8.3	25.0	10.4	12.5	4.2	4.2	2.1
60代	72	37.5	25.0	19.4	①38.9	9.7	18.1	19.4	15.3	9.7	0.0	1.4
70代以上	27	29.6	①44.4	11.1	33.3	0.0	22.2	18.5	33.3	3.7	3.7	11.1
町出身者 (転出経験なし)	74	①32.4	16.2	23.0	24.3	17.6	18.9	14.9	12.2	17.6	2.7	2.7
町出身者 (転出経験あり)	39	①41.0	23.1	25.6	15.4	25.6	30.8	17.9	7.7	10.3	7.7	0.0
転入者	178	①32.0	29.2	23.0	23.6	21.9	13.5	15.7	16.9	11.8	0.0	2.2
大字魚沼	3	0.0	33.3	0.0	①66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
大字大川戸	29	①34.5	31.0	6.9	31.0	17.2	24.1	17.2	20.7	17.2	0.0	0.0
大字築比地	14	28.6	①42.9	35.7	21.4	7.1	28.6	7.1	21.4	0.0	0.0	7.1
大字金杉	8	①37.5	0.0	12.5	25.0	12.5	12.5	①37.5	0.0	0.0	12.5	0.0
大字松伏	99	①31.3	30.3	20.2	25.3	26.3	17.2	11.1	19.2	16.2	3.0	1.0
田中1～3丁目	30	①26.7	16.7	23.3	13.3	23.3	16.7	16.7	6.7	16.7	0.0	3.3
ゆめみ野 1～6丁目	49	①46.9	24.5	22.4	18.4	22.4	14.3	18.4	10.2	14.3	0.0	2.0
ゆめみ野東 1～4丁目	24	29.2	16.7	①37.5	12.5	20.8	12.5	12.5	16.7	16.7	0.0	0.0
松葉1～2丁目	4	0.0	0.0	50.0	①75.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
大字田島	9	11.1	22.2	①33.3	11.1	0.0	22.2	①33.3	0.0	0.0	0.0	11.1
大字上赤岩	13	①46.2	15.4	23.1	23.1	23.1	30.8	23.1	7.7	7.7	0.0	0.0
大字下赤岩	9	33.3	11.1	①55.6	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0

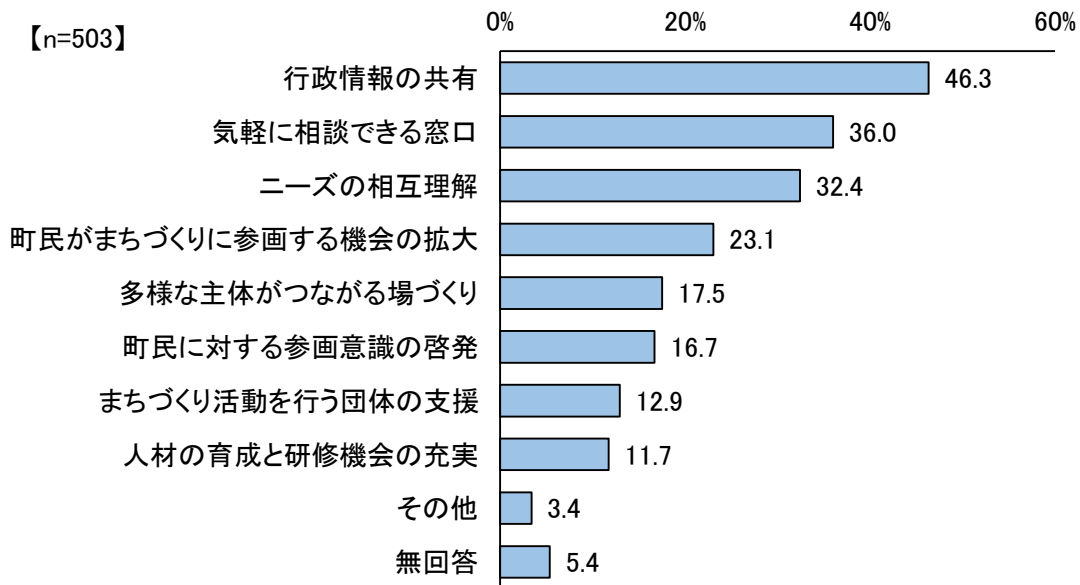
(6) 町民と行政が一緒になってまちづくりを進めていくために必要なこと

問 51 町民と行政が一緒になってまちづくりを進めていくために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

◇「行政情報の共有」が 46.3%で最も多く、以下「気軽に相談できる窓口」が 36.0%、「ニーズの相互理解」が 32.4%、「町民がまちづくりに参画する機会の拡大」が 23.1% などとなっています。

◇年代でみると、20代以下では「ニーズの相互理解」が、70代以上では「気軽に相談できる窓口」が最も多くなっています。

◇転出経験と転入者でみると、転出経験がある町出身者（Uターン）は、転出経験のない町出身者及び転入者と比べ、「人材の育成と研修機会の充実」「まちづくり活動を行う団体の支援」が比較的多くあげられています。



■年代×町民と行政が一緒になってまちづくりを進めていくために必要なこと

単位: %

	合計(件)	行政情報の共有	気軽に相談できる窓口	ニーズの相互理解	町民がまちづくりに参画する機会の拡大	多様な主体がつながる場づくり	町民に対する参画意識の啓発	まちづくり活動を行う団体の支援	人材の育成と研修機会の充実	その他	無回答
全体	503	①46.3	36.0	32.4	23.1	17.5	16.7	12.9	11.7	3.4	5.4
20代以下	67	41.8	26.9	①46.3	28.4	16.4	16.4	9.0	14.9	1.5	9.0
30代	88	①47.7	31.8	35.2	23.9	21.6	17.0	5.7	13.6	4.5	4.5
40代	93	①48.4	35.5	37.6	22.6	26.9	9.7	18.3	9.7	2.2	3.2
50代	94	①48.9	33.0	31.9	17.0	9.6	14.9	18.1	10.6	6.4	2.1
60代	110	①40.9	39.1	27.3	24.5	17.3	21.8	13.6	9.1	2.7	8.2
70代以上	49	53.1	①55.1	12.2	22.4	10.2	22.4	8.2	16.3	2.0	6.1
町出身者 (転出経験なし)	123	①41.5	37.4	33.3	25.2	17.9	18.7	15.4	11.4	4.9	7.3
町出身者 (転出経験あり)	60	①43.3	40.0	33.3	23.3	16.7	18.3	18.3	21.7	5.0	5.0
転入者	318	①49.1	34.3	32.1	22.3	17.3	15.7	11.0	10.1	2.5	4.7

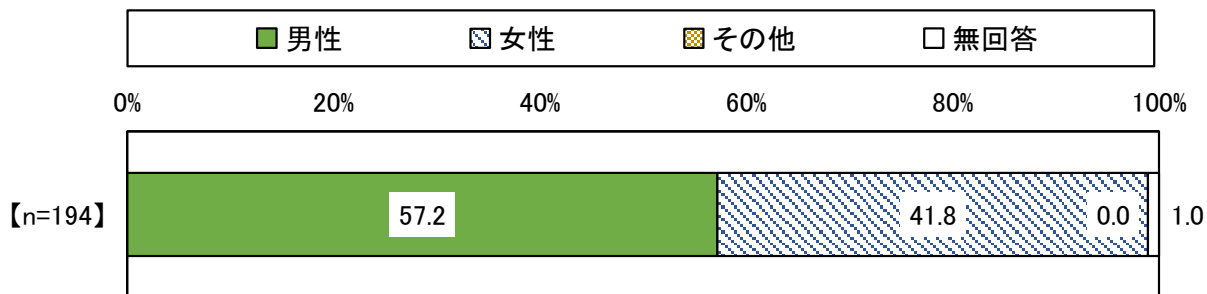
第2章 転入者対象アンケート調査

1 ご自身とご家族について

(1) 性別

問1 あなたの性別をおうかがいします。(○は1つ)

◇「男性」が57.2%、「女性」が41.8%となっています。



前回調査との比較

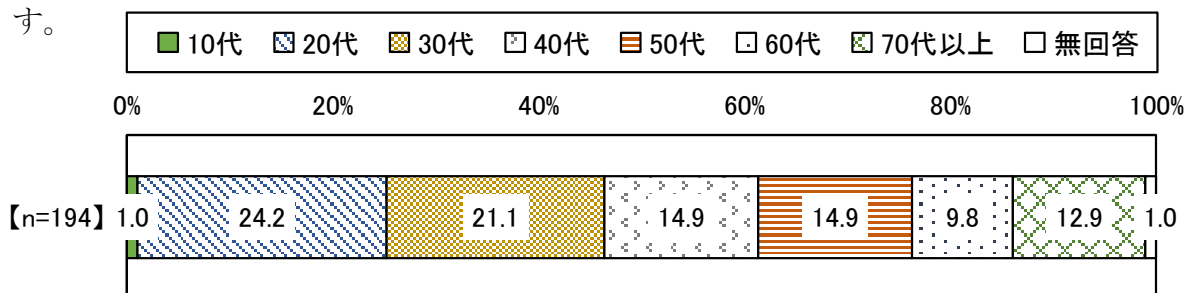
「女性」が増え、「男性」が減っています。

	今回調査	前回調査
男性	57.2%	66.7%
女性	41.8%	33.3%

(2) 年齢

問2 あなたの年齢をおうかがいします。(○は1つ)

◇「20代」が24.2%で最も多く、以下「30代」が21.1%、「40代」が14.9%、「50代」が14.9%、「70代以上」が12.9%、「60代」が9.8%、「10代」が1.0%となっています。



前回調査との比較

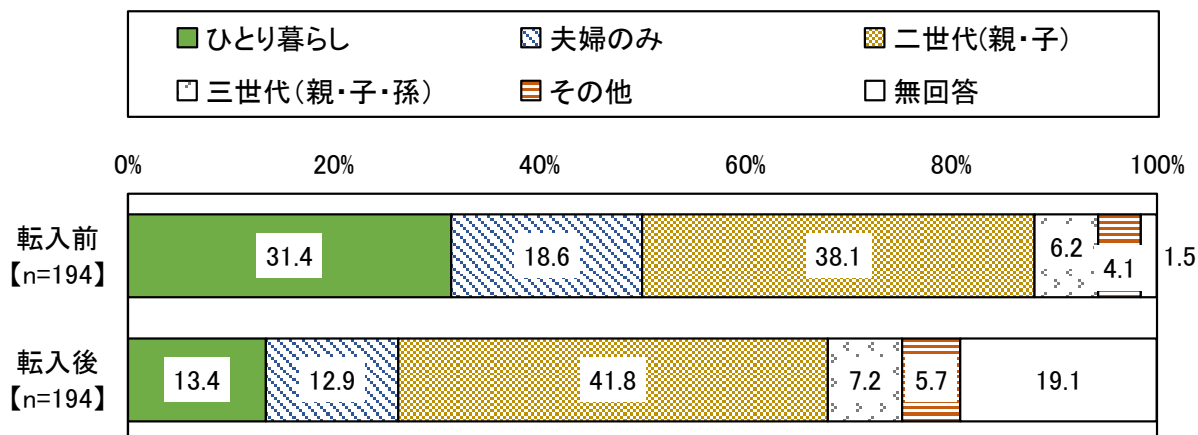
「30代」、「40代」が減っています。

	今回調査	前回調査
20代	24.2%	17.7%
30代	21.1%	24.0%
40代	14.9%	25.0%
50代	14.9%	10.4%
60代	9.8%	20.8%
70代以上	12.9%	

(3) 転入前後の世帯構成

問3 松伏町に転入する前後の世帯構成をおうかがいします。(○はそれぞれ1つ)

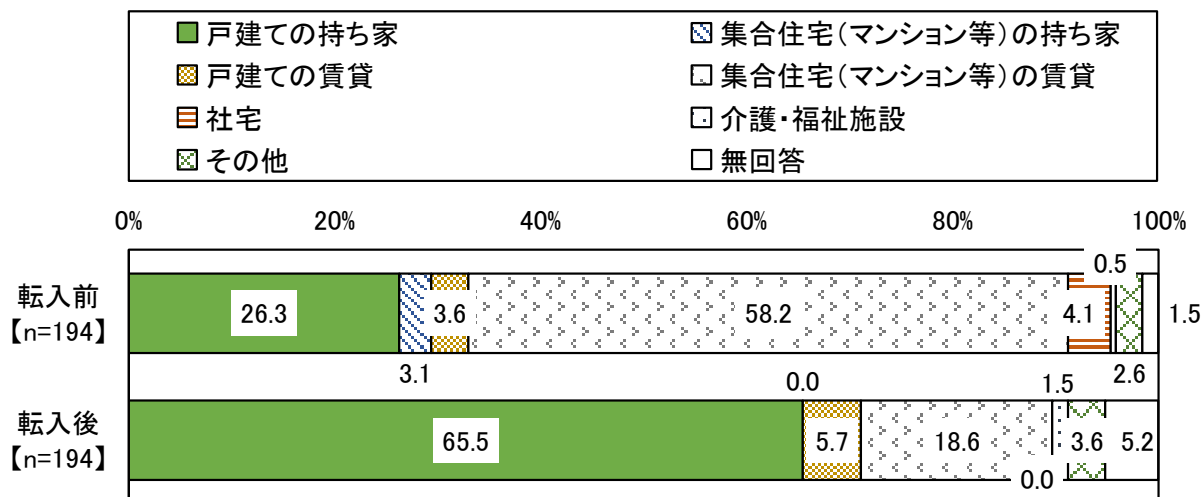
◇転入前では、「二世帯(親・子)」が38.1%で最も多く、以下「ひとり暮らし」が31.4%、「夫婦のみ」が18.6%、「三世帯(親・子・孫)」が6.2%となっています。
 転入後では、「二世帯(親・子)」が41.8%で最も多く、以下「ひとり暮らし」が13.4%、「夫婦のみ」が12.9%、「三世帯(親・子・孫)」が7.2%となっています。
 ◇転入前後を比較すると、「ひとり暮らし」が18.0ポイント減少しています。



(4) 転入前後の居住形態

問4 松伏町に転入する前後の居住形態をおうかがいします。(○はそれぞれ1つ)

◇転入前では、「集合住宅(マンション等)の賃貸」が58.2%で最も多く、以下「戸建ての持ち家」が26.3%、「社宅」が4.1%、「戸建ての賃貸」が3.6%などとなっています。
 転入後では、「戸建ての持ち家」が65.5%で最も多く、以下「集合住宅(マンション等)の賃貸」が18.6%、「戸建ての賃貸」が5.7%、「介護・福祉施設」が1.5%などとなっています。
 ◇転入前後で比較すると、「集合住宅(マンション等)の賃貸」が39.7ポイント減少し、「戸建ての持ち家」が39.2ポイント増加しています。



前回調査との比較

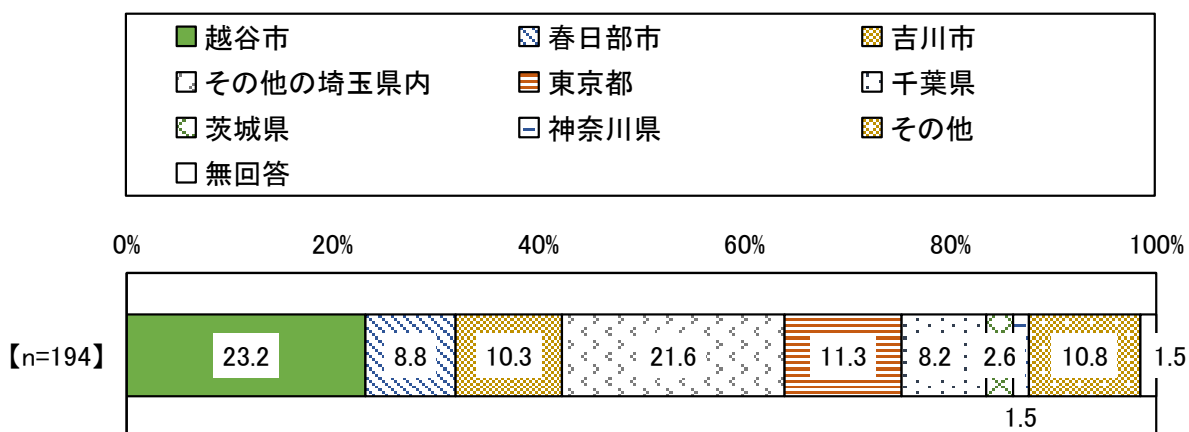
転入後の「戸建ての持ち家」は、増加しています。

	今回調査		前回調査	
	転入前	転入後	転入前	転入後
集合住宅(マンション等の賃貸)	58.2%	18.6%	53.1%	24.0%
戸建ての持ち家	26.3%	65.5%	24.0%	54.2%

(5) 転入前の住所

問5 転入前のご住所をおうかがいします。(〇は1つ)

◇「越谷市」が 23.2%で最も多く、以下「その他の埼玉県内」が 21.6%、「東京都」が 11.3%、「吉川市」が 10.3%などとなっています。



前回調査との比較

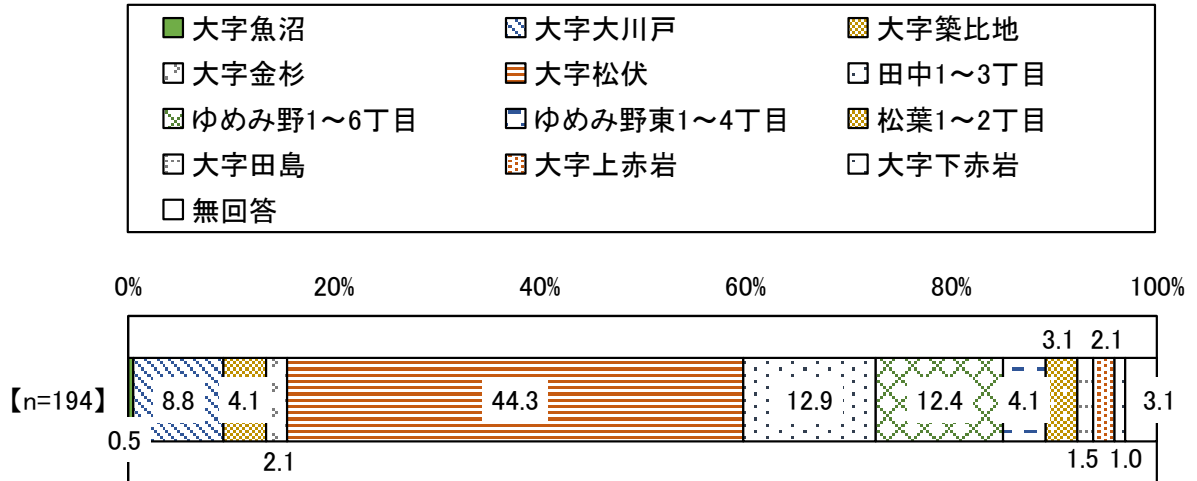
「越谷市」がやや減り、「吉川市」、「春日部市」がやや増加しています。

	今回調査	前回調査
越谷市	① 23.2%	① 26.0%
その他の埼玉県内	② 21.6%	② 20.8%
東京都	③ 11.3%	③ 11.5%
吉川市	④ 10.3%	⑤ 7.3%
春日部市	⑤ 8.8%	⑥ 6.3%

(6) 転入後の町丁名

問6 転入後の町内の町丁名(大字)をおうかがいします。(〇は1つ)

◇「大字松伏」が44.3%で最も多く、以下「田中1～3丁目」が12.9%、「ゆめみ野1～6丁目」が12.4%、「大字大川戸」が8.8%などとなっています。



前回調査との比較

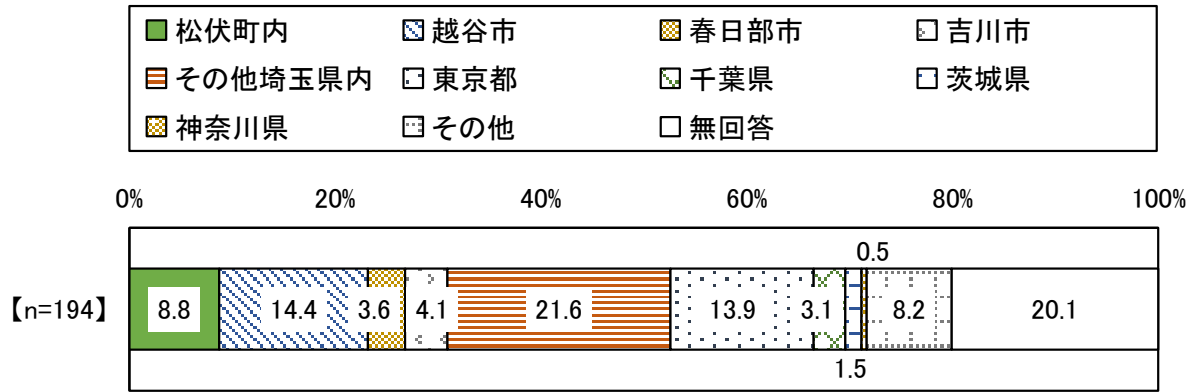
「大字松伏」の1位は変わりませんが、「大字大川戸」は順位を下げ、「田中1～3丁目」は順位を上げています。

	今回調査(n=194)	前回調査(n=96)
大字松伏	① 44.3%	① 34.4%
田中1～3丁目	② 12.9%	④ 12.5%
ゆめみ野1～6丁目	③ 14.4%	③ 14.6%
大字大川戸	④ 8.8%	② 15.6%
大字築比地	⑤ 4.1%	⑤ 6.3%
ゆめみ野東1～4丁目	⑤ 4.1%	⑥ 5.2%

(7) 現在の勤務先や通学先

問7 お仕事や通学をされている場合、現在の勤務先（通学先）はどちらですか。
 (○は1つ又は無回答)

◇「その他埼玉県内」が21.6%で最も多く、以下「越谷市」が14.4%、「東京都」が13.9%、「松伏町内」が8.8%などとなっています。



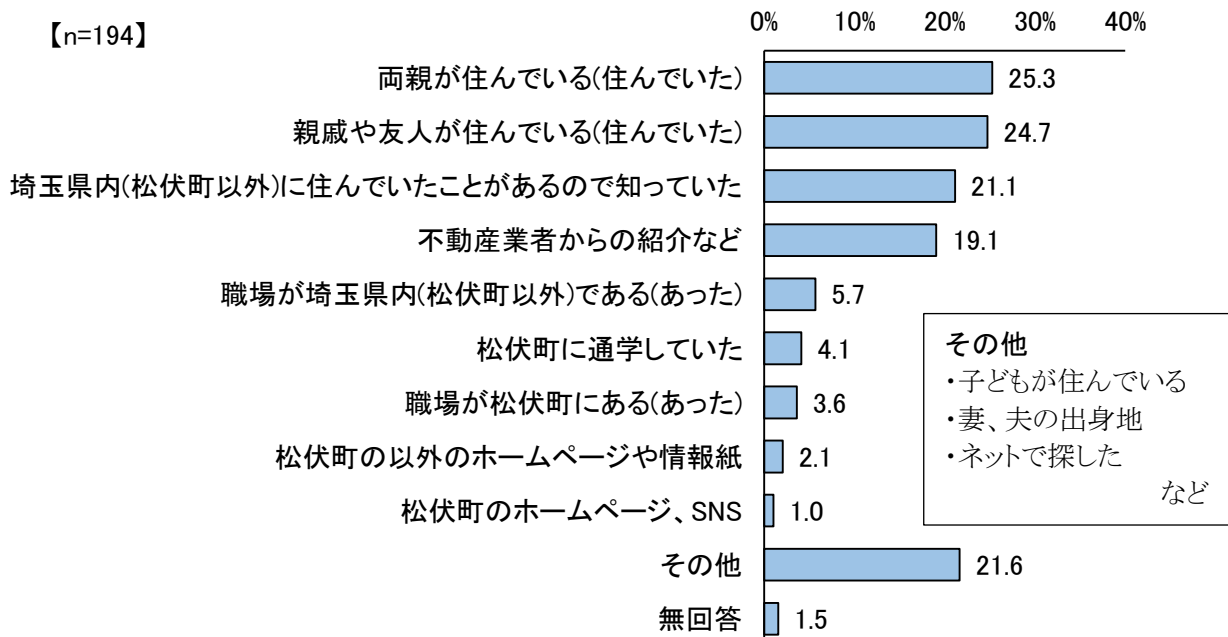
(8) 松伏町を知るきっかけ

問8 松伏町を知るきっかけは何ですか。(○は3つまで)

◇「両親が住んでいる（住んでいた）」が25.3%で最も多く、以下「親戚や友人が住んでいる（住んでいた）」が24.7%、「埼玉県内（松伏町以外）に住んでいたことがあるので知っていた」が21.1%、「不動産業者からの紹介など」が19.1%などとなっています。

「その他」の記述では、「子どもが住んでいる」といった内容が多く挙げられています。

◇年代でみると、10代から30代では「両親が住んでいる（住んでいた）」が、40代では「埼玉県内（松伏町以外）に住んでいたことがあるので知っていた」が最も多く、50代と60代では「親戚や友人が住んでいる（住んでいた）」と「不動産業者からの紹介など」が最も多くなっています。



■年代×松伏町を知るきっかけ

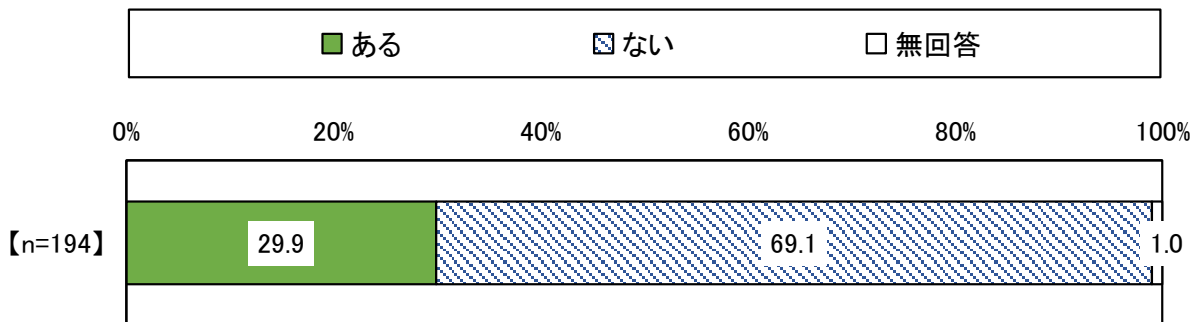
単位:%

	合計(件)	両親が住んでいる(住んでいた)	親戚や友人が住んでいる(住んでいた)	埼玉県内(松伏町以外)に住んでいたことがあるので知っていた	不動産業者からの紹介など	職場が埼玉県内(松伏町以外)である(あった)	松伏町に通学していた	職場が松伏町にある(あった)	松伏町のホームページ、SNS	松伏町の以外のホームページや情報紙	その他	無回答
全体	194	①25.3	24.7	21.1	19.1	5.7	4.1	3.6	2.1	1.0	21.6	1.5
10代	2	①50.0	①50.0	0.0	0.0	0.0	①50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	47	①46.8	25.5	19.1	14.9	8.5	6.4	4.3	0.0	2.1	14.9	0.0
30代	41	①26.8	22.0	22.0	17.1	4.9	4.9	2.4	4.9	0.0	22.0	0.0
40代	29	27.6	20.7	①34.5	20.7	3.4	3.4	3.4	3.4	0.0	24.1	0.0
50代	29	13.8	①27.6	13.8	①27.6	10.3	3.4	3.4	3.4	0.0	13.8	0.0
60代	19	5.3	①26.3	15.8	①26.3	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0	21.1	5.3
70代以上	25	8.0	28.0	24.0	16.0	4.0	0.0	0.0	0.0	4.0	①44.0	0.0

(9) 転入以前の居住経験

問9 今回の転入以前に松伏町にお住まいの経験はありますか。(○は1つ)

◇「ない」が69.1%を占め、「ある」は29.9%となっています。

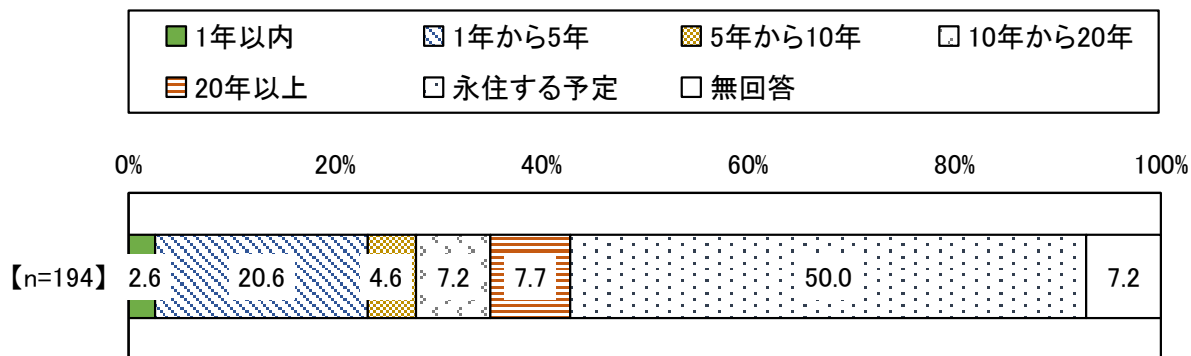


(10) 松伏町での居住予定

問 10 松伏町にはどのくらいの期間お住まいになる予定ですか。(〇は1つ)

◇「永住する予定」が50.0%で最も多く、以下「1年から5年」が20.6%、「20年以上」が7.7%、「10年から20年」が7.2%などとなっています。

◇年代で見ると、40代より上の年代では「永住する予定」が過半数を占めています。一方、20代では「1年から5年」が40.4%、30代では31.7%で比較的高い割合となっています。



■年代×松伏町での居住予定

単位: %

	合計 (件)	1年以内	1年から5 年	5年から 10年	10年から 20年	20年以上	永住する 予定	無回答
全体	194	2.6	20.6	4.6	7.2	7.7	①50.0	7.2
10代	2	0.0	①50.0	0.0	0.0	0.0	①50.0	0.0
20代	47	2.1	①40.4	4.3	12.8	8.5	29.8	2.1
30代	41	9.8	31.7	2.4	0.0	9.8	①39.0	7.3
40代	29	0.0	10.3	3.4	10.3	13.8	①51.7	10.3
50代	29	0.0	6.9	6.9	10.3	6.9	①58.6	10.3
60代	19	0.0	0.0	15.8	5.3	5.3	①68.4	5.3
70代以上	25	0.0	8.0	0.0	4.0	0.0	①84.0	4.0

2 転入の理由について

(1) 引っ越しの大きなきっかけ

問 11 引っ越しをすることとなったもっとも大きなきっかけは何ですか。(○は1つ)

◇「住宅の取得」が20.1%で最も多く、以下「結婚」が14.4%、「就職・転職・転勤」が10.8%、「住宅の都合(取得以外)」が8.8%などとなっています。

◇年代でみると、20代では「就職・転職・転勤」が最も多く、30代では「結婚」が最も多くなっています。また、40代では「住宅の取得」と「結婚」がともに最も多く、50代と60代では「住宅の取得」が多くなっています。

◇転入者が以前松伏町に住んだ経験があるかどうかでみると、「ある(Uターン)」では「就職・転職・転勤」が最も多いのに対し、「ない」では「住宅の取得」となっています。



■年代・以前町に住んだ経験の有無×引っ越しの大きなきっかけ

単位:%

	合計(件)	住宅の取得	結婚	就職・転職・転勤	住宅の都合(取得以外)	子どもの都合	生活環境(交通・買い物・病院など)	家族などの介護	退職	学校の都合(進学・通学)	災害の影響	その他	無回答
全体	194	①20.1	14.4	10.8	8.8	6.2	6.2	5.2	4.6	2.6	0.0	17.5	3.6
10代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	①50.0	0.0	0.0	①50.0	0.0	0.0	0.0
20代	47	14.9	10.6	①25.5	4.3	0.0	12.8	0.0	8.5	8.5	0.0	12.8	2.1
30代	41	14.6	①24.4	14.6	9.8	4.9	2.4	4.9	2.4	0.0	0.0	17.1	4.9
40代	29	①27.6	①27.6	6.9	6.9	10.3	3.4	6.9	0.0	0.0	0.0	6.9	3.4
50代	29	①31.0	6.9	3.4	13.8	0.0	6.9	10.3	3.4	0.0	0.0	24.1	0.0
60代	19	①31.6	10.5	0.0	26.3	10.5	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0	5.3	5.3
70代以上	25	12.0	0.0	0.0	0.0	20.0	4.0	12.0	4.0	0.0	0.0	①44.0	4.0
以前町に住んだ経験がある	58	8.6	6.9	①22.4	6.9	5.2	1.7	8.6	10.3	6.9	0.0	20.7	1.7
以前町に住んだ経験がない	134	①25.4	17.2	6.0	9.7	6.7	8.2	3.7	2.2	0.7	0.0	16.4	3.7

前回調査との比較

前回調査を大きく下回るのが「就職・転職・転勤」であり、「生活環境（交通・買い物・病院など）」を除いては、ほとんど変化ありません。

年代別では、20代では「結婚」、30代では「住宅の取得」、40代では「就職・転職・転勤」が前回調査を大きく下回ります。

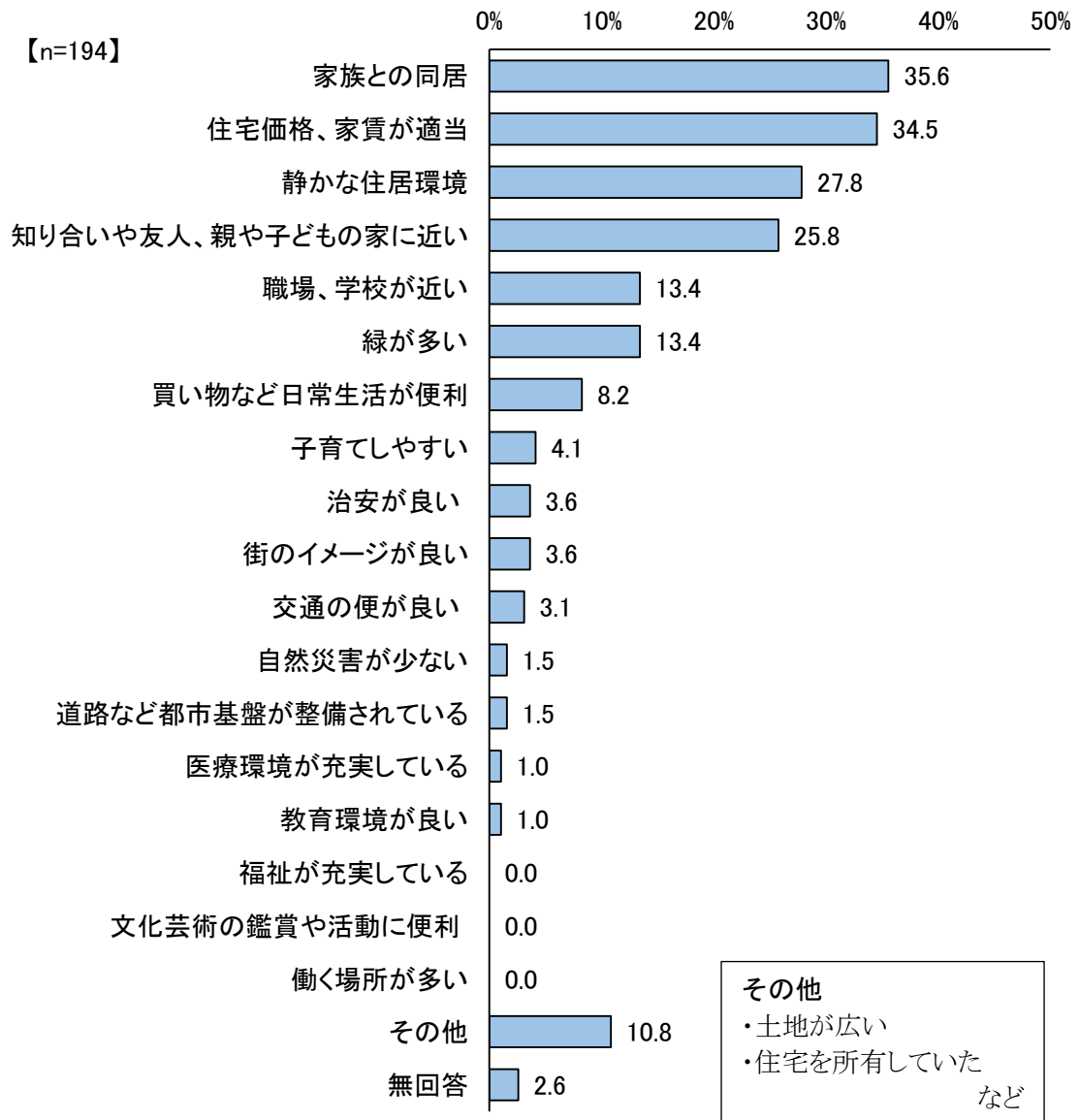
(上位5位)	今回調査	前回調査
住宅の取得	① 20.1%	① 20.8%
結婚	② 14.4%	③ 14.6%
就職・転職・転勤	③ 10.8%	② 19.8%
住宅の都合（取得以外）	④ 8.8%	④ 9.4%
子どもの都合	⑤ 6.2%	⑤ 8.3%
生活環境（交通・買い物・病院など）	⑤ 6.2%	⑦ 2.1%

(上位5位)	20代		30代		40代		50代	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
住宅の取得	14.9%	17.6%	14.6%	30.4%	27.6%	29.2%	31.0%	-
結婚	10.6%	35.3%	24.4%	17.4%	27.6%	12.5%	6.9%	10.0%
就職・転職・転勤	25.5%	23.5%	14.6%	13.0%	6.9%	20.8%	3.4%	50.0%
住宅の都合（取得以外）	4.3%	5.9%	9.8%	21.7%	6.9%	-	13.8%	10.0%
子どもの都合	-	-	4.9%	4.3%	10.3%	8.3%	-	10.0%
生活環境（交通・買い物・病院など）	12.8%	5.9%	2.4%	4.3%	3.4%	-	6.9%	-

(2) 転入を決めた理由

問 12 松伏町に転入を決められた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- ◇「家族との同居」が 35.6%で最も多く、以下「住宅価格、家賃が適当」が 34.5%、「静かな住居環境」が 27.8%、「知り合いや友人、親や子どもの家に近い」が 25.8%などとなっています。
- ◇年代で見ると、20代と30代では「家族との同居」が最も多いのに対し、40代と50代では「住宅価格、家賃が適当」が最も多く、60代では「静かな住居環境」が最も多くなっています。
- ◇転入者が以前松伏町に住んだ経験があるかどうかで見ると、「ある(Uターン)」では「家族との同居」が最も多いのに対し、「ない」では「住宅価格、家賃が適当」であるとなっています。



Ⅲ 調査結果の詳細 第2章 転入者対象アンケート調査

■年代・以前町に住んだ経験の有無×転入を決めた理由（上段：上位、下段：下位）

単位：%

	合計(件)	家族との同居	住宅価格、家賃が適当	静かな住居環境	知り合いや友人、親や子どもの家に近い	職場、学校が近い	緑が多い	買い物など日常生活が便利	子育てしやすい	治安が良い	街のイメージが良い
全体	194	①35.6	②34.5	③27.8	④25.8	⑤13.4	⑤13.4	8.2	4.1	3.6	3.6
10代	2	①100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	47	①46.8	②29.8	④23.4	③25.5	⑤17.0	10.6	6.4	2.1	2.1	4.3
30代	41	①41.5	②39.0	④19.5	③24.4	④19.5	7.3	7.3	7.3	2.4	2.4
40代	29	④20.7	①44.8	②31.0	②31.0	13.8	13.8	0.0	6.9	3.4	6.9
50代	29	③24.1	①44.8	②37.9	③24.1	17.2	③24.1	20.7	0.0	3.4	3.4
60代	19	③31.6	②36.8	①42.1	④21.1	5.3	10.5	15.8	10.5	15.8	5.3
70代以上	25	①32.0	⑤16.0	②28.0	②28.0	0.0	④20.0	4.0	0.0	0.0	0.0
以前町に住んだ経験がある	58	①70.7	③15.5	⑤10.3	②22.4	8.6	④12.1	0.0	0.0	1.7	3.4
以前町に住んだ経験がない	134	④20.1	①43.3	②35.8	③26.9	⑤15.7	14.2	11.9	6.0	4.5	3.7

	合計(件)	交通の便が良い	自然災害が少ない	道路など都市基盤が整備されている	医療環境が充実している	教育環境が良い	福祉が充実している	文化芸術の鑑賞や活動に便利	働く場所が多い	その他	無回答
全体	194	3.1	1.5	1.5	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	10.8	2.6
10代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	47	2.1	0.0	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	6.4	2.1
30代	41	2.4	4.9	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	4.9
40代	29	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	④20.7	3.4
50代	29	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	3.4
60代	19	10.5	5.3	5.3	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	④21.1	0.0
70代以上	25	4.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	⑤16.0	0.0
以前に町に住んだ	58	3.4	1.7	0.0	1.7	1.7	0.0	0.0	0.0	⑤10.3	0.0
以前に町に住んだ	134	3.0	1.5	2.2	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	10.4	3.7

前回調査との比較

前回調査を大きく上回るのが「家族との同居」であり、大きく下回るのが「職場、学校が近い」となっています。

年代別では、「家族との同居」は20代、30代で前回調査を大きく上回り、逆に40代では大きく下回ります。「住宅価格、家賃が適当」は、前回調査では20代に多かったのが、今回調査では40代となっています。「静かな住環境」についても前回調査では20代、30代に多かったのが、今回調査では40代に多くなっています。

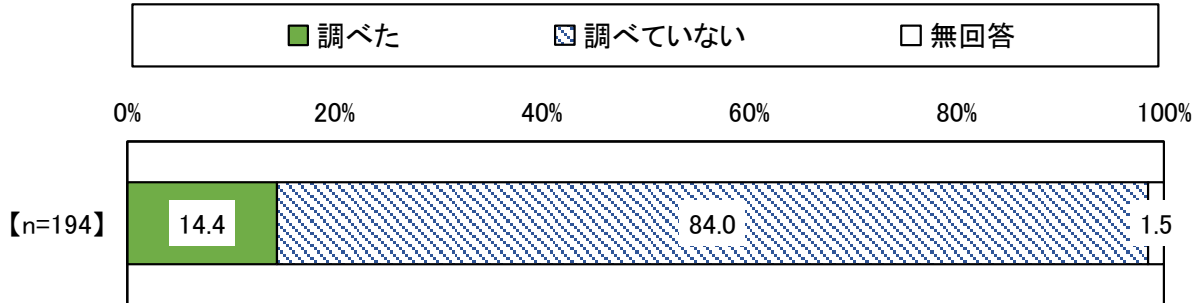
(上位5位)	今回調査	前回調査
家族との同居	① 35.6	④ 19.8
住宅価格、家賃が適当	② 34.5	① 35.4
静かな住居環境	③ 27.8	② 25.0
知り合いや友人、親や子どもの家に近い	④ 25.8	④ 19.8
職場、学校が近い	⑤ 13.4	③ 22.9
緑が多い	⑤ 13.4	⑥ 15.6

(上位5位)	20代		30代		40代		50代	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
家族との同居	46.8%	5.9%	41.5%	21.7%	20.7%	33.3%	24.1%	30.0%
住宅価格、家賃が適当	29.8%	58.8%	39.0%	34.8%	44.8%	37.5%	44.8%	30.0%
静かな住居環境	23.4%	35.3%	19.5%	34.8%	31.0%	12.5%	37.9%	20.0%
知り合いや友人、親や子どもの家に近い	25.5%	11.8%	24.4%	26.1%	31.0%	25.0%	24.1%	10.0%
職場、学校が近い	17.0%	47.1%	19.5%	17.4%	13.8%	20.8%	17.2%	30.0%
緑が多い	10.6%	11.8%	7.3%	26.1%	13.8%	8.3%	24.1%	10.0%

(3) 転入の際に松伏町の行政サービスや各種支援制度を調べたか

問 13 松伏町に転入を決められる際に、松伏町の行政サービスや各種支援制度を調べましたか。(○は1つ)

◇「調べていない」が84.0%を占め、「調べた」は14.4%となっています。



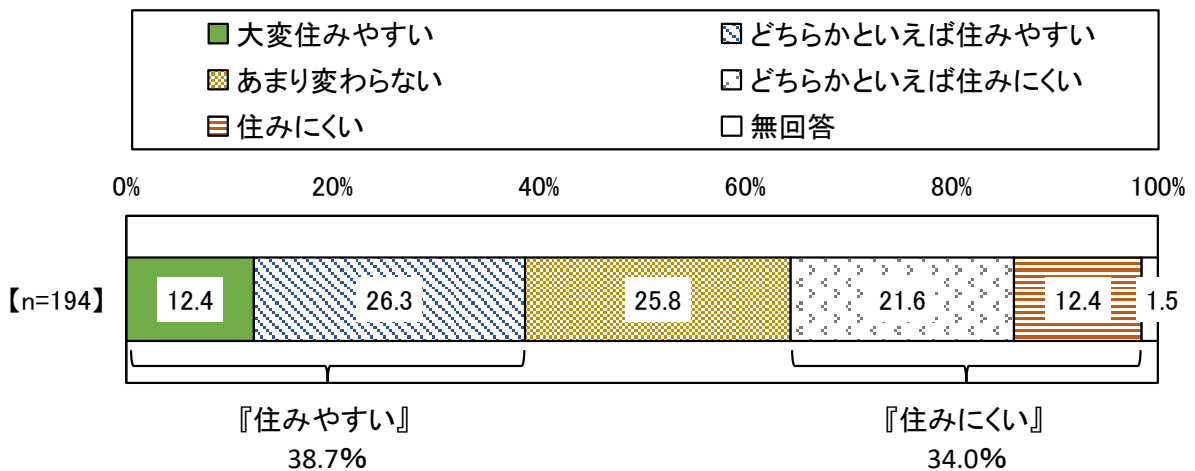
(4) 転入前と比較した町の居住環境

問 14 転入前のお住まいと比較して、松伏町の居住環境はいかがですか。(○は1つ)

◇「どちらかといえば住みやすい」が26.3%で最も多く、以下「あまり変わらない」が25.8%、「どちらかといえば住みにくい」が21.6%、「大変住みやすい」が12.4%、「住みにくい」が12.4%となっています。

◇年代でみると、50代では「大変住みやすい」が最も多く、「どちらかといえば住みやすい」と合わせると過半数を占めています。一方、40代では「どちらかといえば住みにくい」が最も多くなっています。

◇転入前の住所でみると、東京都からの転入者は「どちらかといえば住みにくい」が最も多くなっています。



■年代×転入前と比較した町の居住環境

単位：%

	合計 (件)	大変 住みやすい (A)	どちらかと いえば住み やすい(B)	あまり 変わらない	どちらかと いえば住み にくい(C)	住みにくい (D)	無回答	住みやすい (A)+(B)	住みにくい (C)+(D)
全体	194	12.4	26.3	25.8	21.6	12.4	1.5	38.7	34.0
10代	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0
20代	47	2.1	27.7	31.9	19.1	17.0	2.1	29.8	36.1
30代	41	4.9	22.0	31.7	26.8	12.2	2.4	26.9	39.0
40代	29	17.2	24.1	13.8	34.5	10.3	0.0	41.3	44.8
50代	29	34.5	20.7	17.2	17.2	10.3	0.0	55.2	27.5
60代	19	15.8	31.6	10.5	26.3	15.8	0.0	47.4	42.1
70代以上	25	12.0	36.0	40.0	8.0	0.0	4.0	48.0	8.0

■転入前の住所×転入前と比較した町の居住環境

単位：%

	合計 (件)	大変住みや すい(A)	どちらかと いえば住み やすい(B)	あまり変わ らない	どちらかと いえば住み にくい(C)	住みにくい (D)	無回答	住みやすい (A)+(B)	住みにくい (C)+(D)
全体	194	12.4	26.3	25.8	21.6	12.4	1.5	38.7	34.0
越谷市	45	17.8	24.4	33.3	17.8	6.7	0.0	42.2	24.5
春日部市	17	23.5	29.4	17.6	17.6	11.8	0.0	52.9	29.4
吉川市	20	15.0	20.0	35.0	20.0	10.0	0.0	35.0	30.0
その他の 埼玉県内	42	14.3	35.7	11.9	19.0	19.0	0.0	50.0	38.0
東京都	22	4.5	27.3	13.6	31.8	22.7	0.0	31.8	54.5
千葉県	16	0.0	18.8	43.8	25.0	12.5	0.0	18.8	37.5
茨城県	5	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0
神奈川県	3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3
その他	21	9.5	23.8	23.8	23.8	4.8	14.3	33.3	28.6

前回調査との比較

「大変住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』は前回調査 45.9%でしたが、今回調査では 38.7%となっています。「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」を合わせた『住みにくい』は、あまり変わっていません。

年代別では、30代の『住みやすい』が前回調査を大きく下回り、60.8%が 26.9%となっています。40代も同じく 52.2%が 41.3%となっています。『住みにくい』は40代で前回調査を大きく上回り 30.4%から 44.8%となっています。

	今回調査	前回調査
大変住みやすい	12.4%	11.5%
どちらかといえば住みやすい	26.3%	34.4%
あまり変わらない	25.8%	16.7%
どちらかといえば住みにくい	21.6%	26.0%
住みにくい	12.4%	3.1%
『住みやすい』	38.7%	45.9%
『住みにくい』	34.0%	29.1%

(上位5位)	20代		30代		40代		50代	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
大変住みやすい	2.1%	11.8%	4.9%	13.0%	17.2%	8.7%	34.5%	10.0%
どちらかといえば住みやすい	27.7%	17.6%	22.0%	47.8%	24.1%	43.5%	20.7%	50.0%
あまり変わらない	31.9%	41.2%	31.7%	4.3%	13.8%	17.4%	17.2%	10.0%
どちらかといえば住みにくい	19.1%	29.4%	26.8%	30.4%	34.5%	21.7%	17.2%	30.0%
住みにくい	17.0%	-	12.2%	4.3%	10.3%	8.7%	10.3%	-
『住みやすい』	29.8%	29.4%	26.9%	60.8%	41.3%	52.2%	55.2%	60.0%
『住みにくい』	36.1%	29.4%	39.0%	34.7%	44.8%	30.4%	27.5%	30.0%

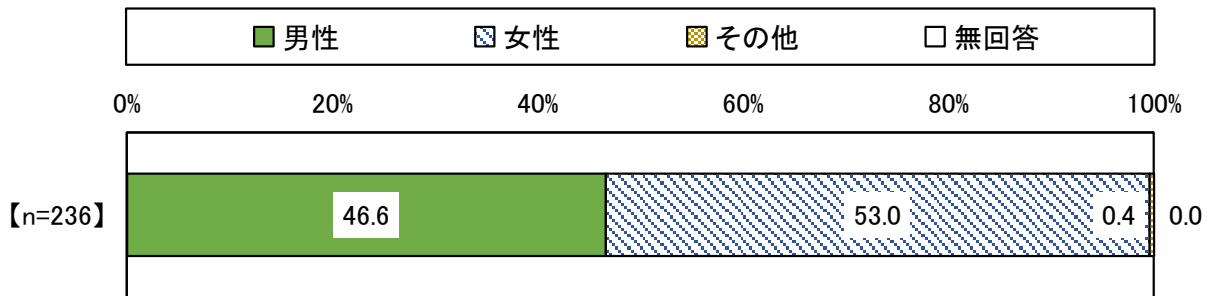
第3章 転出者対象アンケート調査

1 ご自身とご家族について

(1) 性別

問1 あなたの性別をおうかがいします。(○は1つ)

◇「女性」が53.0%で最も多く、以下「男性」が46.6%、「その他」が0.4%となっています。



前回調査との比較

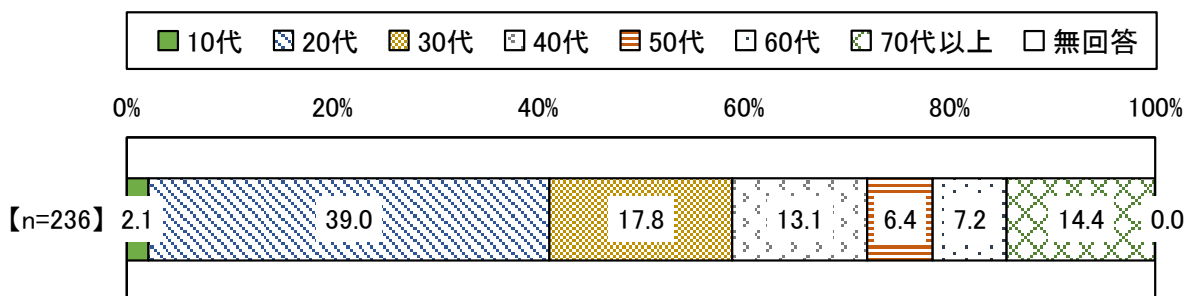
「女性」が大きく増え、「男性」が大きく減っています。

	今回調査	前回調査
男性	46.6%	64.9%
女性	53.0%	35.1%

(2) 年齢

問2 あなたの年齢をおうかがいします。(○は1つ)

◇「20代」が39.0%で最も多く、以下「30代」が17.8%、「70代以上」が14.4%、「40代」が13.1%、「60代」が7.2%、「50代」が6.4%、「10代」が2.1%となっています。



前回調査との比較

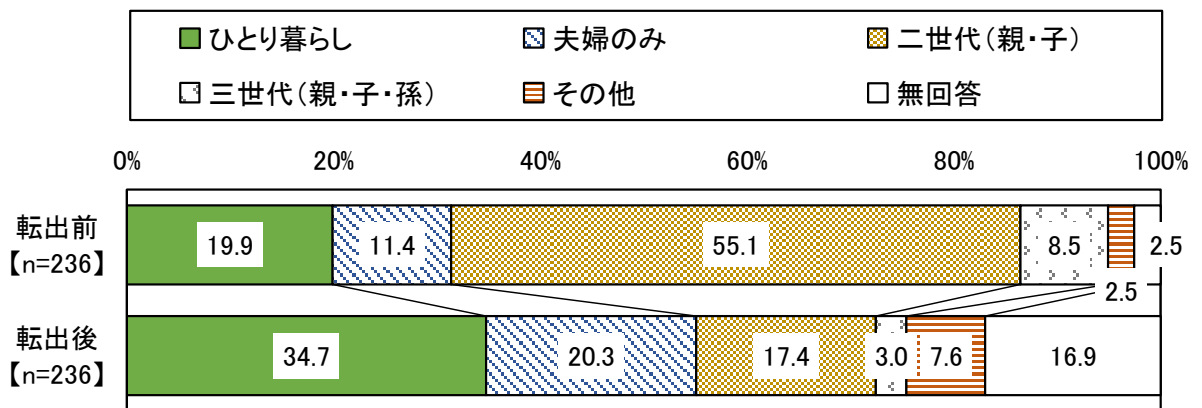
「20代」、「30代」が大きく増え、40代以上は減っています。

	今回調査	前回調査
20代	39.0%	10.8%
30代	17.8%	8.1%
40代	13.1%	21.6%
50代	6.4%	17.6%
60代	7.2%	40.5%
70代以上	14.4%	

(3) 転出前後の世帯構成

問3 松伏町から転出する前後の世帯構成をおうかがいします。(〇はそれぞれ1つ)

◇転出前では、「二世帯(親・子)」が55.1%で最も多く、以下「ひとり暮らし」が19.9%、「夫婦のみ」が11.4%、「三世帯(親・子・孫)」が8.5%などとなっています。
 転出後では、「ひとり暮らし」が34.7%で最も多く、以下「夫婦のみ」が20.3%、「二世帯(親・子)」が17.4%、「三世帯(親・子・孫)」が3.0%などとなっています。
 転出前後を比較すると、「二世帯(親・子)」が37.7ポイント減少し、「ひとり暮らし」が14.8ポイント増加、「夫婦のみ」が8.9ポイント増加しています。
 ◇年代でみると、転出後は30代を除いては、いずれも「ひとり暮らし」が最も多くなっています。ちなみに30代では「夫婦のみ」が最も多くなっています。



■年代×転出後の世帯構成

単位: %

	合計 (件)	ひとり暮らし	夫婦のみ	二世帯 (親・子)	三世帯 (親・子・孫)	その他	無回答
全体	236	① 34.7	20.3	17.4	3.0	7.6	16.9
10代	5	① 60.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0
20代	92	① 41.3	22.8	14.1	0.0	6.5	15.2
30代	42	19.0	① 31.0	26.2	0.0	7.1	16.7
40代	31	① 35.5	22.6	16.1	3.2	3.2	19.4
50代	15	① 40.0	0.0	26.7	6.7	6.7	20.0
60代	17	① 29.4	17.6	17.6	5.9	0.0	29.4
70代以上	34	① 32.4	11.8	11.8	11.8	17.6	14.7

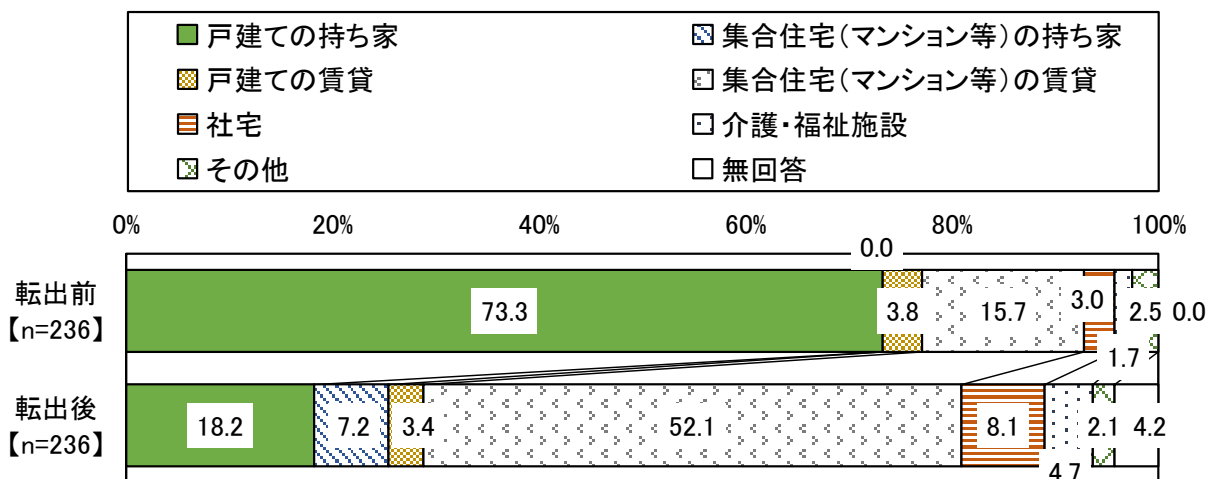
(4) 転出前後の居住形態

問4 松伏町から転出する前後の居住形態をおうかがいします。(○はそれぞれ1つ)

◇転出前では、「戸建ての持ち家」が73.3%で最も多く、以下「集合住宅(マンション等)の賃貸」が15.7%、「戸建ての賃貸」が3.8%、「社宅」が3.0%などとなっています。転出後では、「集合住宅(マンション等)の賃貸」が52.1%で最も多く、以下「戸建ての持ち家」が18.2%、「社宅」が8.1%、「集合住宅(マンション等)の持ち家」が7.2%などとなっています。

転出前後を比較すると、「戸建ての持ち家」は55.1ポイント減少し、「集合住宅の賃貸」が36.4ポイント増加、「集合住宅(マンション等)の持ち家」が7.2ポイント増加しています。

◇年代で見ると、70代以上では「介護・福祉施設」が26.5%と多くなっています。



■年代 × 転出後の居住形態

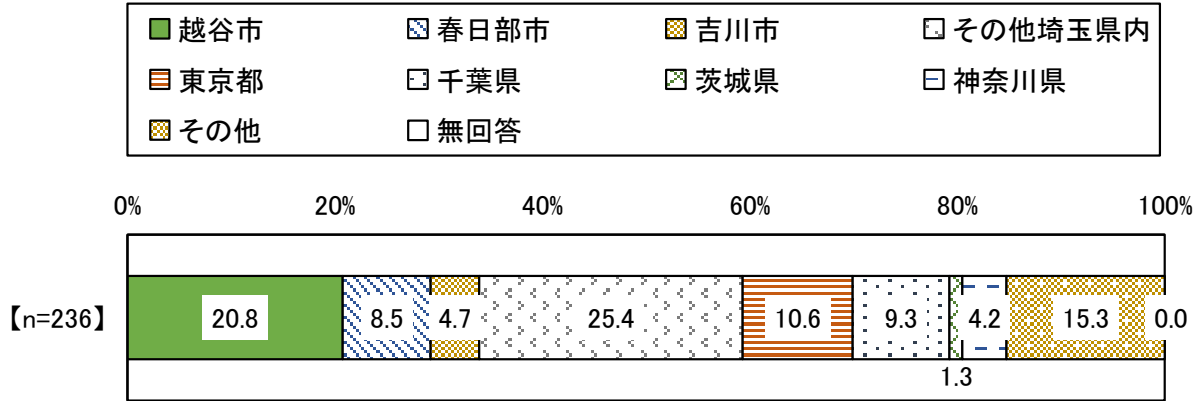
単位: %

	合計(件)	戸建ての持ち家	集合住宅(マンション等)の持ち家	戸建ての賃貸	集合住宅(マンション等)の賃貸	社宅	介護・福祉施設	その他	無回答
全体	236	18.2	7.2	3.4	① 52.1	8.1	4.7	2.1	4.2
10代	5	20.0	0.0	0.0	0.0	① 60.0	0.0	20.0	0.0
20代	92	10.9	2.2	3.3	① 69.6	9.8	1.1	0.0	3.3
30代	42	26.2	4.8	7.1	① 52.4	7.1	0.0	2.4	0.0
40代	31	22.6	12.9	3.2	① 51.6	6.5	3.2	0.0	0.0
50代	15	① 33.3	13.3	0.0	① 33.3	13.3	0.0	0.0	6.7
60代	17	23.5	17.6	5.9	① 35.3	0.0	0.0	11.8	5.9
70代以上	34	14.7	11.8	0.0	① 29.4	0.0	26.5	2.9	14.7

(5) 転出先の住所

問5 転出先のご住所をおうかがいします。(○は1つ)

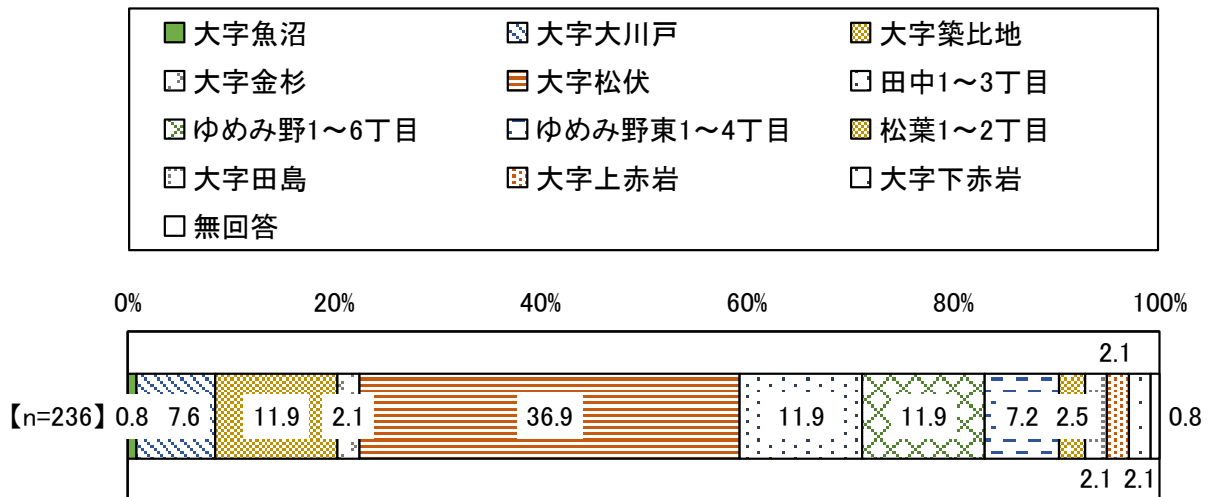
◇「その他埼玉県内」が25.4%で最も多く、以下「越谷市」が20.8%、「東京都」が10.6%、「千葉県」が9.3%などとなっています。



(6) 転出前の町丁名

問6 転出前の町内の町丁名（大字）をおうかがいします。(○は1つ)

◇「大字松伏」が36.9%で最も多く、以下「大字築比地」、「田中1～3丁目」、「ゆめみ野1～6丁目」いずれも11.9%となっています。



前回調査との比較

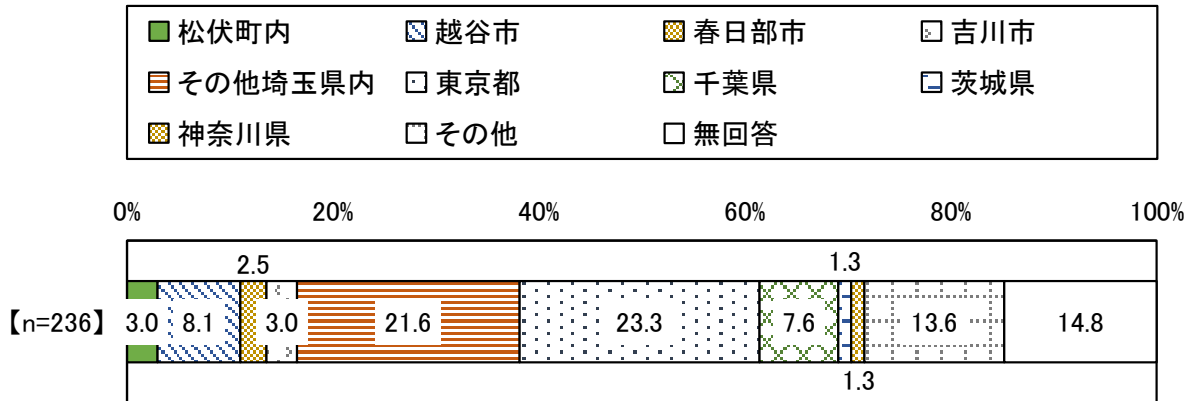
「大字松伏」の1位は変わりませんが、前回調査よりも少なくなっています。「大字築比地」は順位を上げ、「田中1～3丁目」は順位を下げています。

(上位5位)	今回調査	前回調査
大字松伏	① 36.9%	① 41.9%
大字築比地	② 11.9%	⑤ 6.8%
田中1～3丁目	② 11.9%	② 18.9%
ゆめみ野1～6丁目	② 11.9%	③ 13.5%
大字大川戸	⑤ 7.6%	④ 8.1%

(7) 現在の勤務先や通学先

問7 お仕事や通学をされている場合、現在（転出後）の勤務先（通学先）はどちらですか。（〇は1つ又は無回答）

- ◇「東京都」が23.3%で最も多く、以下「その他埼玉県内」が21.6%、「越谷市」が8.1%、「千葉県」が7.6%などとなっています。
- ◇現在の住所と現在の通学先や勤務先を比較すると、現在の勤務先や通学先への転出が比較的多くなっています。



■転出先の住所×現在の勤務先や通学先

単位: %

現在の勤務先や通学先 \ 転出先の住所	合計(件)	東京都	その他埼玉県内	越谷市	千葉県	松伏町内	吉川市	春日部市	茨城県	神奈川県	その他	無回答
全体	236	①23.3	21.6	8.1	7.6	3.0	3.0	2.5	1.3	1.3	13.6	14.8
越谷市	49	26.5	14.3	①28.6	0.0	4.1	4.1	0.0	0.0	0.0	4.1	18.4
春日部市	20	5.0	15.0	5.0	15.0	15.0	5.0	①25.0	0.0	0.0	0.0	15.0
吉川市	11	0.0	①36.4	0.0	18.2	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1
その他埼玉県内	60	21.7	①56.7	3.3	1.7	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	6.7	8.3
東京都	25	①72.0	4.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	8.0
千葉県	22	9.1	0.0	4.5	①50.0	0.0	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0	22.7
茨城県	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	①66.7	0.0	0.0	0.0
神奈川県	10	①60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0	10.0
その他	36	2.8	5.6	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	①63.9	25.0

2 転出の理由について

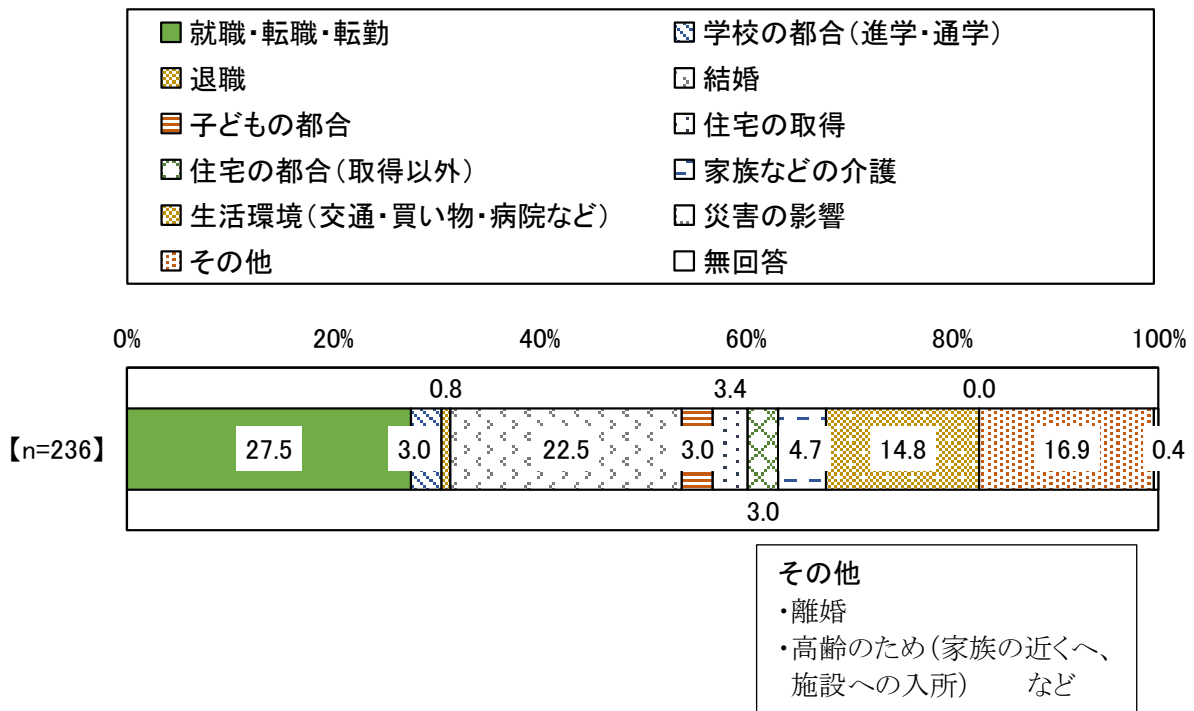
(1) 引っ越しの大きなきっかけ

問8 引っ越しをすることとなったもっとも大きなきっかけは何ですか。(〇は1つ)

◇「就職・転職・転勤」が27.5%で最も多く、以下「結婚」が22.5%、「生活環境(交通・買い物・病院など)」が14.8%、「家族などの介護」が4.7%などとなっています。

◇性別で見ると、男性では「就職・転職・転勤」が最も多く、女性では「結婚」が最も多くなっています。

◇年代で見ると、30代では「結婚」が最も多く、40代では「生活環境(交通・買い物・病院など)」が最も多くなっています。



■性別・年代×引っ越しの大きなきっかけ

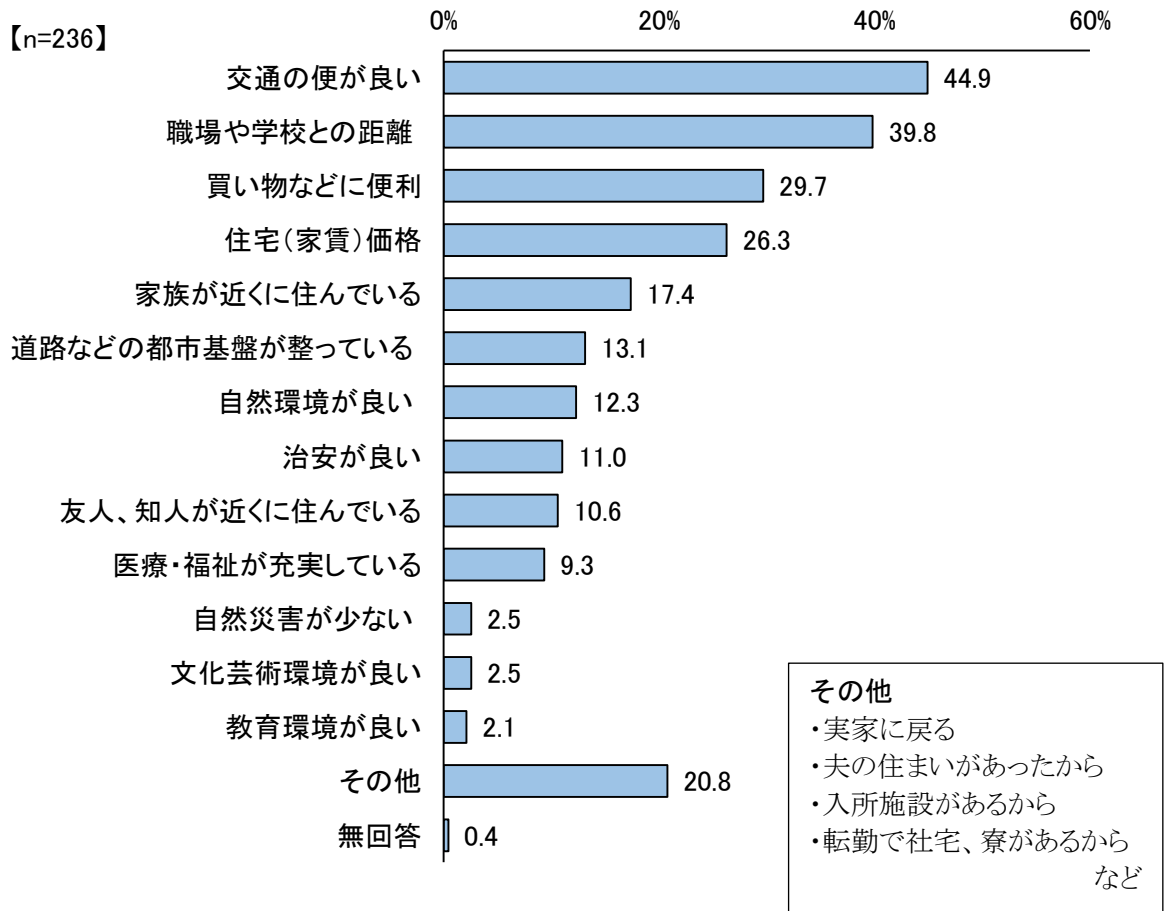
単位: %

	合計(件)	就職・転職・転勤	結婚	生活環境(交通・買い物・病院など)	家族などの介護	住宅の取得	学校の都合(進学・通学)	子どもの都合	住宅の都合(取得以外)	退職	災害の影響	その他	無回答
全体	236	①27.5	22.5	14.8	4.7	3.4	3.0	3.0	3.0	0.8	0.0	16.9	0.4
男性	110	①30.9	16.4	14.5	6.4	4.5	2.7	0.9	5.5	0.9	0.0	16.4	0.9
女性	125	24.8	①28.0	15.2	2.4	2.4	3.2	4.8	0.8	0.8	0.0	17.6	0.0
10代	5	①80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	92	①40.2	27.2	10.9	1.1	3.3	4.3	1.1	1.1	0.0	0.0	10.9	0.0
30代	42	23.8	①45.2	7.1	0.0	2.4	2.4	0.0	2.4	0.0	0.0	16.7	0.0
40代	31	22.6	22.6	①29.0	3.2	6.5	3.2	0.0	3.2	0.0	0.0	9.7	0.0
50代	15	①26.7	6.7	13.3	20.0	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0	20.0	0.0
60代	17	17.6	0.0	23.5	5.9	11.8	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	①29.4	0.0
70代以上	34	0.0	2.9	20.6	14.7	0.0	0.0	14.7	8.8	0.0	0.0	①35.3	2.9

(2) 現在の住まいを選んだ理由

問9 現在（転出先）のお住まいを選んだ理由は何ですか。（〇はいくつでも）

- ◇「交通の便が良い」が44.9%で最も多く、以下「職場や学校との距離」が39.8%、「買い物などに便利」が29.7%、「住宅（家賃）価格」が26.3%などとなっています。
- ◇年代でみると、30代から60代では「交通の便が良い」が最も多くなっていますが、20代では「職場や学校との距離」、70代以上では「家族が近くに住んでいる」が最も多くなっています。



Ⅲ 調査結果の詳細 第3章 転出者対象アンケート調査

■年代×現在の住まいを選んだ理由（上段：上位、下段：下位）

単位：%

	合計（件）	交通の便が良い	職場や学校との距離	買い物などに便利	住宅（家賃）価格	家族が近くに住んでいる	道路などの都市基盤が整っている	自然環境が良い	治安が良い
全体	236	①44.9	②39.8	③29.7	④26.3	⑤17.4	13.1	12.3	11.0
10代	5	0.0	①40.0	0.0	①40.0	③20.0	0.0	0.0	0.0
20代	92	②46.7	①56.5	④31.5	③32.6	12.0	6.5	7.6	⑤13.0
30代	42	①52.4	②45.2	③31.0	④19.0	⑤16.7	11.9	11.9	9.5
40代	31	①58.1	②35.5	③25.8	③25.8	3.2	⑤19.4	12.9	12.9
50代	15	①46.7	③26.7	②40.0	③26.7	13.3	20.0	13.3	6.7
60代	17	①52.9	⑤23.5	②35.3	⑤23.5	⑤23.5	④29.4	②35.3	11.8
70代以上	34	④20.6	5.9	②23.5	⑤17.6	①44.1	⑤17.6	14.7	8.8

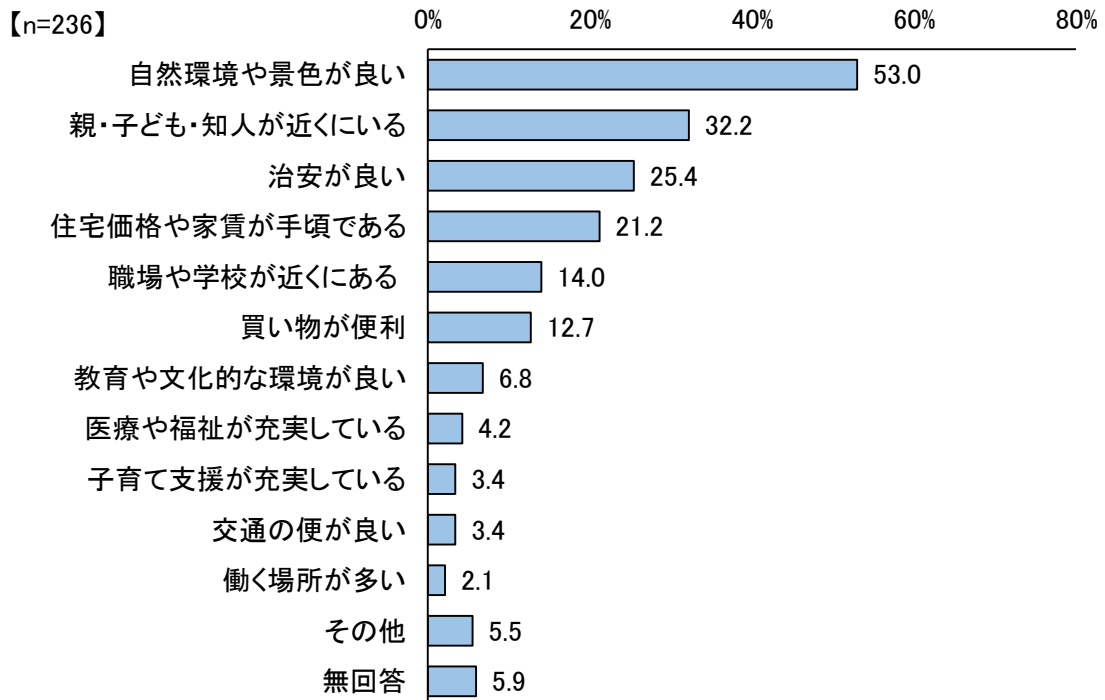
	合計（件）	友人、知人が近くに住んでいる	医療・福祉が充実している	自然災害が少ない	文化芸術環境が良い	教育環境が良い	その他	無回答
全体	236	10.6	9.3	2.5	2.5	2.1	20.8	0.4
10代	5	③20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
20代	92	12.0	6.5	0.0	4.3	2.2	16.3	0.0
30代	42	2.4	11.9	4.8	0.0	4.8	19.0	0.0
40代	31	12.9	3.2	0.0	0.0	3.2	19.4	0.0
50代	15	③26.7	13.3	6.7	0.0	0.0	26.7	0.0
60代	17	11.8	0.0	5.9	5.9	0.0	23.5	0.0
70代以上	34	5.9	②23.5	5.9	2.9	0.0	32.4	2.9

(3) 松伏町に魅力を感じた点

問 10 松伏町にお住まいのときに、魅力を感じた点は何ですか。(〇はいくつでも)

◇「自然環境や景色が良い」が 53.0%で最も多く、以下「親・子ども・知人が近くにいる」が 32.2%、「治安が良い」が 25.4%、「住宅価格や家賃が手頃である」が 21.2%などとなっています。

◇年代でみると、「自然環境や景色が良い」が 20 代以上のすべての年代で 1 位となっています。



■年代×松伏町に魅力を感じた点

単位: %

	合計(件)	自然環境や景色が良い	親・子ども・知人が近くにいる	治安が良い	住宅価格や家賃が手頃である	職場や学校が近くにある	買い物が便利	教育や文化的な環境が良い	医療や福祉が充実している	子育て支援が充実している	交通の便が良い	働く場所が多い	その他	無回答
全体	236	①53.0	②32.2	③25.4	④21.2	⑤14.0	12.7	6.8	4.2	3.4	3.4	2.1	5.5	5.9
10代	5	②20.0	①40.0	②20.0	②20.0	②20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	②20.0	0.0	0.0	20.0
20代	92	①53.3	②38.0	③23.9	⑤17.4	④19.6	9.8	9.8	2.2	2.2	1.1	1.1	3.3	3.3
30代	42	①69.0	②38.1	②38.1	④21.4	9.5	⑤16.7	7.1	4.8	7.1	7.1	7.1	9.5	4.8
40代	31	①58.1	③22.6	②25.8	④16.1	⑤12.9	3.2	3.2	6.5	3.2	6.5	0.0	6.5	12.9
50代	15	①46.7	④20.0	②33.3	③26.7	13.3	④20.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0
60代	17	①58.8	④11.8	④11.8	②47.1	③17.6	④11.8	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	0.0	11.8
70代以上	34	①32.4	①32.4	⑤17.6	④20.6	2.9	③23.5	5.9	5.9	2.9	0.0	0.0	8.8	5.9

前回調査との比較

「自然環境や景色が良い」は前回調査でも最も多く、今回調査でも同程度あげられています。今回調査で大きく上回るのは「親・子ども・知人が近くにいる」であり、前回調査 12.2%から今回調査 32.2%となっています。これに対し、「住宅価格や家賃が手頃である」や「買い物が便利」は前回調査を下回ります。

年代別では、「自然環境や景色が良い」は20代、30代、40代いずれも前回調査を上回ります。「親・子ども・知人が近くにいる」は20代、40代では前回調査を上回り、30代は前回調査を下回ります。「治安が良い」は30代、40代で上回ります。

(上位6位)	今回調査	前回調査
自然環境や景色が良い	① 53.0%	① 51.4%
親・子ども・知人が近くにいる	② 32.2%	⑥ 12.2%
治安が良い	③ 25.4%	③ 25.7%
住宅価格や家賃が手頃である	④ 21.2%	② 27.0%
職場や学校が近くにある	⑤ 14.0%	⑤ 13.5%
買い物が便利	⑥ 12.7%	④ 16.2%

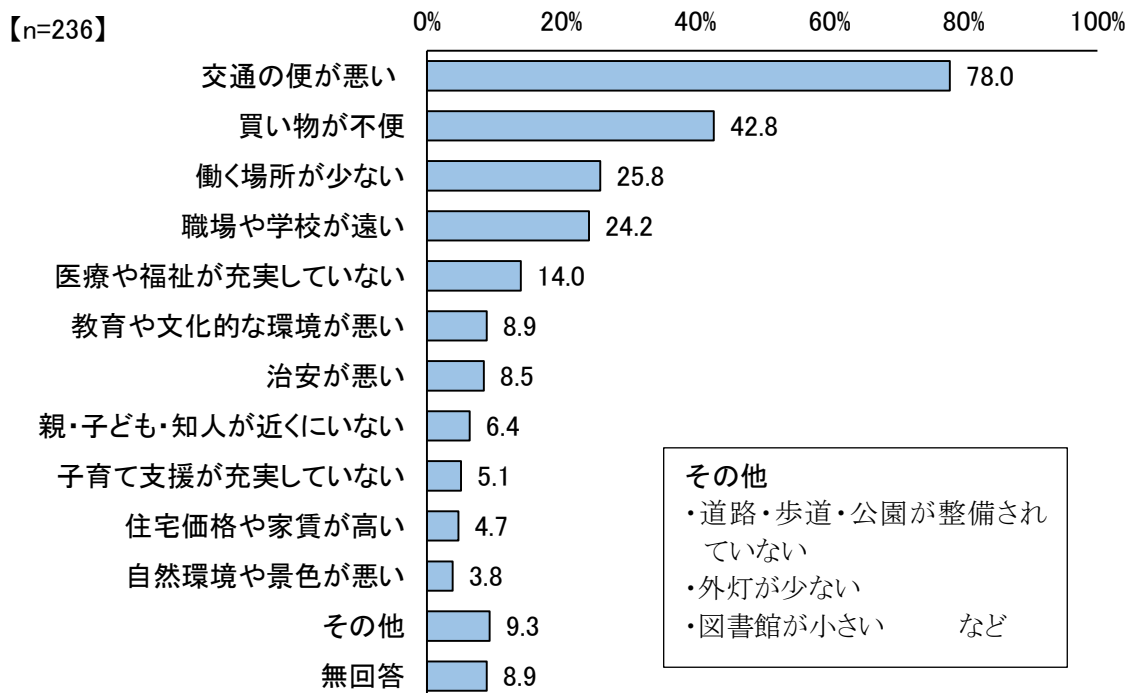
(上位6位)	20代		30代		40代		50代	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
自然環境や景色が良い	53.3%	28.6%	69.0%	50.0%	58.1%	42.9%	46.7%	66.7%
親・子ども・知人が近くにいる	38.0%	14.3%	38.1%	66.7%	22.6%	7.1%	20.0%	-
治安が良い	23.9%	42.9%	38.1%	-	25.8%	14.3%	33.3%	25.0%
住宅価格や家賃が手頃である	17.4%	28.6%	21.4%	16.7%	16.1%	35.7%	26.7%	58.3%
職場や学校が近くにある	19.6%	28.6%	9.5%	16.7%	12.9%	21.4%	13.3%	16.7%
買い物が便利	9.8%	-	16.7%	16.7%	3.2%	14.3%	20.0%	25.0%

(4) 松伏町の不満点

問 11 松伏町にお住まいのときに、ご不満だった点は何ですか。(〇はいくつでも)

◇「交通の便が悪い」が78.0%で最も多く、以下「買い物が不便」が42.8%、「働く場所が少ない」が25.8%、「職場や学校が遠い」が24.2%などとなっています。

◇年代でみると、すべての年代で「交通の便が悪い」が最も多く、20代87.0%、30代81.0%、10代80.0%の順となっています。「買い物が不便」は60代に、「働く場所が少ない」は40代が他の年代に比べ多くなっています。



■年代×松伏町の不満点

単位：%

	合計(件)	交通の便が悪い	買い物が不便	働く場所が少ない	職場や学校が遠い	医療や福祉が充実していない	教育や文化的な環境が悪い	治安が悪い	親・子ども・知人が近くにいない	子育て支援が充実していない	住宅価格や家賃が高い	自然環境や景色が悪い	その他	無回答
全体	236	①78.0	②42.8	③25.8	④24.2	⑤14.0	8.9	8.5	6.4	5.1	4.7	3.8	9.3	8.9
10代	5	①80.0	②40.0	0.0	③20.0	0.0	0.0	③20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
20代	92	①87.0	②47.8	③29.3	④28.3	9.8	7.6	⑤13.0	1.1	8.7	2.2	2.2	6.5	4.3
30代	42	①81.0	②31.0	④23.8	③31.0	⑤16.7	7.1	9.5	0.0	4.8	4.8	2.4	14.3	9.5
40代	31	①64.5	②41.9	②41.9	④19.4	9.7	⑤16.1	3.2	3.2	6.5	9.7	3.2	9.7	22.6
50代	15	①80.0	②46.7	④13.3	④13.3	④13.3	④13.3	0.0	③26.7	0.0	0.0	6.7	6.7	6.7
60代	17	①70.6	②52.9	④23.5	④23.5	③35.3	17.6	5.9	17.6	0.0	5.9	5.9	17.6	17.6
70代以上	34	①64.7	②38.2	⑤14.7	⑤14.7	③17.6	2.9	2.9	③17.6	0.0	8.8	8.8	5.9	5.9

前回調査との比較

「交通の便が悪い」「買い物が不便」は、前回調査と同様に上位1位、2位となっています。「職場や学校が遠い」「医療や福祉が充実していない」が増えています。

年代別にみると、「職場や学校が遠い」は20代、30代で前回調査を上回っています。

(上位5位)	今回調査	前回調査
交通の便が悪い	① 78.0%	① 81.1%
買い物が不便	② 42.8%	② 37.8%
働く場所が少ない	③ 25.8%	(項目なし)
職場や学校が遠い	④ 24.2%	③ 13.5%
医療や福祉が充実していない	⑤ 14.0%	④ 9.5%

	20代		30代		40代		50代	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
交通の便が悪い	87.0%	100.0%	81.0%	80.0%	64.5%	100.0%	80.0%	91.7%
買い物が不便	47.8%	42.9%	31.0%	20.0%	41.9%	46.7%	46.7%	50.0%
職場や学校が遠い	28.3%	14.3%	31.0%	20.0%	19.4%	20.0%	13.3%	25.0%
医療や福祉が充実していない	9.8%	-	16.7%	-	9.7%	6.7%	13.3%	8.3%
親・子ども・知人が近くにいない	1.1%	-	-	-	3.2%	6.7%	26.7%	16.7%
住宅価格や家賃が高い	2.2%	28.6%	4.8%	-	9.7%	6.7%	-	-

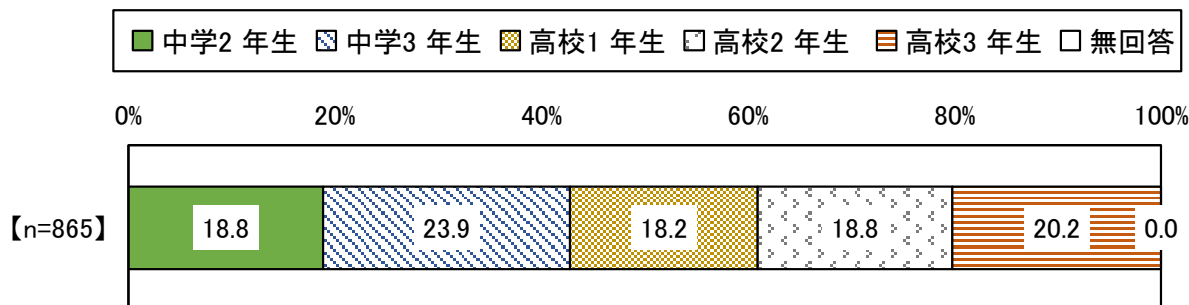
第4章 中学生・高校生アンケート調査

1 あなたのことについて

(1) 学年

問1 あなたの学年をおうかがいします。(〇は1つ)

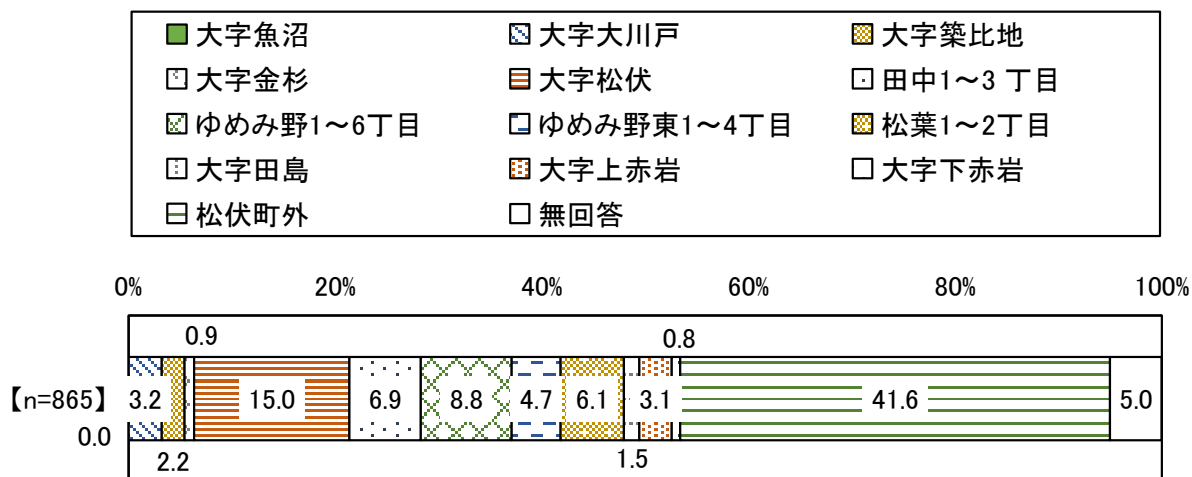
◇「中学3年生」が23.9%で最も多く、以下「高校3年生」が20.2%、「中学2年生」が18.8%、「高校2年生」が18.8%、「高校1年生」が18.2%となっています。



(2) 現在の住まい

問2 あなたの現在のお住まいはどちらですか。(〇は1つ)

◇「松伏町外」が41.6%で最も多く、以下「大字松伏」が15.0%、「ゆめみ野1～6丁目」が8.8%、「田中1～3丁目」が6.9%などとなっています。



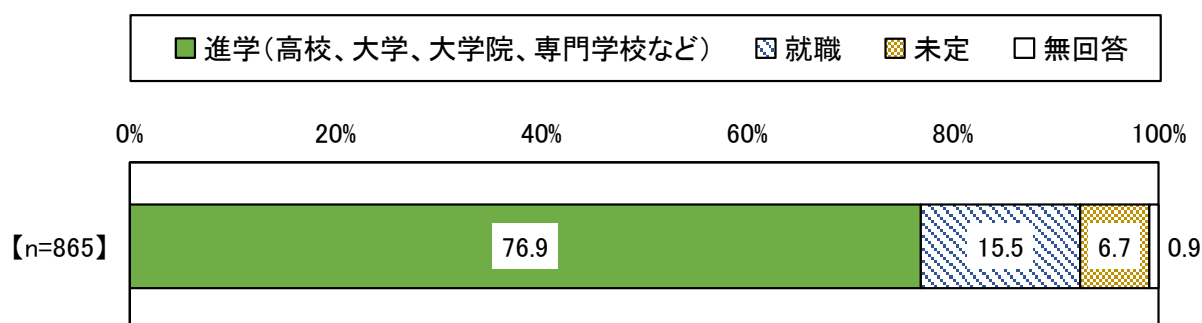
2 進路について

(1) 卒業後の進路希望

問3 卒業後の進路希望を教えてください。(○は1つ)

◇「進学(高校、大学、大学院、専門学校など)」が76.9%で最も多く、以下「就職」が15.5%、「未定」が6.7%となっています。

◇学年で見ると、中学生では大半が「進学(高校、大学、大学院、専門学校など)」を希望していますが、学年が上がるほど「就職」が多くなり、高校3年生では37.1%となっています。



■学年×卒業後の進路希望

単位:%

	合計 (件)	進学(高校、大学、 大学院、専門学校など)	就職	未定	無回答
全体	865	① 76.9	15.5	6.7	0.9
中学2年生	163	① 93.9	0.0	6.1	0.0
中学3年生	207	① 98.1	0.5	1.4	0.0
高校1年生	157	① 57.3	19.7	20.4	2.5
高校2年生	163	① 68.7	22.7	6.1	2.5
高校3年生	175	① 61.1	37.1	1.7	0.0

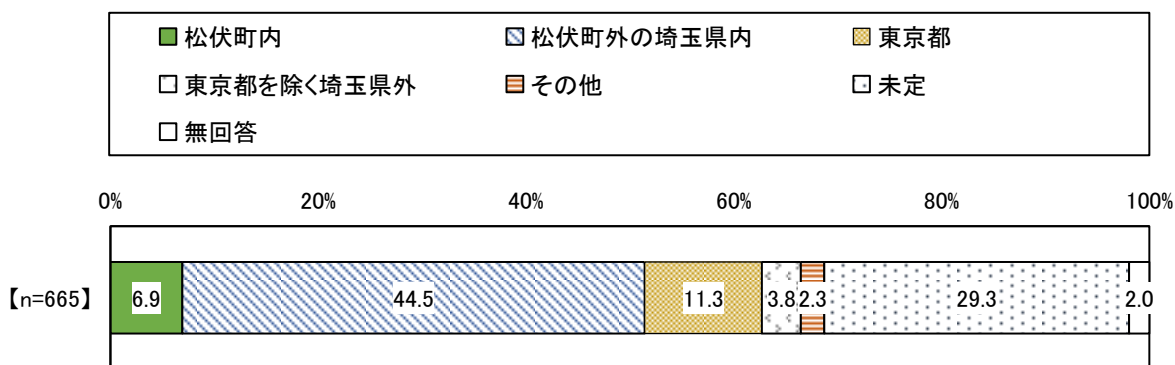
(2) 進学先の希望

問3で「1 進学」とお答えの方にお聞きします。

問4 進学先は、どこを希望しますか。(○は1つ)

◇「松伏町外の埼玉県内」が44.5%で最も多く、以下「未定」が29.3%、「東京都」が11.3%、「松伏町内」が6.9%などとなっています。

◇学年で見ると、高校1年生と高校2年生では「未定」が過半数を占めています。また、学年が上がるほど「東京都」が多くなっています。



■学年×進学先の希望

単位: %

	合計 (件)	松伏町内	松伏町外の 埼玉県内	東京都	東京都を除 く埼玉県外	その他	未定	無回答
全体	665	6.9	① 44.5	11.3	3.8	2.3	29.3	2.0
中学2年生	153	11.1	① 48.4	0.0	5.2	3.3	30.7	1.3
中学3年生	203	13.8	① 71.9	1.0	2.5	0.5	9.9	0.5
高校1年生	90	0.0	17.8	15.6	2.2	2.2	① 58.9	3.3
高校2年生	112	0.9	17.9	19.6	2.7	4.5	① 50.9	3.6
高校3年生	107	0.0	① 37.4	34.6	6.5	1.9	16.8	2.8

(3) 就職先の希望

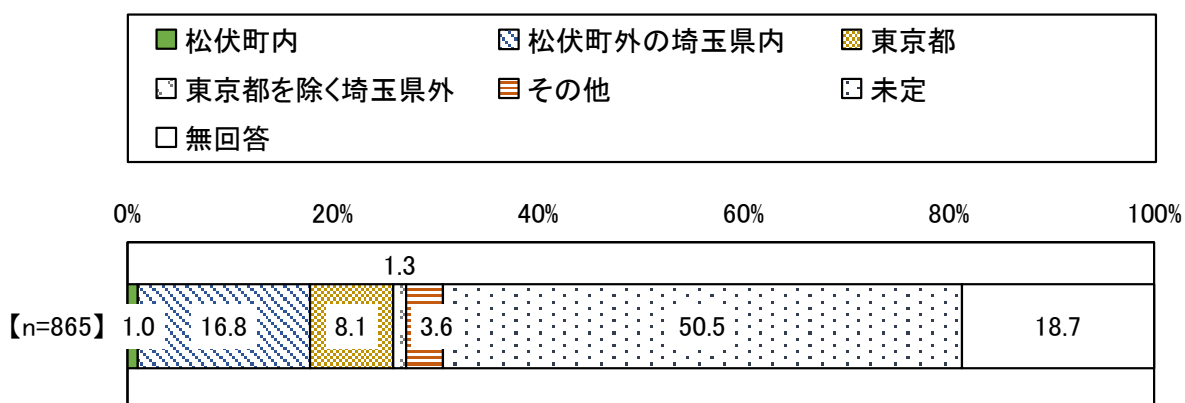
問5以降は全ての方にお聞きします。

問5 卒業後の就職先は、どこを希望しますか。(〇は1つ)

◇「未定」が50.5%で最も多く、以下「松伏町外の埼玉県内」が16.8%、「東京都」が8.1%、「東京都を除く埼玉県外」が1.3%、「松伏町内」が1.0%となっています。

◇学年で見ると、高校3年生では「松伏町外の埼玉県内」が33.1%で比較的多くなっています。

また、就職を希望する学生では「松伏町外の埼玉県内」が36.6%となっており、「松伏町内」は0.7%にとどまっています。



■学年・進路希望×就職先の希望

単位:%

		合計 (件)	松伏町内	松伏町外の 埼玉県内	東京都	東京都を除 く埼玉県外	その他	未定	無回答
全体		865	1.0	16.8	8.1	1.3	3.6	① 50.5	18.7
学年	中学2年生	163	3.1	14.1	8.0	2.5	6.1	① 48.5	17.8
	中学3年生	207	1.4	12.6	7.7	0.5	1.9	① 59.9	15.9
	高校1年生	157	0.0	14.6	7.6	0.6	3.2	① 52.2	21.7
	高校2年生	163	0.0	9.2	6.1	0.6	3.7	① 57.7	22.7
	高校3年生	175	0.6	① 33.1	10.9	2.3	3.4	① 33.1	16.6
進路希望	進学	665	1.2	13.5	8.9	1.5	2.7	① 49.3	22.9
	就職	134	0.7	36.6	6.0	0.0	5.2	① 50.7	0.7
	未定	58	0.0	10.3	5.2	1.7	8.6	① 69.0	5.2

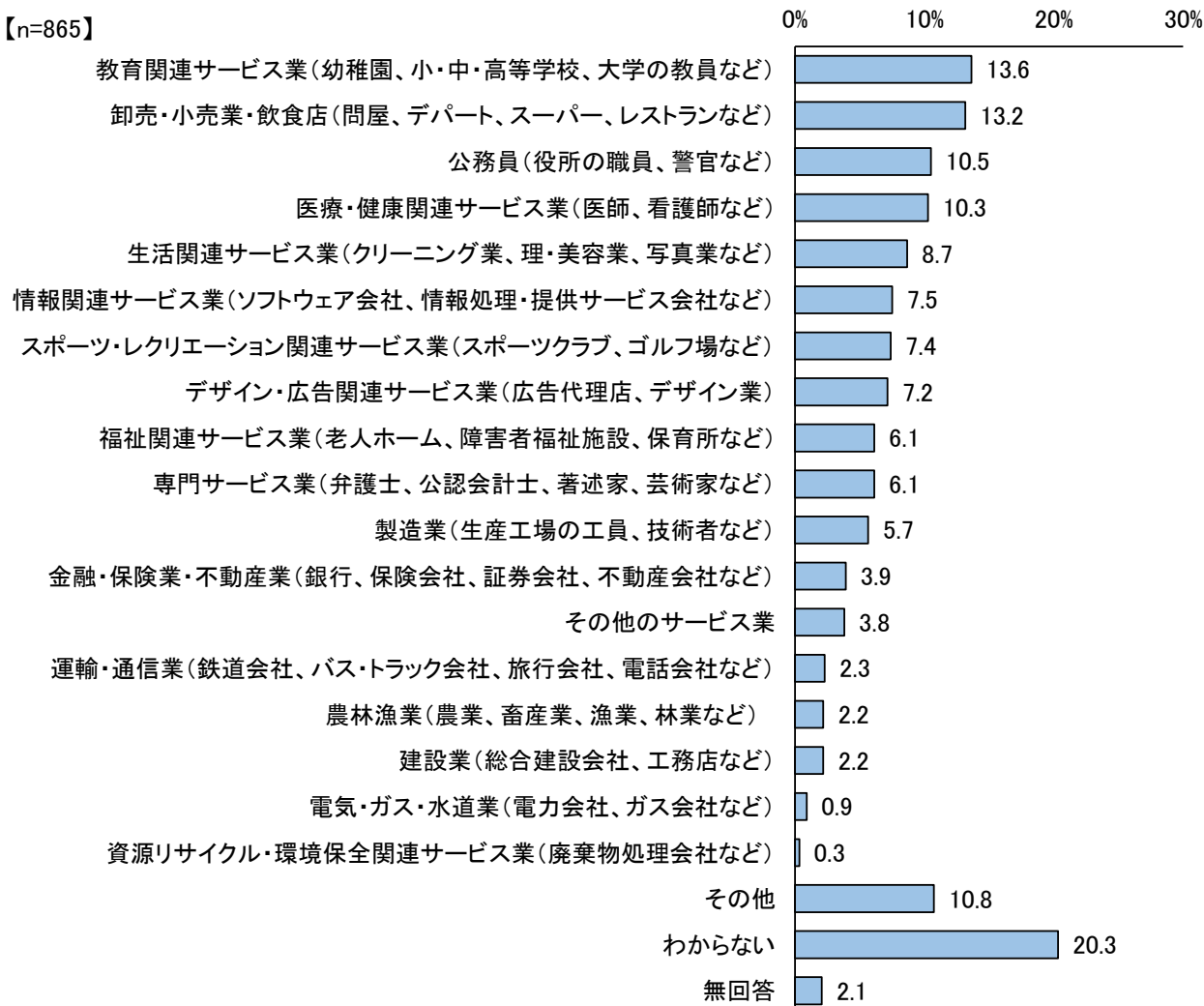
(4) 将来したい仕事

問6 あなたは将来どんな仕事がしたいですか。(〇は3つまで)

◇「教育関連サービス業(幼稚園、小・中・高等学校、大学の教員など)」が13.6%で最も多く、以下「卸売・小売業・飲食店(問屋、デパート、スーパー、レストランなど)」が13.2%、「その他」が10.8%、「公務員(役所の職員、警官など)」が10.5%などとなっています。

なお、「わからない」との回答は20.3%となっています。

◇学年及び進路希望でみると、高校3年生や就職を希望する学生では、「卸売・小売業・飲食店(問屋、デパート、スーパー、レストランなど)」が最も多くなっています。また、就職を希望する学生では「製造業(生産工場の工員、技術者など)」が第2位となっています。



その他

- ・スポーツ選手(野球、サッカー、バスケットボール)
- ・動物関係、トリマー
- ・俳優、歌手、ミュージシャン、声優
- ・YouTuber など

Ⅲ 調査結果の詳細 第4章 中学生・高校生アンケート調査

■学年・進路希望×将来したい仕事（上段：上位、下段：下位）

単位：％

		合計(件)	卸売・小売業・飲食店(問屋、デパート、スーパー、レストランなど)	公務員(役所の職員、警官など)	医療・健康関連サービス業(医師、看護師など)	生活関連サービス業(クリーニング業、理・美容業、写真業など)	情報関連サービス業(ソフトウェア会社、情報処理・提供サービス会社など)	スポーツ・レクリエーション関連サービス業(スポーツクラブ、ゴルフ場など)	デザイン・広告関連サービス業(広告代理店、デザイン業)	福祉関連サービス業(老人ホーム、障害者福祉施設、保育所など)	専門サービス業(弁護士、公認会計士、著述家、芸術家など)	製造業(生産工場の工員、技術者など)	
全体		865	13.6	13.2	10.5	10.3	8.7	7.5	7.4	7.2	6.1	6.1	5.7
学年	中学2年生	163	16.0	8.0	10.4	8.6	6.1	9.8	17.8	8.6	2.5	4.9	0.6
	中学3年生	207	13.0	12.6	17.9	12.6	6.3	10.1	9.7	4.8	6.3	5.3	4.3
	高校1年生	157	12.7	15.3	7.0	8.3	10.8	3.8	3.8	10.2	6.4	12.7	3.2
	高校2年生	163	14.1	12.9	10.4	11.7	12.3	6.1	3.7	8.0	9.8	5.5	6.7
	高校3年生	175	12.6	①17.1	5.1	9.7	8.6	6.9	1.7	5.1	5.7	2.9	13.1
進路希望	進学	665	16.5	9.8	11.6	12.5	10.2	7.7	9.0	6.6	6.6	6.3	2.3
	就職	134	2.2	①29.1	8.2	0.7	2.2	8.2	2.2	9.0	4.5	4.5	22.4
	未定	58	8.6	15.5	5.2	8.6	6.9	5.2	1.7	8.6	5.2	8.6	5.2

		合計(件)	金融・保険業・不動産業(銀行、保険会社、証券会社、不動産会社など)	その他のサービス業	運輸・通信業(鉄道会社、バス・トラック会社、旅行会社、電話会社など)	農林漁業(農業、畜産業、漁業、林業など)	建設業(総合建設会社、工務店など)	電気・ガス・水道業(電力会社、ガス会社など)	資源リサイクル・環境保全関連サービス業(廃棄物処理会社など)	その他	わからない	無回答
全体		865	3.9	3.8	2.3	2.2	2.2	0.9	0.3	10.8	①20.3	2.1
学年	中学2年生	163	2.5	1.8	1.8	1.2	2.5	0.6	0.0	12.9	①25.2	0.6
	中学3年生	207	3.4	3.4	3.9	3.9	3.9	2.4	0.5	11.6	①20.3	1.0
	高校1年生	157	5.1	4.5	0.6	3.8	1.9	0.0	0.6	3.8	①26.1	3.2
	高校2年生	163	3.7	3.1	1.8	1.8	0.0	0.6	0.6	11.0	①19.0	5.5
	高校3年生	175	5.1	6.3	2.9	0.0	2.3	0.6	0.0	13.7	12.0	0.6
進路希望	進学	665	2.7	3.6	2.1	2.4	1.8	1.1	0.3	12.3	①17.3	1.5
	就職	134	11.2	5.2	4.5	0.0	4.5	0.7	0.7	6.7	23.9	0.7
	未定	58	1.7	3.4	0.0	5.2	1.7	0.0	0.0	3.4	①46.6	3.4

3 今の松伏町のことについて

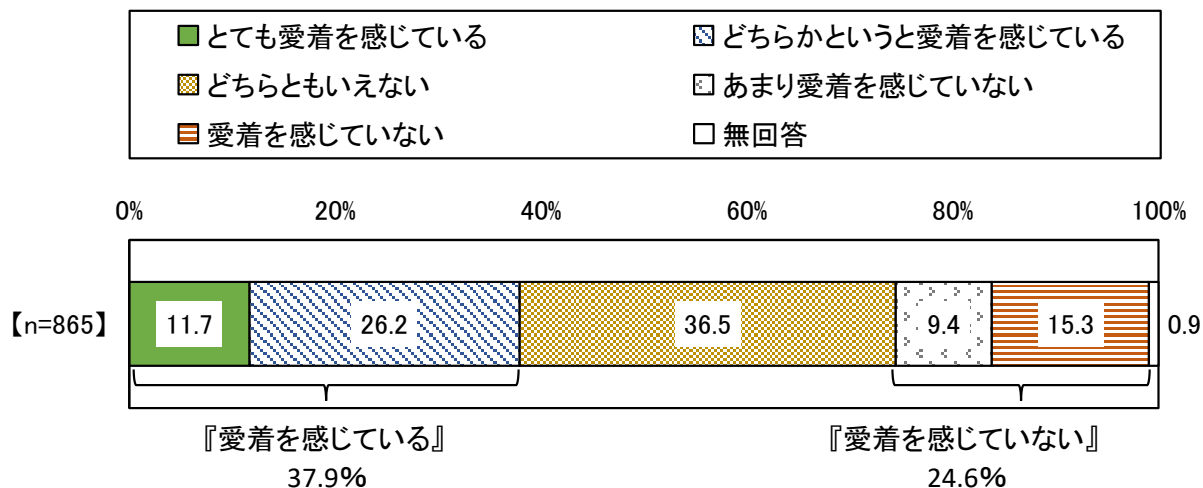
(1) 松伏町への愛着

問7 あなたは松伏町に愛着（好きと思う気持ち、愛する心）をどの程度感じていますか。
（〇は1つ）

◇「どちらともいえない」が36.5%で最も多く、以下「どちらかというと愛着を感じている」が26.2%、「愛着を感じていない」が15.3%、「とても愛着を感じている」が11.7%、「あまり愛着を感じていない」が9.4%となっています。

「とても愛着を感じている」と「どちらかというと愛着を感じている」を合わせた『愛着を感じている』37.9%は、「愛着を感じていない」と「あまり愛着を感じていない」を合わせた『愛着を感じていない』24.6%を上回ります。

◇学年で見ると、中学生（2～3年生）では『愛着を感じている』が過半数を占めていますが、高校生（1～3年生）では20%台にとどまっています。



■学年×松伏町への愛着

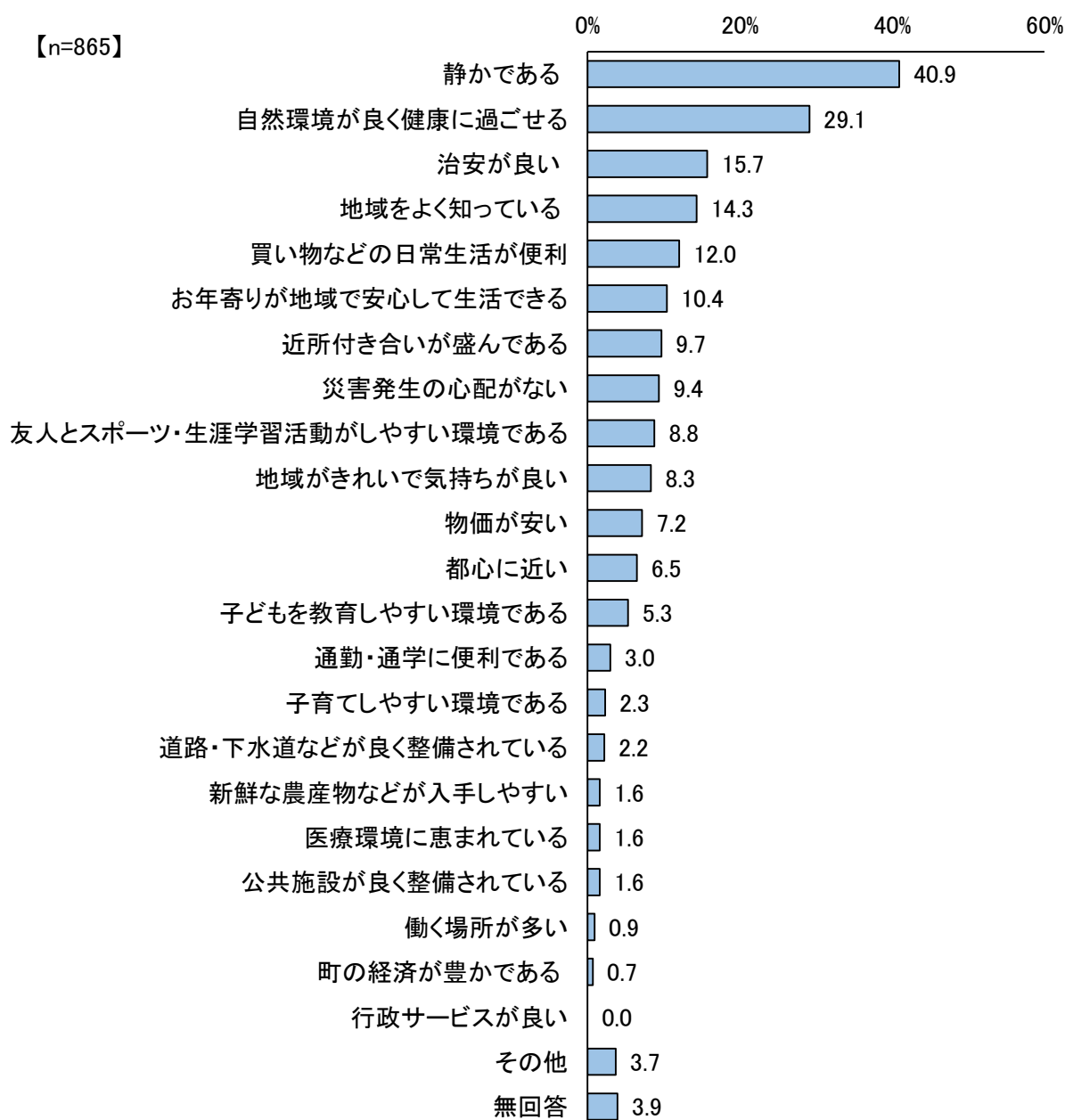
単位: %

	合計 (件)	とても 愛着を 感じている (A)	どちらか という と愛着 を感じて いる(B)	どちらとも いえない	あまり愛着 を感じてい ない(C)	愛着を感じ ていない (D)	無回答	愛着を 感じている (A)+(B)	愛着を感じ ていない (C)+(D)
全体	865	11.7	26.2	①36.5	9.4	15.3	0.9	37.9	24.7
中学2年生	163	16.6	①43.6	28.8	6.1	4.3	0.6	60.2	10.4
中学3年生	207	15.5	①35.7	34.8	6.8	7.2	0.0	51.2	14.0
高校1年生	157	7.6	17.2	①50.3	8.9	15.3	0.6	24.8	24.2
高校2年生	163	6.7	14.7	①33.1	13.5	28.2	3.7	21.4	41.7
高校3年生	175	10.9	17.7	①36.6	12.0	22.9	0.0	28.6	34.9

(2) 「住みやすさ、くらしやすさ」を感じる点

問8 松伏町のどのような点に「住みやすさ、くらしやすさ」を感じますか。(〇は3つまで)

- ◇「静かである」が40.9%で最も多く、以下「自然環境が良く健康に過ごせる」が29.1%、「治安が良い」が15.7%、「地域をよく知っている」が14.3%などとなっています。
- ◇学年で見ると、高校3年生を除いては「静かである」が最も多く、高校3年生では「自然環境が良く健康に過ごせる」が最も多くなっています。また、「地域をよく知っている」は学年が低いほど多くなっています。



Ⅲ 調査結果の詳細 第4章 中学生・高校生アンケート調査

■学年×「住みやすさ、くらしやすさ」を感じる点（上段：上位、下段：下位）

単位：%

	合計(件)	静かである	自然環境が良く健康に過ごせる	治安が良い	地域をよく知っている	買い物などの日常生活が便利	お年寄りが地域で安心して生活できる	近所付き合いが盛んである	災害発生の心配がない	友人とスポーツ・生涯学習活動がしやすい環境である	地域がきれいで気持ちが良い	物価が安い	都心に近い
全体	865	①40.9	②29.1	③15.7	14.3	12.0	10.4	9.7	9.4	8.8	8.3	7.2	6.5
中学2年生	163	①46.6	21.5	③22.1	②23.9	17.8	6.7	11.0	6.7	11.0	9.8	4.9	12.3
中学3年生	207	①46.4	②28.0	③21.7	15.5	11.1	10.1	11.1	20.3	10.1	9.2	7.7	7.2
高校1年生	157	①40.8	②28.7	12.7	③14.6	12.1	8.9	8.9	0.6	7.6	8.9	7.6	6.4
高校2年生	163	①44.2	②33.1	9.2	9.8	9.2	③12.3	6.1	5.5	8.0	6.7	8.0	1.2
高校3年生	175	②26.3	①34.3	11.4	8.0	10.3	③13.7	10.9	10.3	6.9	6.9	7.4	5.1

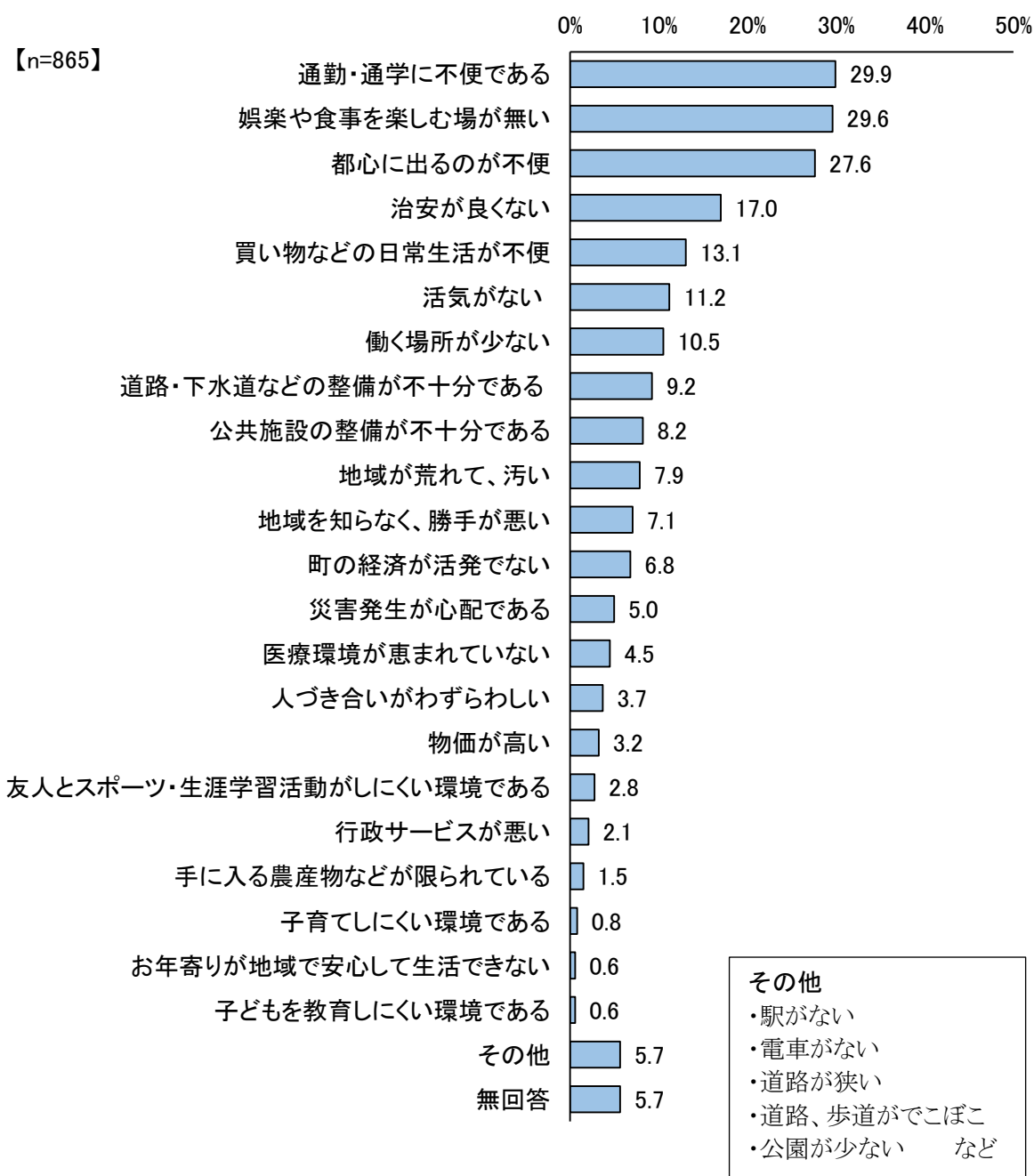
	合計(件)	子どもを教育しやすい環境である	通勤・通学に便利である	子育てしやすい環境である	道路・下水道などが良く整備されている	公共施設が良く整備されている	新鮮な農産物などが入手しやすい	医療環境に恵まれている	働く場所が多い	町の経済が豊かである	行政サービスが良い	その他	無回答
全体	865	5.3	3.0	2.3	2.2	1.6	1.6	1.6	0.9	0.7	0.0	3.7	3.9
中学2年生	163	3.1	1.8	1.8	6.1	1.8	1.8	2.5	1.2	1.2	0.0	1.2	2.5
中学3年生	207	6.8	1.4	1.9	1.4	1.9	1.0	2.9	1.0	0.0	0.0	1.4	1.0
高校1年生	157	5.1	3.2	2.5	1.9	1.9	2.5	1.3	1.9	1.3	0.0	5.1	5.7
高校2年生	163	5.5	5.5	2.5	0.6	1.8	1.2	0.0	0.6	0.6	0.0	5.5	7.4
高校3年生	175	5.7	3.4	2.9	1.1	0.6	1.7	1.1	0.0	0.6	0.0	5.7	4.0

(3) 「住みにくさ、くらしにくさ」を感じる点

問9 松伏町のどのような点に「住みにくさ、くらしにくさ」を感じますか。(〇は3つまで)

◇「通勤・通学に不便である」が 29.9%で最も多く、以下「娯楽や食事を楽しむ場が無い」が 29.6%、「都心に出るのが不便」が 27.6%、「治安が良くない」が 17.0%などとなっています。

◇学年で見ると、中学3年生と高校3年生は「通勤・通学に不便である」が、中学2年生と高校1年生は「娯楽や食事を楽しむ場が無い」が、高校2年生では「都心に出るのが不便」が、それぞれ最も多くなっています。



Ⅲ 調査結果の詳細 第4章 中学生・高校生アンケート調査

■学年×「住みにくさ、くらしにくさ」を感じる点（上段：上位、下段：下位）

単位：％

	合計（件）	通勤・通学に不便である	娯楽や食事を楽しむ場が無い	都心に出るのが不便	治安が良くない	買い物などの日常生活が不便	活気がない	働く場所が少ない	道路・下水道などの整備が不十分である	公共施設の整備が不十分である	地域が荒れて、汚い	地域を知らなく、勝手が悪い	町の経済が活発でない
全体	865	①29.9	②29.6	③27.6	17.0	13.1	11.2	10.5	9.2	8.2	7.9	7.1	6.8
中学2年生	163	16.6	①33.7	②23.3	8.0	16.6	8.0	③17.2	6.7	4.3	8.0	2.5	10.4
中学3年生	207	①33.8	③29.5	②30.0	12.6	17.9	15.5	11.1	4.8	11.1	6.3	1.0	9.7
高校1年生	157	②27.4	①32.5	③21.0	20.4	10.2	14.0	7.6	19.1	7.6	12.7	9.6	4.5
高校2年生	163	②27.0	③17.2	①28.2	14.1	7.4	8.6	11.7	9.8	8.0	8.6	14.7	6.1
高校3年生	175	①42.9	②34.9	③34.3	30.3	12.0	9.1	5.1	7.4	9.1	4.6	9.1	2.9

	合計（件）	災害発生が心配である	医療環境が恵まれていない	人づき合いがわずらわしい	物価が高い	友人とスポーツ・生涯学習活動がしにくい環境である	行政サービスが悪い	手に入る農産物などが限られている	子育てしにくい環境である	お年寄りが地域で安心して生活できない	子どもを教育しにくい環境である	その他	無回答
全体	865	5.0	4.5	3.7	3.2	2.8	2.1	1.5	0.8	0.6	0.6	5.7	5.7
中学2年生	163	9.2	6.7	4.9	2.5	6.1	5.5	2.5	0.6	1.2	0.0	6.1	6.1
中学3年生	207	5.3	8.7	2.4	2.9	3.4	1.9	1.9	0.0	0.0	0.5	3.9	3.9
高校1年生	157	2.5	0.6	3.8	3.8	3.2	1.3	0.6	1.3	0.6	0.6	5.7	6.4
高校2年生	163	2.5	3.1	6.1	4.3	1.2	1.2	0.6	1.2	0.6	1.8	8.6	9.8
高校3年生	175	5.1	2.3	1.7	2.9	0.0	0.6	1.7	1.1	0.6	0.0	4.6	2.9

4 あなたが考える10年後の松伏町について

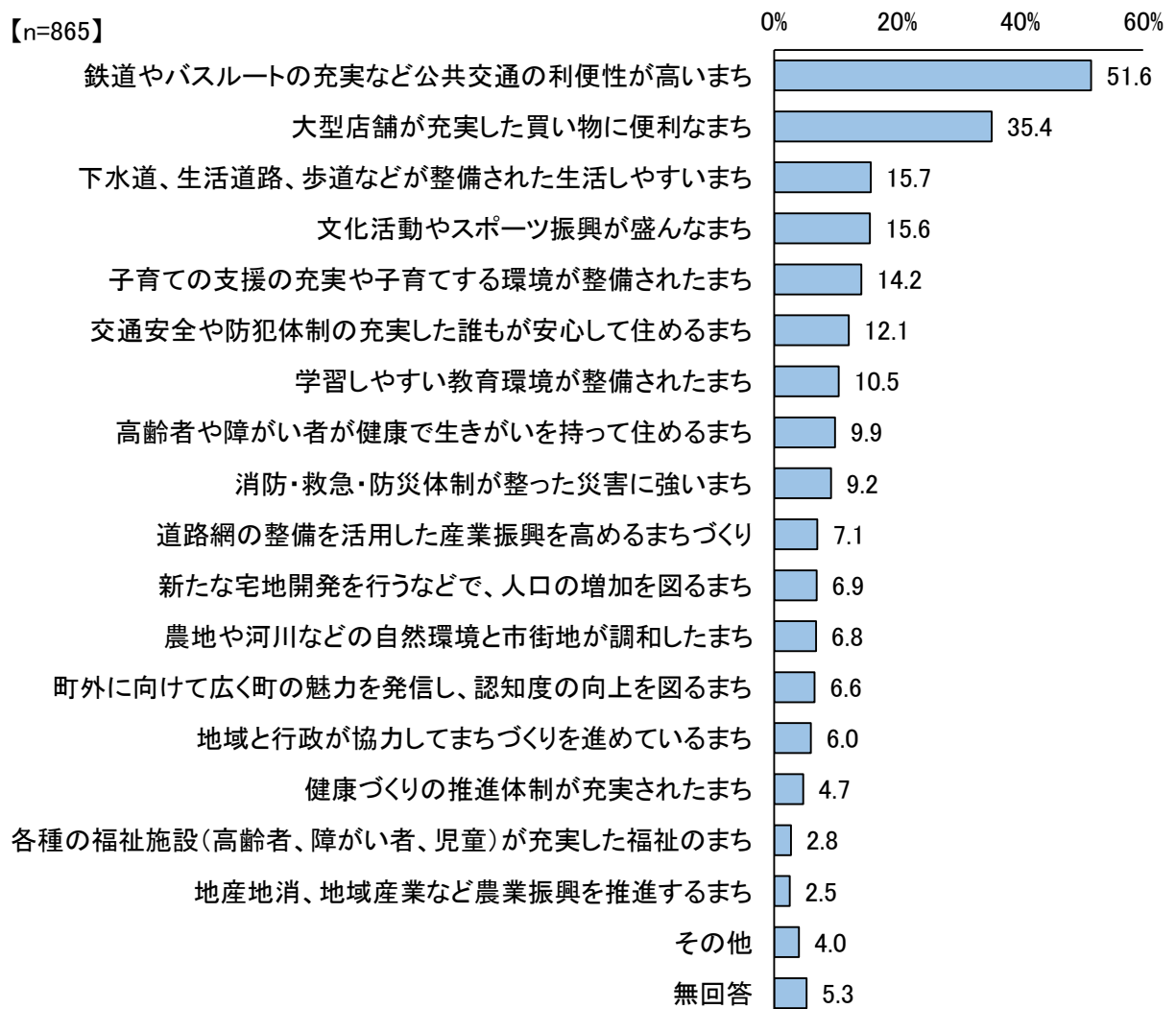
(1) 10年後どのようなまちになれば住みたいか

問 10 あなたは10年後の松伏町が、どのようなまちになれば住みたいですか。(〇は3つまで)

◇「鉄道やバスルートの充実など公共交通の利便性が高いまち」が51.6%で最も多く、以下「大型店舗が充実した買い物に便利なまち」が35.4%、「下水道、生活道路、歩道などが整備された生活しやすいまち」が15.7%、「文化活動やスポーツ振興が盛んなまち」が15.6%などとなっています。

◇学年でみると、すべての学年で「鉄道やバスルートの充実など公共交通の利便性が高いまち」が最も多くなっています。

【n=865】



Ⅲ 調査結果の詳細 第4章 中学生・高校生アンケート調査

■学年×10年後どのようなまちになれば住みたいか（上段：上位、下段：下位）

単位：%

	合計(件)	鉄道やバスルートの充実など公共交通の利便性が高いまち	大型店舗が充実した買い物に便利なまち	下水道、生活道路、歩道などが整備された生活しやすいまち	文化活動やスポーツ振興が盛んなまち	子育ての支援の充実や子育てする環境が整備されたまち	交通安全や防犯体制の充実した誰もが安心して住めるまち	学習しやすい教育環境が整備されたまち	高齢者や障がい者が健康で生きがいを持って住めるまち	消防・救急・防災体制が整った災害に強いまち	道路網の整備を活用した産業振興を高めるまちづくり
全体	865	①51.6	②35.4	③15.7	③15.6	14.2	12.1	10.5	9.9	9.2	7.1
中学2年生	163	①62.0	②43.6	14.7	③27.0	9.8	12.3	9.2	9.2	12.9	6.1
中学3年生	207	①58.5	②41.5	11.1	③19.8	15.0	13.0	16.9	14.0	13.5	5.3
高校1年生	157	①33.1	③24.2	②24.8	14.0	18.5	11.5	7.0	8.3	8.9	4.5
高校2年生	163	①41.1	②27.0	③19.0	8.6	13.5	10.4	11.7	12.3	3.1	11.0
高校3年生	175	①60.0	②38.3	10.9	8.0	③14.3	13.1	6.3	5.1	6.9	8.6

	合計(件)	新たな宅地開発を行うなどで、人口の増加を図るまち	農地や河川などの自然環境と市街地が調和したまち	町外に向けて広く町の魅力を発信し、認知度の向上を図るまち	地域と行政が協力してまちづくりを進めているまち	健康づくりの推進体制が充実されたまち	各種の福祉施設（高齢者、障がい者、児童）が充実した福祉のまち	地産地消、地域産業など農業振興を推進するまち	その他	無回答
全体	865	6.9	6.8	6.6	6.0	4.7	2.8	2.5	4.0	5.3
中学2年生	163	10.4	9.8	5.5	4.9	6.7	1.8	1.8	1.8	1.8
中学3年生	207	9.2	8.7	7.2	6.8	2.4	2.4	4.3	3.4	1.4
高校1年生	157	7.0	3.2	6.4	8.9	7.6	2.5	1.3	3.8	7.6
高校2年生	163	1.2	6.7	4.9	4.3	5.5	5.5	3.7	7.4	8.0
高校3年生	175	6.3	5.1	8.6	5.1	2.3	1.7	1.1	4.0	8.6

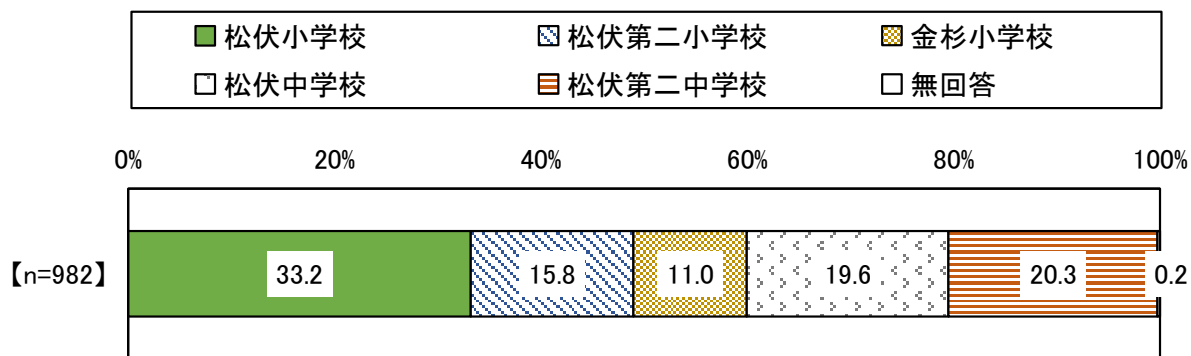
第5章 子育て世帯アンケート調査

1 あなた(保護者様)のことについて

(1) 子供の学校

子供の学校

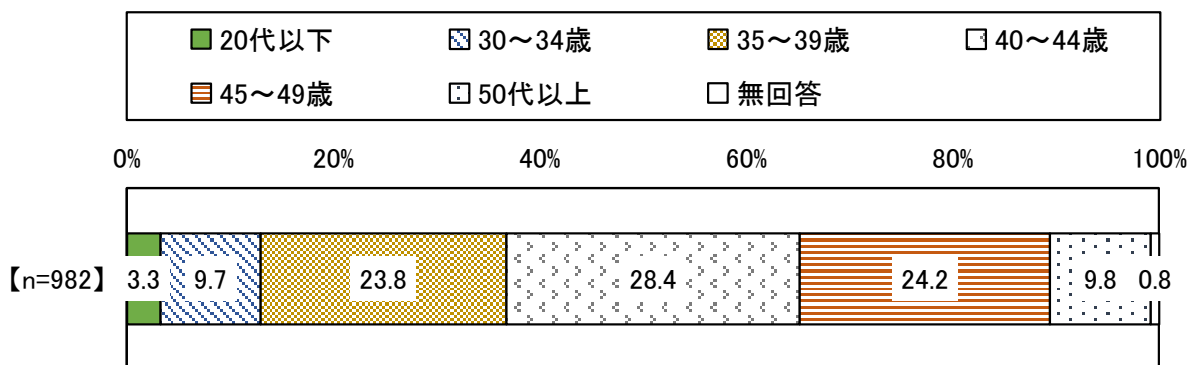
◇ 「松伏小学校」が33.2%で最も多く、以下「松伏第二中学校」が20.3%、「松伏中学校」が19.6%、「松伏第二小学校」が15.8%、「金杉小学校」が11.0%となっています。



(2) 年齢

問1 あなたの年齢をおうかがいします。(○は1つ)

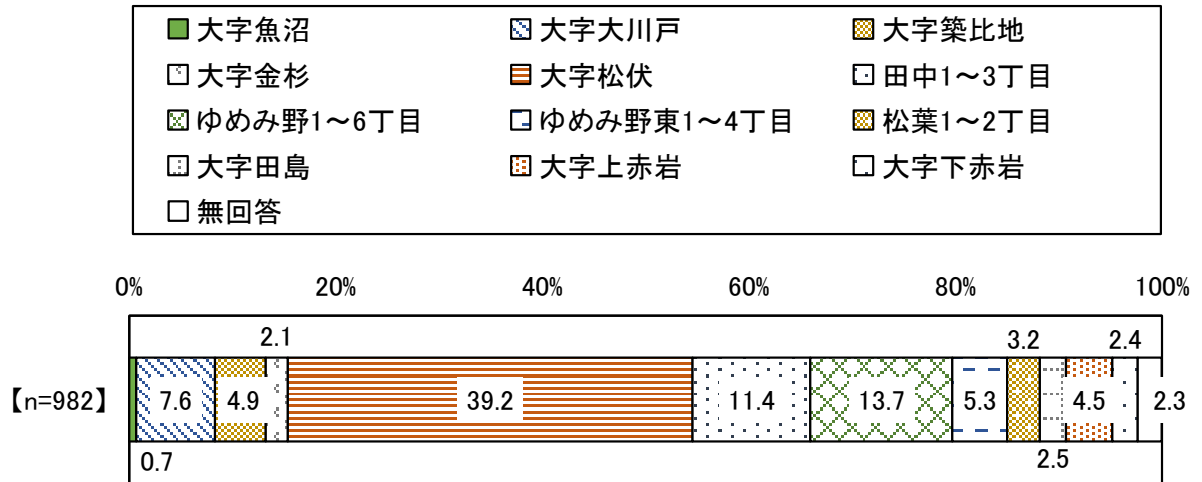
◇ 「40～44歳」が28.4%で最も多く、以下「45～49歳」が24.2%、「35～39歳」が23.8%、「50代以上」が9.8%、「30～34歳」が9.7%、「20代以下」が3.3%となっています。



(3) 現在の住まい

問2 あなたの現在のお住まいはどちらですか。(○は1つ)

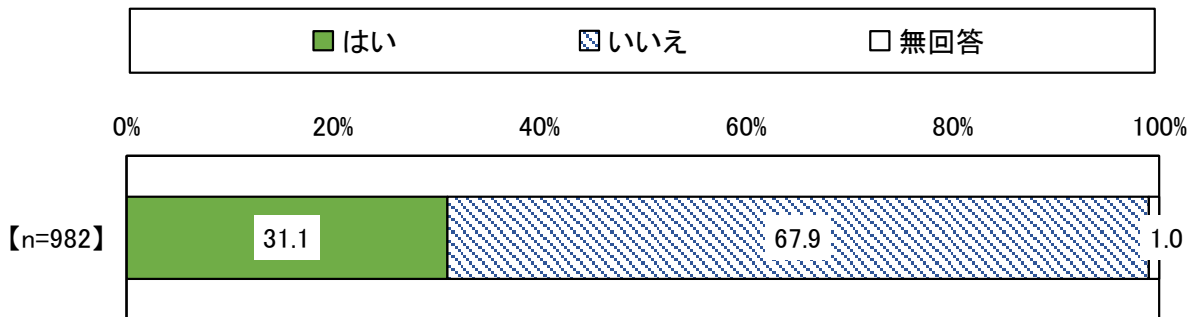
◇ 「大字松伏」が39.2%で最も多く、以下「ゆめみ野1～6丁目」が13.7%、「田中1～3丁目」が11.4%、「大字大川戸」が7.6%などとなっています。



(4) 出身地

問3 あなたは松伏町出身ですか。(○は1つ)

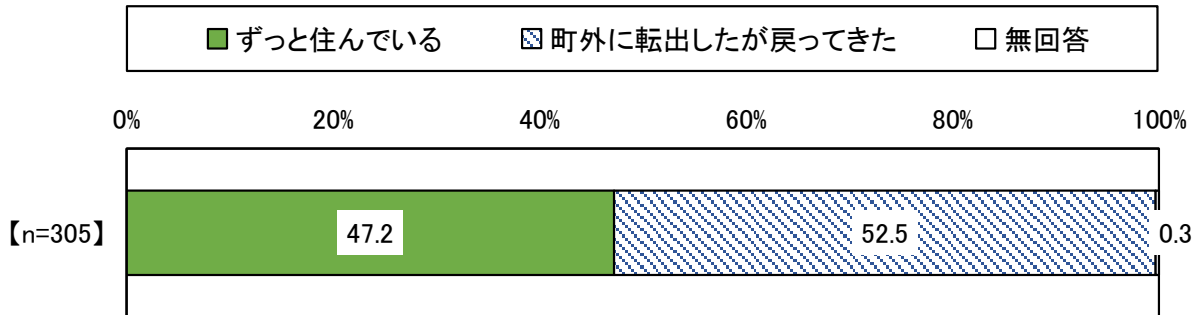
◇ 「いいえ」が67.9%を占め、「はい」は31.1%となっています。



(5) 松伏町での居住年数

問3で「1 はい」とお答えの方にお聞きします。
問4 あなたは松伏町にどのくらい住んでいますか。(〇は1つ)

◇「町外に転出したが戻ってきた」が52.5%、「ずっと住んでいる」が47.2%となっています。



(6) 転入またはUターンを決めた理由

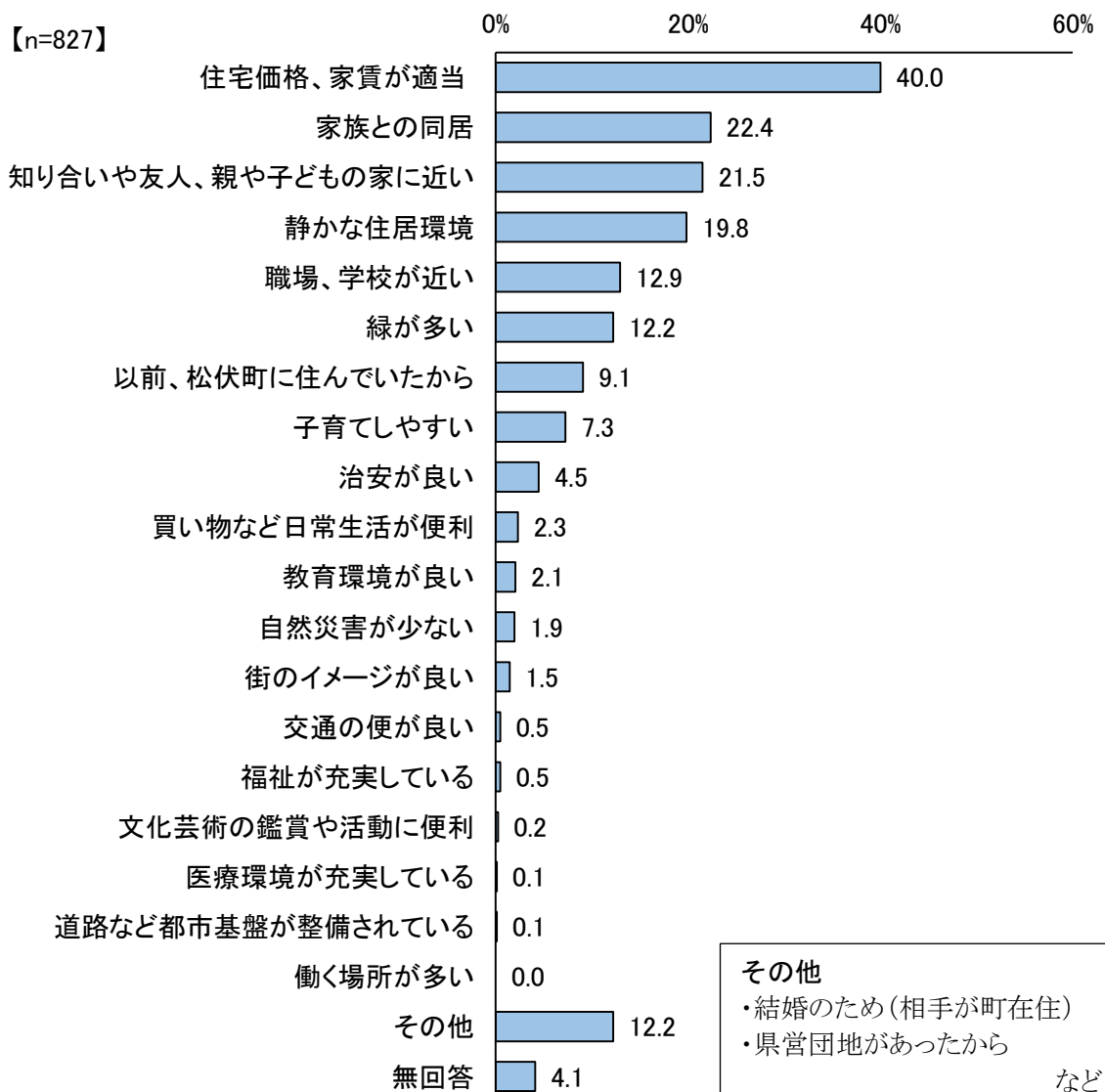
問3で「2 いいえ」または問4で「2 町外に転出したが戻ってきた」とお答えの方(松伏町に転入またはUターンした方)にお聞きします。

問5 松伏町に転入またはUターンを決められた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

◇「住宅価格、家賃が適当」が40.0%で最も多く、以下「家族との同居」が22.4%、「知り合いや友人、親や子どもの家に近い」が21.5%、「静かな住居環境」が19.8%などとなっています。

◇年齢で見ると、すべての年齢で「住宅価格、家賃が適当」が最も多くなっています。

◇転出経験と転入者で見ると、転出経験のある町出身者(Uターン)は「知り合いや友人、親や子どもの家に近い」が、転入者では「住宅価格、家賃が適当」が最も多くなっています。また、転出経験のある町出身者は「家族との同居」「以前、松伏町に住んでいた」も多くあげられています。



Ⅲ 調査結果の詳細 第5章 子育て世帯アンケート調査

■年齢・転入転出別×転入またはUターンを決めた理由（上段：上位、下段：下位）

単位：%

	合計(件)	住宅価格、家賃が適当	家族との同居	知り合いや友人、親や子どもの家に近い	静かな住居環境	職場、学校が近い	緑が多い	以前、松伏町に住んでいたから	子育てしやすい	治安が良い	買い物など日常生活が便利	教育環境が良い
全体	827	①40.0	②22.4	③21.5	④19.8	⑤12.9	12.2	9.1	7.3	4.5	2.3	2.1
18～34歳	98	①38.8	③21.4	②24.5	10.2	⑤12.2	5.1	④13.3	7.1	3.1	0.0	0.0
35～39歳	191	①39.8	②24.6	④16.2	③16.8	⑤13.1	9.9	7.9	6.3	4.7	0.5	2.1
40～44歳	250	①39.6	④20.8	②26.0	③22.4	11.6	⑤14.8	10.0	8.8	5.6	2.0	3.2
45～49歳	208	①41.3	②24.0	④20.7	③22.1	⑤14.4	13.9	9.1	6.7	4.3	3.4	2.4
50歳以上	79	①40.5	④17.7	③19.0	②24.1	⑤13.9	12.7	3.8	6.3	2.5	6.3	0.0
町出身者 (転出経験あり)	160	④22.5	③30.6	①46.3	⑤20.6	12.5	16.9	②38.1	8.1	6.9	1.9	2.5
転入者	667	①44.2	②20.4	④15.6	③19.6	⑤13.0	11.1	2.1	7.0	3.9	2.4	1.9

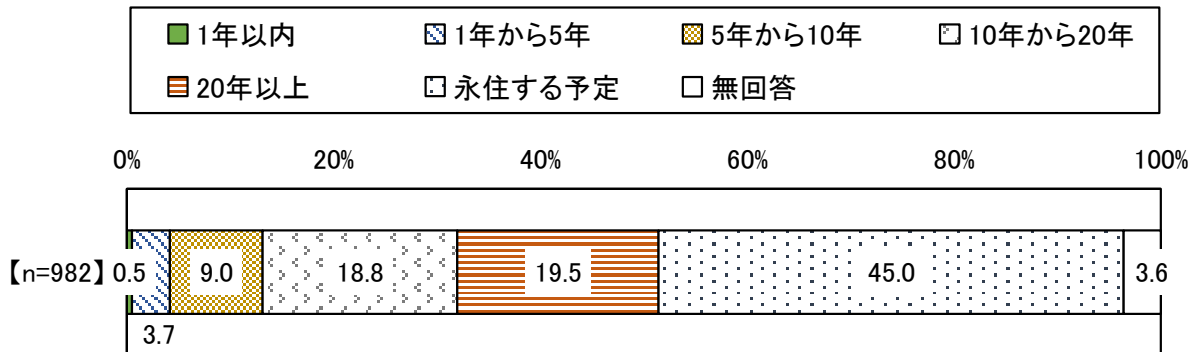
	合計(件)	自然災害が少ない	街のイメージが良い	交通の便が良い	福祉が充実している	文化芸術の鑑賞や活動に便利	医療環境が充実している	道路など都市基盤が整備されている	働く場所が多い	その他	無回答
全体	827	1.9	1.5	0.5	0.5	0.2	0.1	0.1	0.0	12.2	4.1
18～34歳	98	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	9.2	8.2
35～39歳	191	1.0	1.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	14.1	4.7
40～44歳	250	2.4	1.6	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	13.2	2.0
45～49歳	208	2.9	2.4	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	12.0	3.8
50歳以上	79	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	8.9	5.1
町出身者 (転出経験あり)	160	4.4	1.3	0.6	1.9	1.3	0.6	0.0	0.0	12.5	0.6
転入者	667	1.3	1.5	0.4	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	12.1	4.9

(7) 松伏町での居住予定

問6以降は全ての方にお聞きします。

問6 松伏町にはどのくらいの期間お住まいになる予定ですか。(○は1つ)

- ◇「永住する予定」が45.0%で最も多く、以下「20年以上」が19.5%、「10年から20年」が18.8%、「5年から10年」が9.0%などとなっています。
- ◇年齢で見ると、すべての年齢で「永住する予定」が最も多くなっています。年齢が高いほど居住予定年数が長くなる傾向がみられます。



■年齢×松伏町での居住予定

単位: %

	合計 (件)	1年以内	1年から 5年	5年から 10年	10年から 20年	20年以上	永住する 予定	無回答
全体	982	0.5	3.7	9.0	18.8	19.5	① 45.0	3.6
18～34歳	127	2.4	7.1	14.2	10.2	10.2	① 48.0	7.9
35～39歳	234	0.9	3.8	14.1	19.2	19.2	① 40.6	2.1
40～44歳	279	0.0	3.2	8.6	20.1	20.8	① 45.2	2.2
45～49歳	238	0.0	2.1	4.6	25.2	20.6	① 45.4	2.1
50歳以上	96	0.0	4.2	2.1	11.5	27.1	① 53.1	2.1

2 今の松伏町のことについて

(1) 松伏町への愛着

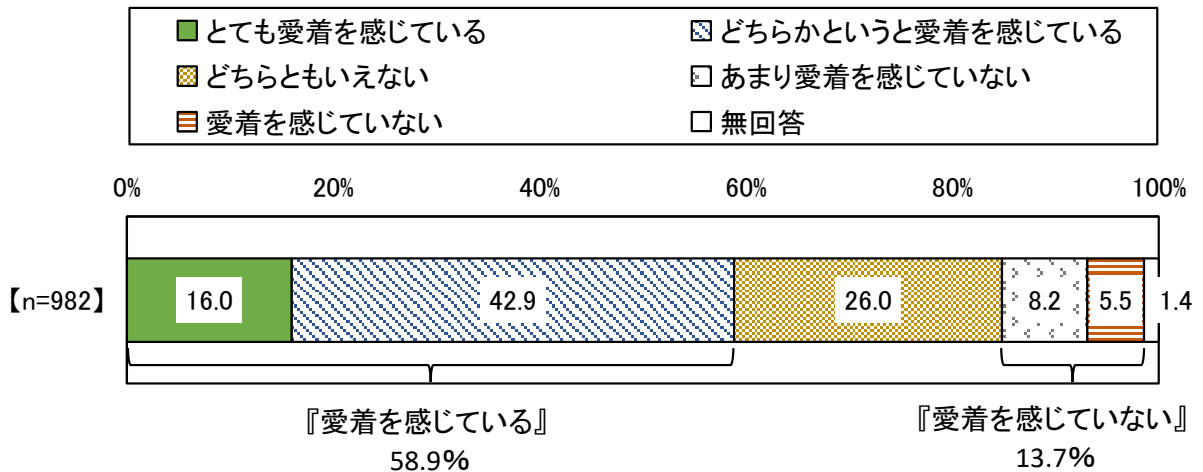
問7 あなたは松伏町に愛着（好きと思う気持ち、愛する心）をどの程度感じていますか。
（〇は1つ）

◇「どちらかというとな愛着を感じている」が 42.9%で最も多く、以下「どちらともいえない」が 26.0%、「とても愛着を感じている」が 16.0%、「あまり愛着を感じていない」が 8.2%、「愛着を感じていない」が 5.5%となっています。

「とても愛着を感じている」と「どちらかというとな愛着を感じている」を合わせた『愛着を感じている』は 58.9%、「愛着を感じていない」と「あまり愛着を感じていない」を合わせた『愛着を感じていない』は 13.7%となっています。

◇年齢でみると、すべての年齢で『愛着を感じている』が過半数を占めています。

◇転出経験と転入者でみると、転出経験のある・なしにかかわらず、町出身者の『愛着を感じている』は転出経験なしで 77.1%、ありで 69.4%の7割前後に対し、転入者は 52.7%にとどまります。



■年齢・転入転出別×松伏町への愛着

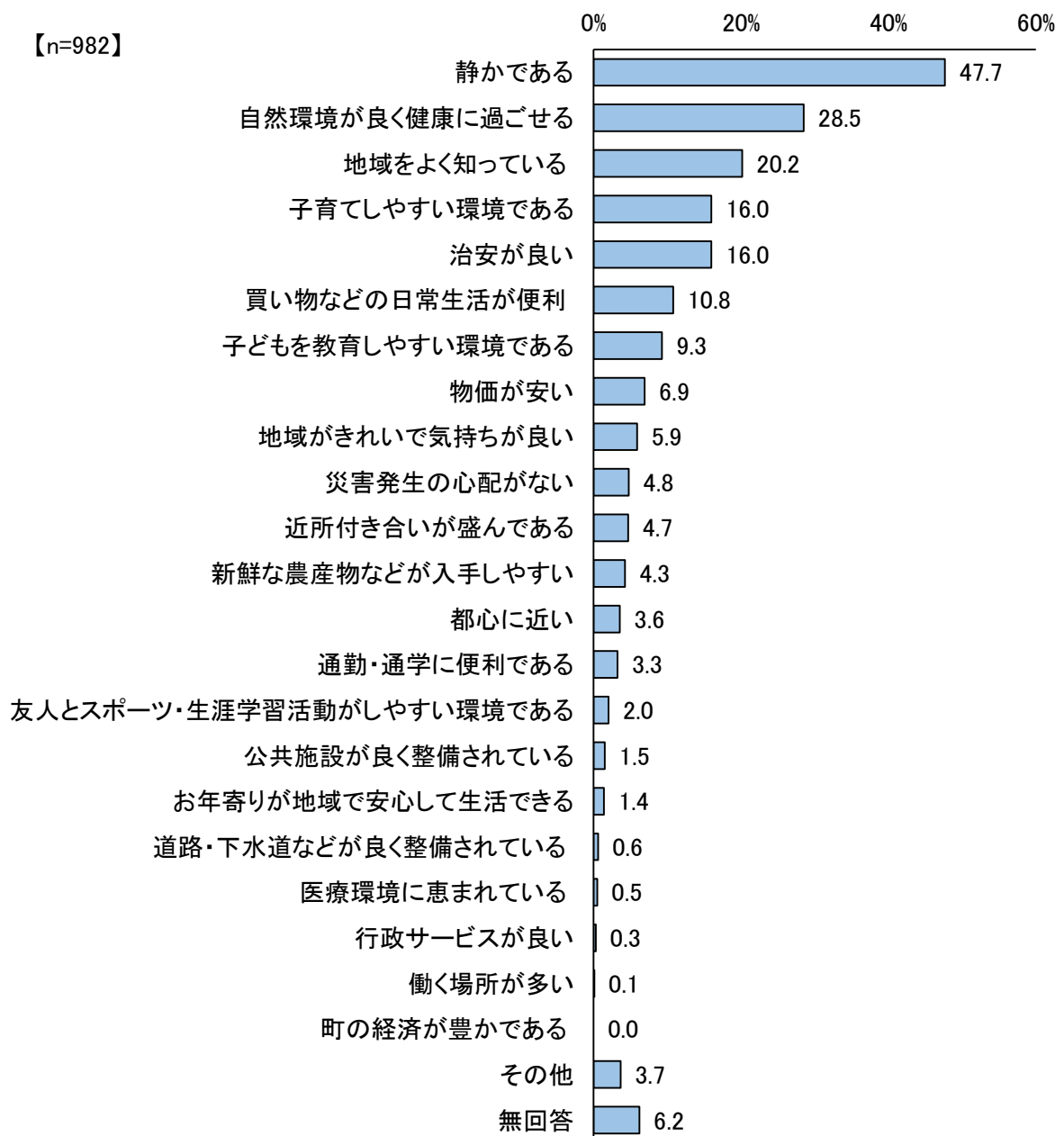
単位：%

	合計 (件)	とても 愛着を 感じている (A)	どちらか というとな 愛着を 感じ ている(B)	どちらとも いえない	あまり愛着 を感じてい ない(C)	愛着を感じ ていない (D)	無回答	愛着を 感じている (A)+(B)	愛着を感じ ていない (C)+(D)
全体	982	16.0	① 42.9	26.0	8.2	5.5	1.4	58.9	13.7
18～34歳	127	10.2	① 48.0	22.8	8.7	8.7	1.6	58.2	17.4
35～39歳	234	18.4	① 41.9	23.5	8.1	7.3	0.9	60.3	15.4
40～44歳	279	19.0	① 43.0	26.9	6.5	4.3	0.4	62.0	10.8
45～49歳	238	13.0	① 44.1	26.1	12.2	2.9	1.7	57.1	15.1
50歳以上	96	16.7	① 37.5	34.4	4.2	7.3	0.0	54.2	11.5
町出身者 (転出経験なし)	144	34.7	① 42.4	15.3	3.5	2.1	2.1	77.1	5.6
町出身者 (転出経験あり)	160	26.9	① 42.5	17.5	9.4	3.8	0.0	69.4	13.2
転入者	667	9.4	① 43.3	30.4	9.1	6.7	0.9	52.7	15.8

(2) 「住みやすさ、くらしやすさ」を感じる点

問8 松伏町のどのような点に「住みやすさ、くらしやすさ」を感じますか。(〇は3つまで)

- ◇「静かである」が47.7%で最も多く、以下「自然環境が良く健康に過ごせる」が28.5%、「地域をよく知っている」が20.2%、「子育てしやすい環境である」と「治安が良い」がともに16.0%となっています。
- ◇年齢で見ると、すべての年齢で「静かである」が最も多く、50歳以上では59.4%を占めています。
- ◇転出経験と転入者で見ると、転出経験のある・なしにかかわらず、町出身者では「地域をよく知っている」が最も多く、転入者は「静かである」となっています。



Ⅲ 調査結果の詳細 第5章 子育て世帯アンケート調査

■年齢・転入転出別×「住みやすさ、くらしやすさ」を感じる点（上段：上位、下段：下位）

単位：％

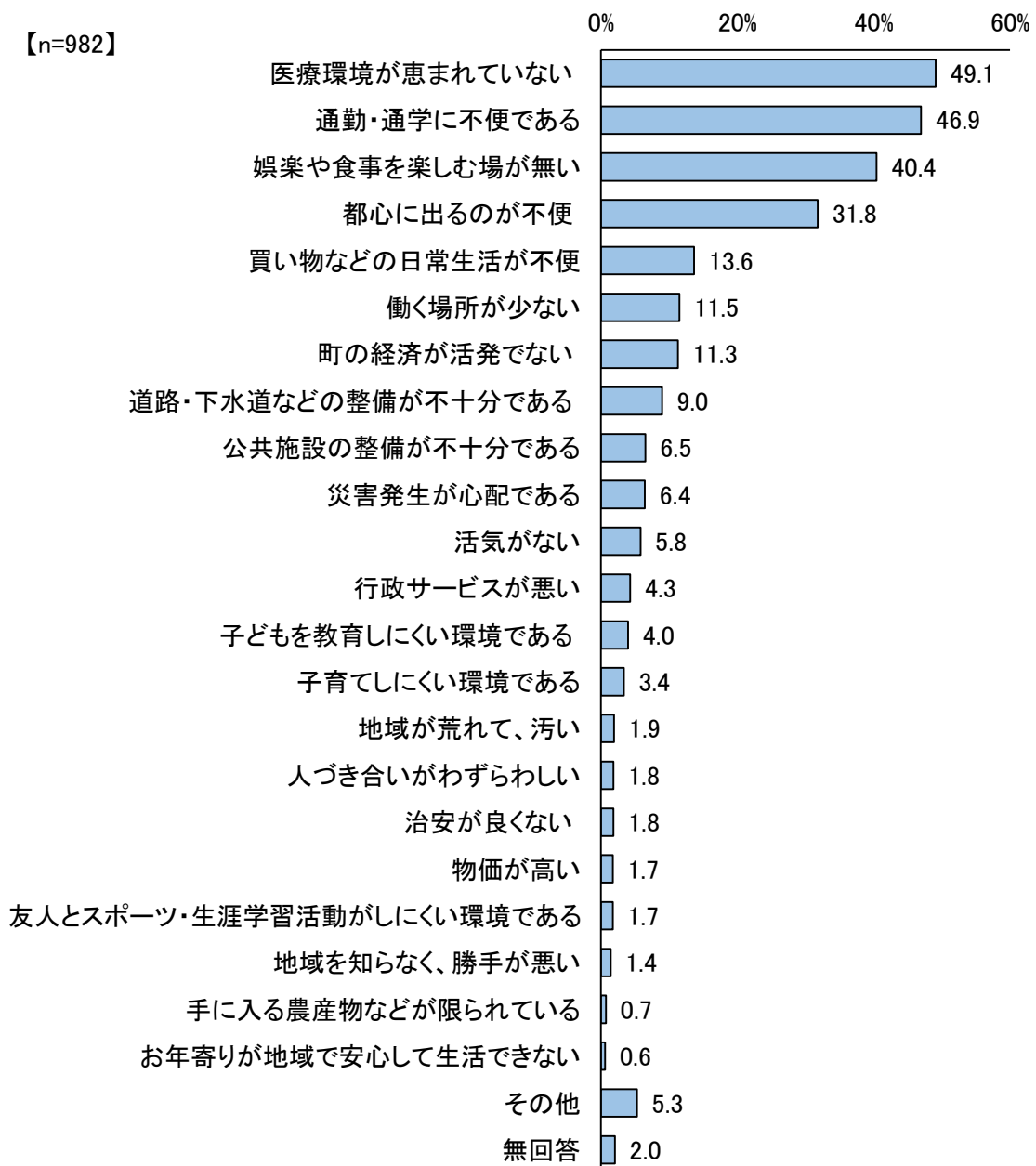
	合計(件)	静かである	自然環境が良く健康に過ごせる	地域をよく知っている	子育てしやすい環境である	治安が良い	買い物などの日常生活が便利	子どもを教育しやすい環境である	物価が安い	地域がきれいで気持ちが良い	災害発生の心配がない	近所付き合いが盛んである	新鮮な農産物などが入手しやすい
全体	982	①47.7	②28.5	③20.2	16.0	16.0	10.8	9.3	6.9	5.9	4.8	4.7	4.3
18～34歳	127	①31.5	②24.4	③21.3	15.7	12.6	7.9	12.6	7.9	6.3	5.5	7.1	2.4
35～39歳	234	①49.1	②26.9	③21.4	16.7	17.9	9.0	12.4	9.0	5.1	4.3	3.4	2.6
40～44歳	279	①48.7	②25.1	③23.3	19.7	14.7	10.4	6.8	5.0	4.3	3.2	5.4	5.4
45～49歳	238	①49.6	②31.5	③16.8	13.9	16.0	13.4	8.0	7.1	7.1	6.3	4.2	5.0
50歳以上	96	①59.4	②38.5	15.6	10.4	③19.8	14.6	7.3	6.3	9.4	6.3	4.2	5.2
町出身者 (転出経験なし)	144	②41.0	③40.3	①51.4	19.4	15.3	4.2	4.9	6.3	4.2	9.7	3.5	3.5
町出身者 (転出経験あり)	160	②41.3	③31.3	①56.3	8.1	16.3	6.3	7.5	5.0	3.8	6.3	5.0	5.0
転入者	667	①50.7	②25.3	5.1	③17.4	16.0	13.5	10.8	7.6	6.7	3.4	4.9	4.2

	合計(件)	都心に近い	通勤・通学に便利である	友人とスポーツ・生涯学習活動がしやすい環境である	公共施設が良く整備されている	お年寄りが地域で安心して生活できる	道路・下水道などが良く整備されている	医療環境に恵まれている	行政サービスが良い	働く場所が多い	町の経済が豊かである	その他	無回答
全体	982	3.6	3.3	2.0	1.5	1.4	0.6	0.5	0.3	0.1	0.0	3.7	6.2
18～34歳	127	0.0	5.5	1.6	0.8	1.6	1.6	0.0	0.0	0.8	0.0	6.3	8.7
35～39歳	234	6.4	3.8	1.3	1.3	1.3	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	3.0	4.7
40～44歳	279	2.2	2.9	2.2	0.7	1.8	0.7	0.4	0.4	0.0	0.0	3.9	6.1
45～49歳	238	4.6	2.1	2.9	2.1	0.8	0.0	0.8	0.4	0.0	0.0	2.9	5.9
50歳以上	96	3.1	3.1	2.1	4.2	2.1	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	3.1	4.2
町出身者 (転出経験なし)	144	3.5	3.5	3.5	1.4	3.5	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	1.4
町出身者 (転出経験あり)	160	4.4	2.5	3.1	0.6	1.3	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	2.5	3.8
転入者	667	3.4	3.4	1.5	1.8	0.9	0.7	0.6	0.4	0.1	0.0	3.7	7.2

(3) 「住みにくさ、くらしにくさ」を感じる点

問9 松伏町のどのような点に「住みにくさ、くらしにくさ」を感じますか。(〇は3つまで)

- ◇「医療環境が恵まれていない」が49.1%で最も多く、以下「通勤・通学に不便である」が46.9%、「娯楽や食事を楽しむ場が無い」が40.4%、「都心に出るのが不便」が31.8%などとなっています。
- ◇年齢で見ると、45～49歳と50歳以上では「通勤・通学に不便である」が最も多くなっています。「通勤・通学に不便である」は年齢が高いほど多くなっています。
- ◇転出経験と転入者で見ると、いずれでも「医療環境が恵まれていない」が最も多く、なかでも転出経験のある町出身者では56.9%となっています。



Ⅲ 調査結果の詳細 第5章 子育て世帯アンケート調査

■年齢・転入転出別×「住みにくさ、くらしにくさ」を感じる点（上段：上位、下段：下位）

単位：%

	合計(件)	医療環境が恵まれていない	通勤・通学に不便である	娯楽や食事を楽しむ場が無い	都心に出るのが不便	買い物などの日常生活が不便	働く場所が少ない	町の経済が活発でない	道路・下水道などの整備が不十分である	公共施設の整備が不十分である	災害発生が心配である	活気がない	行政サービスが悪い
全体	982	①49.1	②46.9	③40.4	31.8	13.6	11.5	11.3	9.0	6.5	6.4	5.8	4.3
18～34歳	127	①50.4	③36.2	②38.6	32.3	13.4	11.0	11.0	7.9	7.1	3.9	3.9	7.9
35～39歳	234	①52.1	②44.4	③37.2	26.9	14.5	14.1	12.4	7.7	8.1	5.6	7.3	4.3
40～44歳	279	①50.5	②48.7	③42.3	35.8	10.4	8.6	11.8	8.6	6.8	7.2	5.4	2.9
45～49歳	238	②50.0	①51.7	③45.0	29.0	16.4	10.5	10.5	10.1	5.5	7.6	6.7	4.6
50歳以上	96	③36.5	①52.1	34.4	②38.5	15.6	16.7	10.4	12.5	4.2	7.3	4.2	3.1
町出身者 (転出経験なし)	144	①47.2	②42.4	③39.6	33.3	20.1	11.8	9.7	13.9	4.2	2.1	6.3	5.6
町出身者 (転出経験あり)	160	①56.9	②51.9	③38.1	32.5	14.4	6.9	15.6	8.8	5.6	5.0	8.1	4.4
転入者	667	①48.3	②46.9	③41.4	31.3	12.3	12.7	10.8	7.9	7.2	7.8	5.2	4.0

	合計(件)	子どもを教育しにくい環境である	子育てしにくい環境である	地域が荒れて、汚い	人づき合いがわずらわしい	治安が良くない	物価が高い	友人とスポーツ・生涯学習活動がにくい環境である	地域を知らなく、勝手が悪い	手に入る農産物などが限られている	お年寄りが地域で安心して生活できない	その他	無回答
全体	982	4.0	3.4	1.9	1.8	1.8	1.7	1.7	1.4	0.7	0.6	5.3	2.0
18～34歳	127	3.9	7.1	0.8	0.8	3.1	3.1	1.6	3.1	1.6	0.0	9.4	2.4
35～39歳	234	4.3	4.3	3.4	0.9	1.7	4.7	2.1	0.4	0.9	0.0	4.3	1.7
40～44歳	279	2.9	3.6	2.2	1.8	1.8	0.0	2.2	1.8	0.4	0.7	6.1	1.8
45～49歳	238	5.0	1.7	0.8	2.9	1.7	0.4	0.8	0.8	0.4	1.3	3.4	0.8
50歳以上	96	4.2	0.0	2.1	3.1	1.0	1.0	2.1	2.1	1.0	1.0	4.2	2.1
町出身者 (転出経験なし)	144	5.6	3.5	2.8	1.4	0.0	1.4	1.4	0.0	1.4	1.4	4.9	2.1
町出身者 (転出経験あり)	160	4.4	3.8	1.9	1.3	3.8	1.3	1.3	0.0	0.6	1.3	5.6	1.3
転入者	667	3.6	3.3	1.8	2.1	1.8	1.9	1.9	2.1	0.6	0.3	5.1	1.6

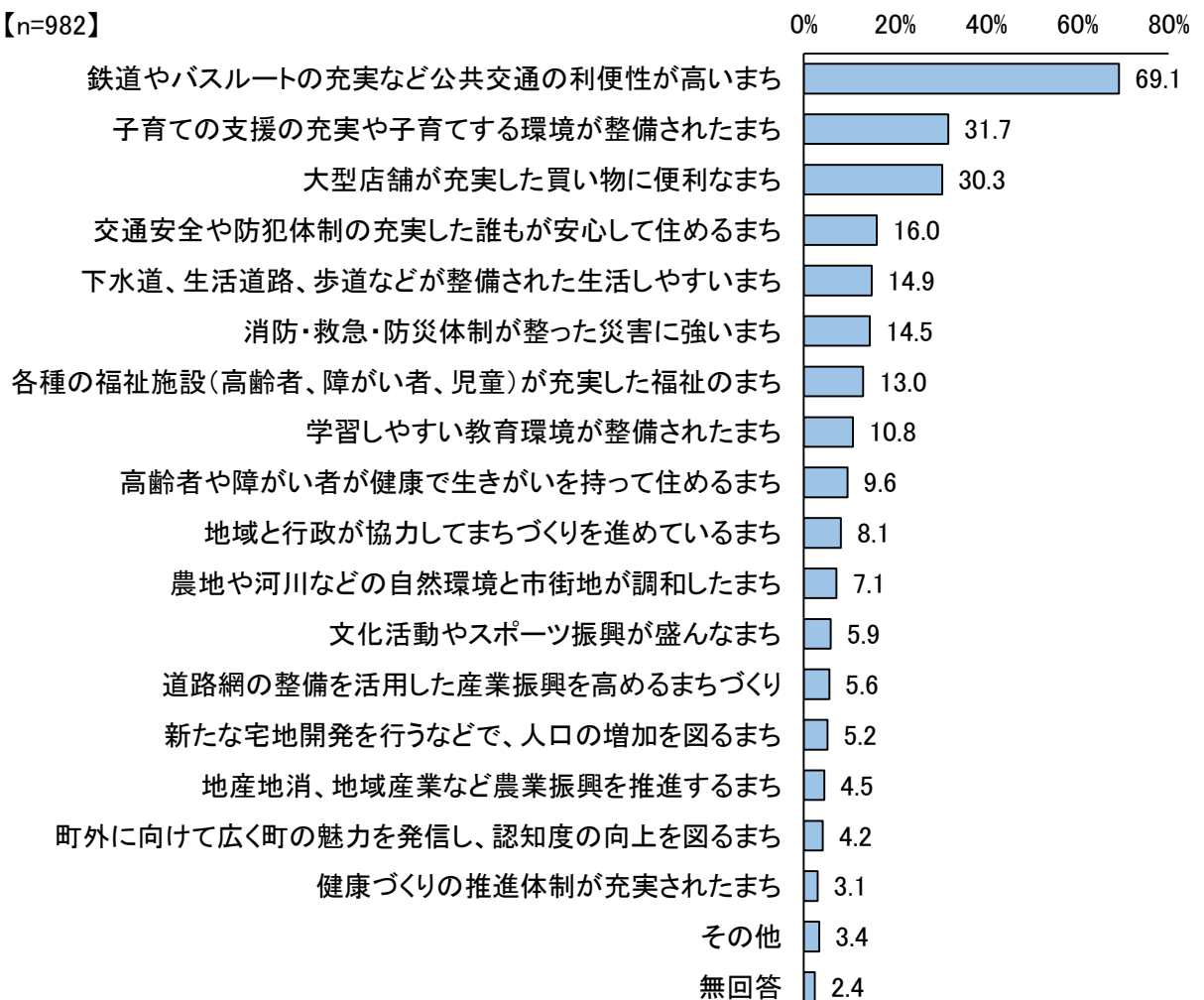
3 あなたが考える10年後の松伏町について

(1) 10年後どのようなまちになれば住みたいか

問 10 あなたは10年後の松伏町が、どのようなまちになれば住みたいですか。(〇は3つまで)

- ◇「鉄道やバスルートの充実など公共交通の利便性が高いまち」が69.1%で最も多く、以下「子育ての支援の充実や子育てする環境が整備されたまち」が31.7%、「大型店舗が充実した買い物に便利なまち」が30.3%、「交通安全や防犯体制の充実した誰もが安心して住めるまち」が16.0%などとなっています。
- ◇年齢で見ると、すべての年齢で「鉄道やバスルートの充実など公共交通の利便性が高いまち」が最も多く、特に45～49歳と50歳以上では70%以上を占めています。また、18～34歳では2位の「子育ての支援の充実や子育てする環境が整備されたまち」も55.1%と多くなっています。
- ◇転出経験と転入者で見ると、いずれも「鉄道やバスルートの充実など公共交通の利便性が高いまち」が最も多く、転入者72.3%、転出経験のある町出身者(Uターン)66.3%、転出経験のない町出身者60.4%の順となっています。また、次の「子育ての支援の充実や子育てする環境が整備されたまち」では転入者よりも町出身者に多くあげられています。

【n=982】



Ⅲ 調査結果の詳細 第5章 子育て世帯アンケート調査

■年齢・転入転出別×10年後どのようなまちになれば住みたいか（上段：上位、下段：下位）

単位：%

	合計(件)	① 鉄道やバスルートの充実など公共交通の 利便性が高いまち	② 子育ての支援の充実や子育てする環境が 整備されたまち	③ 大型店舗が充実した買い物に便利なまち	④ 交通安全や防犯体制の充実した誰もが 安心して住めるまち	⑤ 下水道、生活道路、歩道などが整備され た生活しやすいまち	⑥ 消防・救急・防災体制が整った災害に強い まち	⑦ 各種の福祉施設(高齢者、障がい者、児 童)が充実した福祉のまち	⑧ 学習しやすい教育環境が整備されたまち	⑨ 高齢者や障がい者が健康で生きがいを持 つて住めるまち	⑩ 地域と行政が協力してまちづくりを進め ているまち
全体	982	①69.1	②31.7	③30.3	16.0	14.9	14.5	13.0	10.8	9.6	8.1
18～34歳	127	①63.8	②55.1	③37.0	14.2	13.4	5.5	7.1	15.7	4.7	3.9
35～39歳	234	①67.1	②37.2	③34.2	15.8	13.7	14.5	13.2	12.0	7.3	8.1
40～44歳	279	①67.7	②29.7	③26.2	15.4	15.8	17.9	16.1	10.4	12.2	7.5
45～49歳	238	①74.8	③20.6	②29.4	19.3	15.5	14.3	11.3	8.0	10.9	11.8
50歳以上	96	①74.0	③19.8	②27.1	11.5	16.7	16.7	14.6	7.3	10.4	7.3
町出身者 (転出経験なし)	144	①60.4	②39.6	③30.6	22.2	18.8	13.9	13.2	13.9	9.0	3.5
町出身者 (転出経験あり)	160	①66.3	②36.3	③30.6	13.8	15.6	15.6	18.8	10.0	10.6	10.0
転入者	667	①72.3	③28.9	②30.1	15.1	13.9	14.4	11.5	10.2	9.3	8.8

	合計(件)	⑪ 農地や河川などの自然環境と市街地が 調和したまち	⑫ 文化活動やスポーツ振興が盛んなまち	⑬ 道路網の整備を活用した産業振興を高 めるまちづくり	⑭ 新たな宅地開発を行うなどで、人口の 増加を図るまち	⑮ 地産地消、地域産業など農業振興を 推進するまち	⑯ 町外に向けて広く町の魅力を発信し、 認知度の向上を図るまち	⑰ 健康づくりの推進体制が充実されたまち	⑱ その他	⑲ 無回答
全体	982	7.1	5.9	5.6	5.2	4.5	4.2	3.1	3.4	2.4
18～34歳	127	3.9	4.7	3.1	5.5	1.6	2.4	0.0	0.8	3.9
35～39歳	234	7.7	5.1	6.8	5.6	5.1	6.0	2.6	3.4	2.1
40～44歳	279	7.5	7.5	3.9	4.3	4.7	4.3	3.2	4.3	1.8
45～49歳	238	6.7	6.3	5.9	3.8	4.6	3.4	3.8	2.5	2.1
50歳以上	96	8.3	4.2	9.4	10.4	6.3	4.2	5.2	6.3	4.2
町出身者 (転出経験なし)	144	8.3	6.9	6.3	9.0	6.9	2.8	2.8	2.1	0.0
町出身者 (転出経験あり)	160	5.6	6.9	5.0	4.4	5.6	5.6	1.9	4.4	1.9
転入者	667	7.0	5.5	5.5	4.5	3.7	4.2	3.4	3.4	3.0

第6章 自由記述

1 町民意識調査

これからの松伏町のあり方や町政全般、あるいは第6次総合振興計画についての意見は合計で152件の記述があり、「公共交通」に関する内容が37件で最も多く、以下「行財政」が32件、「生活基盤整備」が29件、「医療・保健福祉」が15件などとなっています。

区分	件数
公共交通	37
行財政	32
生活基盤整備	29
医療・保健福祉	15
まちづくり	14
子育て支援	12
商工業・農業	10
情報提供・情報発信	8
他市との合併	8
公園の整備	8
地域コミュニティ	6
環境保全	6
ごみ処理	6

区分	件数
就労支援	6
学校教育	5
企業誘致	5
生涯学習・文化・スポーツ	4
防災・消防・救急	3
町役場について	3
交通安全・防犯	2
高齢福祉・介護	1
障がい福祉	1
土地利用構造	1
相談	1
その他	11

公共交通

- ・交通の便を良くして欲しい。
- ・高齢者が、もっと気軽に街中を日常生活で回れるように、バスの無料化に近い何らかの対策が欲しい。
- ・バス停付近に駐輪場をつくってほしい。

行財政

- ・松伏町にしかない農作物とか工芸品とかで税金が入ってくることを考えた方がいい。
- ・人口減少を前提にした仕組み作りに施策を転換してもいいと思う。
- ・行政だけでなく町民全体の力で町の魅力を創出し、選ばれる自治体になる必要があると思う。

生活基盤整備

- ・町内に大型トラックが多すぎる。1日も早く東埼玉道路を開通してほしい。
- ・道路・排水設備が十分に整備されていない。未だに生活排水路自体がなく、自然沈降式の地域まで存在する。基本的な生活インフラについては、地域格差が生じないように、平等に整備してほしい。
- ・行政によるパトロール（ゴミ収集・無届建築物・農地への土砂埋め立て・排水路への無届架橋など）を強化していただきたい。
- ・住民の高齢化で住宅周りの側溝清掃は大変困難。
- ・町内の歩道や、自転車専用道路などの整備をしてほしい。

医療・保健福祉

- ・人口を増やしたいのに産科はないし、小児科も少ない。

まちづくり

- ・若い方々を町にとどめたいのであれば、住宅事情や交通機関の充実を。
- ・自然に恵まれた住環境はお金では買えない。最大のセールスポイントに感じている。

- ・都心に近く静かで住みやすい利点を活かし、若い人たちも暮らしやすい、子育てしやすいまちづくりを望む。
- ・コロナ禍になり、在宅ワークで会社に出勤しなくても働くことが出来るような方々が増えている。そのような方々が松伏町に住みたくなるような施策があるといいと思う。
- ・自然を残しつつ、若い人が住みやすい町を目指して欲しい。
- ・畑、田圃が多いので「都心に一番近い田舎」。農園レストラン、農業体験、畑、田圃オーナー制度、ドッグラン(会員制)併設ドックカフェなど。人が集まる仕組みで、人の流れ、豊かな流れが生まれる、賑々しい町になってほしいと思います。

子育て支援

- ・松伏町で子どもを産み育てていきたいと思えるような町にしてほしい。
- ・保育施設の違和感、古い風習が根強く残る。保護者負担も多く、時代に取り残されている。
- ・子育て支援が東京都や、埼玉県に比べて圧倒的に遅れている。保育園や学童保育に入れなくても条件がありすぎて入れない現状がある。

商工業・農業

- ・幹線道路に飲食店や企業など誘致する必要がとともある。近所でも新築戸建てが増えていくが、やはり消費するところが少なすぎる。
- ・歩いて買い物が行けない方に、車で買い物ができる移動販売車を迎え入れてほしい。
- ・子育てしながら働く場所が少ない。

情報提供・情報発信

- ・松伏町の良さの発信。他市との比較など情報提供。
- ・町が何をしているのかわからない。町民に SNS 等で発信した方がいいと思う。
- ・町のいろいろな行事が、町民みんなに伝わるように工夫してほしい。

他市との合併

- ・松伏町単独での行政は税収からして無理。早期に4市1町の合併をして議員を削減し、人材の効率化を図るべき。
- ・早く越谷市との合併を。

公園の整備

- ・松伏町には公園が充実している。毎日犬と散歩で利用しているが、近隣から来ている方に多く会う。それだけ緑があり、土や日陰、草花が楽しめるからで、もっとアピールしたらいいのと思う。ただベンチが少ないし汚い。中か近くに買い物が出来る場所があればいいと思う。
- ・未就園児が遊べる公園が古い。
- ・公園もいつも雑草だらけで子供たちは遊びにくい。

地域コミュニティ

- ・自治会費が入らず、ごみ収集の税金の不公平感がある。
- ・自治会から脱退する人が多いと聞く。町からも大事だと自治会の必要性の発信を。

環境保全

- ・自然環境に配慮した前進的な取り組みをすることを望んでいます。例えば、コンポストや太陽光など。

就労支援

- ・近隣地域と比較して賃金が安いので、雇用促進等に力を入れてほしい。
- ・地元で、子育てしながら働く場所が少ない。

学校教育

- ・小学校は3つもあるのに人数の差が激しい（中学校も）。

企業誘致

- ・町の発展、財政力を増やすには、企業誘致の必要性を強く感じる。

生涯学習・文化・スポーツ

- ・エローラの素晴らしいホールがあるのだから、もっと音楽会などをやってほしい。
- ・音楽の町 松伏としての活動が物足りない。
- ・町のシンボルになるような図書館の整備。

防災・消防・救急

- ・自然災害が心配。特に川が多いので水害対策に力を入れてほしい。

2 転入者対象アンケート調査

これからの松伏町のあり方や町政全般、あるいは第6次総合振興計画についての意見は合計で101件の記述があり、「公共交通」に関する内容が35件で最も多く、以下「生活基盤整備」が29件、「医療・保健福祉・介護」が12件「町政・行政」が11件、などとなっています。

区分	件数
公共交通	35
生活基盤整備	29
医療・福祉・介護	12
町政・行政	11
環境保全	9
ごみ処理	5
交通安全・防犯	5
子育て支援	5
感想	5
にぎわい・商工業・農業	4
まちづくり	4
公園の整備	3
防災・消防・救急	1
生涯学習・文化・スポーツ	1
その他	4

公共交通

- ・町内巡回バスがあるといい。
- ・終バスの時間をのばしてほしい。

生活基盤整備

- ・公園や歩道の雑草を刈り取る頻度を増やしてほしい。
- ・歩道の整備をしてほしい。とても歩きにくい。
- ・ベビーカーが通れる歩道が増えると嬉しい。

医療・福祉・介護

- ・医療環境を充実させてほしい。

町政・行政

- ・マイナンバーでコンビニ等で住民票を取れるようにしてほしい。

環境保全

- ・交通の便が悪いのが難点だが、緑が多いのが魅力的だと思う。

ごみ処理

- ・ゴミの分別がわかりづらい。細かいし出せないものが多い。
- ・外国人がごみ出しのルールを守らずに大変困る。

交通安全・防犯

- ・暗いので外灯をもっとつけてほしい。
- ・夜中暗くて女性一人では外出がこわい。

子育て支援

- ・保育時間が短かく土曜保育や病児保育、病院が少ない。

にぎわい・商工業・農業

- ・道の駅みたいにこの土地の特産物を売買している場所がほしい。

まちづくり

- ・変に住宅を増やして新興住宅街ぽくなるのではなく、いっそ田舎っぽい町になった方がおもしろいのではないかと思う。
- ・町の特別の良さを見つけみんなで協力しあえる温かい穏やかな気持ちでいられるまちづくり。
- ・20代から40代が活躍出来るまちづくりを望む。

公園の整備

- ・公園がきれいではない。草が生い茂っているイメージで暗い。遊具が古い。子どもが集まる場所が少ない。

3 転出者対象アンケート調査

これからの松伏町のあり方や町政全般、あるいは第6次総合振興計画についての意見は合計で98件の記述があり、「公共交通」に関する内容が44件で最も多く、以下「感想」が17件、「生活基盤整備」が12件、「にぎわい・商工業・農業」と「まちづくり」が11件などとなっています。

区分	件数
公共交通	44
感想	17
生活基盤整備	12
にぎわい・商工業・農業	11
まちづくり	11
医療・福祉・介護	8
町政・行政	6
交通安全・防犯	4
子育て支援	1
公園の整備	1

公共交通

- ・駅へのアクセスをもう少しよくしてほしい。
- ・交通の便が良くなれば慣れ親しんだ松伏に戻りたい。
- ・駅、バス停を増やした方がいい。
- ・車がないと生活出来ない程何もかも不便。
- ・駅から遠い分、バスや公共交通機関を増やしてほしい。バスの最終便が早い。
- ・駅からの交通の利便性が高まればいいと思う。バスの最終便後のタクシー料金の補助。バスピーク時の本数の増便。

感想

- ・ゆったりと自然豊かなところは、どこにも譲れない素晴らしい財産。

生活基盤整備

- ・図書館があればいいと思っています。ただの図書館ではなく、文化・芸術活動が出来る場所、住民の休憩室としても使える総合図書館がほしいです。

- ・町道や公園の雑草除去にもう少し予算を使えないか。

にぎわい・商工業・農業

- ・広大な土地を利用してキャンプ場やBBQ 場を作って町を活性化してほしい。
- ・飲食店や娯楽施設がもっとあればよかった。

まちづくり

- ・子どもから年配の方までが集まったり、交流出来るような場がもっとあるといい。
- ・大型倉庫をつくと町の景色が悪くなる。緑豊かな環境なのでそれを活かしたまちづくりを。
- ・川沿いの桜並木について、桜及び他の花等を整備したらより良い桜並木になると思う。

医療・福祉・介護

- ・福祉がなさすぎて越谷か春日部まで行かなければならないのが辛かった。特に障がい者支援がない。

子育て支援

- ・子どもとたくさん遊べる場所をつくってほしい。

公園の整備

- ・規模の大きな公園が点在しているのは最も魅力的なポイントだった。

4 中学生・高校生アンケート調査

これからの松伏町のあり方や町政全般、あるいは第6次総合振興計画についての意見は合計で246件の記述があり、「生活基盤整備」に関する内容が125件で最も多く、以下「公共交通」が124件、「環境保全」と「学校教育」が16件などとなっています。

区分	件数
生活基盤整備	125
公共交通	124
環境保全	16
学校教育	16
生涯学習・文化・スポーツ	11
感想	11
にぎわい・商工業・農業	8
交通安全・防犯	8
福祉・医療	6
防災・消防・救急	1
地域コミュニティ	1
その他	6

生活基盤整備

- ・子どもが遊べる公園を作る。
- ・道路がでこぼこで辛い。
- ・歩行者の道がでこぼこしている所が多いので整備してほしい。
- ・夜は暗いところが多いのでもう少し外灯を増やしてほしい。
- ・田舎の雰囲気は好きだけど、遊ぶ場所が少ない。道路や歩道ががたがた。
- ・人の集まる場所がない。

公共交通

- ・交通が本当に不便。

環境保全

- ・あまり田畑を潰して建物を建てないでほしい。
- ・登校するときに道や田んぼにゴミがたくさんあつたりするので、松伏町の地域の人々や学校の生徒でゴミ拾いのボランティアをやるときれいになると思う。
- ・松伏は自然が多いので枯れ葉がたくさん落ちていたり、それと共にゴミも落ちていることが多くあるので、ゴミ拾いを心掛けていくことが大切だと思う。

学校教育

- ・体育館にエアコンをつけてほしい。

生涯学習・文化・スポーツ

- ・自習室のようなもの、図書館をつくってほしい。

にぎわい・商工業・農業

- ・多くの人と交流が出来るような松伏ならではの行事を作る。
- ・町民まつりをまたやりたい。

交通安全・防犯

- ・本当にバイクの暴走族がうるさい。

福祉・医療

- ・高齢者施設が交通の不便なところだらけで土地が高い場所に多くある気がする。便利な場所、住んでいる人が多いところに建設すると思う。

その他

- ・通学路などでたばこを吸っている人が多く、周りの人の方が悪影響を受ける。子どもの健康が心配。

5 子育て世帯アンケート調査

これからの松伏町のあり方や町政全般、あるいは第6次総合振興計画についての意見は合計で262件の記述があり、「公共交通」に関する内容が68件で最も多く、以下「交通安全・防犯」が63件、「にぎわい・商工業・農業」が60件、「福祉・医療」が53件などとなっています。

区分	件数
公共交通	68
交通安全・防犯	63
にぎわい・商工業・農業	60
福祉・医療・介護	53
公園・子どもの遊び場	47
保育・子育て支援	27
まちづくり	26
生活環境整備	23
環境保全	20
町政・行政	16
学校教育	12
生涯学習・文化・スポーツ	11
防災・消防・救急	9
その他	5

公共交通

- ・駅が無いと学校や就職先の選択肢が少なくなると痛感した。将来的にも高齢者になって車の運転をしなくなってしまうからの生活が不安。
- ・地域外に行くのに早い時間と遅い時間のバスの本数が合わない。通学に不便さを感じている。
- ・町田のまめバスみたいに100円で乗れたり、本数を増やして欲しい。車がないと不便なため子どもの習い事等はバスで行けたらいい。

交通安全・防犯

- ・新しく住宅が建ち並んだ家の付近は外灯が少ない道路があり、習い事の帰り道や子ども達の登下校時に心配になる道がある。抜け道に使われやすくショートカットする目的として使われている道があり、スピードを出す車も多く安心して子育てが出来るとは言い難い。
- ・松伏町内は抜け道となる場所が多く、時間帯を決めてでもいいので、通行止めの箇所を作ってほしいところが目立つ。

- ・工業団地など大きな建物が増えてきて自然がなくなっていくこと、大きな車の出入りが増えることでの交通安全面で不安を感じている。
- ・小学校付近には必ず怪しい男性が何人もいて、どうして警察の方が登下校時に巡回してくれないのか、いつも不安。
- ・子どもが下校するルートに見守りの方がいないのが不安。
- ・夜は暗く子どもが成長するにつれて心配。

にぎわい・商工業・農業

- ・空き家を活かしたカフェや委託販売、子ども達が友達と気軽に勉強が出来たり集中出来たりする場所がほしい。緑を活かしてドッグランがほしい。ドッグランがあつてちょっとした施設と一緒に、半日過ごして食事などをして、施設に農産物や各お店の委託販売を置いて個々の店のアピールをすれば、今度家族でそのお店に行ってみようと思えると思うので、そういう場所がほしい。
- ・アスレチックのある公園、気軽にデイキャンプが出来るスペース、スケートボードパークなど、他市町村の親子連れの方々が来たいと思えるような施設をつくり、町の野菜や手づくりのものなどを買ってもらえると、町全体が盛り上がると思う。
- ・道の駅をつくったら町が活性化すると思う。人の集まる魅力的な道の駅をつくってほしい。
- ・小学生も高学年や中学生は休みの日に遊ぶところがないと言っている。
- ・もっと活気が出るために、松伏のみのマイレージ、ポイントなどがたまるようなもの、色々なものに使えるお金のようなもの、他の地域にあるようなものに挑戦してみてもどうか。
- ・若い人たちが活躍出来るようなイベントなどがあればいい。エローラがあるので音楽フェス、緑の公園で日帰りキャンプなど。

福祉・医療・介護

- ・町内に小児科を増やしてほしい。町内の病院全てでインターネットから予約が出来るようにしてほしい。
- ・町内だけでなく、近隣の医療機関でも子ども医療費を無料で受診させてほしい。
- ・買い物が出来るところが少ないので高齢者の暮らしが大変だと思う。移動販売や買い物へ連れて行けるサービスがあるといいと思う。

公園・子どもの遊び場

- ・緑の丘公園がもっと広くなり道の駅が併設されるなど、公園に食事処があると大勢の人が集まると思う。
- ・緑の丘公園は川口市や草加市の人でも足を運ぶため、魅力をアピールするには利用した方がいいと思う。た緑の丘は何もないためアスレチックを作る等目玉となる施設をつくってほしい。
- ・松伏にボール遊びが出来る公園がほしい。けやき公園の草刈りや遊具の整備をしてほしい。
- ・もう少し公園の遊具を充実させたり魅力ある場所を作っていただきたい。
- ・公園のメンテナンス。
- ・公園の数が多い割りに、ほとんど整備されておらず子どもが遊べる場所が少ない。

- ・緑の丘公園以外はとにかく遊具が古すぎる。偏りがあり、草もぼーぼーで安心して子どもを外で遊ばすことが出来ない。
- ・公園の遊具を整備してほしい。どの公園も種類がワンパターン。

保育・子育て支援

- ・これだけ共働きが増えて職種も多様な中、土日の子どもの一時保育がファミサポのみであることは本当にいただけない。保育園の頃はまだ隣市の越谷等で一時保育を頼めていたので何とかあったが、小学校低学年の子どもを見てもらうところがない。
- ・松伏町には障がい児、特に重度を受け入れてくれる幼稚園、保育園、こども園がない。障害を持った子ども、家族に優しい町であってほしい。
- ・通学に30分以上かかる地区はスクールバスを希望する。一人で歩いて帰らせることにとても不安を感じる。
- ・保育園が少なすぎて待機児童になってしまったり、一時預かりの施設がほぼない。ファミリーサポートについては割高に感じるので、北越谷の保育ステーションを利用するしかない。
- ・保育園の一時預かりはわずかな人数しか受け入れがないし、1歳未満は預からないなどの制約も多く頼れる身内が近距離にいないと松伏町での子育ては大変。
- ・他の市町村に負けないような子育ての支援があると、自分たちの子どもの世代も松伏町に住もうと思えると思う。
- ・子育て世代が住みたいと思うためには、共働き家庭が魅力を持てる支援が必要だと思う。習い事、学習塾の充実と送迎サービス。学童保育、病児保育の充実。
- ・子育て中の家族が楽しめる公共の場、安く利用出来る施設がほしい。

まちづくり

- ・今後は人口を3万人に増やし、様々な世代が共に生きていけるまちづくりが重要かと思う。
- ・私は緑がとてもきれいで静かで自然豊かなところに魅力を感じてこの町に来た。これから宅地開発や産業振興で工業団地や都市になってしまうのはとても残念に思う。今ののどかな風景を大切に、帰りたくなる町であってほしい。
- ・これからを担う子どもやその親が住みたくなるまちづくりを大胆に進める覚悟を決めるべきだと思う。
- ・自治会等のコミュニティが機能する町にしてほしい。現在私の住んでいる地域は自治会が解散してしまい、地域コミュニティが崩壊している。

生活環境整備

- ・通学路の石畳になっているところがデコボコすぎて転んでケガをする子が多いので整備してもらいたい。
- ・歩道の整備をしっかりとしてほしい。ボコボコしていて歩きづらいし自転車だと転倒する場合もある。
- ・子ども達が安全に通える通学路がないため、はっきりとしたスクールゾーンの設置をしていただきたい。
- ・下水道がきちんと整備されていなくてにおいがくさいし、外人も多くゴミも多い。清潔にしてほしいです。魅力ある町とは、本気で住民のことを考えてくれる町だと思います。

- ・交通機関として北越谷駅を利用する人が多いと思うが、自転車で駅に行くまでの歩道は狭く、整備されておらず、車道を走るにしても車通りが多くてとても危険と不便さを感じる。越谷市とも協力して駅までの自転車道の整備をしたらいいと思う。
- ・歩道が少なく安心して自転車に乗れない。
- ・たばこや飲食物のゴミの散乱が酷い。

環境保全

- ・アウトドアが出来る施設、川がきれいな町、ゴミのない町。
- ・町全体がもっときれいになるために、町のみなさんに働きかけてほしい。
- ・不法投棄みたいな場所が多く環境が心配。
- ・今ある田園風景を子ども達に残してほしい。

学校教育

- ・教育委員会のほうは正直活気を感じられず今後が不安になる。
- ・学力の底上げ、学力の高い子どもをさらに育てる仕組み、食育、個を伸ばす教育、小さな町だからこそきめ細かいサービスが出来る素晴らしい教育をしている町になってほしい。

生涯学習・文化・スポーツ

- ・せつかく土地があるのでスポーツ施設やイベントなどで町外からの人も集まるような場所があるといいと思います。
- ・小さい子供から高齢者が気軽に利用出来る図書館、学習スペースがあるといいと思う。
- ・中高生が勉強出来るスペースがもっとほしい。
- ・町に図書室ではなく図書館がないのは問題だと思う。子ども達の学力向上についてもっと力を入れるべきではないか。

防災・消防・救急

- ・川が多く水害の心配がついてまわる。水害に対する対策や意識づけを小学生のうちから取り組んだり、町全体で取り組んでいけるといいと思う。
- ・中々災害の経験がないためか災害時の対応が遅い。
- ・洪水の時に町民が避難出来る高い建物がほとんどないので、災害時は不安しかない。一体どこへ逃げればいいのかわからない。
- ・川が氾濫しないように整備してほしいです。

松伏町第6次総合振興計画策定のための町民意識調査
調査結果報告書

発行 令和4年11月

松伏町役場 企画財政課

埼玉県北葛飾郡松伏町大字松伏2424

TEL : 048-991-1818

URL : <http://www.town.matsubushi.saitama.jp/>